

東海村

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査／
在宅介護実態調査／在宅生活改善調査
【結果報告書】

令和5年3月

東海村

目次

第Ⅰ部 調査の概要	1
1. 調査概要	3
第Ⅱ部 調査結果のまとめ	5
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果のまとめ	7
2. 在宅介護実態調査結果のまとめ	10
3. 在宅生活改善調査結果のまとめ	12
第Ⅲ部 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	15
★ 調査票を記入されたのはどなたですか	17
1. あなたのご家族や生活状況について	18
2. からだを動かすことについて	26
3. 食べることについて	39
4. 毎日の生活について	49
5. 地域での活動について	67
6. たすけあいについて	77
7. 健康について	91
8. 認知症にかかる相談窓口の把握について	100
9. 終活や暮らしについて	102
10. 自由記述について	107
第Ⅳ部 生活機能判定結果	115
1. 介護予防のための生活機能判定結果	117
2. その他の生活機能判定	127
第Ⅴ部 在宅介護実態調査結果	133
1. A票 調査対象者様ご本人について	135
2. B票 主な介護者の方について	154
3. 自由記述について	168
第Ⅵ部 在宅生活改善調査	173
1. 居所変更の状況について	175
2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について	178
3. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている状況を改善するための、サービス利用の変更等について	184

第Ⅶ部 資料編（使用した調査票）	187
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票	189
2. 在宅介護実態調査 調査票	203
3. 在宅生活改善調査 調査票	213

第 I 部 調査の概要

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和6年度から令和8年度を計画期間とする「第9期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、高齢者の健康状態や日常生活の状況及び福祉サービス等における利用状況、利用意向等を把握し、これからの施策の改善及び展開、充実を図ることを目的として実施し、計画策定の参考資料として活用いたします。

(2) 調査対象者

調査種別	対象
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	本村の住民で、65歳以上の方 (要介護1～5の認定を受けている方を除く)
②在宅介護実態調査	本村の住民で、要支援・要介護の認定を受け、 在宅で生活している方
③在宅生活改善調査	村内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所

(3) 調査方法と調査期間

【①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査／②在宅介護実態調査】

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和4年11月1日～令和4年12月7日

【③在宅生活改善調査】

調査方法：電子メールやMedicalCareStation（医療介護専用コミュニケーションツール）での配布、回収

調査期間：令和4年11月11日～令和4年12月14日

(4) 回収結果

調査区分	配布件数	有効回答数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500件	1,033件	68.9%
②在宅介護実態調査	600件	342件	57.0%
③在宅生活改善調査	13件	13件	100.0%

(5) 日常生活圏域及び地域構成

日常生活圏域	地域
北部圏域	白方小学校区、石神小学校区、村松小学校区
南部圏域	照沼小学校区、中丸小学校区、舟石川小学校区

(6) 報告書を見る際の注意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までを示しているため、その合計値が 100.0%にならない場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は 100.0%を超える場合があります。
- グラフは、見やすさを確保するため、数値の掲載を割愛している場合があります。
- n=30 未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すに留めています。なお、在宅生活改善調査は、当初より n 値が少数であるため、得られた結果で分析しています。

第Ⅱ部 調査結果のまとめ

1. 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果のまとめ

(1) あなたのご家族や生活状況について

家族構成については、「1人暮らし」の割合は、全体で 14.4%となっています。性別でみると、男性が 8.4%、女性が 19.7%と、女性が 11.3 ポイント上回り、女性のほうが「1人暮らし」の割合が高い傾向がみられます。

普段の生活において、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の合計値《介護や介助を必要としている割合》は全体で 16.2%となっています。年齢が上がるとともに、「現在、何らかの介護を受けている」の割合は増加し、85～89歳で 21.9%、90歳以上で 36.7%となっています。また、男性に比べて女性のほうが「現在、何らかの介護を受けている」割合が高い傾向がみられます。

介護が必要になった主な原因については、全体では「高齢による衰弱」が最も高い割合を示し、性別でも、男性、女性ともに「高齢による衰弱」が最も高くなっています。性別による差がみられる主な原因としては、「骨折・転倒」で男性が 10.9%、女性が 18.2%と、女性が 7.3 ポイント上回っています。

経済状況については、「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計値《苦しい》は 25.7%と約 4 人に 1 人の割合となっています。

住まいの種類については、全体では「持家（一戸建て）」が 89.6%と、大半を占めています。

(2) からだを動かすことについて

本調査は、生活機能を評価（P113～「第Ⅳ部 生活機能判定結果 1 介護予防のための生活機能判定結果」参照）する項目があり、調査項目の回答結果をもとに、生活機能、運動機能、栄養状態、口腔機能、閉じこもり、認知機能、うつの 7 つの機能を評価しています。

運動機能の評価では、全体の 18.3%が運動機能に低下の傾向がみられる該当者と判定されています。また、閉じこもりの評価では、全体の 18.7%が閉じこもりの傾向がみられる該当者と判定されています。どちらの評価項目も、年齢が上がるとともに該当者の割合が高くなっています。

外出を控えていると回答した方へ、その理由を聞く設問においては、身体的な理由である「足腰などの痛み」が 39.7%と、他の項目を大きく上回る割合を示していることから、外出をするうえでは、自身の身体機能が維持されていることが重要であることがうかがえます。また、上位には「交通手段がない（18.3%）」、「トイレの心配（失禁など）（16.2%）」が挙げられていることから、移動手段の確保や軽失禁への対策により、外出機会の増加にも繋がるのではないかと考えられます。なお、「その他」の比率が高いのは、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。

外出をする際の主な移動手段としては、「自動車（自分で運転）」が 66.8%で最も高くなっています。また、運転免許証の返納を考えたことがあるかについては、全体では「ある」が 20.6%ですが、年齢階級別でみると、65～69歳では 1 割未満である一方、80歳以上では 3 割以上が返納を考えたことがあると回答しています。日常生活における移動手段として、自動車が占める割合は高いことから、運転免許証の返納後においても、日常生活に支障が出ないように、引き続き、移動支援の充実を図っていく必要があると考えられます。

(3) 食べることについて

身長と体重から肥満度を図る指数（BMI）では、やせと判定される「BMI = 18.5 未満」の割合が 6.5%、肥満と判定される「BMI = 25.0 以上」の割合が 22.2%となっています。厚生労働省による令和元年国民健康・栄養調査報告（第 17 表の 1）では、65 歳以上のやせが 6.9%、肥満が 28.8%と、全国に比べて、やせに大きな差はみられないものの、肥満については下回る結果となっています。

口腔機能の評価では、全体の 27.8%が口腔機能に低下の傾向がみられる該当者と判定され、他の評価項目と比べるとやや高い割合となっています。

誰かと食事をともにする機会については、「毎日ある」と「週に何度かある」の合計値《日常的に機会がある》は 61.1%である一方、「年に何度かある」と「ほとんどない」の合計値《機会が少ない》は 19.9%と、《日常的に機会がある》が大きく上回っています。なお、年齢が上がるにつれて、《機会が少ない》は増加する傾向がみられます。

(4) 毎日の生活について

認知機能の評価では、全体の 47.4%が認知機能に低下の傾向がみられる該当者と判定され、他の評価項目と比べて非常に高い割合となっています。

趣味の有無については、「趣味あり」が 75.8%、生きがいの有無については、「生きがいあり」が 58.9%となっています。

本調査は、介護予防の生活機能評価のほか、手段的自立度、知的能動性、社会的役割を評価（P113～「第Ⅳ部 生活機能判定結果 2 その他の生活機能判定」参照）する項目があり、点数が高いほど、能力が高いと判定され、これら能力を判定する 13 項目の老研指標より評価する生活機能総合評価があります。

生活機能総合評価では、「高い（11 点以上）」は全体で 63.6%となっています。認定別でみると、一般高齢者が 70.2%である一方、要支援認定者は 25.2%と、身体機能の低下等による影響が結果にも出ていることがわかります。

(5) 地域での活動について

地域の活動への参加状況については、参加している割合が 2 割を超える項目は、「ボランティアのグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループ」、「町内会・自治会」となっています。

今後、健康づくりや趣味等のグループ活動へ参加者として参加する意向については、「是非参加したい」が 5.3%、「参加してもよい」が 44.8%と、参加する意向をもつ方は約 5 割を占めていることから、参加する意向をもつ方を活動の場へと繋げる方策を検討していく必要があると考えます。

(6) たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、また、病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人、看病や世話をしてあげる人では、「配偶者」の割合が最も高くなっています。

友人・知人と会う頻度については、《よく会っている（「毎日ある」と「週に何度かある」の合計値）》は、男性が 30.3%、女性が 34.9%と、女性が 4.6 ポイント上回っています。

(7) 健康について

現在の健康状態については、「とてもよい」と「まあよい」の合計値《よい》は75.7%、「あまりよくない」と「よくない」の合計値《よくない》は20.3%と、《よい》の割合が大きく上回っています。

うつの評価では、全体の40.9%がうつの傾向がみられる該当者と判定され、認知機能と同様に高い割合となっています。

治療中または後遺症のある病気については、「高血圧(44.8%)」、「目の病気(20.3%)」が男女ともに上位に挙げられている項目となっています。また、男性では「高血圧」、「糖尿病」の割合が女性に比べて高い傾向がみられ、女性では「目の病気」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「高脂血症(脂質異常)」の割合が男性に比べて高い傾向がみられます。

(8) 認知症にかかる相談窓口の把握について

認知症の症状の有無又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が8.5%、「いいえ」が87.5%と、「いいえ」が大きく上回る結果となっています。

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が33.2%、「いいえ」が62.7%と、「いいえ」が大きく上回る結果となっています。「いいえ」と答えた方は、男性が27.1%、女性が37.9%と、女性が10.8ポイント上回っています。

今後、認知症高齢者の増加も予測されていることから、適切な支援等へと円滑に繋げるためにも認知症の相談窓口を、より一層周知していく必要があると考えられます。

(9) 終活や暮らしについて

終活において、心配なこと、気になることについては、全体では「持ち物の整理」が55.4%で最も高くなっています。年齢階級別で見ると、年齢が低いほど、割合は高くなる傾向がみられます。

一人暮らしとなり、良いと思う見守りの手法については、全体では「家族による訪問や電話による見守り」が54.0%で最も高くなっています。なお、「近所の人による訪問の見守り」は2.9%と、低い割合となっています。近所の方による見守りよりも、家族による見守りを希望される方の割合が多いことから、家族とのつながりが強いことがうかがえます。

2. 在宅介護実態調査結果のまとめ

(1) A票 調査対象者様ご本人について

世帯類型については、「単身世帯」が26.3%、「夫婦のみ世帯」が33.3%、「その他」が37.4%と、その他の割合が高くなっています。その他の内訳としては、息子・娘との2世帯で生活している家庭などが含まれていると考えられます。

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.8%と、半数以上が在宅での生活を希望している結果となっています。このことから、住み慣れた自宅で生活をしながら利用できる在宅の介護サービス等の充実が、求められる支援策として考えられます。また、在宅介護の希望者が増える一方で、核家族化等により介護を担う者は減少傾向が見られるため、介護者への経済的及び身体的な負担軽減策についても講じていく必要があります。

現在抱えている傷病については、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）（25.1%）」、「認知症（23.7%）」、「心疾患（心臓病）（22.2%）」が上位に挙げられています。

介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が60.8%、「利用していない」が32.2%となっています。介護保険サービスを利用していないと回答した方の理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない（47.3%）」、「本人にサービス利用の希望がない（28.2%）」が上位に挙げられていることから、本人の身体状況や意向により利用には至っていない傾向がみられます。

現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（14.0%）」、「配食（7.9%）」、「掃除・洗濯（7.9%）」、「サロンなどの定期的な通いの場（7.9%）」が上位に挙げられています。また、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（25.1%）」、「外出同行（通院、買い物など）（20.5%）」が上位に挙げられていることから、移動支援に対する需要が高い傾向がみられます。

訪問診療の利用状況については、利用している方は約1割となっています。

終活において、心配なこと、気になることについては、「持ち物の整理」が37.1%で最も高くなっています。認定別でみると、介護度が低いほど、割合は高くなる傾向がみられます。

一人暮らしとなり、良いと思う見守りの手法については、全体では「家族による訪問や電話による見守り」が42.4%で最も高くなっています。なお、「近所の人による訪問の見守り」は3.8%と、低い割合となっています。これらの結果は、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査でも同様に、家族とのつながりが強い傾向がみられています。

家族や親族からの介護の状況については、「ほぼ毎日ある」が36.8%と、日常的に介護が必要である方は約4割となっています。

(2) B票 主な介護者の方について

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいるかについては、『辞めた』、『転職した』の合計値は11.5%と、少数ではあるものの介護を理由として『辞めた』、『転職した』介護者がいる状況がみられます。

主な介護者については、「配偶者」と「子」で約8割を占め、一部が「子の配偶者」、「孫」、「兄弟姉妹」、「その他」となっています。

介護者の性別は、「男性」が37.1%、「女性」が58.1%と、女性が介護を担っている状況がみられます。

主な介護者の年齢については、「60代」、「70代」、「80歳以上」の合計値が62.9%と、約6割が老老介護の状況にあると考えられる結果となっています。老老介護は今後も増加が見込まれるため、必要な介護サービス等が提供されるよう、環境を整えていく必要性があると考えられます。

主な介護者が行っている介護等においては、「外出の付き添い、送迎等(70.0%)」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)(70.0%)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き(64.3%)」が上位に挙げられています。

現在の生活を継続していくにあたり、不安を感じる介護等については、「認知症状への対応(32.9%)」、「外出の付き添い、送迎等(31.9%)」、「夜間の排泄(26.2%)」、「入浴・洗身(26.2%)」、「日中の排泄(19.5%)」が上位に挙げられています。

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が41.9%と、約4割は働いていないという状況となっています。一方で「フルタイムで働いている」は27.6%、「パートタイムで働いている」が17.6%となっています。

働き方の調整等をしているかについては、「特に行っていない」が33.7%であり、残りの約7割の方は何らかの調整をしながら働いている状況となっています。

仕事と介護の両立に効果があると思う、勤め先からの支援については、「制度を利用しやすい職場づくり(31.6%)」、「介護休業・介護休暇等の制度の充実(30.5%)」が上位に挙げられています。

今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」の合計値は14.8%と、約1割の方は今後の就労継続は難しいと感じている結果となっています。

介護は育児と異なり、突発的に問題が発生することや、介護を行う期間・方策も多種多様であることから、仕事と介護の両立が困難となることも考えられます。そのため、育児・介護休業法に定められた介護休業制度等の周知を図りながら、企業側及び介護者側の課題を把握し、継続就業をできる環境づくりに努めていく必要があります。

3. 在宅生活改善調査結果のまとめ

(1) 居所変更の状況について

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数については、「特別養護老人ホーム（58人：50.4%）」が最も高く、次いで「介護老人保健施設（22人：19.1%）」と、施設への移行が多い結果となっています。

また、変更した利用者の要介護度は、「要介護4」が31.4%で最も高く、次いで「要介護3」が25.4%と、重度の方の移行が多い結果となっています。

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者は「47人（6.7%）」となっています。

(2) 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

本人の状態に属する理由については、「必要な身体介護の増大（53.2%）」、「認知症の症状の悪化（53.2%）」、「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり（25.5%）」が上位に挙げられています。

“必要な身体介護の増大”を理由として挙げた人の具体的な内容については、「排泄（日中）（68.0%）」、「入浴（68.0%）」、「移乗・移動（60.0%）」、「排泄（夜間）（56.0%）」が上位に挙げられており、この結果は、在宅介護実態調査において、現在の生活を継続していくにあたり、介護者が不安に思う介護でも上位に挙げられている内容となっています。

“認知症の症状の悪化”を理由として挙げた人の具体的な内容については、「薬の飲み忘れ（76.0%）」、「一人での外出が困難（56.0%）」、「家事に支障がある（48.0%）」が上位に挙げられています。

“医療的ケア・医療処置の必要性の高まり”を理由として挙げた人の具体的な内容については、「経管栄養（33.3%）」が最も高くなっています。

本人の意向等に属する理由については、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから（34.0%）」、「生活不安が大きいから（23.4%）」、「居住環境が不便だから（17.0%）」が上位に挙げられています。

家族等介護者の意向・負担等に属する理由については、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大（48.9%）」、「家族等の介護等技術では対応が困難（21.3%）」、「本人と家族等の関係性に課題があるから（19.1%）」が上位に挙げられています。「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」は、認定別でみると、要支援1～要介護2の割合が高いことから、軽度者を介護している方のほうが、介護に対する不安等が大きい傾向がみられます。少しでも介護者の不安を和らげるため、介護者向けの相談会や座談会を開催し、現在抱えている課題を把握することで、介護予防のサービスにつながることも重要と考えます。

(3) 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている状況を改善するための、サービス利用の変更等について

“生活の維持が難しくなっている人”の生活の改善に必要なサービス変更については、「特養待機者」が7人（16.7%）、「その他施設等の待機者」が13人（31.0%）、「在宅サービス待機者」が20人（47.6%）となっています。

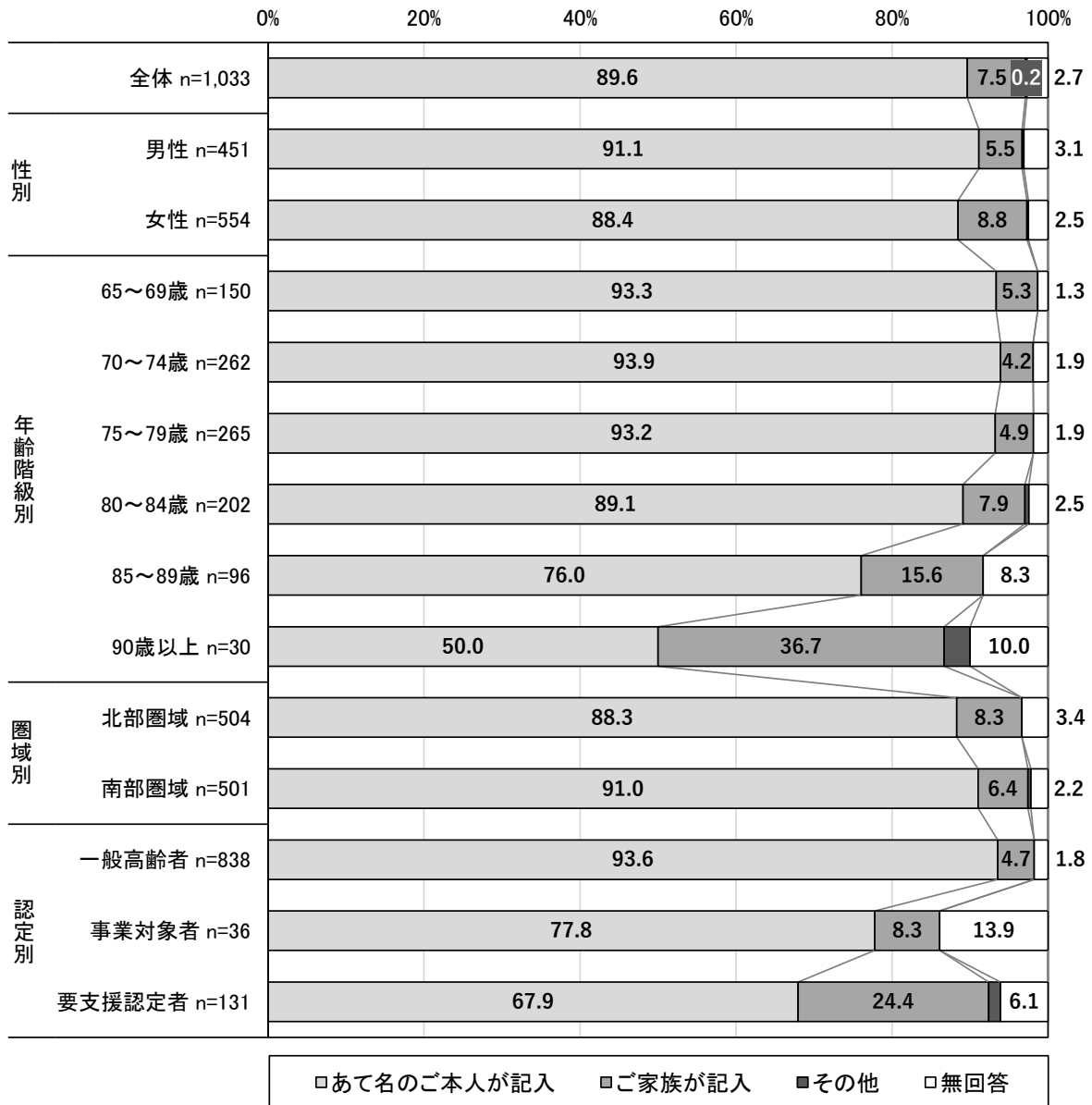
“その他施設等の待機者”と“在宅サービス待機者”の生活の改善に必要なサービスについては、“その他施設等の待機者”では「グループホーム」、 “在宅サービス待機者”では、住まい・施設等を見ると、「グループホーム」、在宅サービスでみると、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」が最も高くなっています。

特別養護老人ホームに入所できない理由については、「申込をしていない」が約5割、特別養護老人ホーム以外の住まい・施設等に入所・入居できない理由については、「申込をしていない」が約6割となっています。

第Ⅲ部 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果

★ 調査票を記入されたのはどなたですか

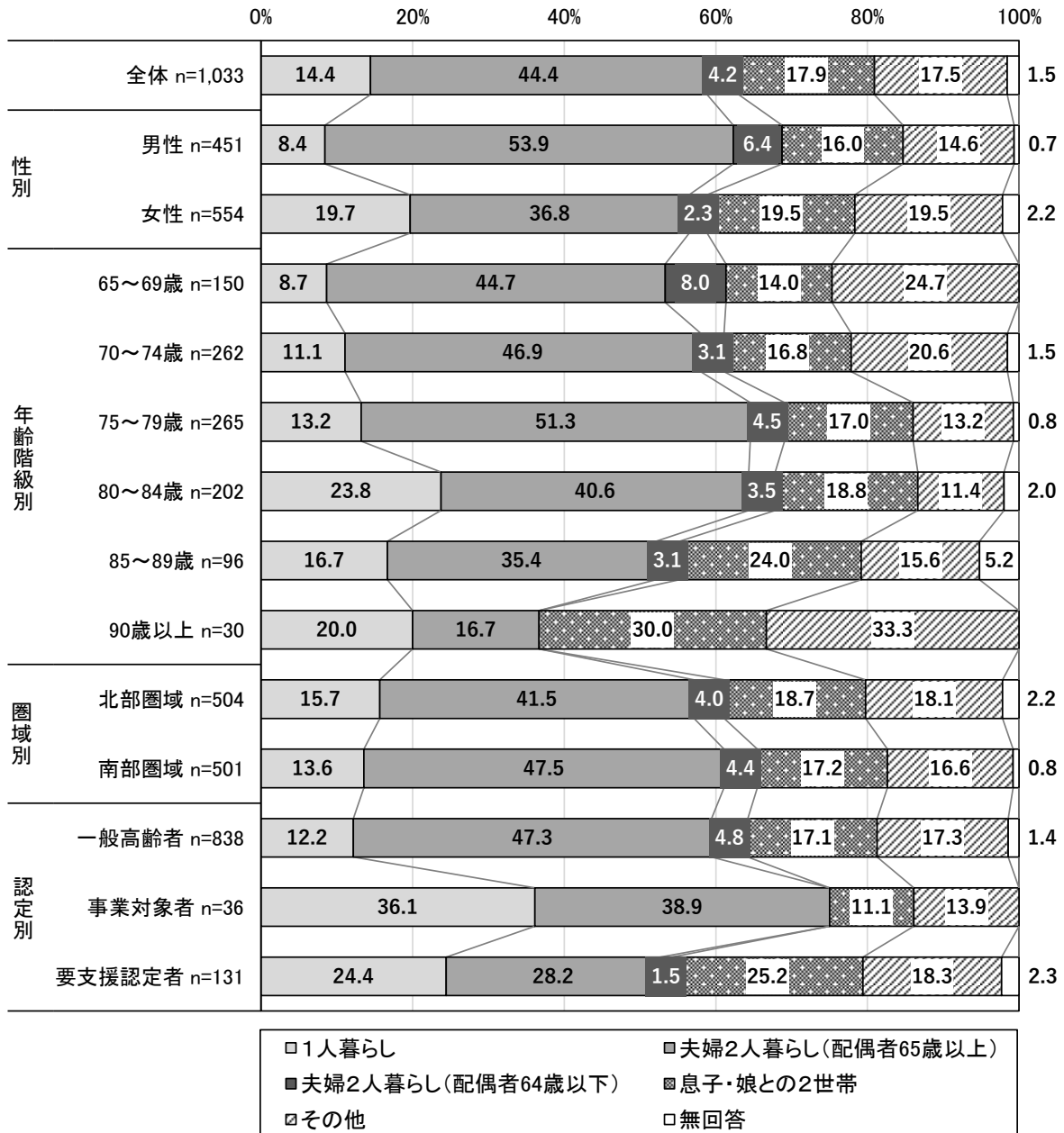
調査票に回答した方については、全体では「あて名のご本人が記入」が 89.6%で最も高くなっています。



1. あなたのご家族や生活状況について

Q1. 家族構成を教えてください（1つのみ）

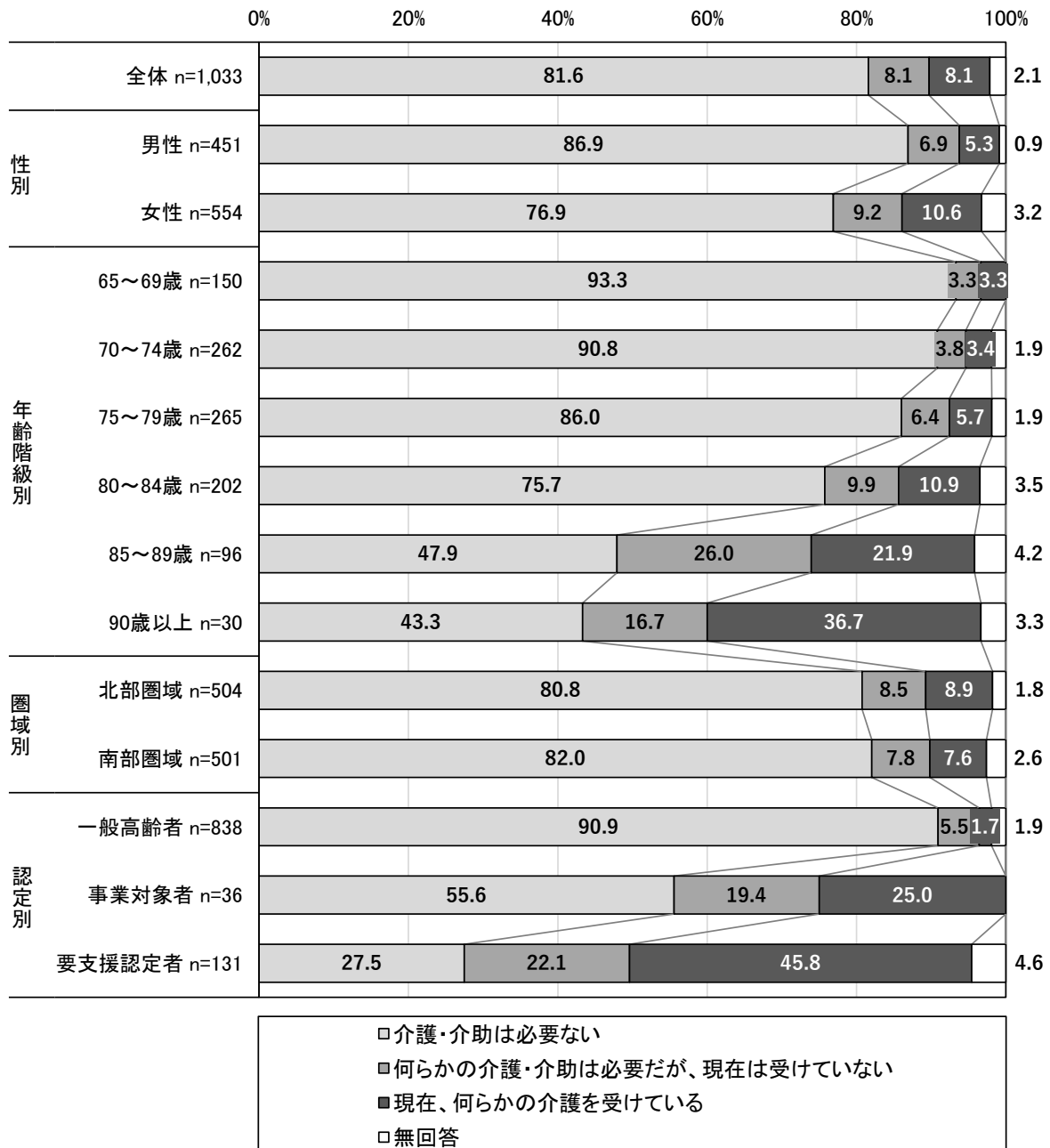
家族構成については、全体では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.4%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が17.9%、「その他」が17.5%、「1人暮らし」が14.4%となっています。性別で見ると、「1人暮らし」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。年齢階級別で見ると、年齢が上がるとともに、「息子・娘との2世帯」が増加しています。



Q2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つのみ）

普段の生活での介護・介助の必要性については、全体では「介護・介助は必要ない」が81.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」がともに8.1%となっています。

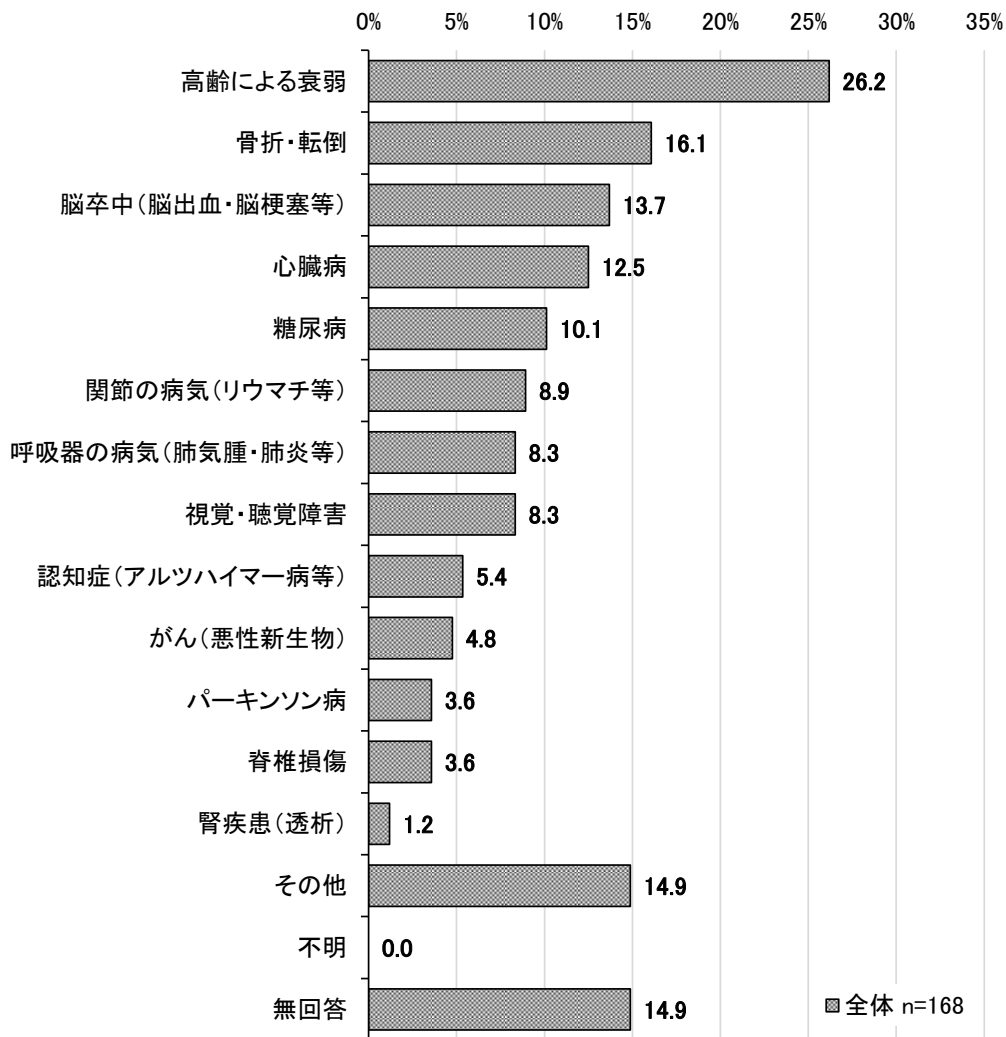
性別でみると、「現在、何らかの介護を受けている」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「現在、何らかの介護を受けている」が増加しています。



【Q2において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

Q2-1. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

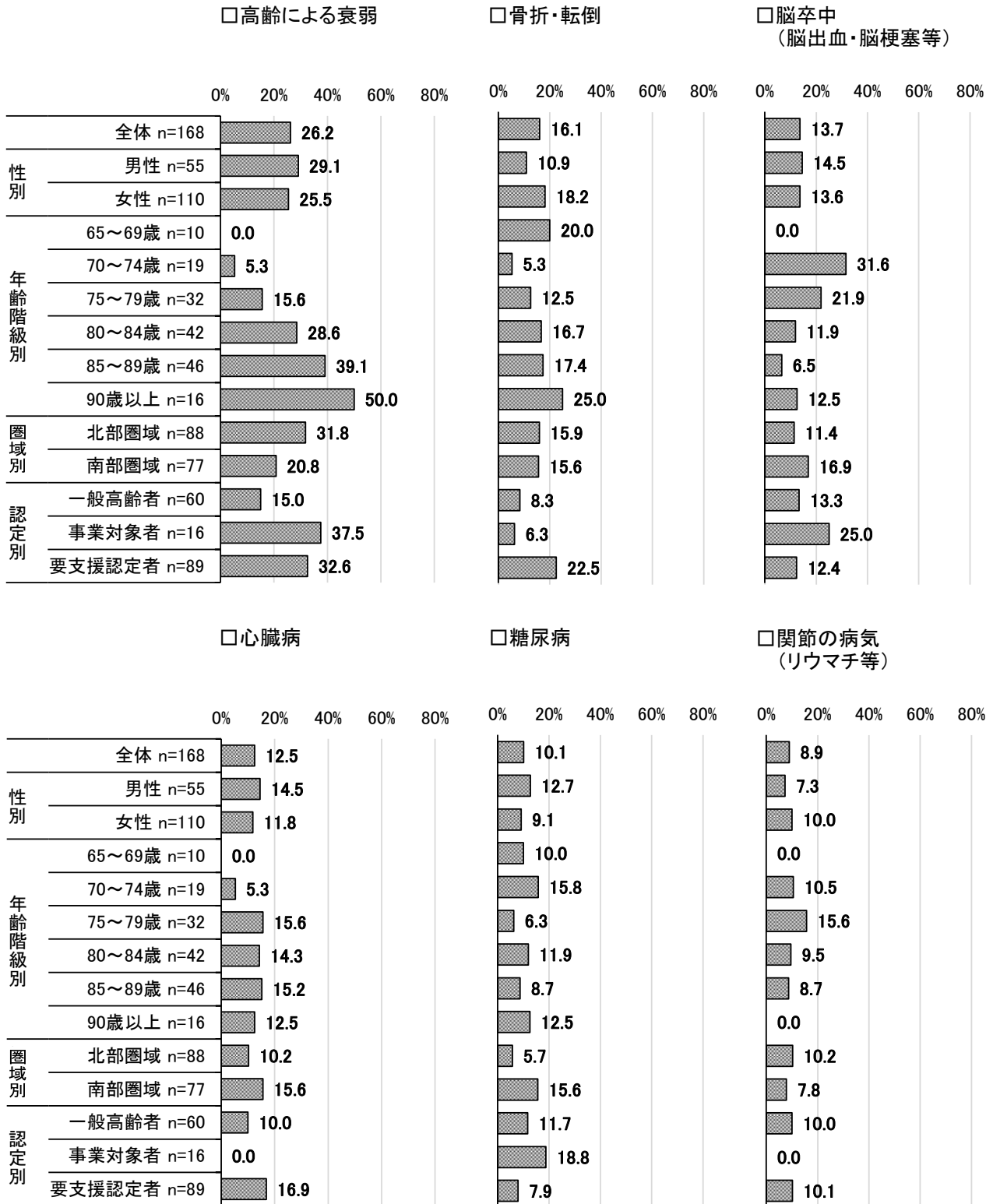
介護・介助が必要になった主な原因については、全体では「高齢による衰弱」が26.2%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が16.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が13.7%、「心臓病」が12.5%、「糖尿病」が10.1%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「高齢による衰弱」が最も高くなっています。性別による差がみられる主な原因としては、「骨折・転倒」で男性が10.9%、女性が18.2%と、女性が7.3ポイント上回っています。

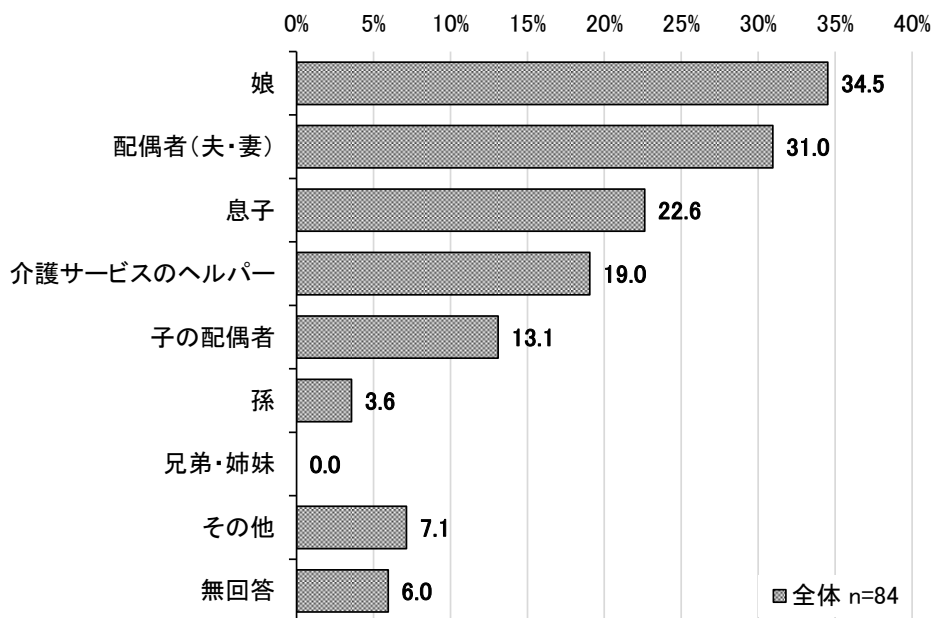
圏域別で見ると、「高齢による衰弱」は、南部圏域に比べ北部圏域のほうが上回っています。



【Q2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

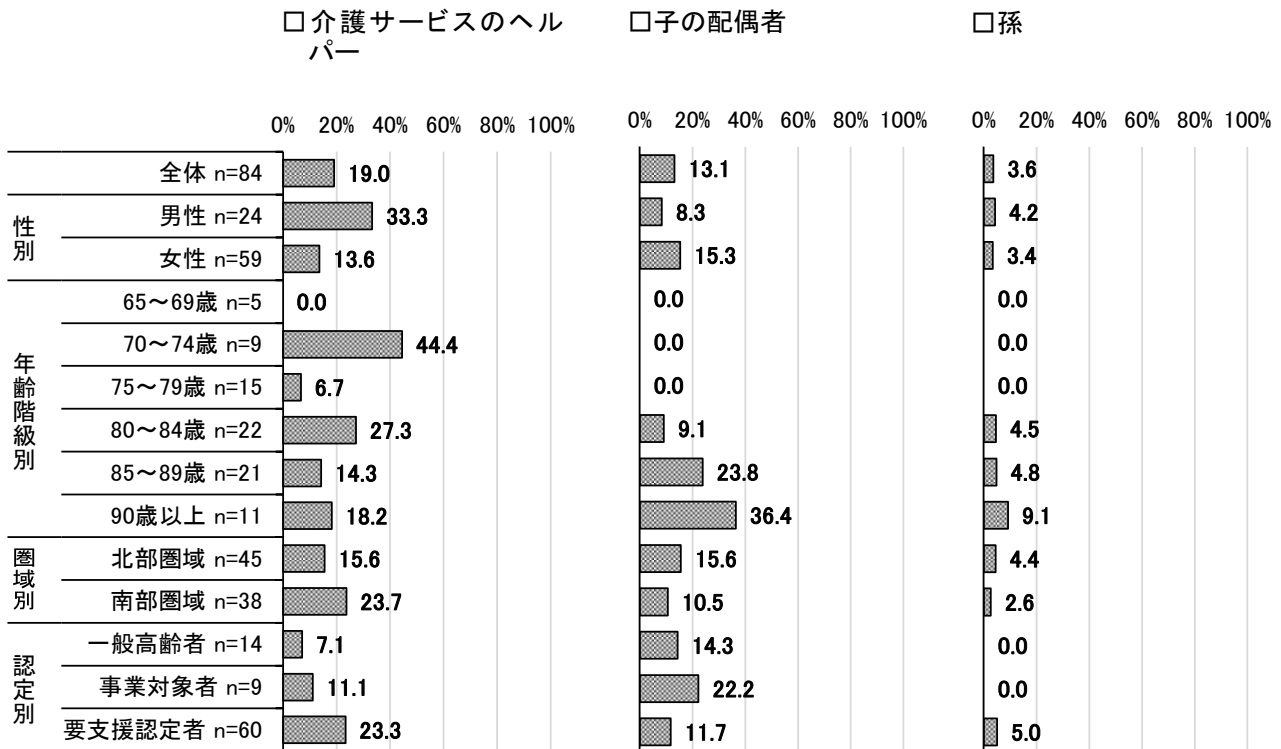
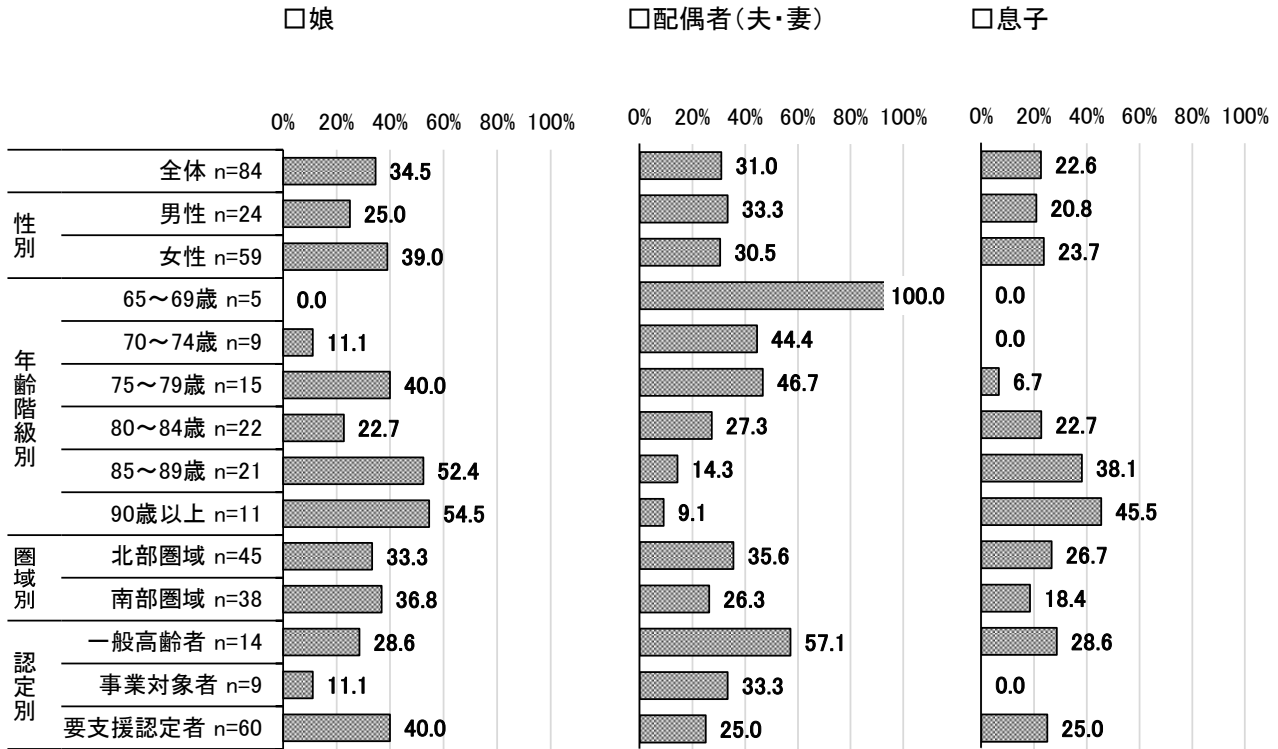
Q2-2. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

主に誰からの介護・介助を受けているかについては、全体では「娘」が34.5%で最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が31.0%、「息子」が22.6%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

属性別のサンプル数が少数であるため、参考値として示すに留めています。

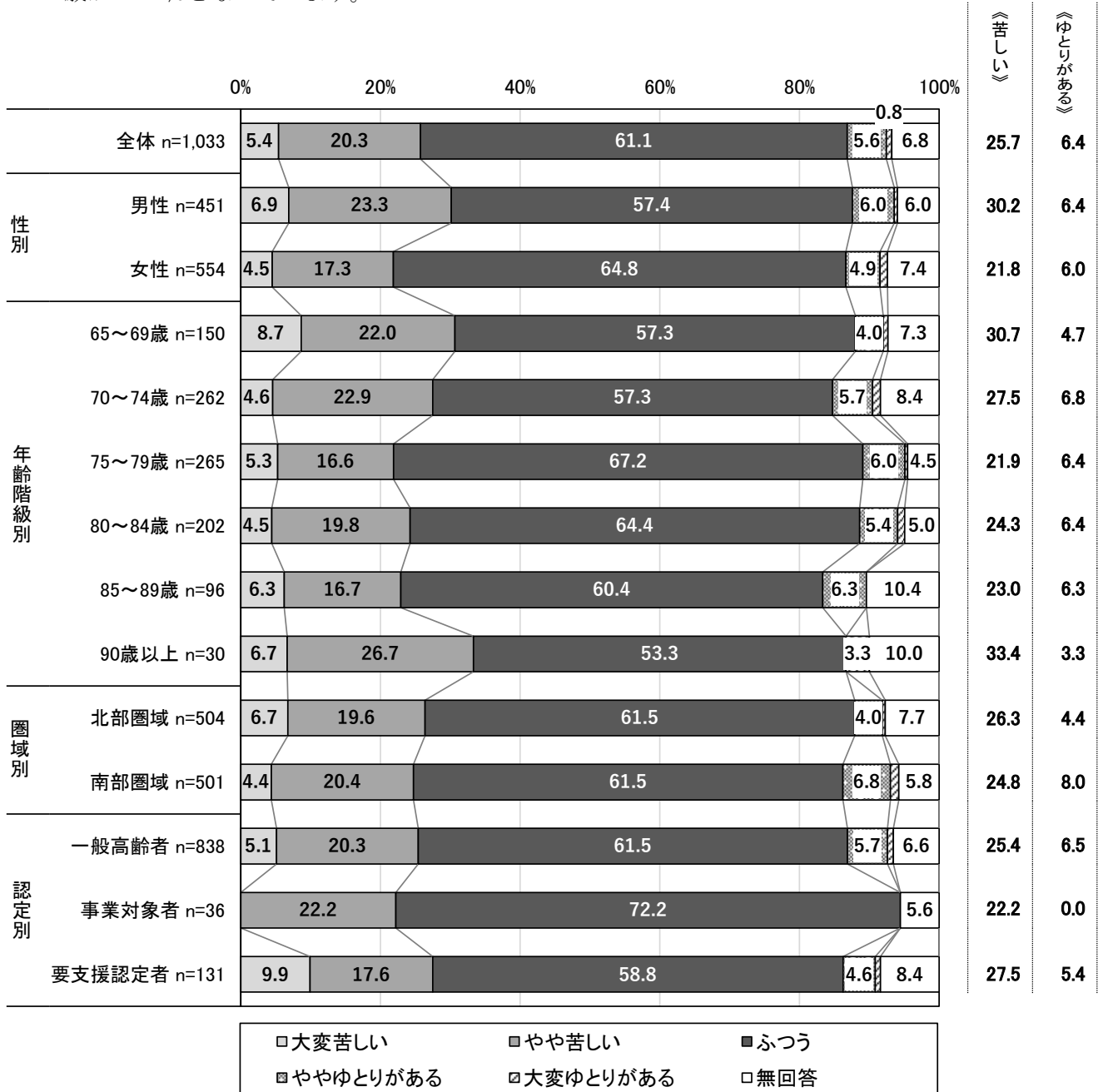


Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つのみ）

現在の暮らしの経済状況については、全体では「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計値《苦しい》が25.7%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計値《ゆとりがある》が6.4%と、《苦しい》が19.3ポイント上回っています。

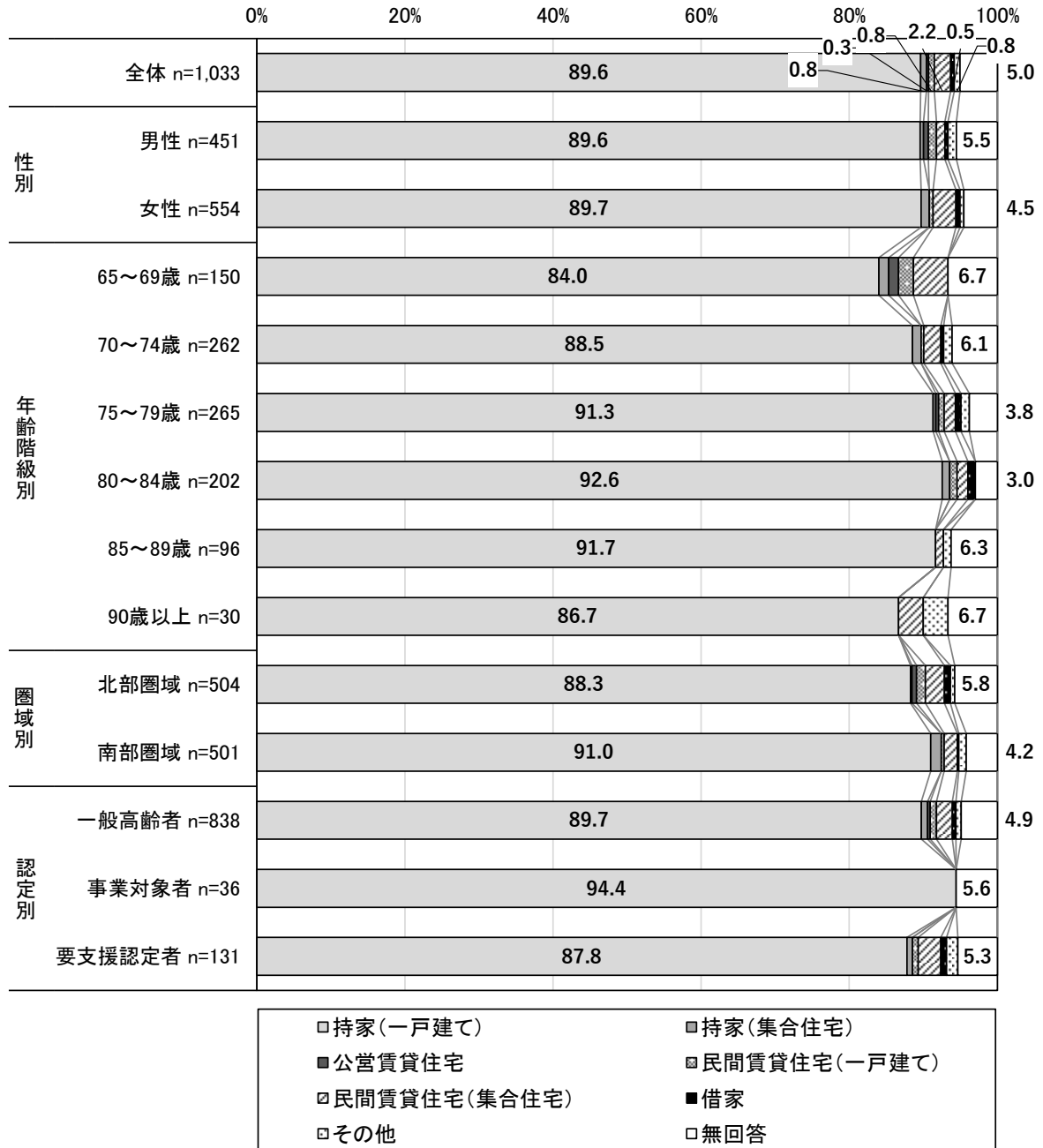
性別でみると、《苦しい》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《苦しい》は、90歳以上が33.4%で最も高く、次いで65～69歳が30.7%、70～74歳が27.5%となっています。



Q4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つのみ）

住まいの種類については、全体では「持家（一戸建て）」が89.6%で最も高くなっています。属性別でも、すべての属性で「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。



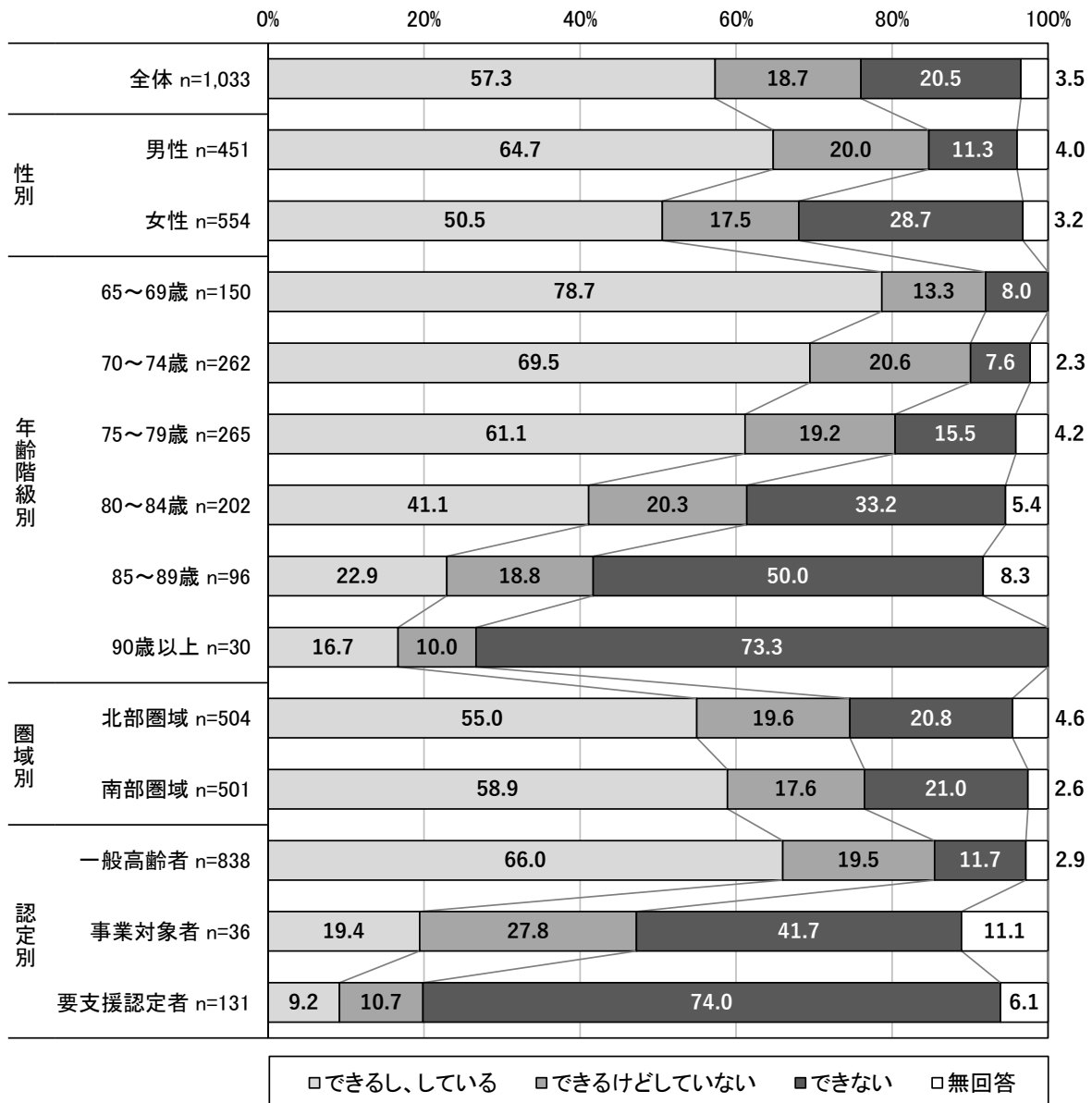
2. からだを動かすことについて

Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つのみ）

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、全体では「できるし、している」が57.3%で最も高く、次いで「できない」が20.5%、「できるけどしていない」が18.7%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が73.3%で最も高く、次いで85～89歳が50.0%、80～84歳が33.2%となっています。

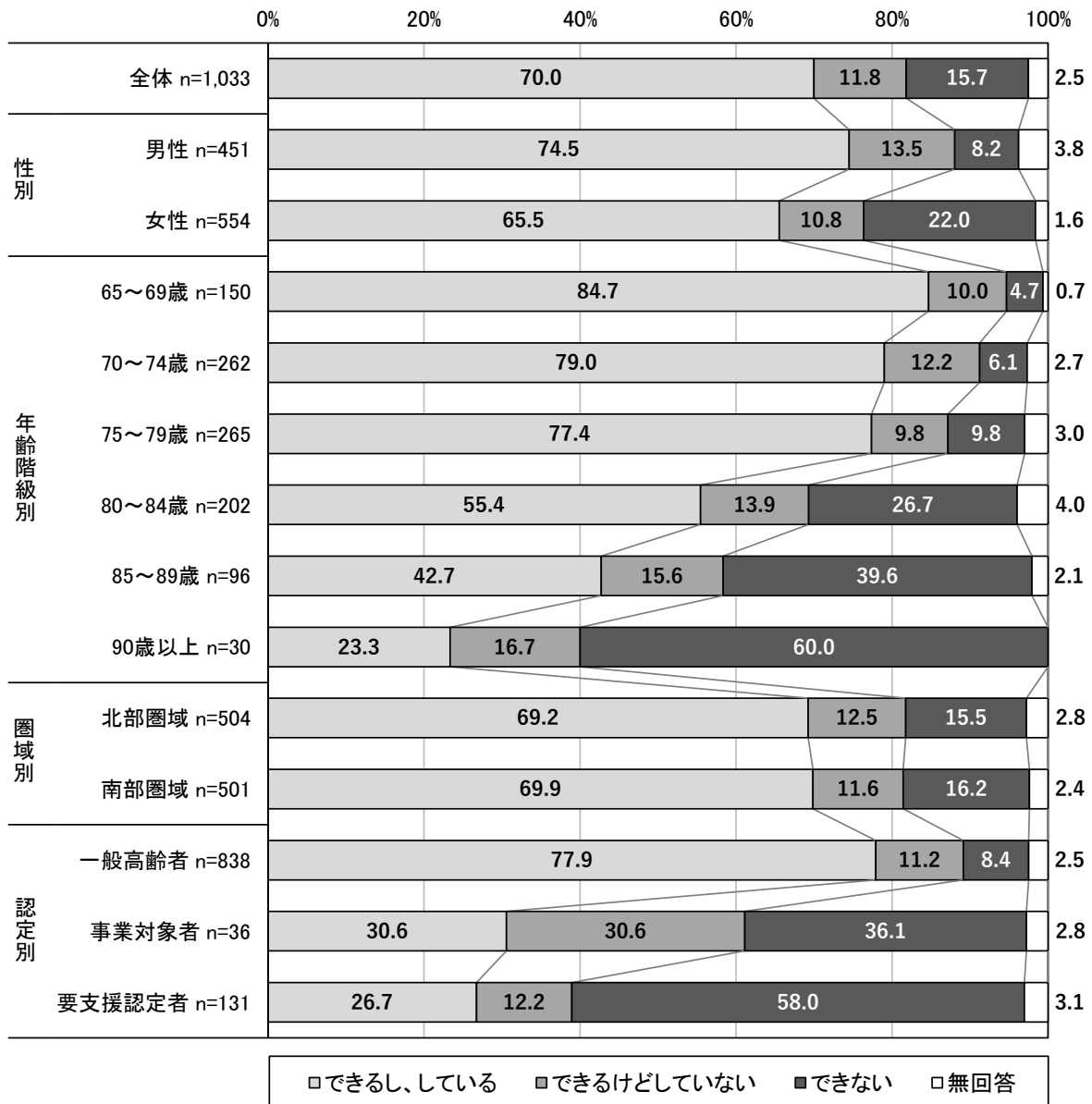


Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、全体では「できるし、している」が70.0%で最も高く、次いで「できない」が15.7%、「できるけどしていない」が11.8%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が60.0%で最も高く、次いで85～89歳が39.6%、80～84歳が26.7%となっています。

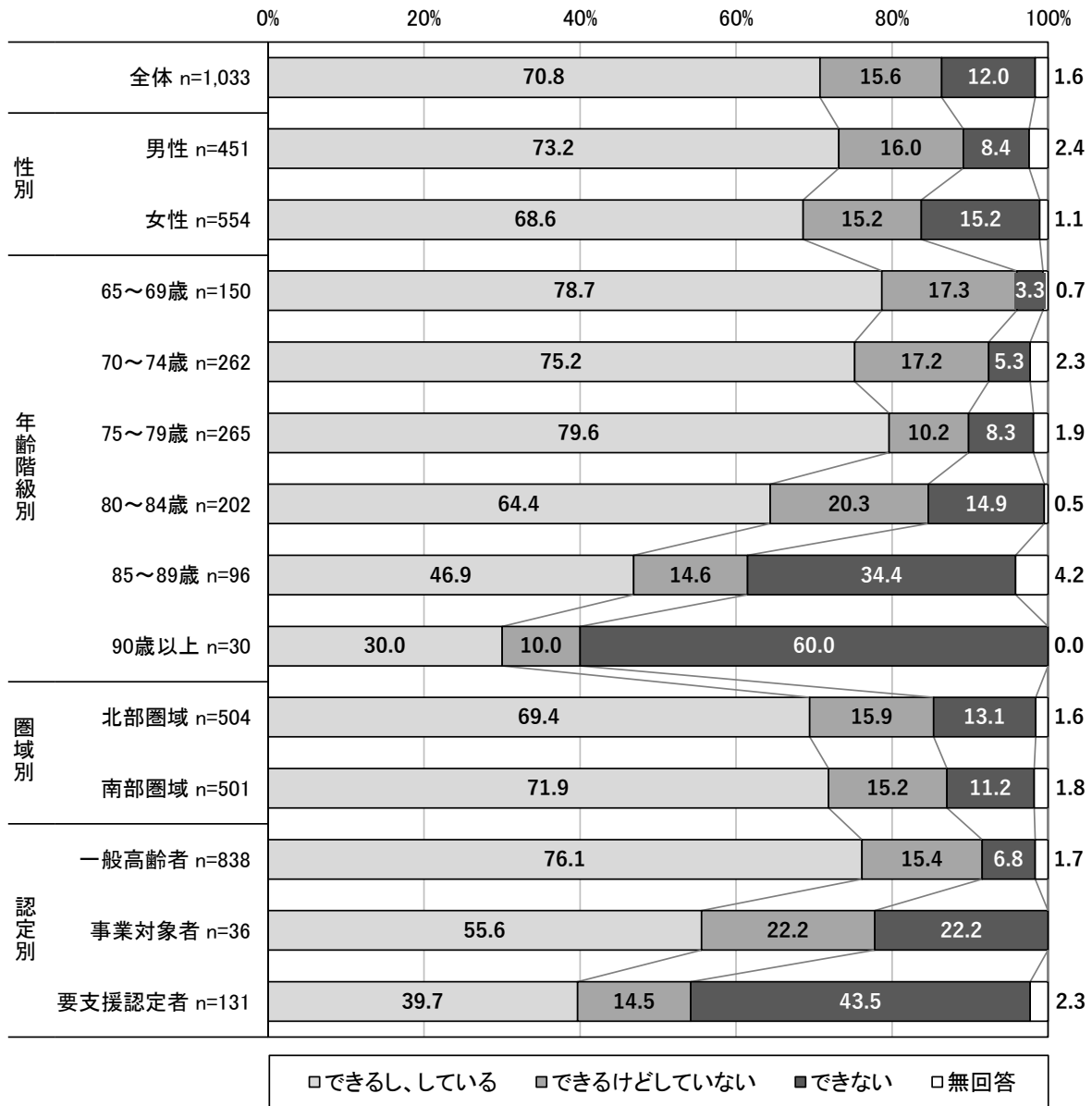


Q3. 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）

15分位続けて歩いているかについては、全体では「できるし、している」が70.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.6%、「できない」が12.0%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が60.0%で最も高く、次いで85～89歳が34.4%、80～84歳が14.9%となっています。

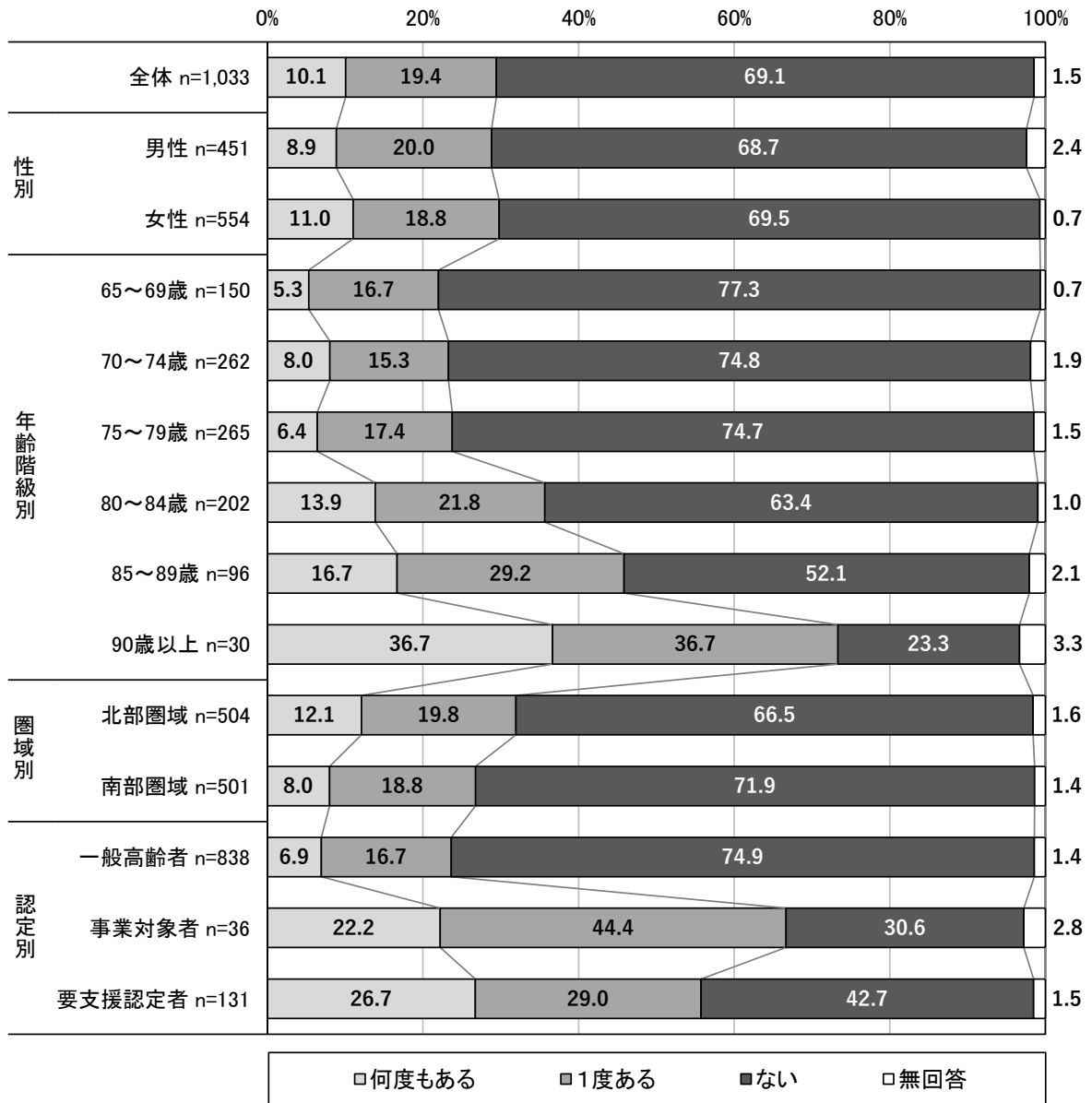


Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）

過去1年間に転んだ経験があるかについては、全体では「ない」が69.1%で最も高く、次いで「1度ある」が19.4%、「何度もある」が10.1%となっています。

性別でみると、「何度もある」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「何度もある」は、90歳以上が36.7%で最も高く、次いで85～89歳が16.7%、80～84歳が13.9%となっています。

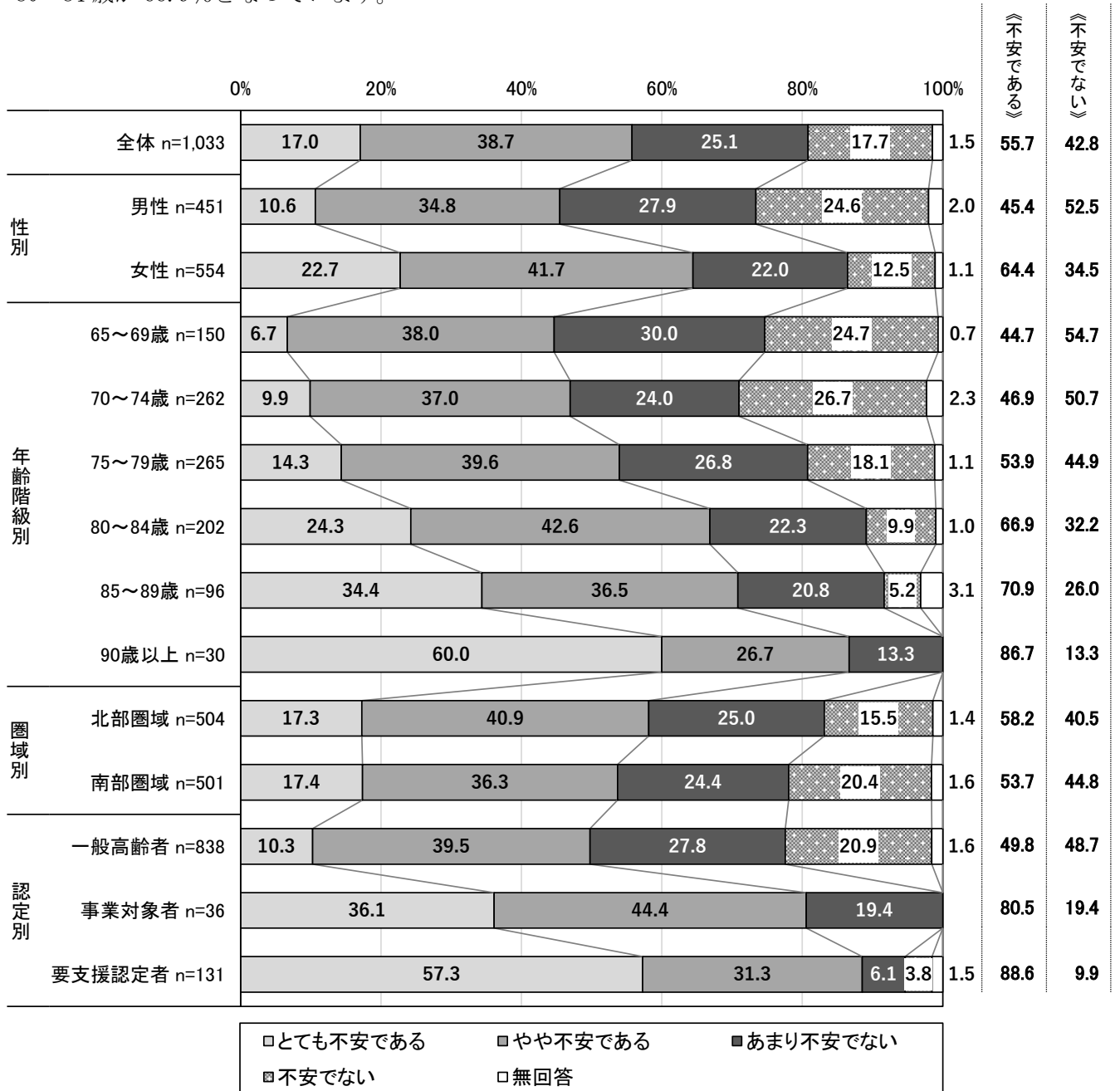


Q5. 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）

転倒に対する不安は大きいかについては、全体では「とても不安である」と「やや不安である」の合計値《不安である》が55.7%、「あまり不安でない」と「不安でない」の合計値《不安でない》が42.8%と、《不安である》が12.9ポイント上回っています。

性別でみると、《不安である》は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《不安である》は、90歳以上が86.7%で最も高く、次いで85～89歳が70.9%、80～84歳が66.9%となっています。

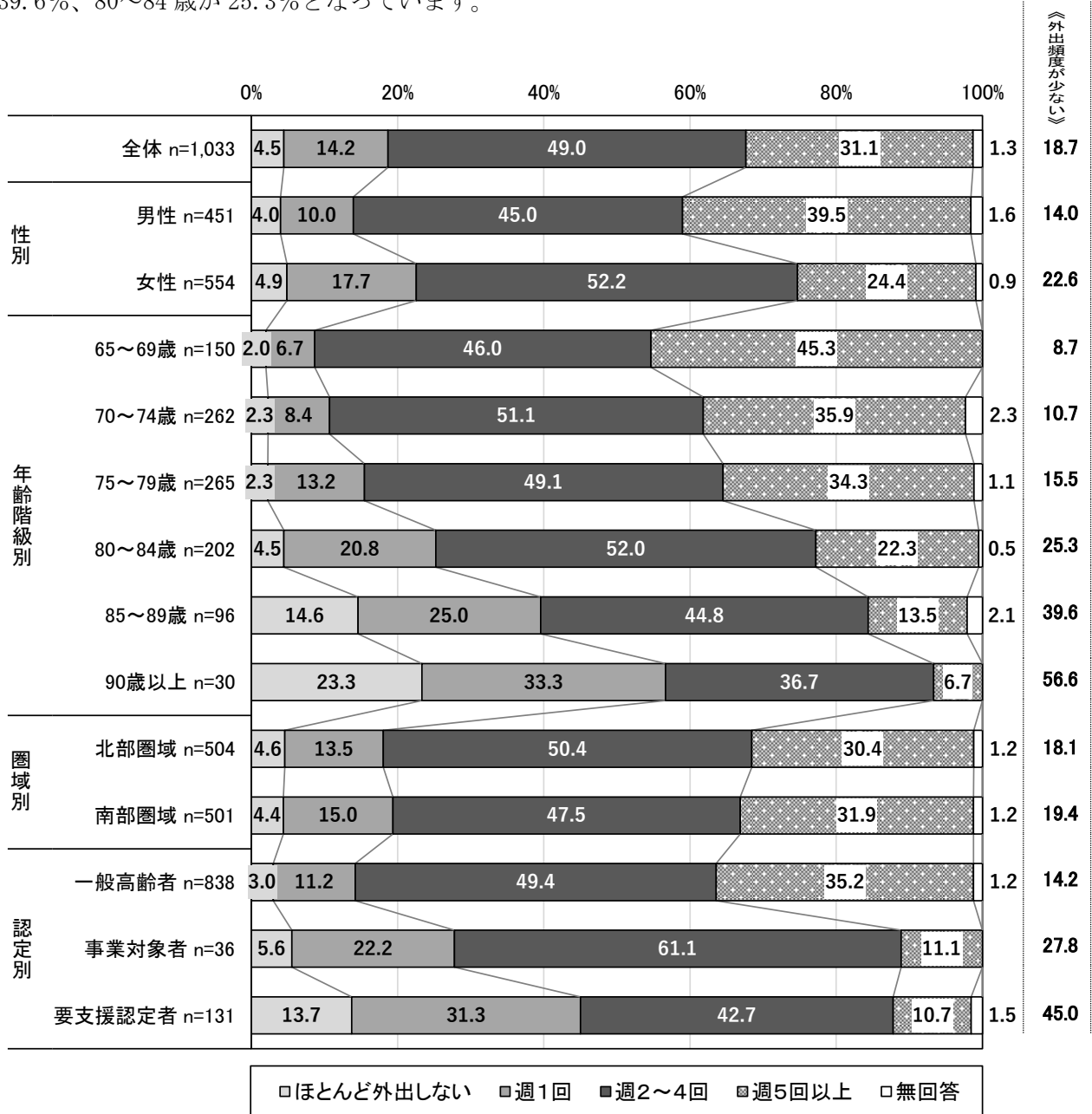


Q6. 週に1回以上は外出していますか（1つのみ）

1週間の外出頻度については、全体では「週2～4回」が49.0%で最も高く、次いで「週5回以上」が31.1%、「週1回」が14.2%、「ほとんど外出しない」が4.5%となっています。

性別でみると、「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計値《外出頻度が少ない》は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《外出頻度が少ない》は、90歳以上が56.6%で最も高く、次いで85～89歳が39.6%、80～84歳が25.3%となっています。

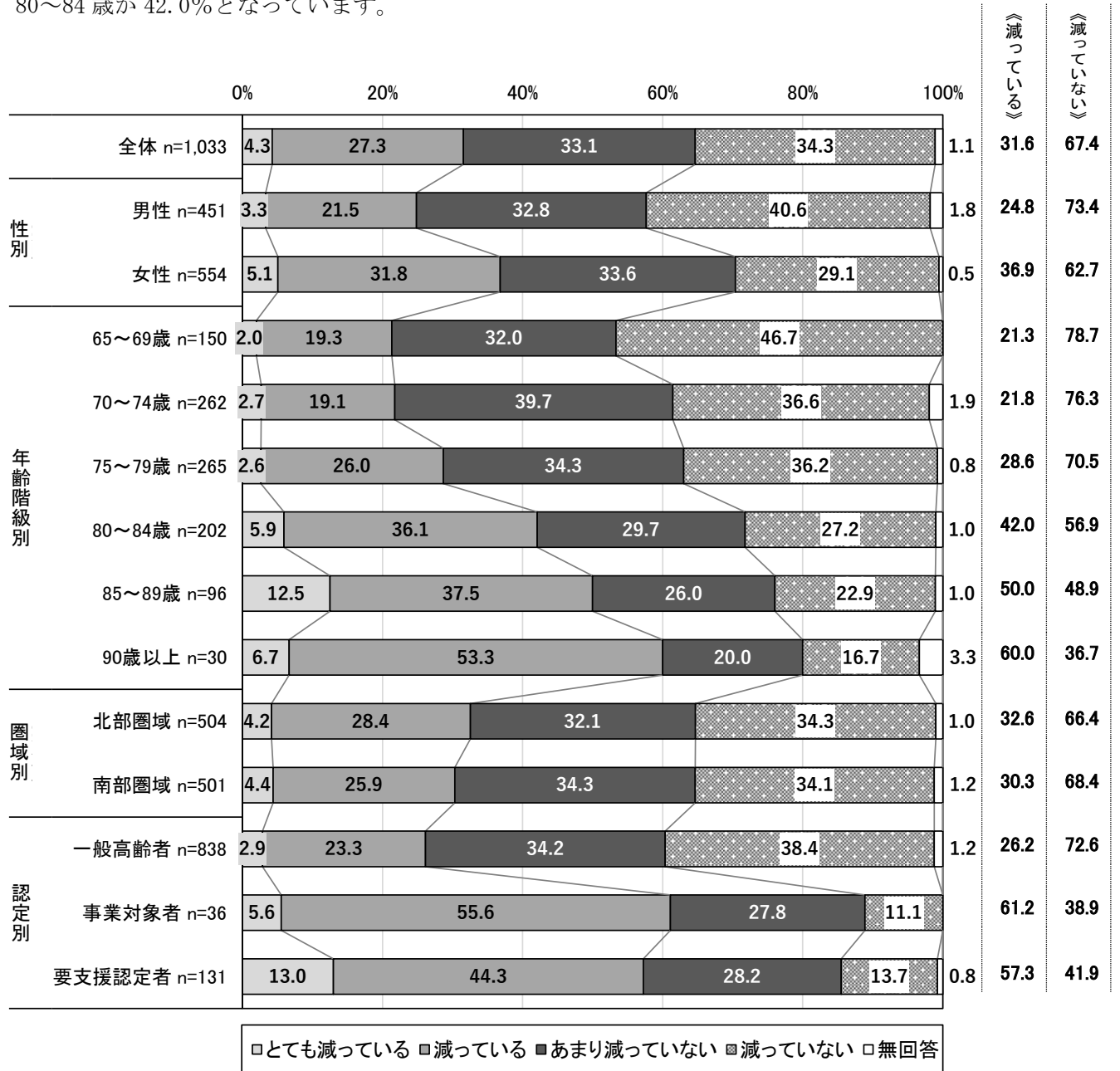


Q7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つのみ）

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、全体では「とても減っている」と「減っている」の合計値《減っている》が31.6%、「あまり減っていない」と「減っていない」の合計値《減っていない》が67.4%と、《減っていない》が35.8ポイント上回っています。

性別でみると、《減っている》は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

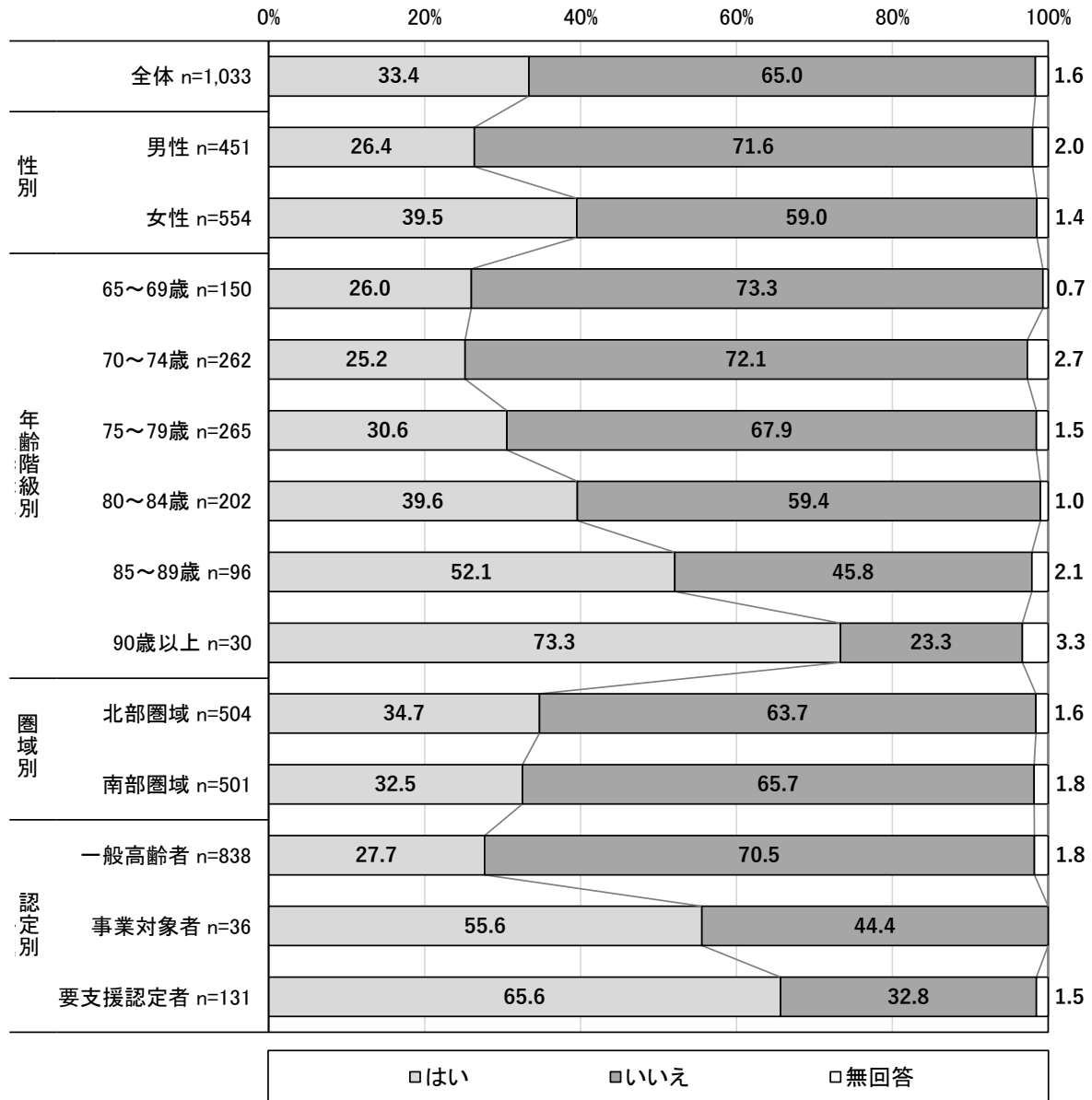
年齢階級別でみると、《減っている》は、90歳以上が60.0%で最も高く、次いで85～89歳が50.0%、80～84歳が42.0%となっています。



Q8. 外出を控えていますか（1つのみ）

外出を控えているかについては、全体では「はい」が33.4%、「いいえ」が65.0%となっています。性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

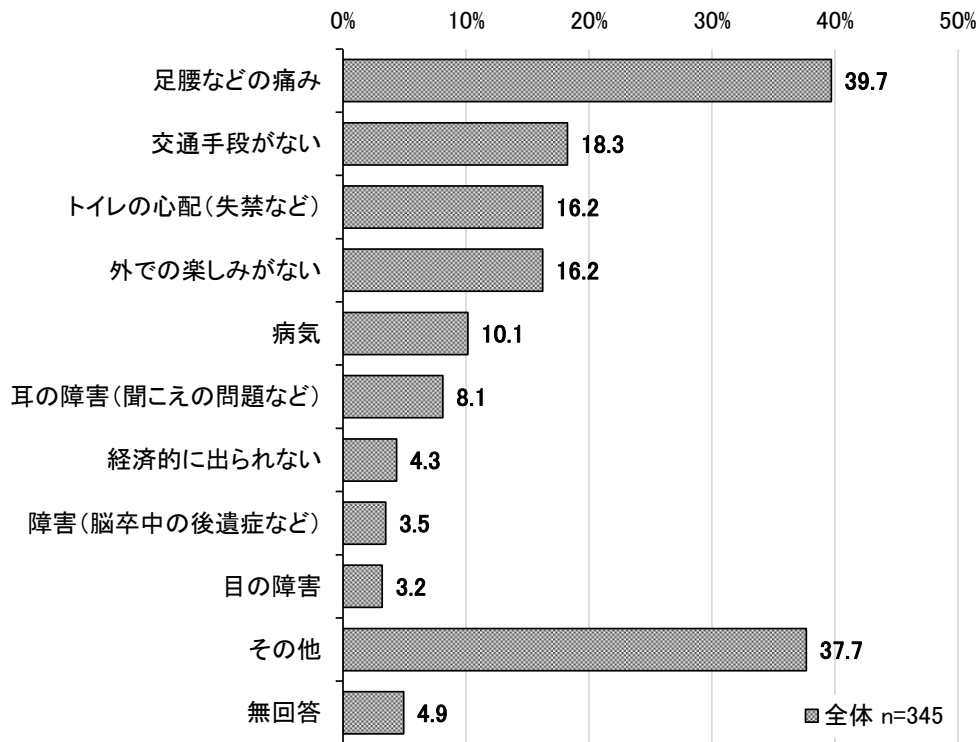
年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が73.3%で最も高く、次いで85～89歳が52.1%、80～84歳が39.6%となっています。



【Q8で「はい」(外出を控えている)の方のみ】

Q8-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

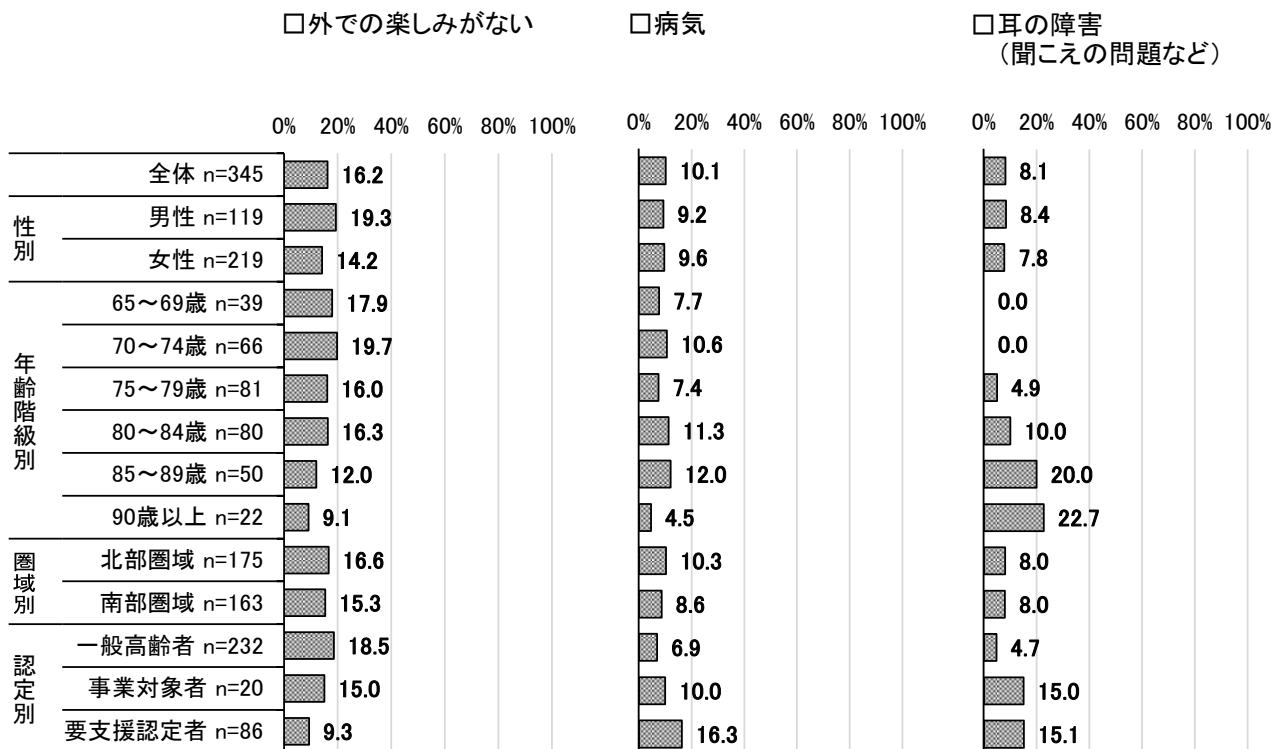
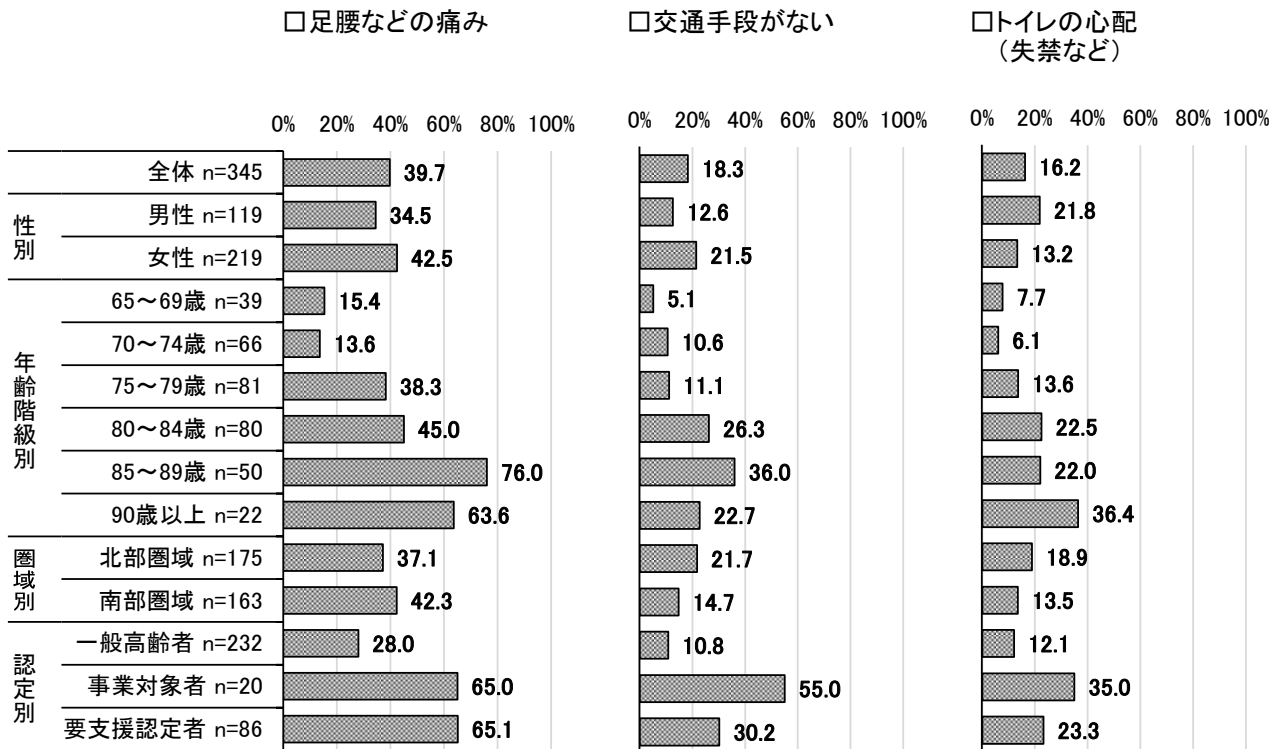
外出を控えている理由については、全体では「足腰などの痛み」が39.7%で最も高く、次いで「交通手段がない」が18.3%、「トイレの心配(失禁など)」、「外での楽しみがない」がともに16.2%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

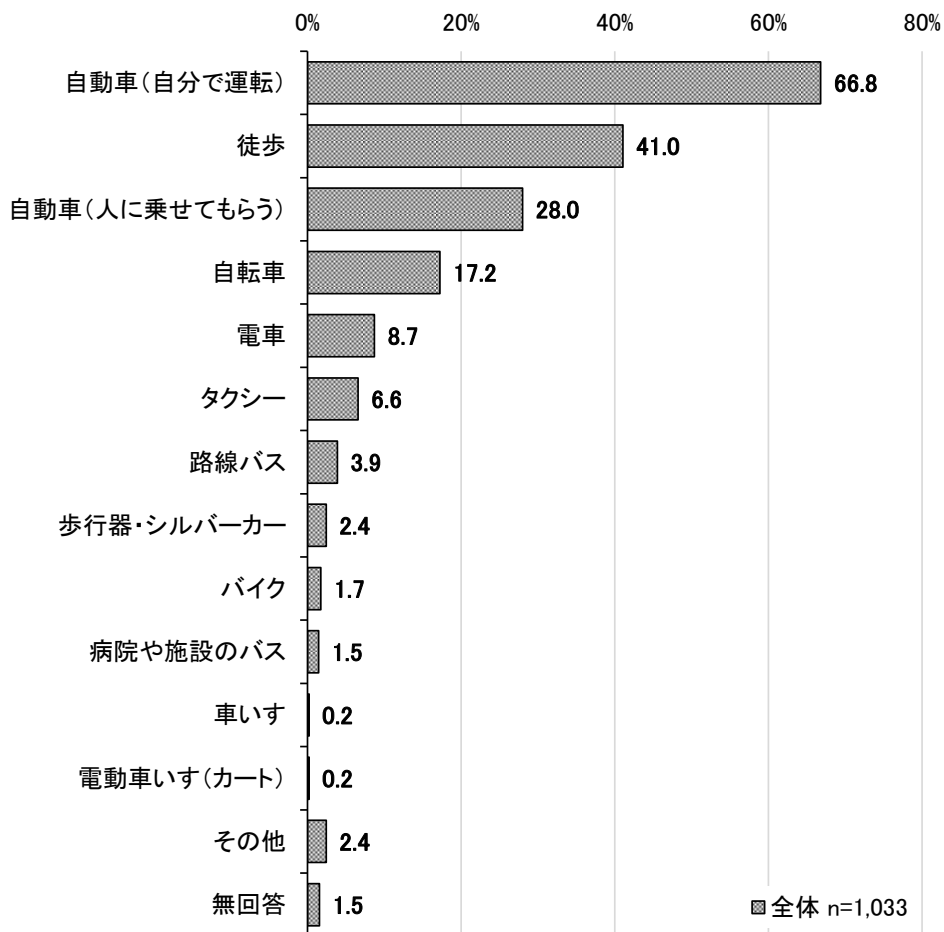
性別で見ると、男性では、「足腰などの痛み」が34.5%で最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が21.8%、「外での楽しみがない」が19.3%となっています。女性では、「足腰などの痛み」が42.5%で最も高く、次いで「交通手段がない」が21.5%、「外での楽しみがない」が14.2%となっています。

圏域別で見ると、「足腰などの痛み」は、北部圏域に比べ南部圏域が上回っています。また、「交通手段がない」は、南部圏域に比べ北部圏域上回っています。



Q9. 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

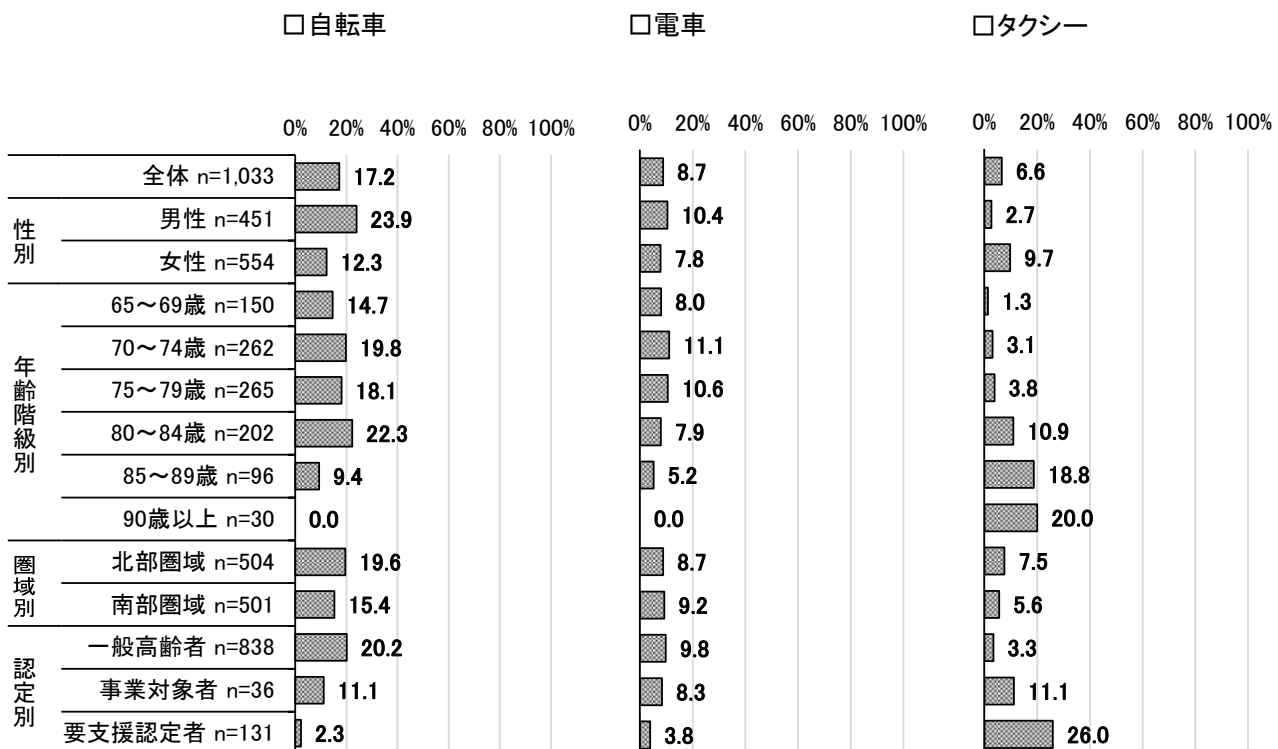
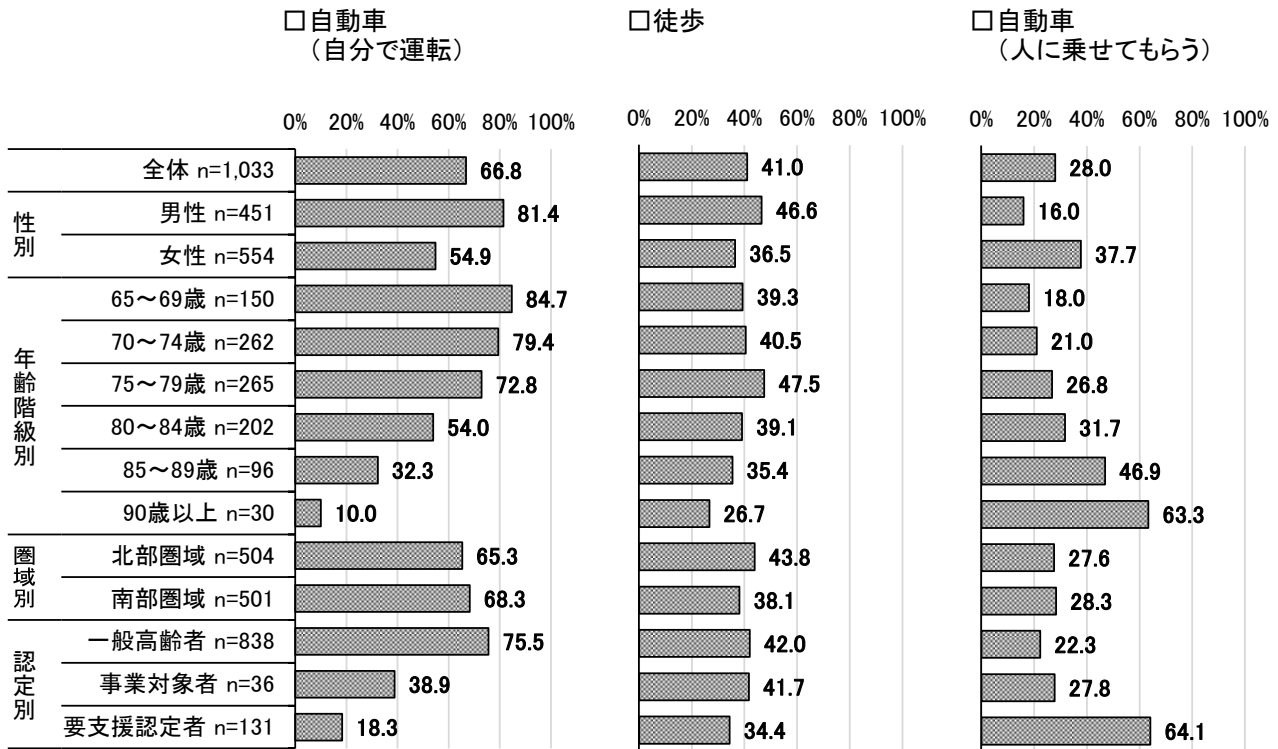
外出する際の移動手段については、全体では「自動車（自分で運転）」が66.8%で最も高く、次いで「徒歩」が41.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が28.0%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別でみると、男性では、「自動車（自分で運転）」が81.4%で最も高く、次いで「徒歩」が46.6%、「自転車」が23.9%となっています。女性では、「自動車（自分で運転）」が54.9%で最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が37.7%、「徒歩」が36.5%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるともに「自動車（人に乗せてもらう）」、「タクシー」は増加しています。

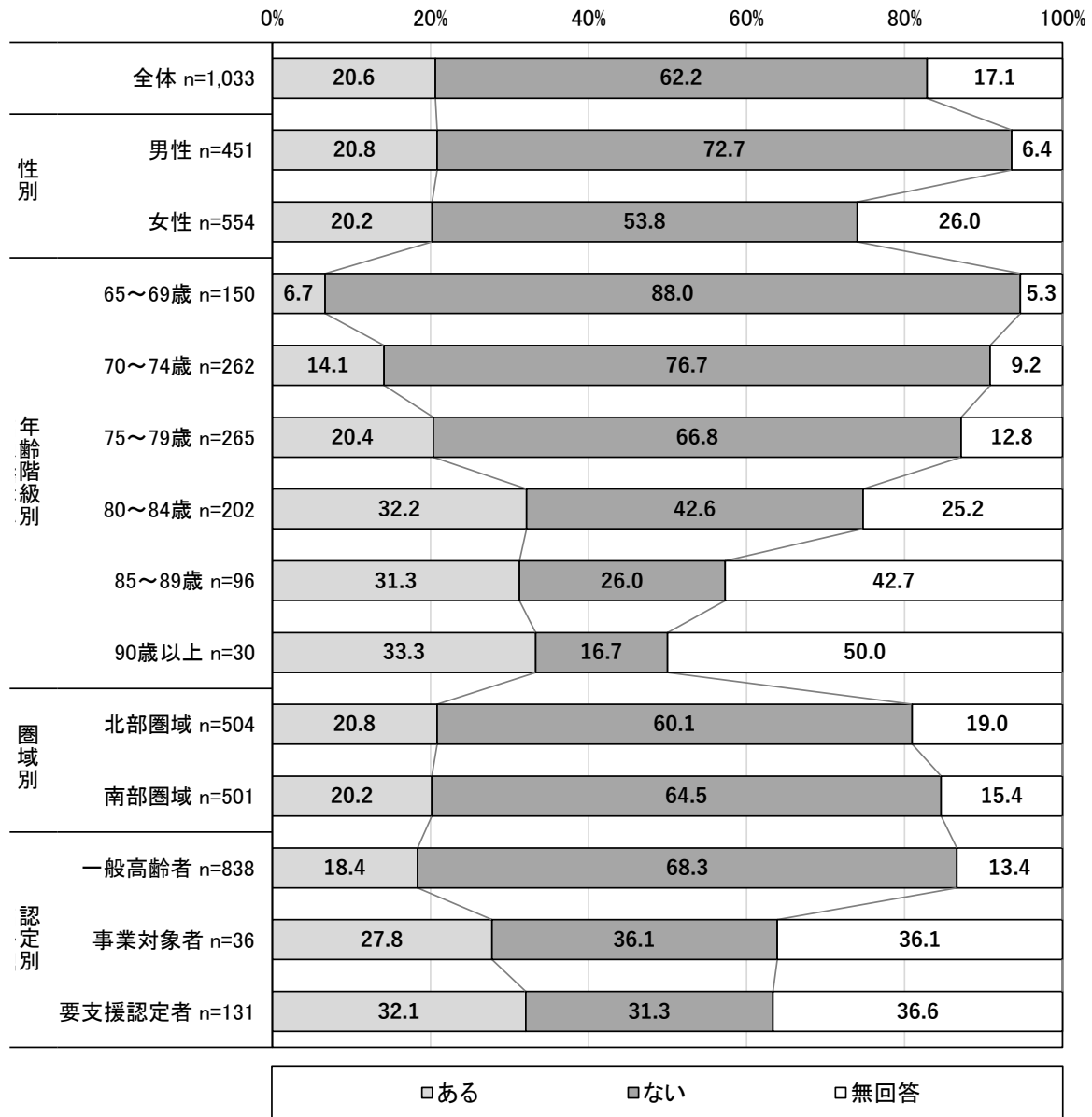


Q10. 運転免許証の返納を考えたことはありますか（1つのみ）

運転免許証の返納を考えたことがあるかについては、全体では「ある」が20.6%、「ない」が62.2%となっています。

性別で見ると、「ない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別で見ると、「ない」は、65～69歳が88.0%で最も高く、次いで70～74歳が76.7%、75～79歳が66.8%となっています。



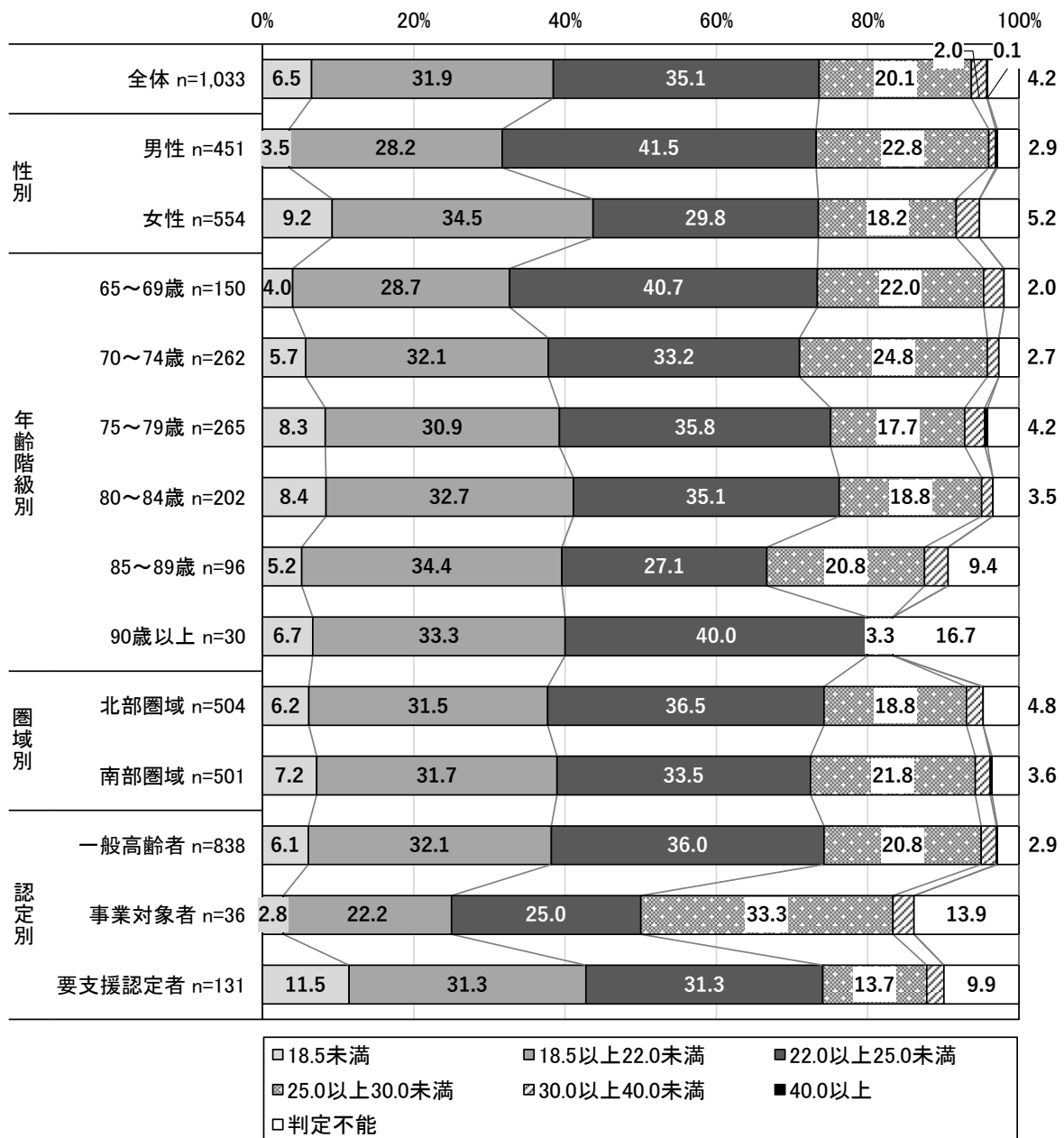
3. 食べることについて

Q1. 身長・体重

身長・体重から算出されるBMIについてみると、全体では「22.0以上25.0未満」が35.1%で最も高く、次いで「18.5以上22.0未満」が31.9%、「25.0以上30.0未満」が20.1%となっています。

性別でみると、「18.5以上22.0未満」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「18.5以上22.0未満」は、85～89歳が34.4%で最も高く、次いで90歳以上が33.3%、80～84歳が32.7%となっています。



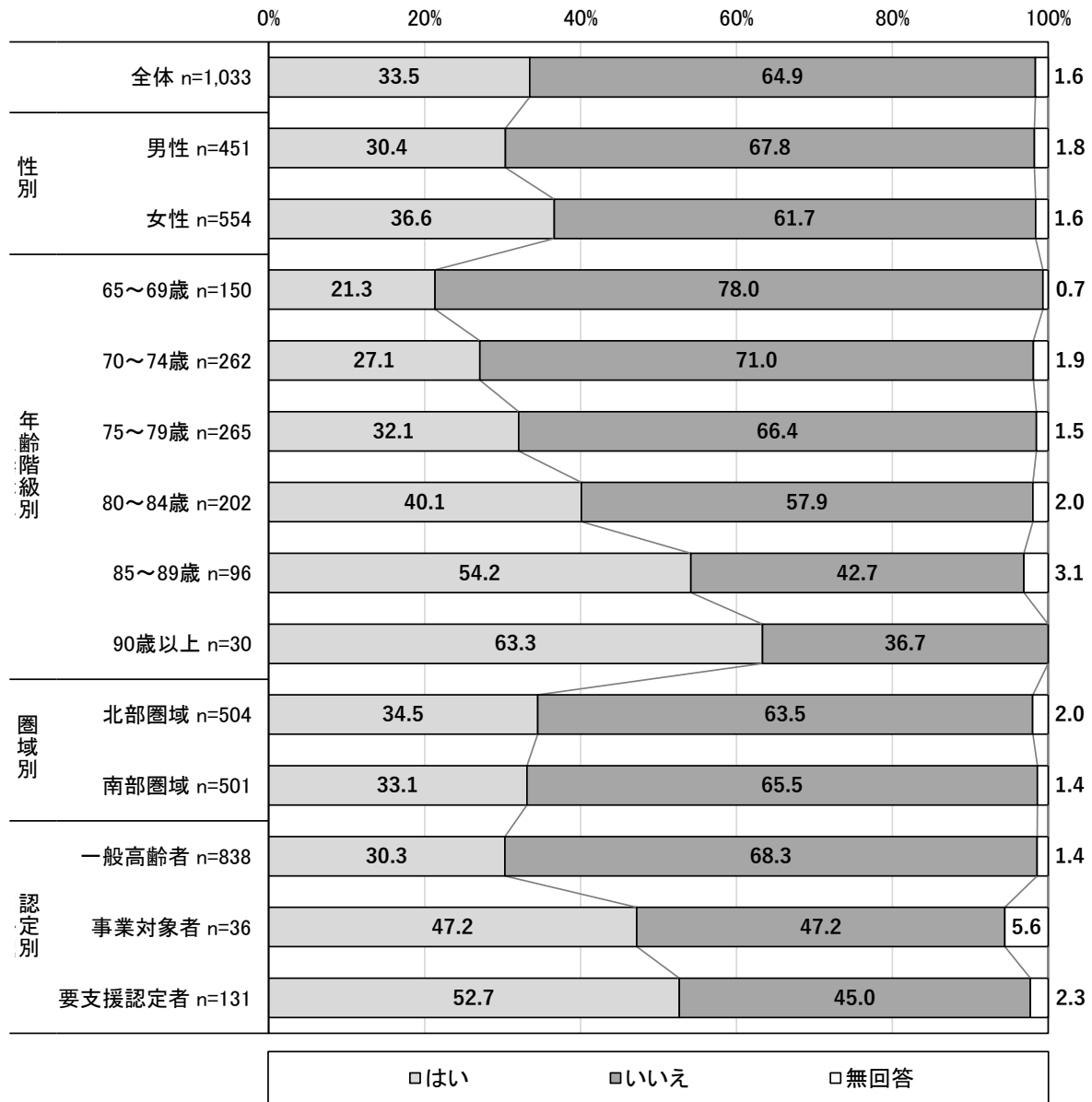
- ◆「18.5未満」……………『やせ』
- ◆「18.5以上25.0未満」……………『普通体重』
- ◆「25.0以上」……………『肥満』

Q2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つのみ）

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、全体では「はい」が 33.5%、「いいえ」が 64.9%となっています。

性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

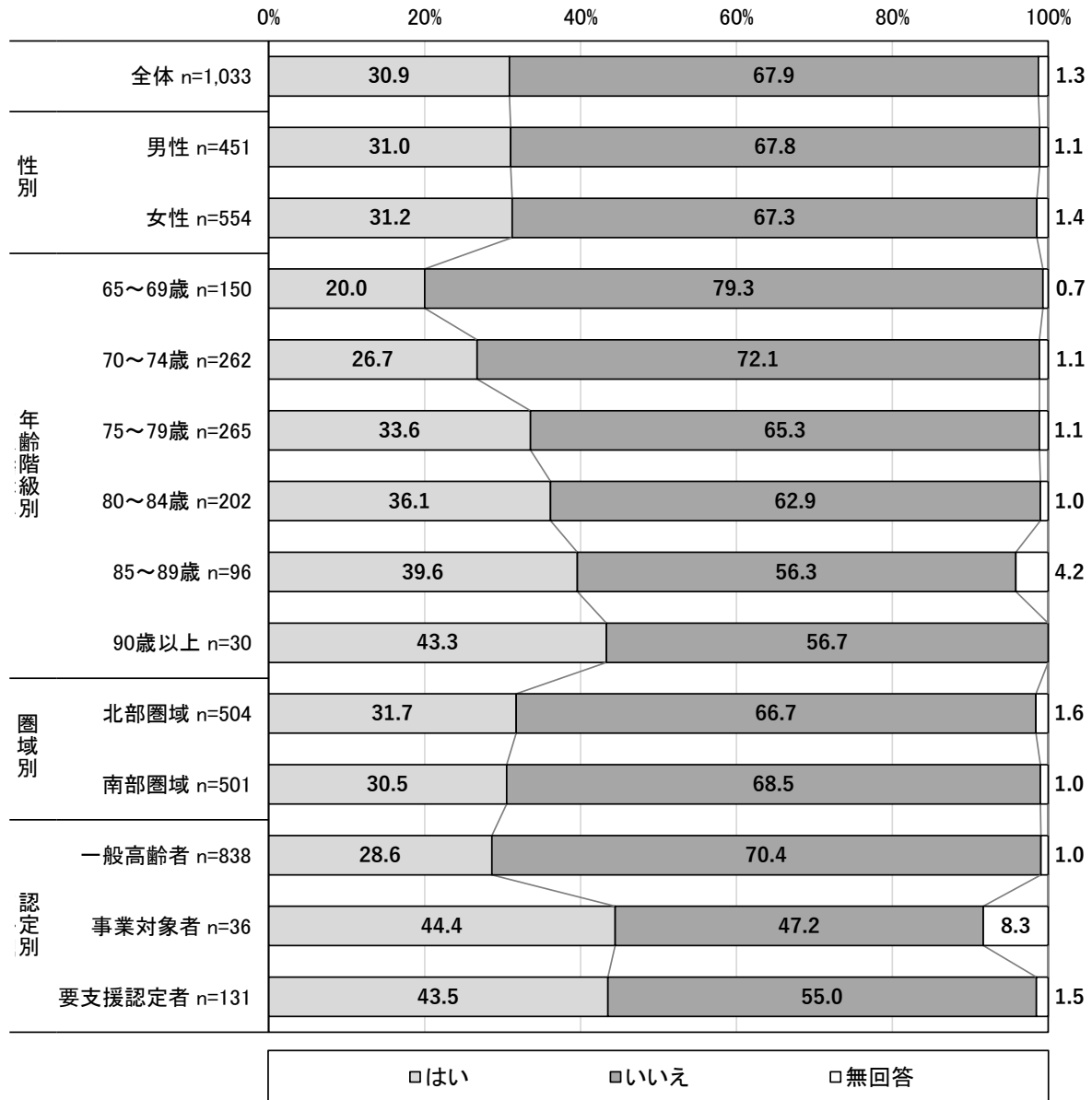
年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が 63.3%で最も高く、次いで 85～89歳が 54.2%、80～84歳が 40.1%となっています。



Q3. お茶や汁物等でむせることがありますか（1つのみ）

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、全体では「はい」が30.9%、「いいえ」が67.9%となっています。

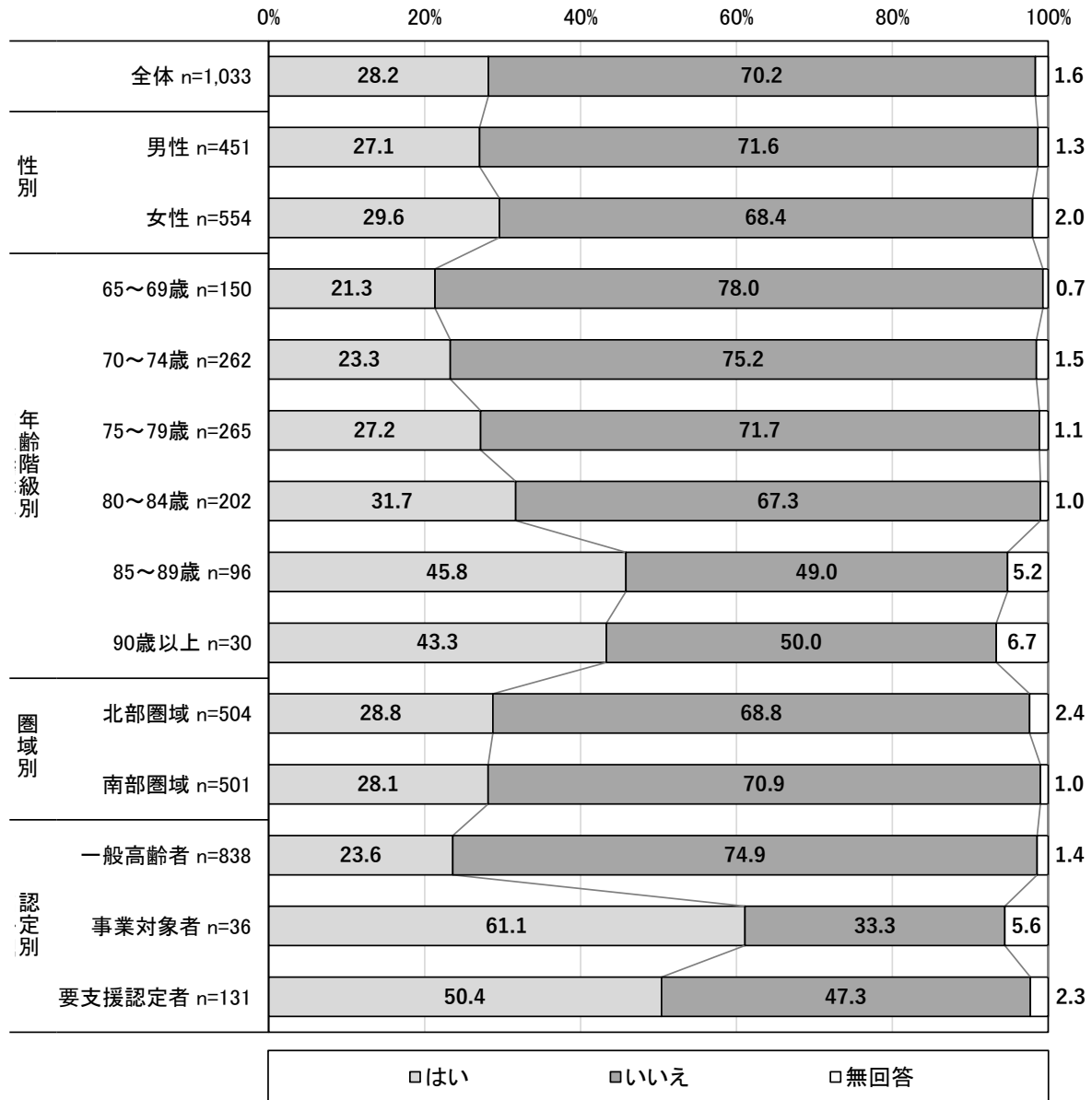
年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が43.3%で最も高く、次いで85～89歳が39.6%、80～84歳が36.1%となっています。



Q4. 口の渇きが気になりますか（1つのみ）

口の渇きが気になるかについては、全体では「はい」が 28.2%、「いいえ」が 70.2%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が 45.8%で最も高く、次いで90歳以上が 43.3%、80～84歳が 31.7%となっています。

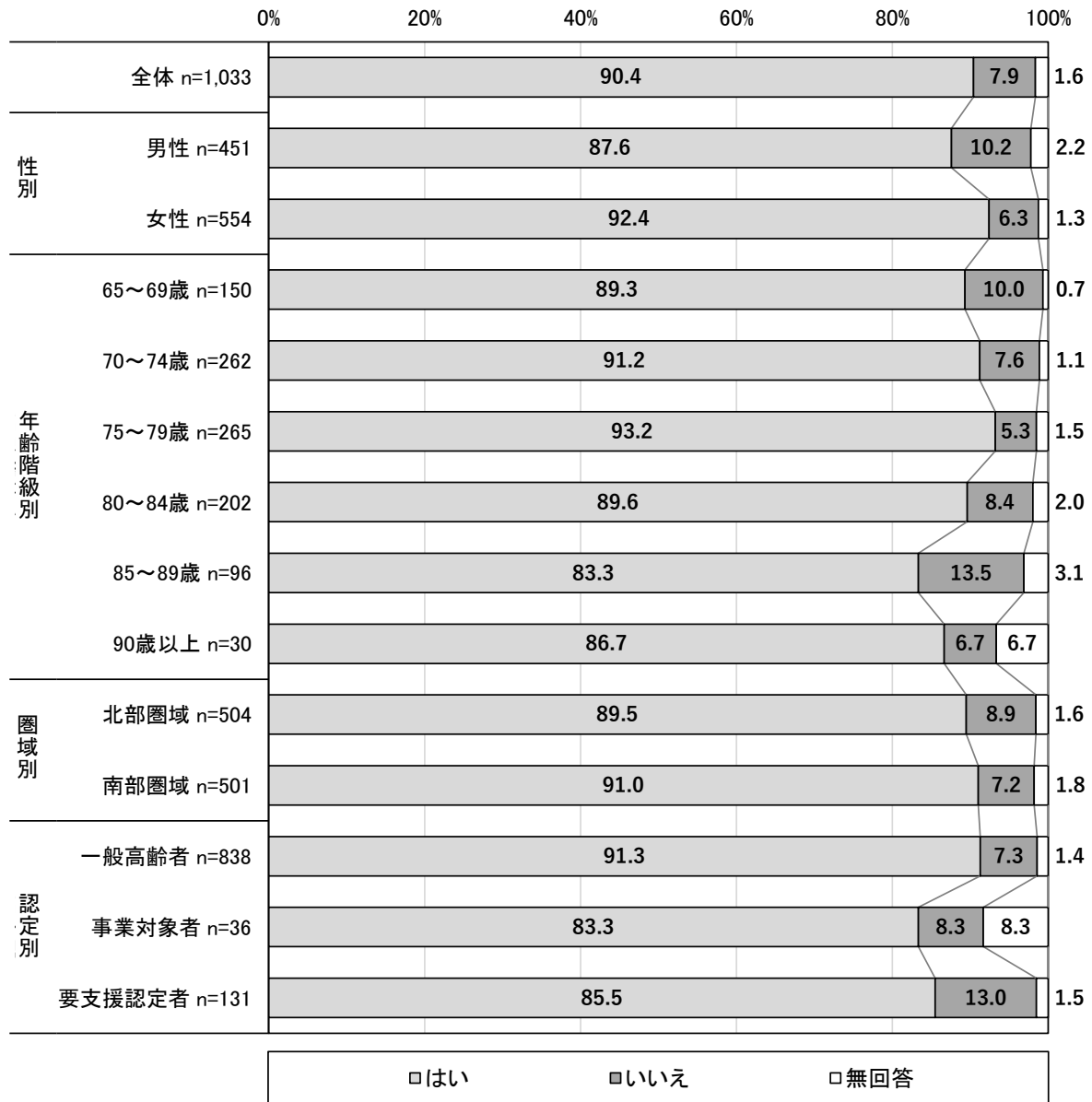


Q5. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つのみ）

歯磨きを毎日しているかについては、全体では「はい」が90.4%、「いいえ」が7.9%となっています。

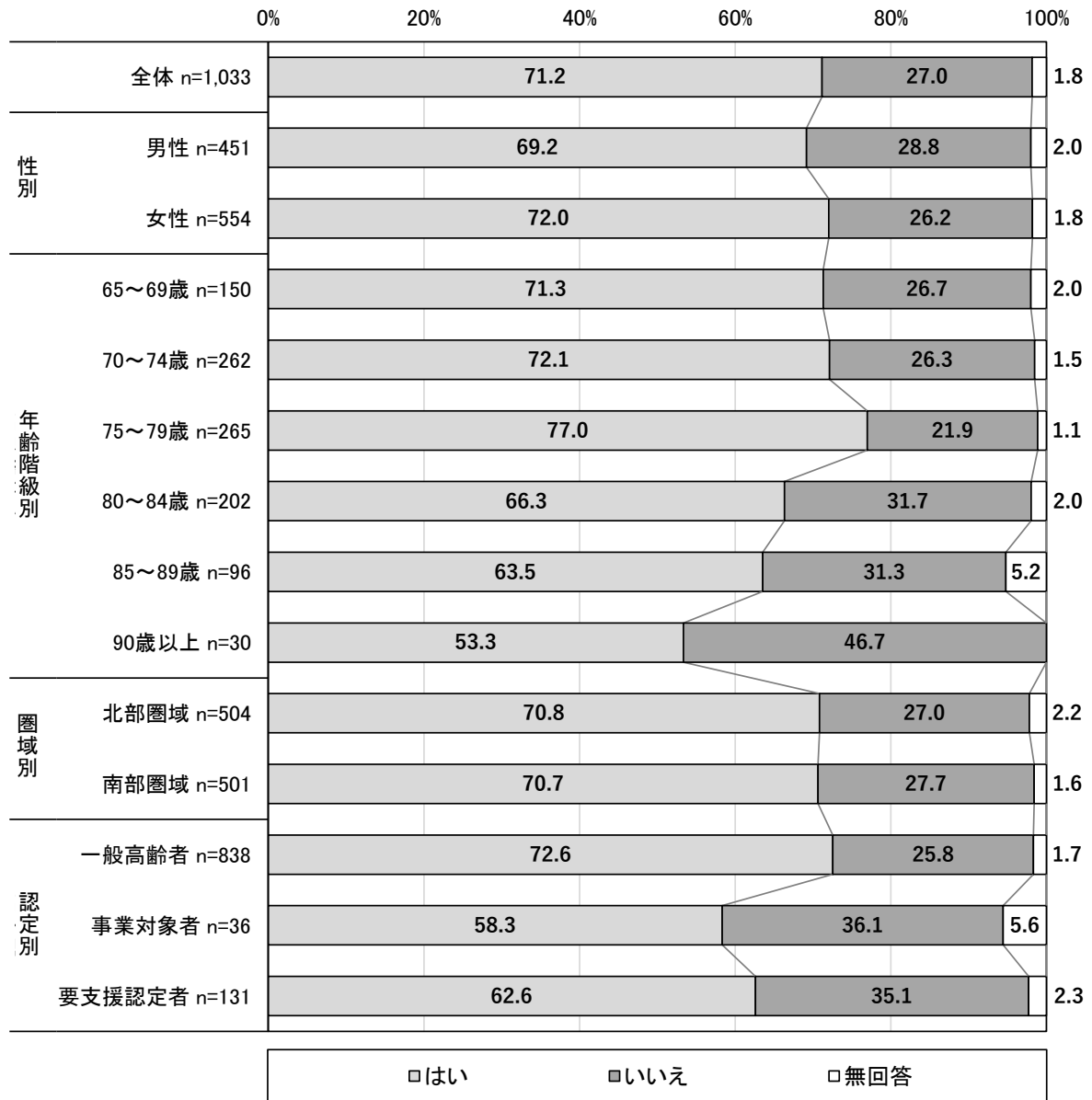
性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、85～89歳が13.5%で最も高く、次いで65～69歳が10.0%、80～84歳が8.4%となっています。



Q6. 噛み合わせは良いですか（1つのみ）

噛み合わせは良いかについては、全体では「はい」が71.2%、「いいえ」が27.0%となっています。
 年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が46.7%で最も高く、次いで80～84歳が31.7%、85～89歳が31.3%となっています。



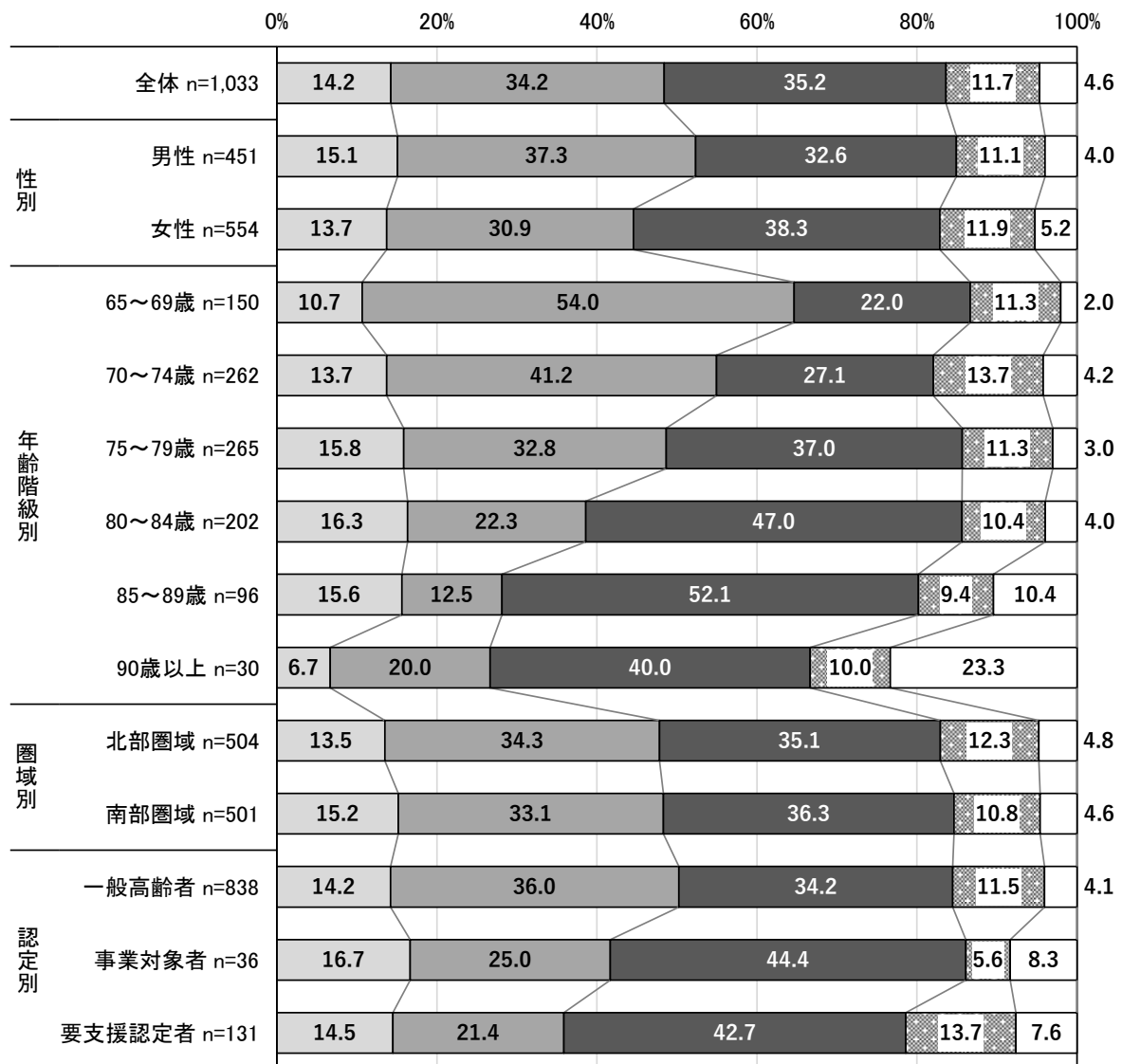
Q7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(1つのみ)

歯の数と入れ歯の利用状況については、全体では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.2%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.7%となっています。

性別でみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は、65～69歳が54.0%で最も高く、次いで70～74歳が41.2%、75～79歳が32.8%となっています。

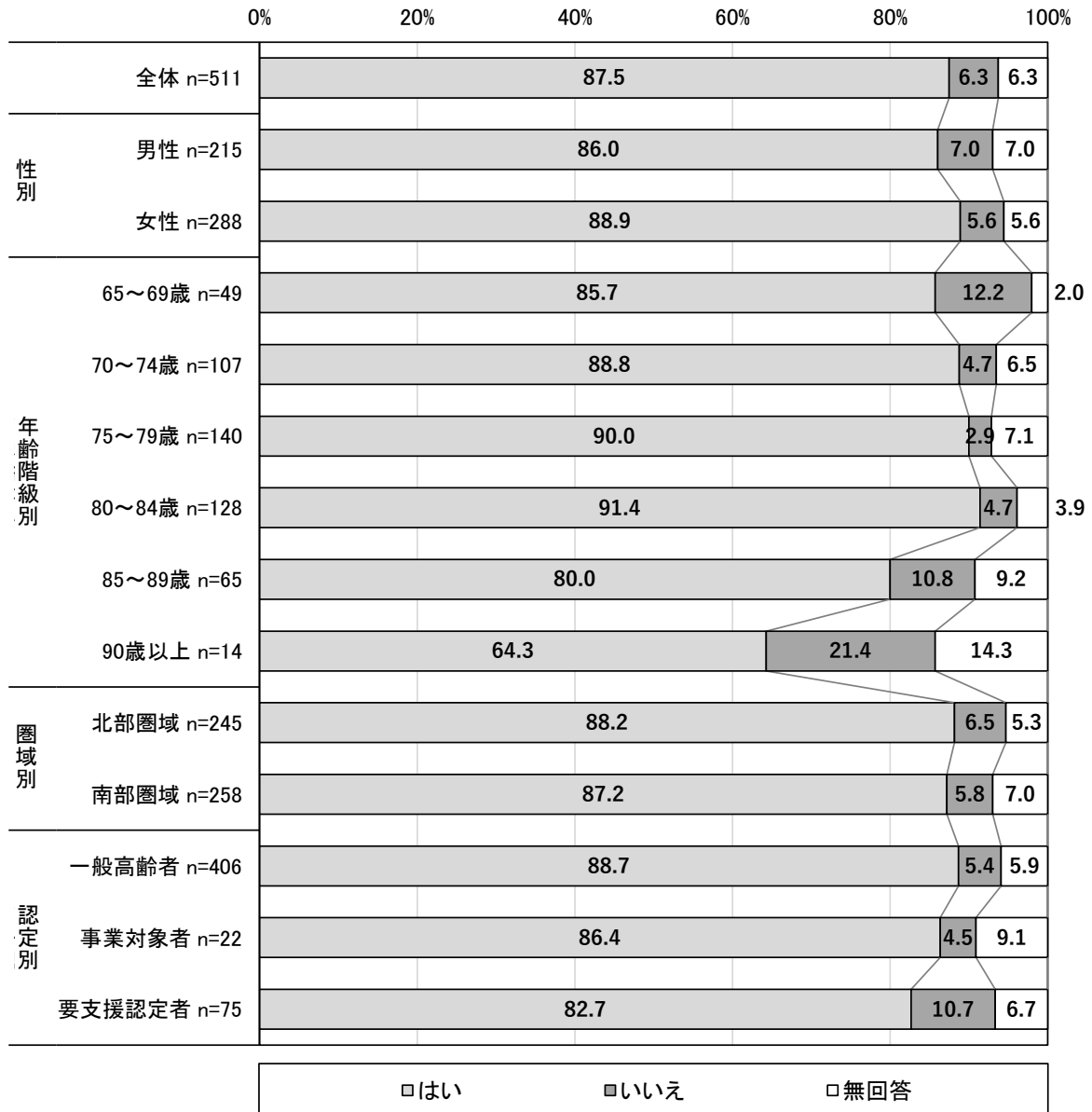


- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- ▣ 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 無回答

【Q7で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

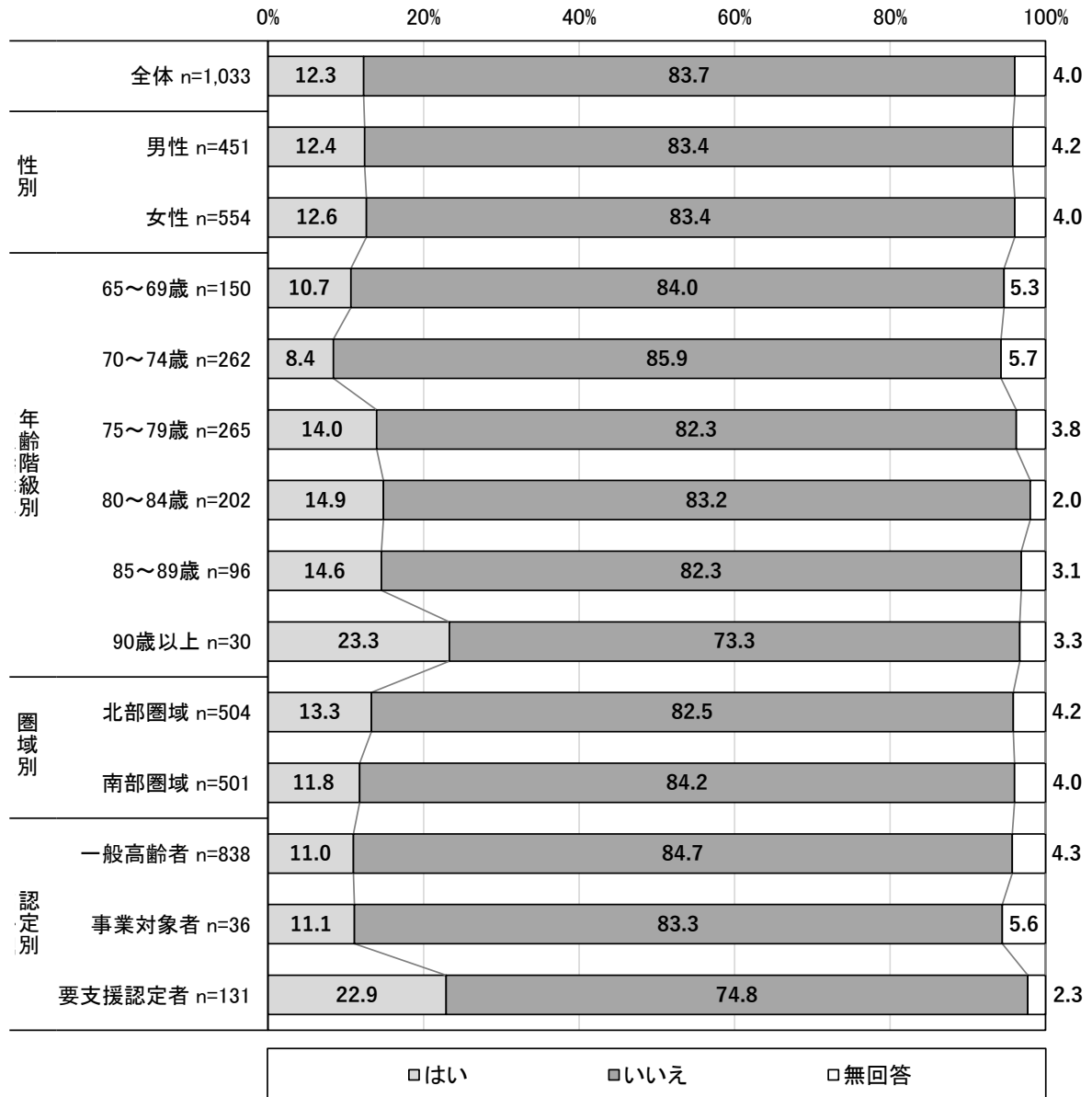
Q7-1. 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つのみ）

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、全体では「はい」が87.5%、「いいえ」が6.3%となっています。



Q 8. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つのみ）

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、全体では「はい」が12.3%、「いいえ」が83.7%となっています。

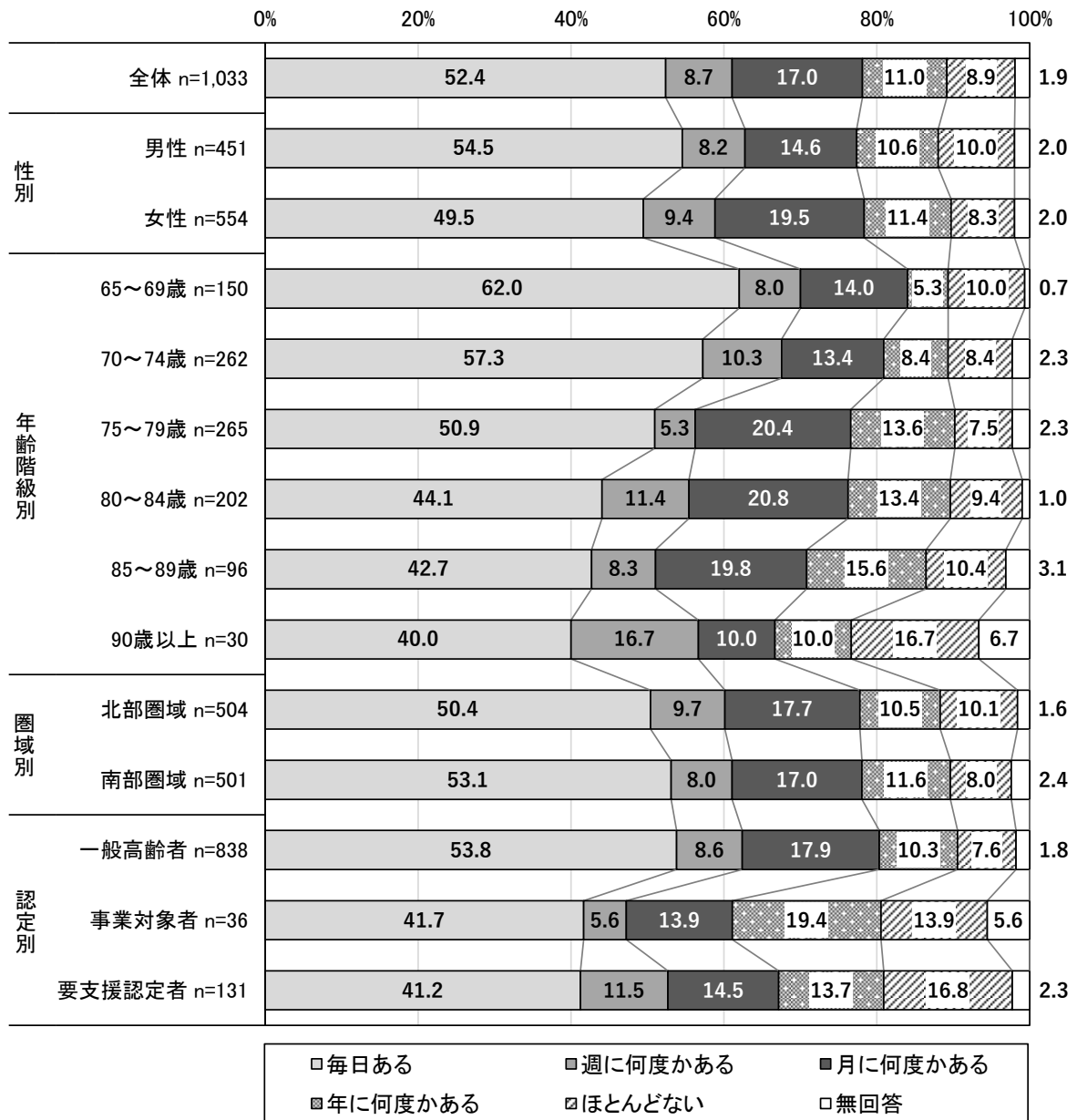


Q9. どなたかと食事をとにもする機会がありますか（1つのみ）

誰かと食事をとにもする機会については、全体では「毎日ある」が 52.4%で最も高く、次いで「月に何度かある」が 17.0%、「年に何度かある」が 11.0%となっています。

性別でみると、「毎日ある」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「毎日ある」は、65～69歳が 62.0%で最も高く、次いで 70～74歳が 57.3%、75～79歳が 50.9%となっています。



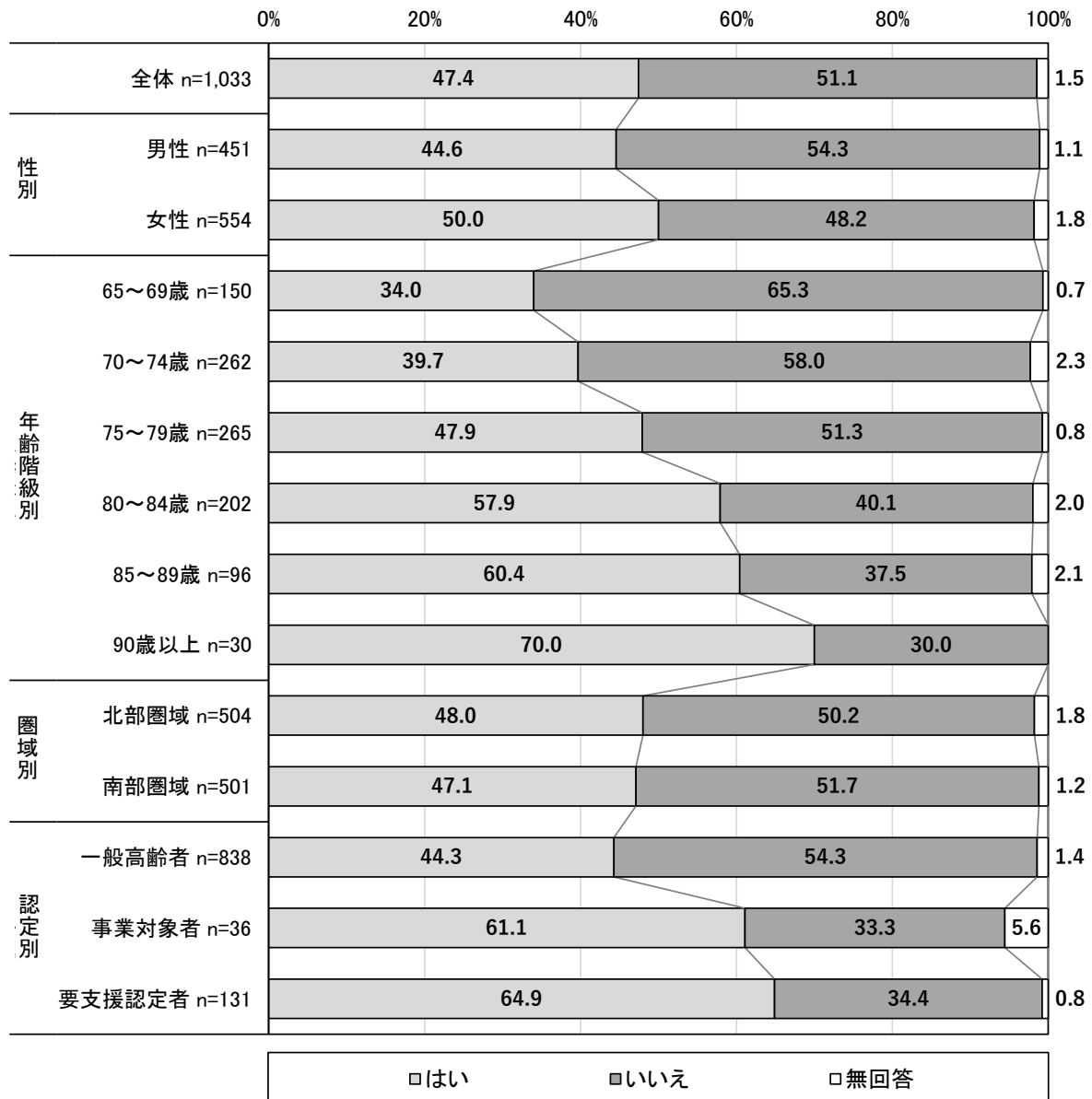
4. 毎日の生活について

Q1. 物忘れが多いと感じますか（1つのみ）

物忘れが多いと感じるかについては、全体では「はい」が47.4%、「いいえ」が51.1%となっています。

性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

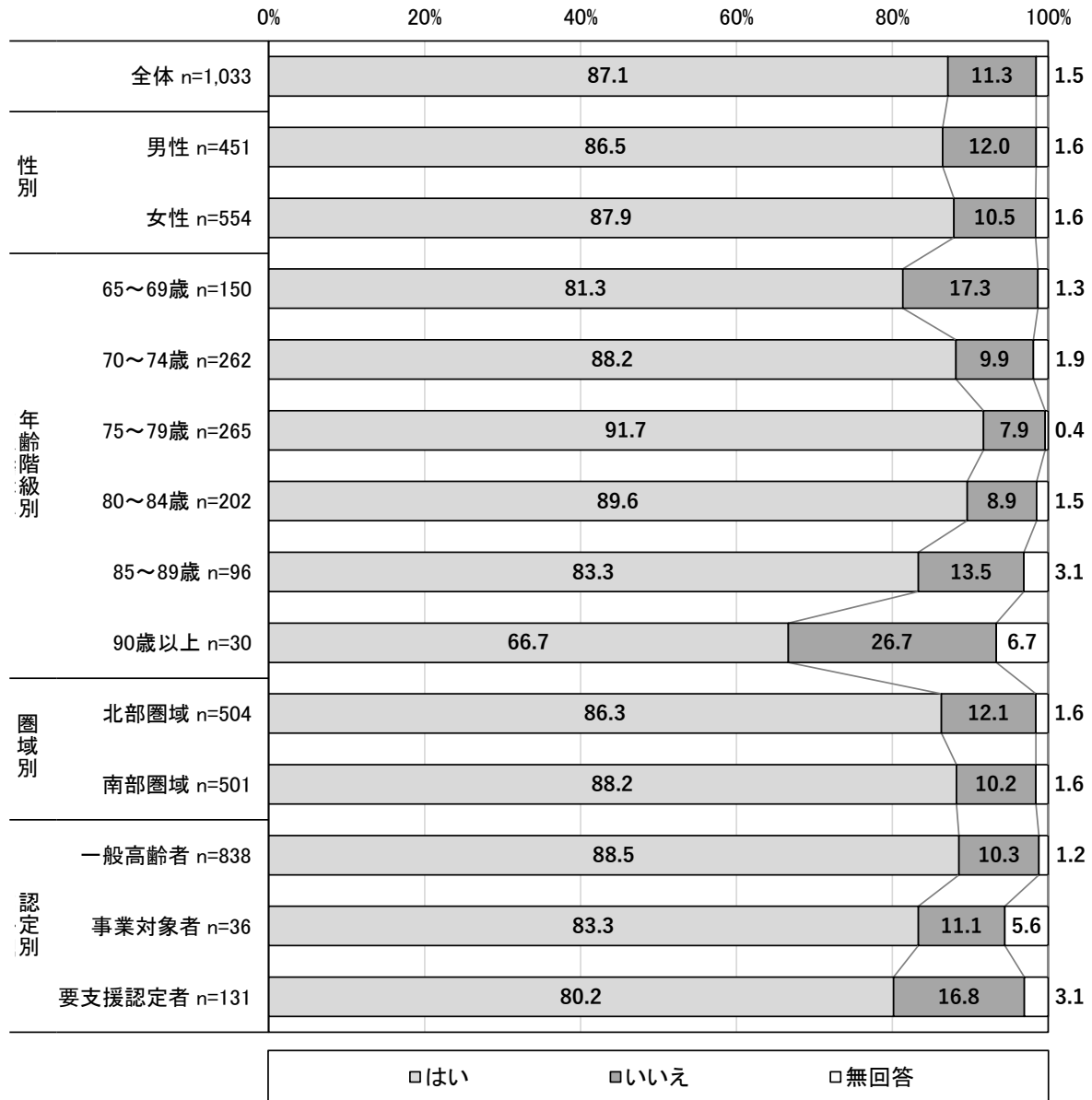
年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が70.0%で最も高く、次いで85～89歳が60.4%、80～84歳が57.9%となっています。



Q2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つのみ）

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、全体では「はい」が87.1%、「いいえ」が11.3%となっています。

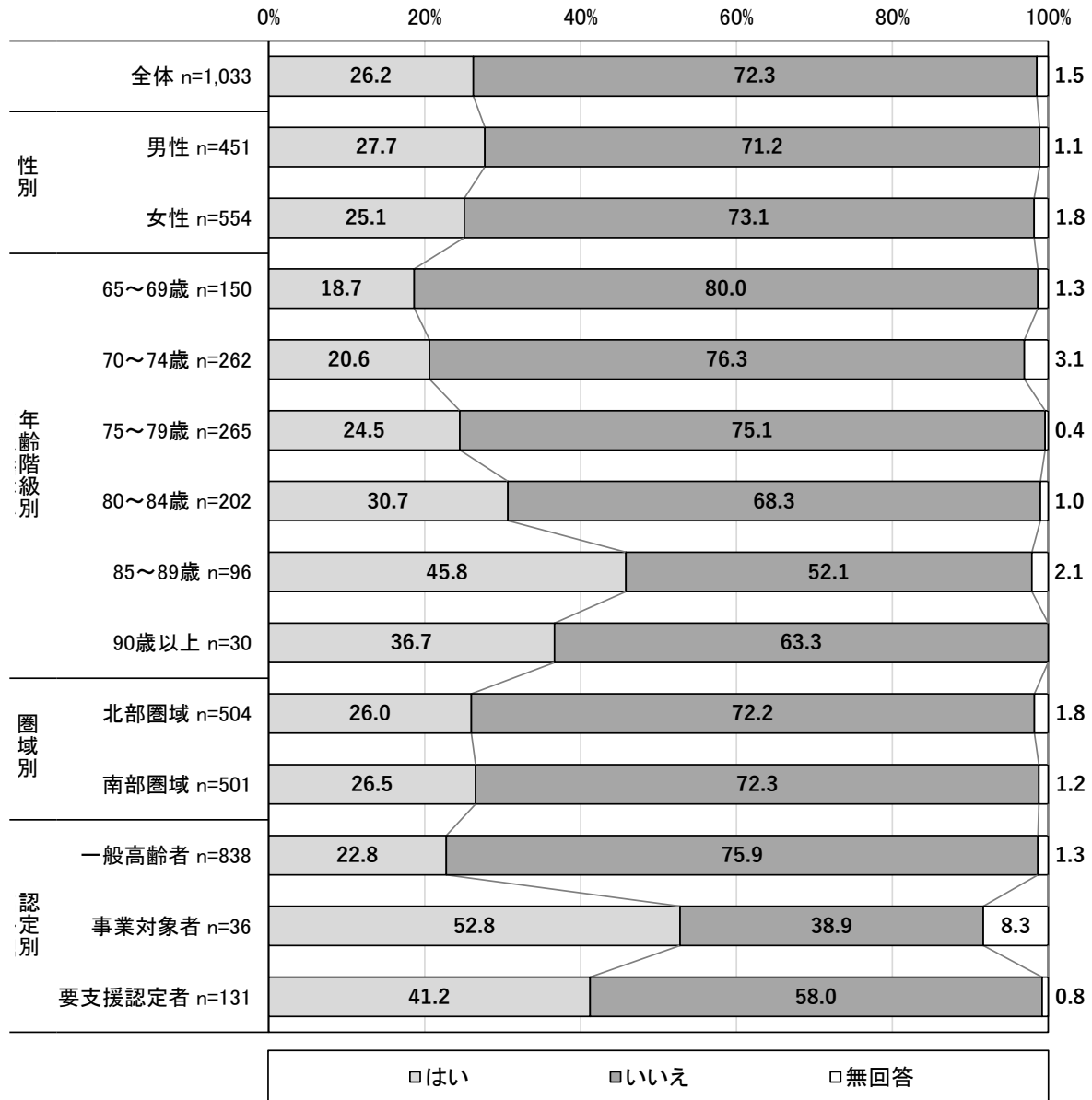
年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が26.7%で最も高く、次いで65～69歳が17.3%、85～89歳が13.5%となっています。



Q3. 今日が何月何日かわからないときがありますか（1つのみ）

今日が何月何日かわからないときがあるかについては、全体では「はい」が 26.2%、「いいえ」が 72.3%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が 45.8%で最も高く、次いで90歳以上が 36.7%、80～84歳が 30.7%となっています。

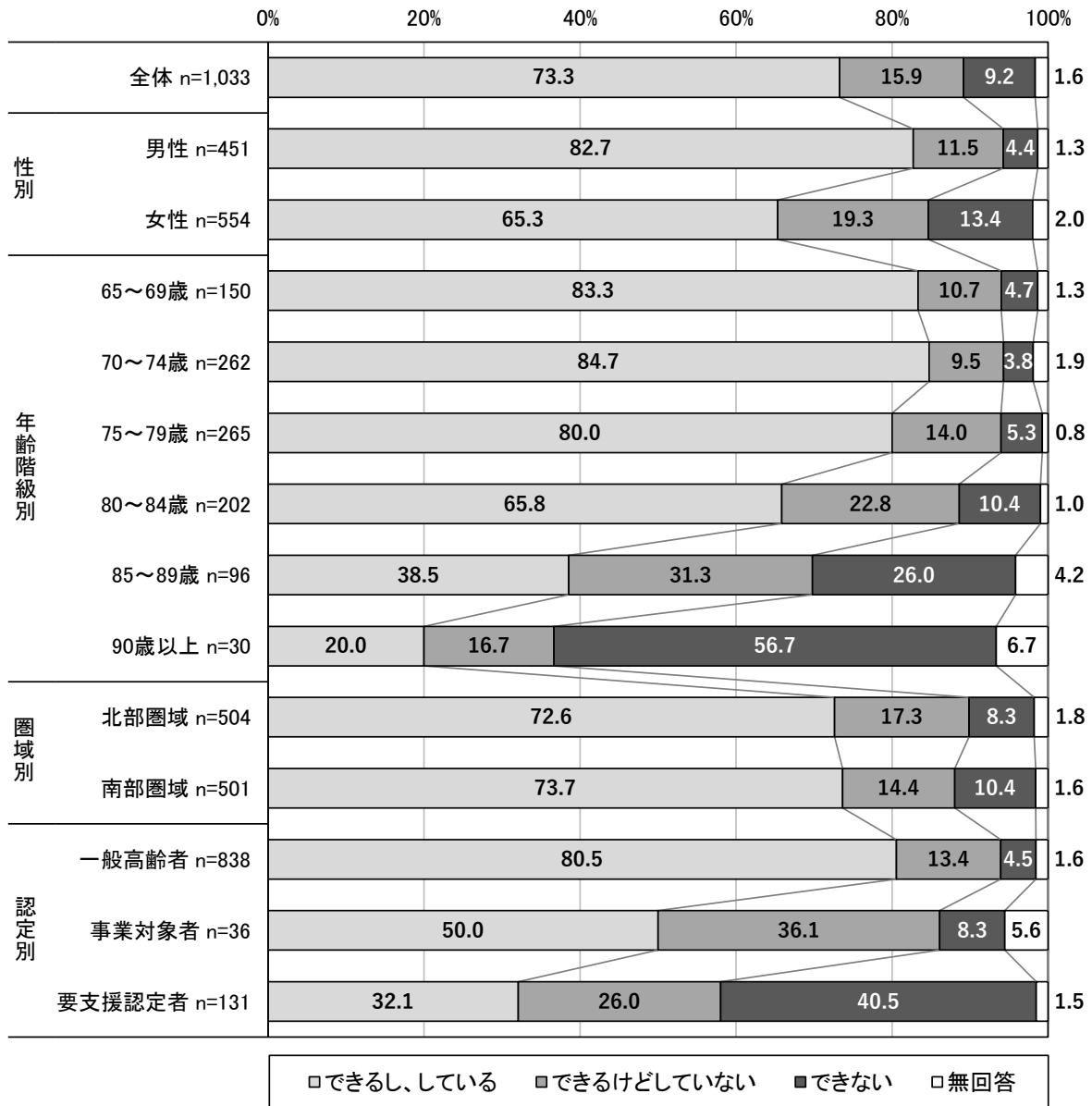


Q4. バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ）

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、全体では「できるし、している」が73.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.9%、「できない」が9.2%となっています。

性別でみると、「できない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が56.7%で最も高く、次いで85～89歳が26.0%、80～84歳が10.4%となっています。

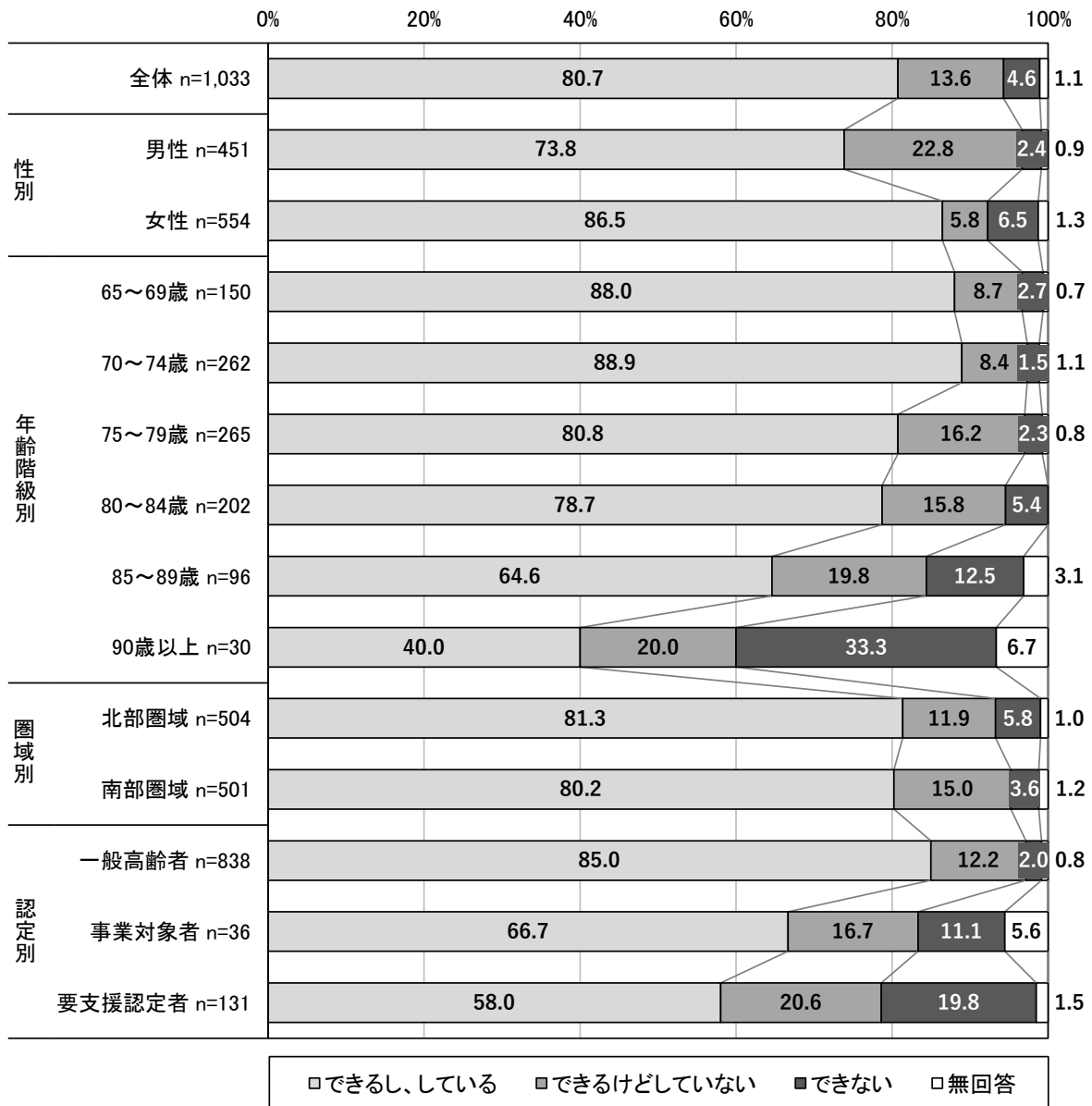


Q5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（1つのみ）

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、全体では「できるし、している」が80.7%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.6%、「できない」が4.6%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が33.3%で最も高く、次いで85～89歳が12.5%、80～84歳が5.4%となっています。

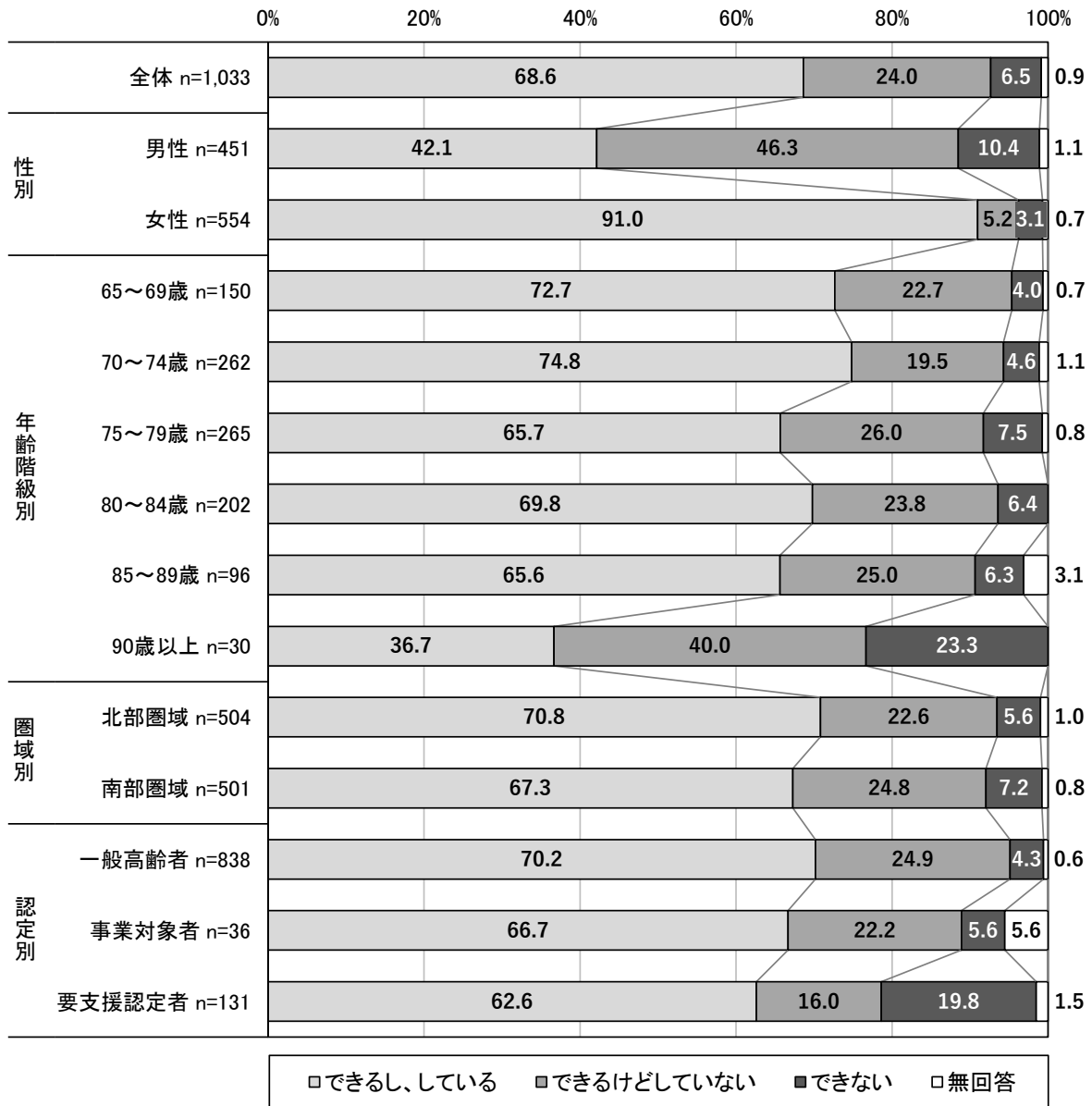


Q6. 自分で食事の用意をしていますか（1つのみ）

自分で食事の用意をしているかについては、全体では「できるし、している」が68.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が24.0%、「できない」が6.5%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が23.3%で最も高く、次いで75～79歳が7.5%、80～84歳が6.4%となっています。

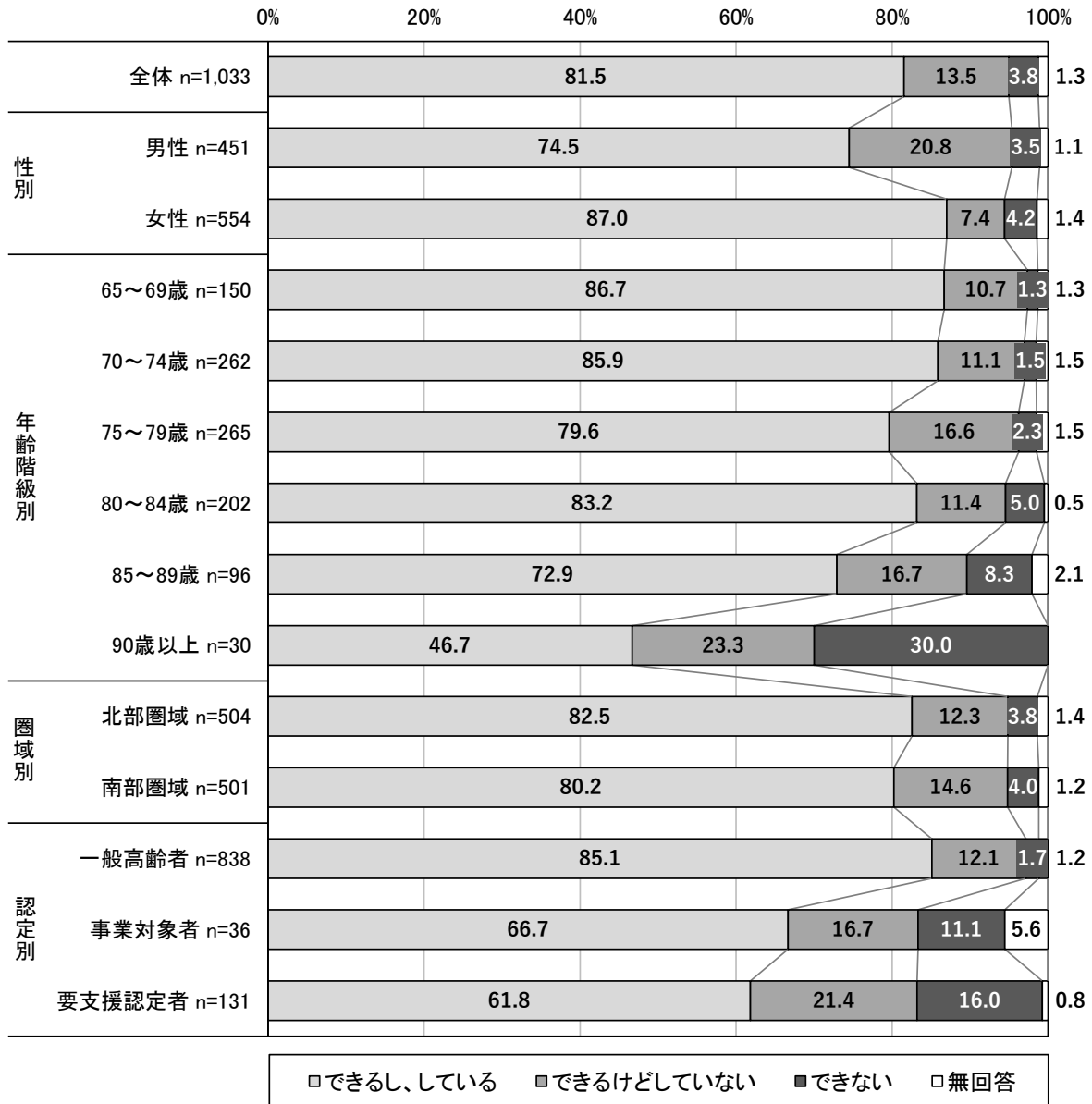


Q7. 自分で請求書の支払いをしていますか（1つのみ）

自分で請求書の支払いをしているかについては、全体では「できるし、している」が81.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.5%、「できない」が3.8%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が30.0%で最も高く、次いで85～89歳が8.3%、80～84歳が5.0%となっています。

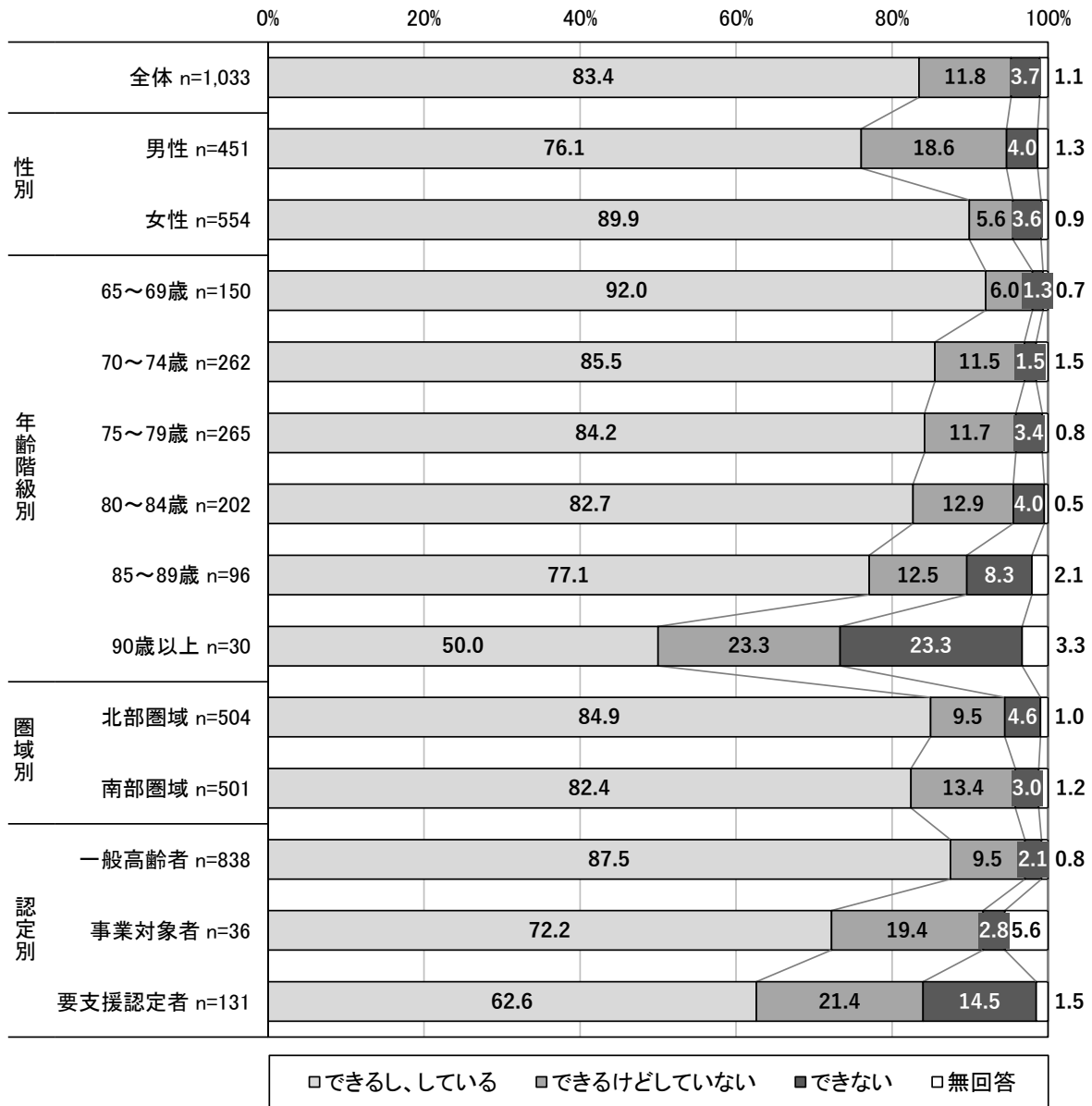


Q8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つのみ）

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、全体では「できるし、している」が83.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.7%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「できない」は、90歳以上が23.3%で最も高く、次いで85～89歳が8.3%、80～84歳が4.0%となっています。

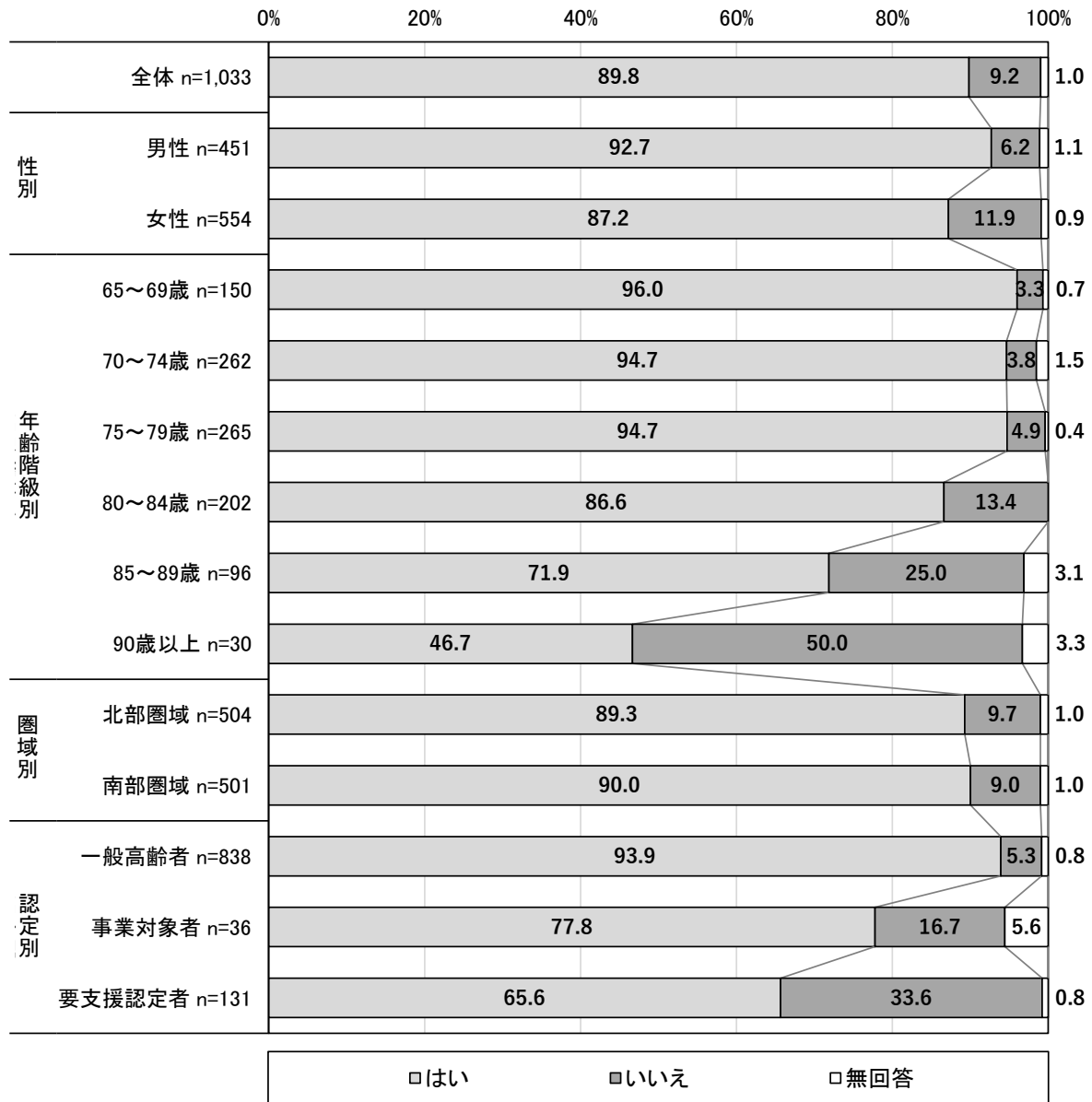


Q9. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つのみ）

年金などの書類が書けるかについては、全体では「はい」が89.8%、「いいえ」が9.2%となっています。

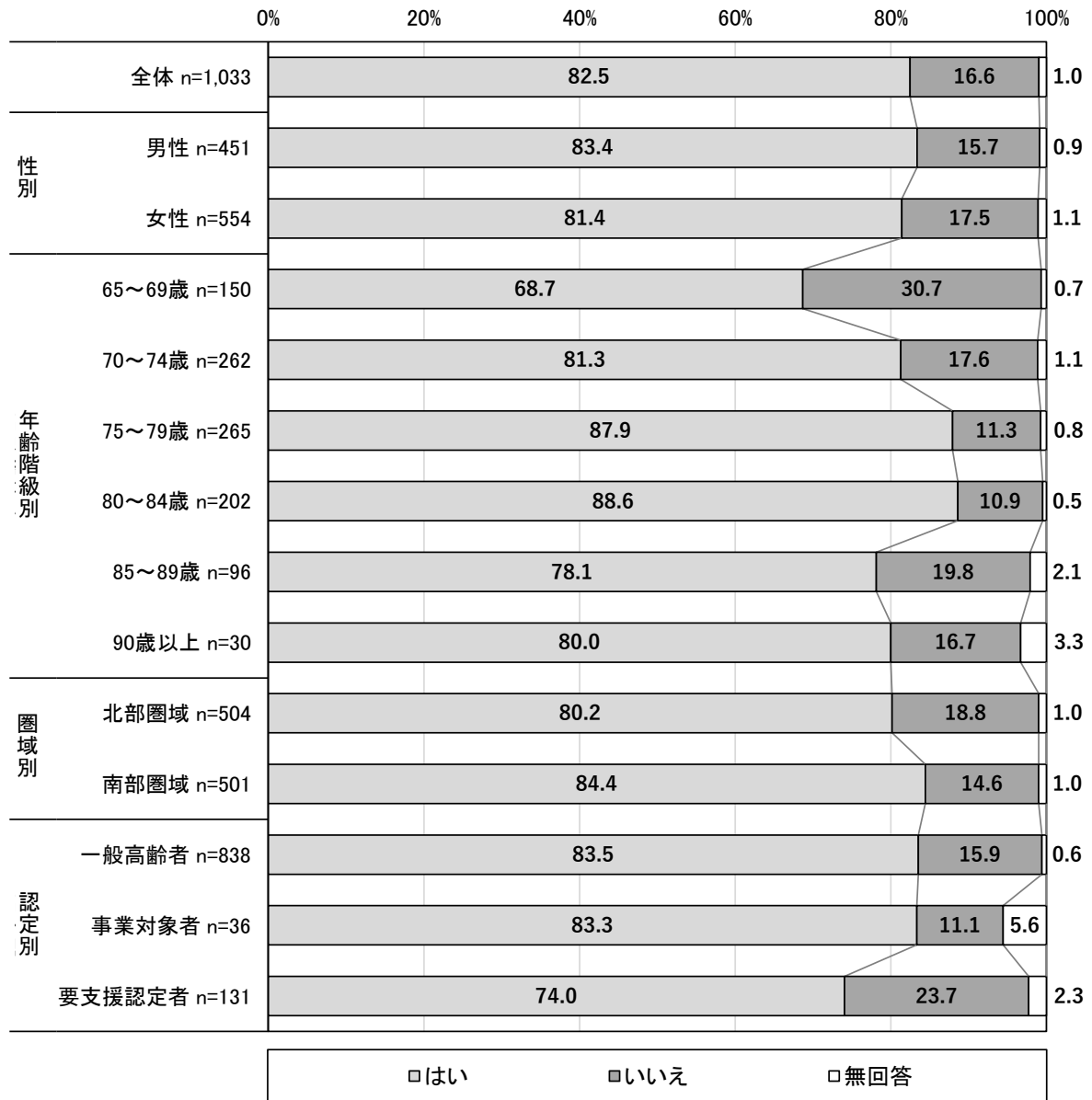
性別でみると、「いいえ」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が50.0%で最も高く、次いで85～89歳が25.0%、80～84歳が13.4%となっています。



Q10. 新聞を読んでいますか（1つのみ）

新聞を読んでいるかについては、全体では「はい」が82.5%、「いいえ」が16.6%となっています。
 年齢階級別でみると、「いいえ」は、65～69歳が30.7%で最も高く、次いで85～89歳が19.8%、70～74歳が17.6%となっています。

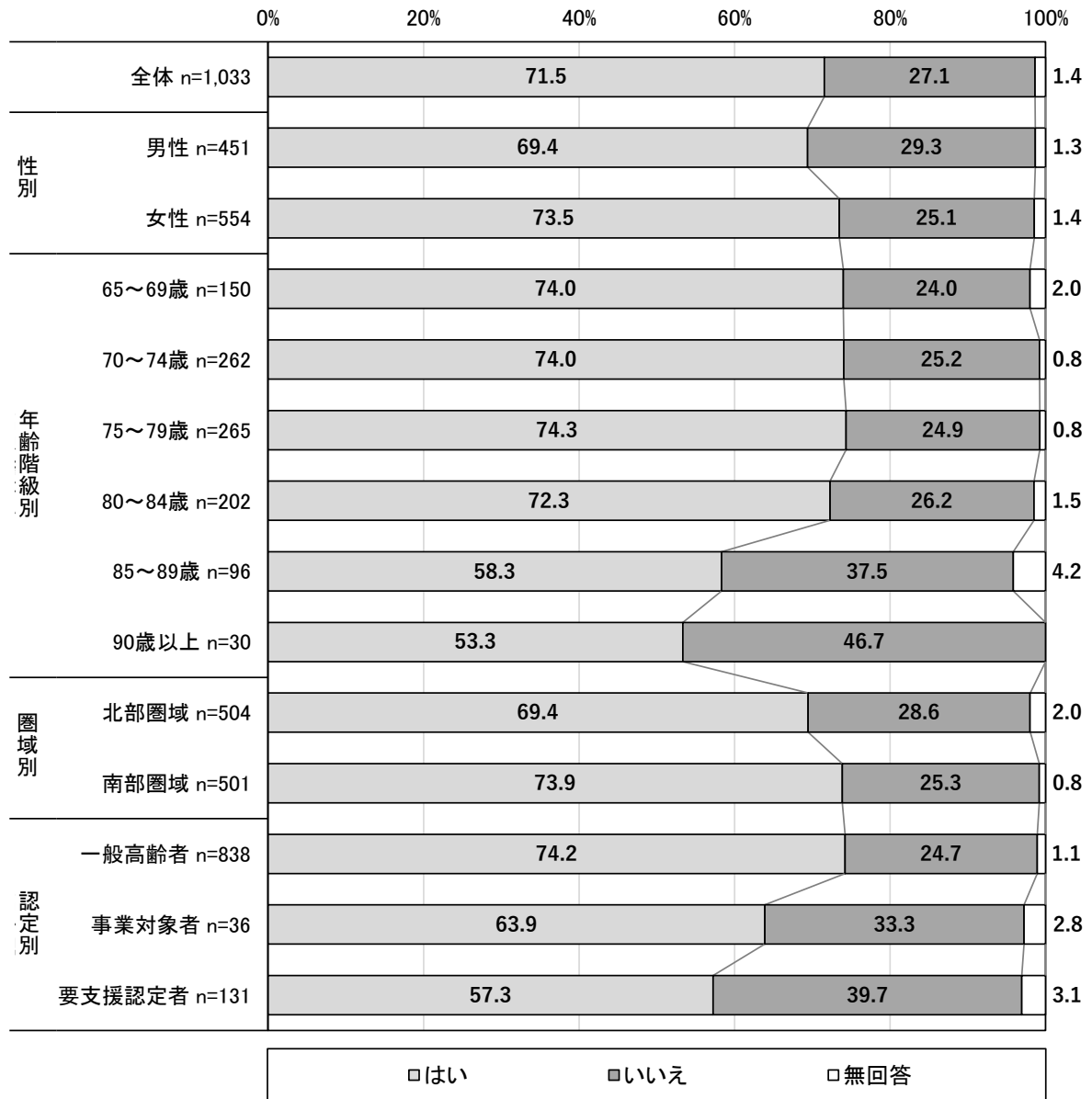


Q11. 本や雑誌を読んでいますか（1つのみ）

本や雑誌を読んでいるかについては、全体では「はい」が71.5%、「いいえ」が27.1%となっています。

性別で見ると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別で見ると、「いいえ」は、90歳以上が46.7%で最も高く、次いで85～89歳が37.5%、80～84歳が26.2%となっています。

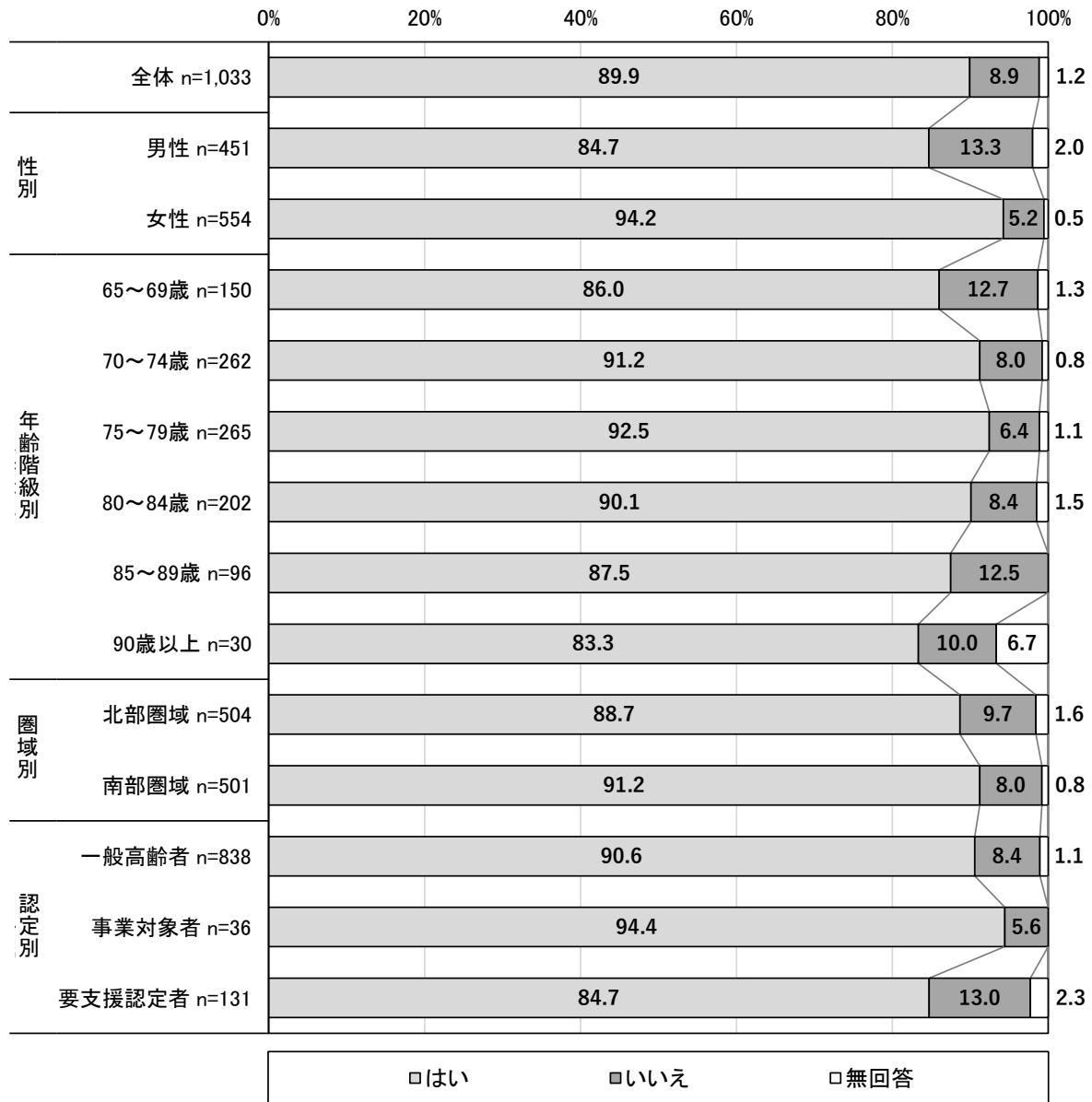


Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つのみ）

健康についての記事や番組に関心があるかについては、全体では「はい」が89.9%、「いいえ」が8.9%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、65～69歳が12.7%で最も高く、次いで85～89歳が12.5%、90歳以上が10.0%となっています。

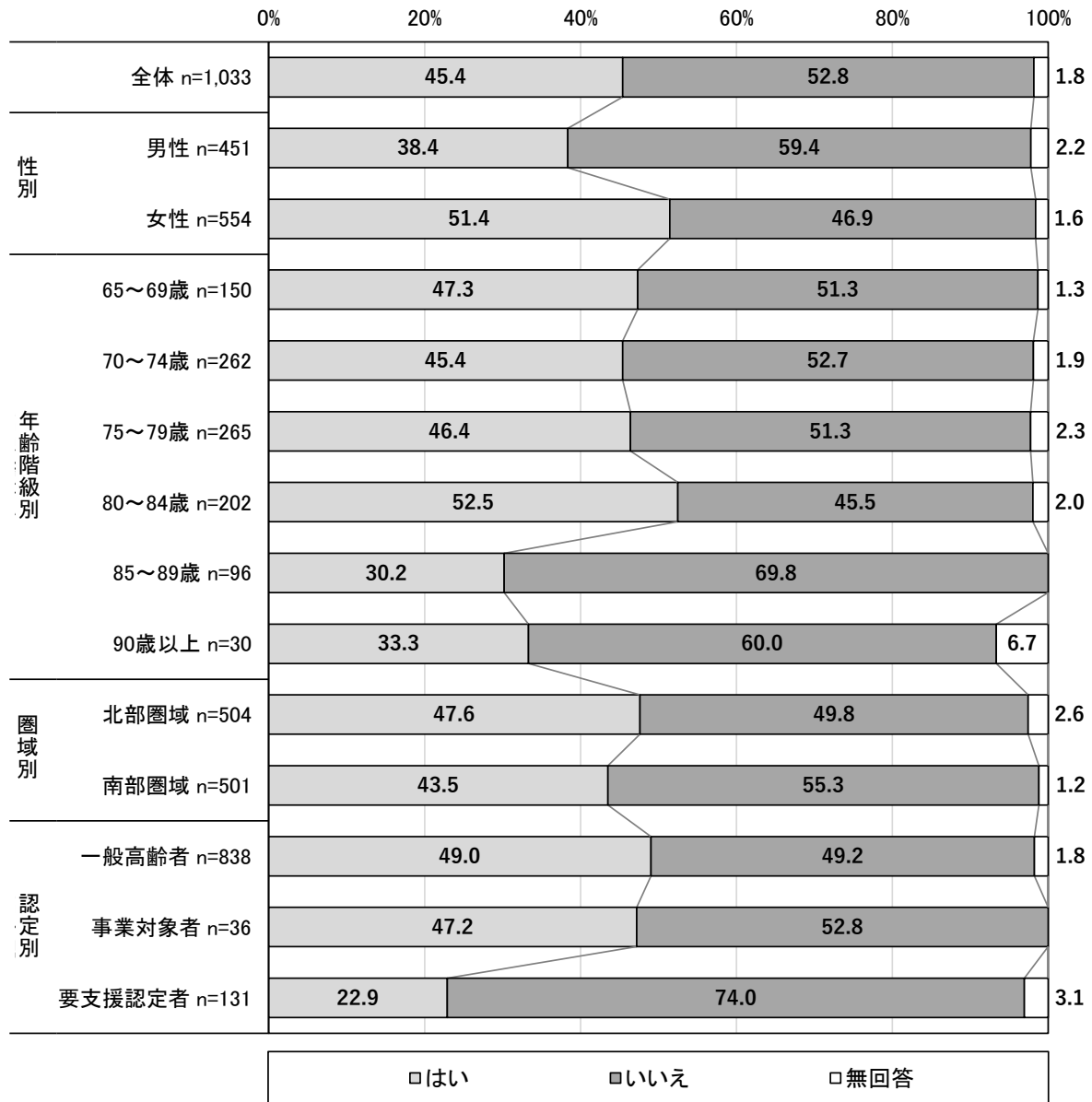


Q13. 友人の家を訪ねていますか（1つのみ）

友人の家を訪ねているかについては、全体では「はい」が45.4%、「いいえ」が52.8%となっています。

性別で見ると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別で見ると、「いいえ」は、85～89歳が69.8%で最も高く、次いで90歳以上が60.0%、70～74歳が52.7%となっています。

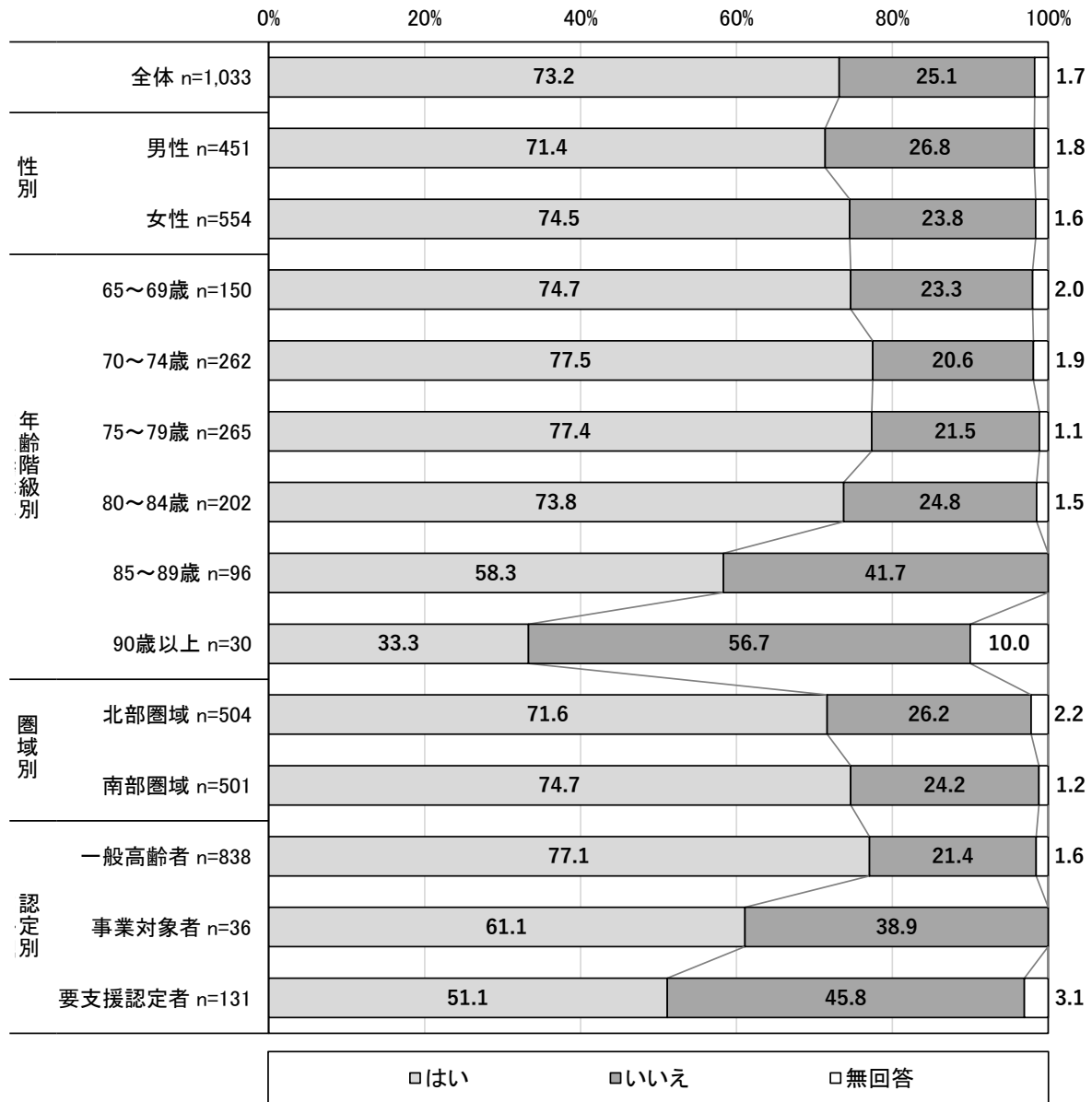


Q14. 家族や友人の相談にのっていますか（1つのみ）

家族や友人の相談にのっているかについては、全体では「はい」が73.2%、「いいえ」が25.1%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が56.7%で最も高く、次いで85～89歳が41.7%、80～84歳が24.8%となっています。

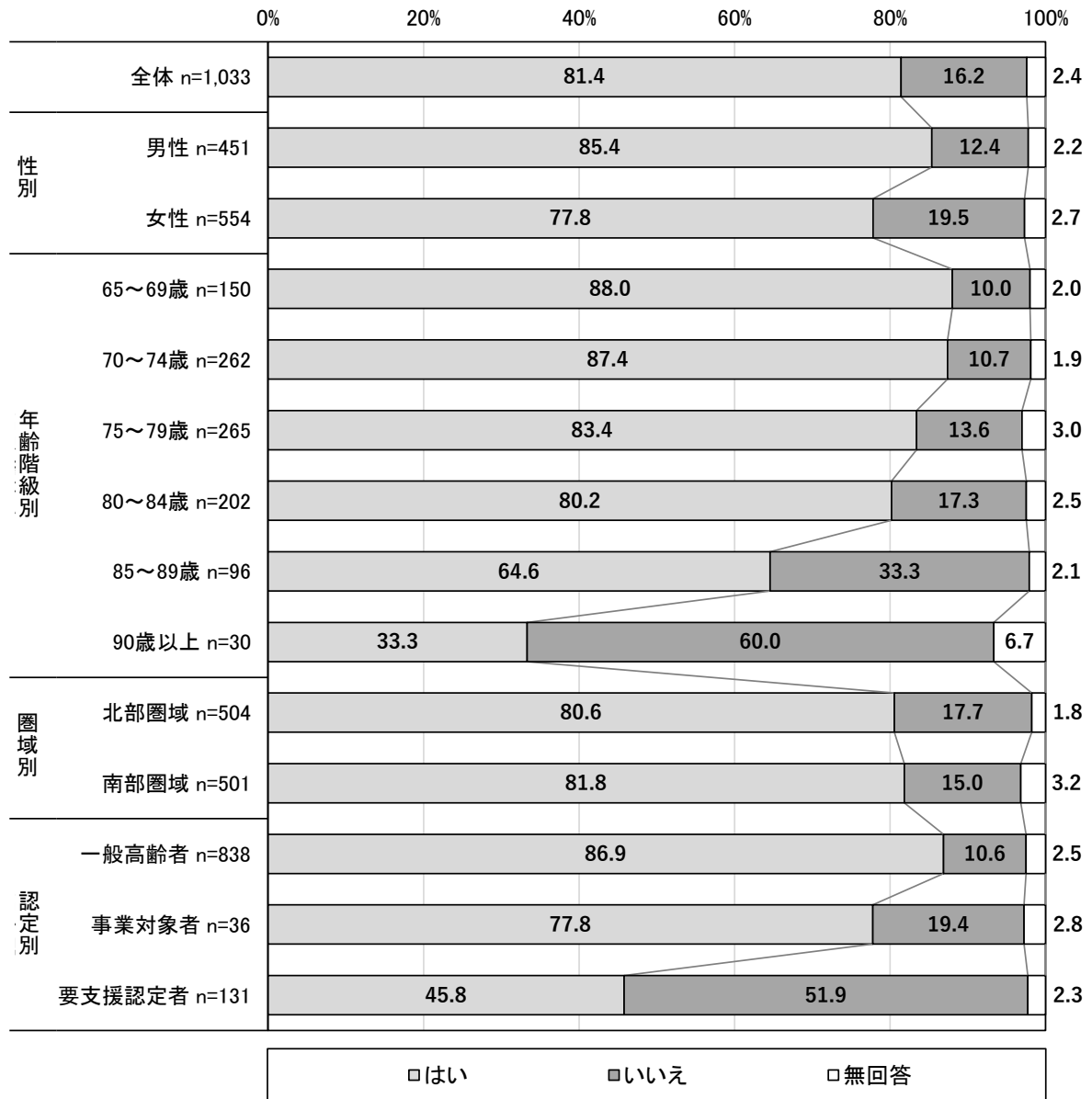


Q15. 病人を見舞うことができますか（1つのみ）

病人を見舞うことができるかについては、全体では「はい」が81.4%、「いいえ」が16.2%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が60.0%で最も高く、次いで85～89歳が33.3%、80～84歳が17.3%となっています。

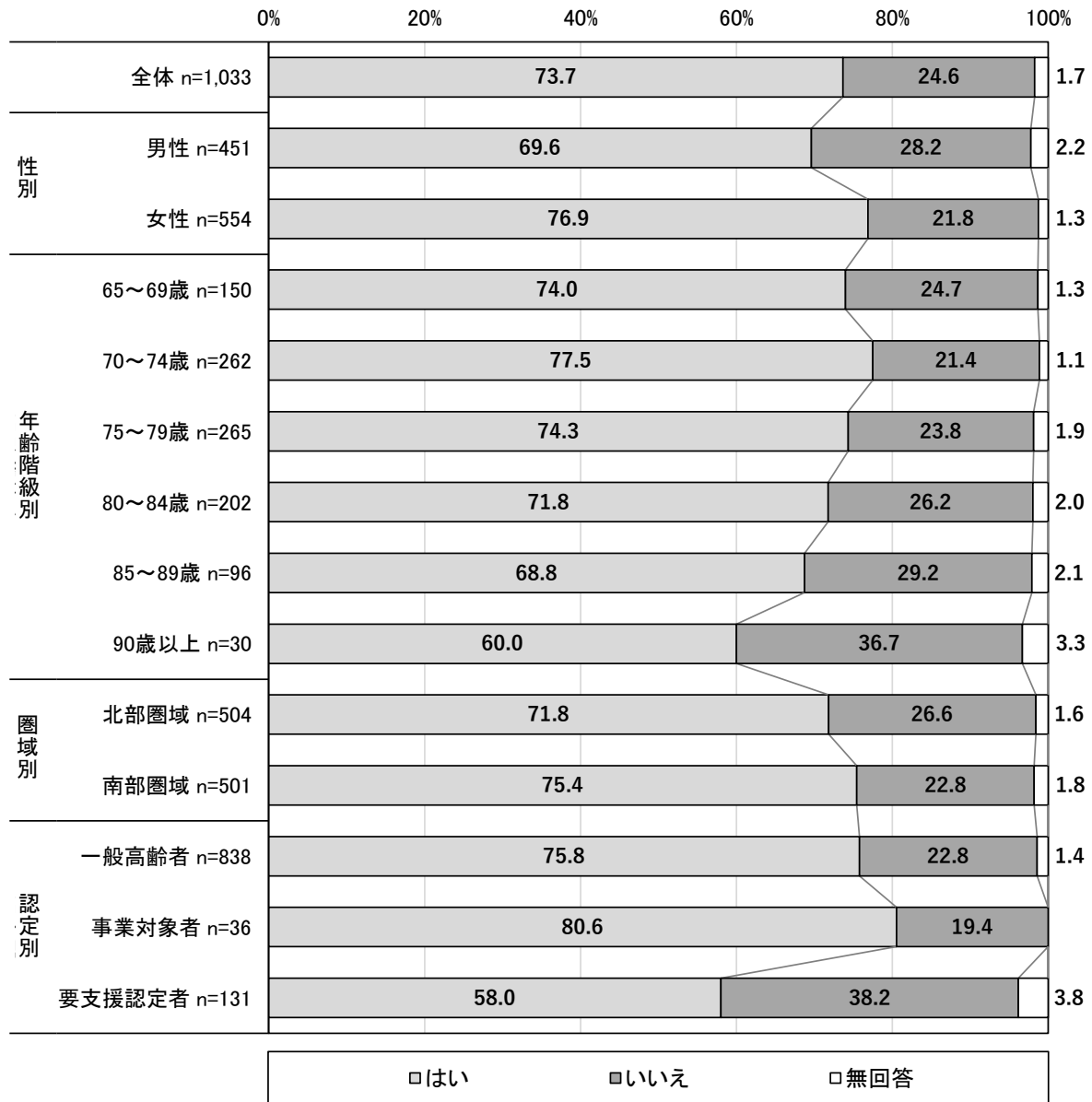


Q16. 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つのみ）

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、全体では「はい」が73.7%、「いいえ」が24.6%となっています。

性別でみると、「いいえ」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

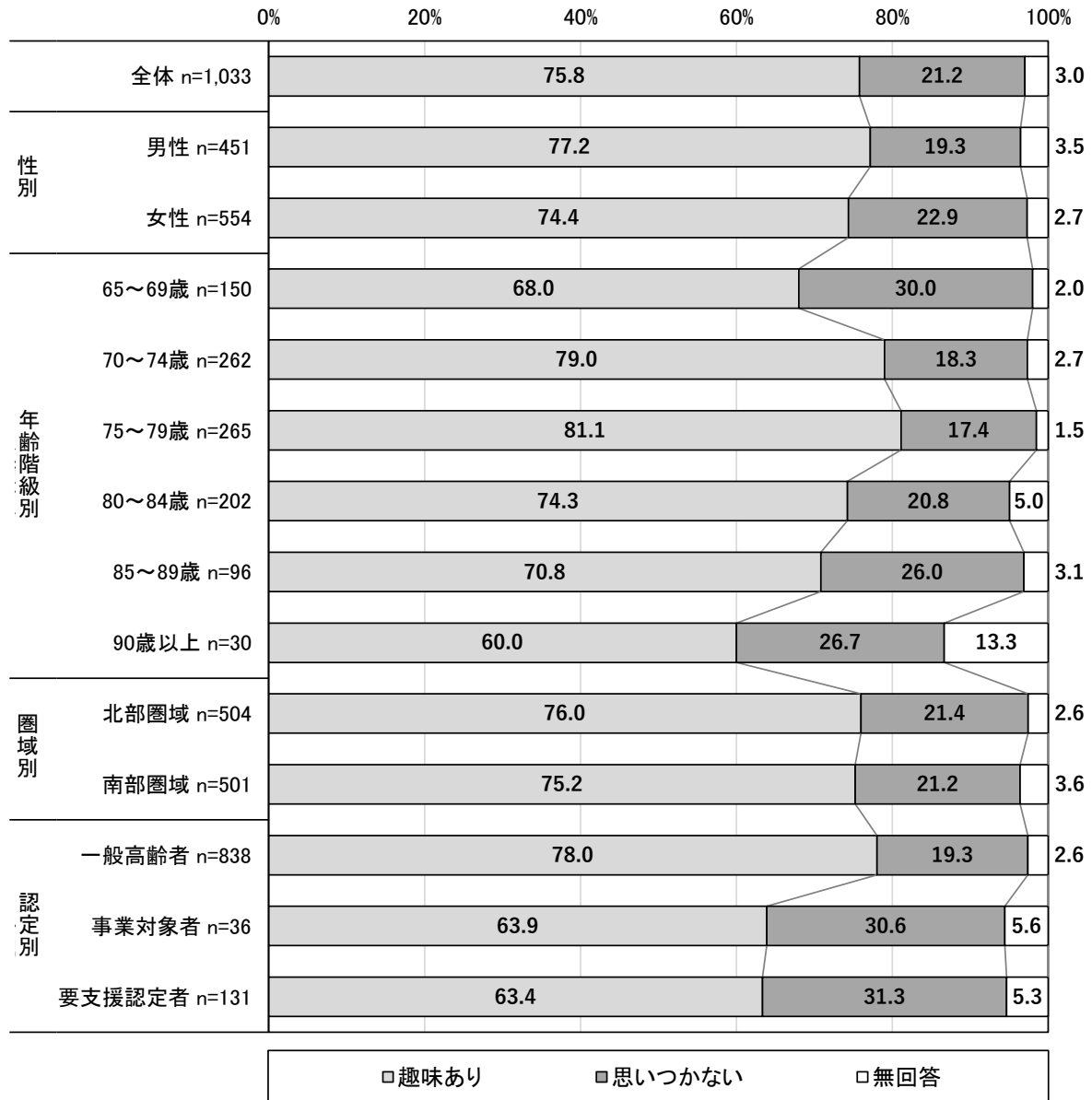
年齢階級別でみると、「いいえ」は、90歳以上が36.7%で最も高く、次いで85～89歳が29.2%、80～84歳が26.2%となっています。



Q17. 趣味はありますか（1つのみ）

趣味はあるかについては、全体では「趣味あり」が75.8%、「思いつかない」が21.2%と、「趣味あり」が54.6ポイント上回っています。

年齢階級別でみると、「思いつかない」は、65～69歳が30.0%で最も高く、次いで90歳以上が26.7%、85～89歳が26.0%となっています。

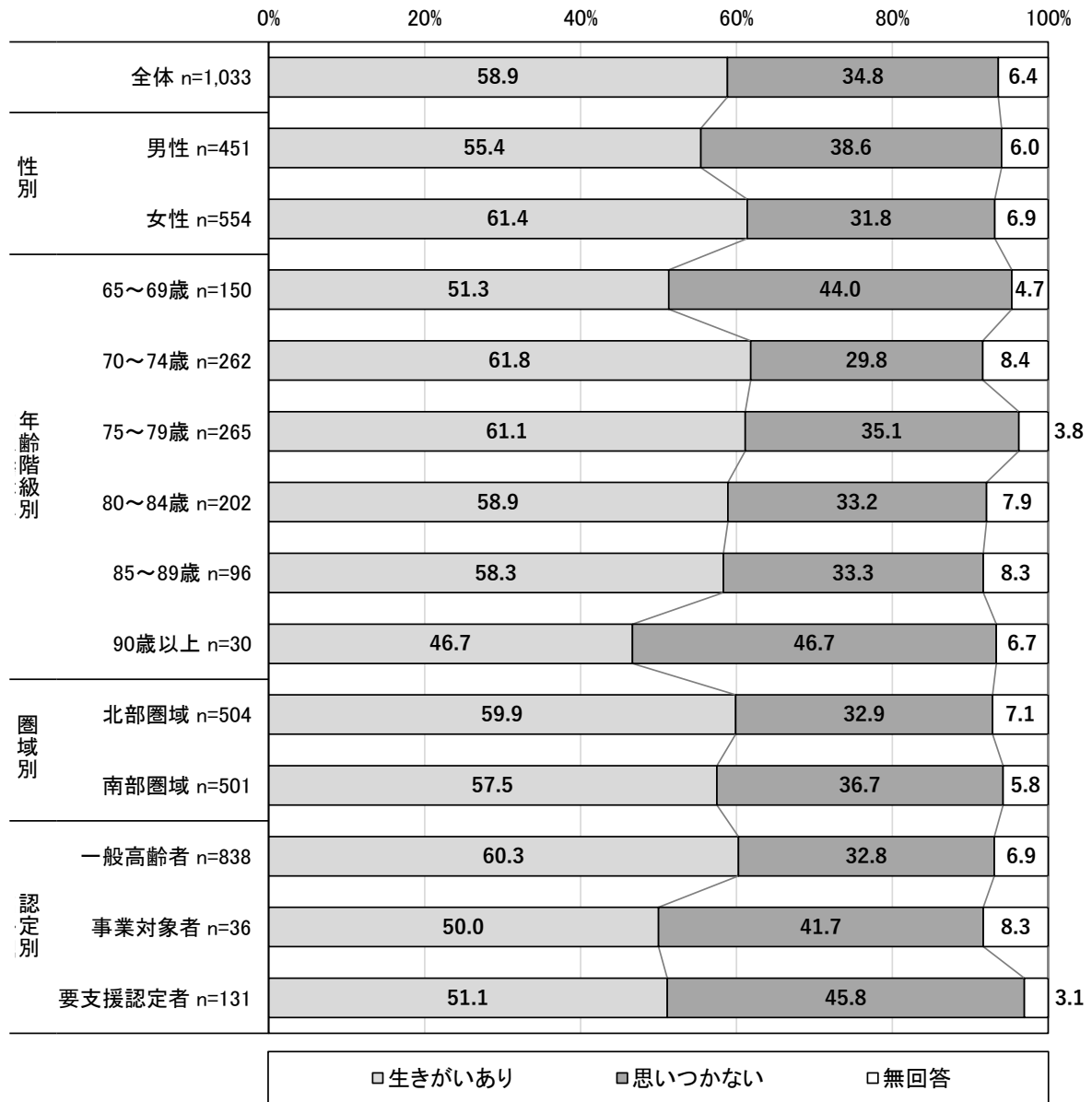


Q18. 生きがいがありますか（1つのみ）

生きがいがあるかについては、全体では「生きがいあり」が58.9%、「思いつかない」が34.8%と、「生きがいあり」が24.1ポイント上回っています。

性別でみると、「思いつかない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「思いつかない」は、90歳以上が46.7%で最も高く、次いで65～69歳が44.0%、75～79歳が35.1%となっています。



5. 地域での活動について

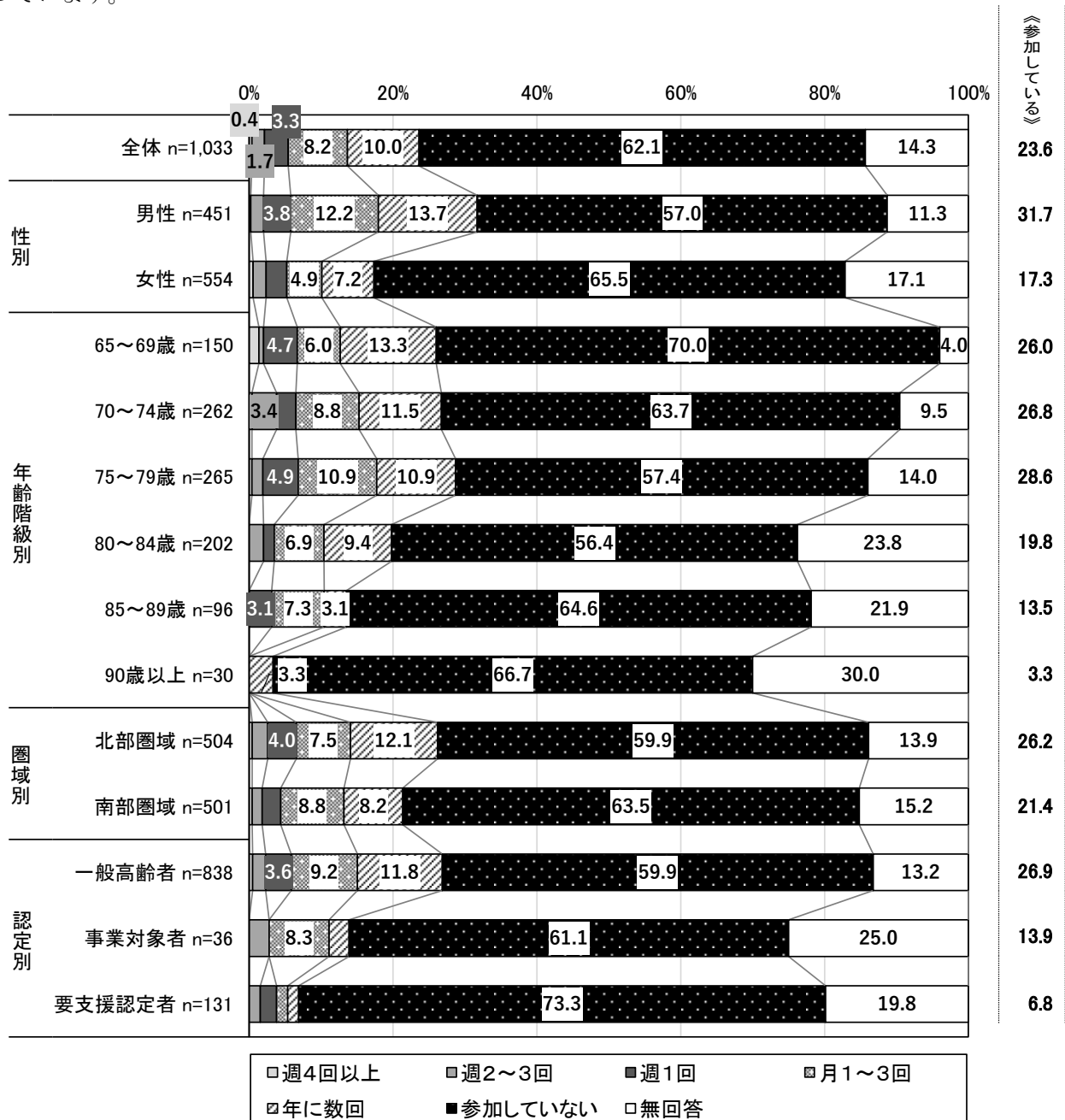
Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれに1つのみ）

①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、全体では「参加していない」が62.1%で最も高く、次いで「年に数回」が10.0%、「月1～3回」が8.2%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《参加している》は、75～79歳が最も高く、次いで70～74歳、65～69歳となっています。

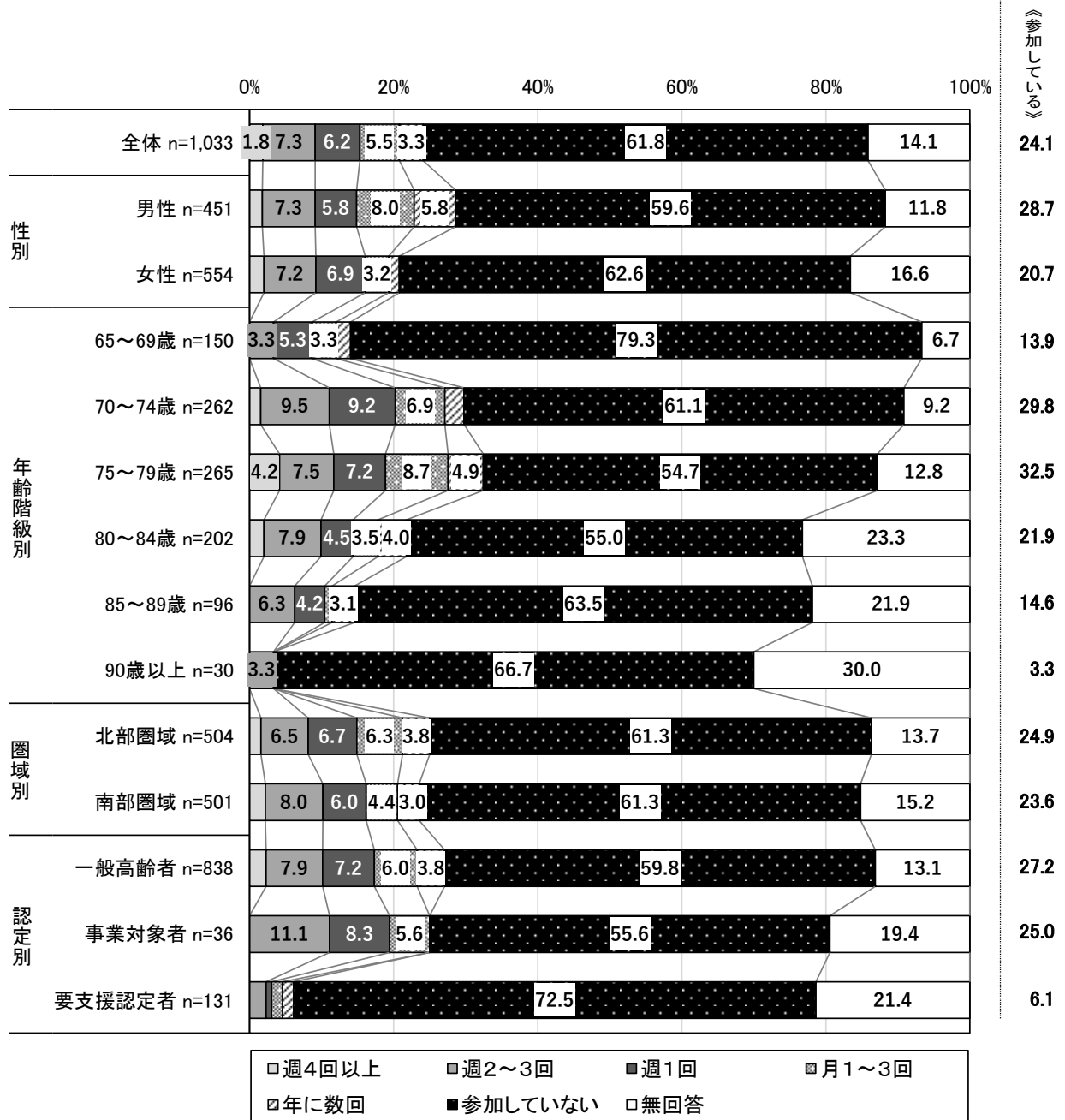


②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、全体では「参加していない」が61.8%で最も高く、次いで「週2～3回」が7.3%、「週1回」が6.2%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「参加している」は、75～79歳が最も高く、次いで70～74歳、80～84歳となっています。

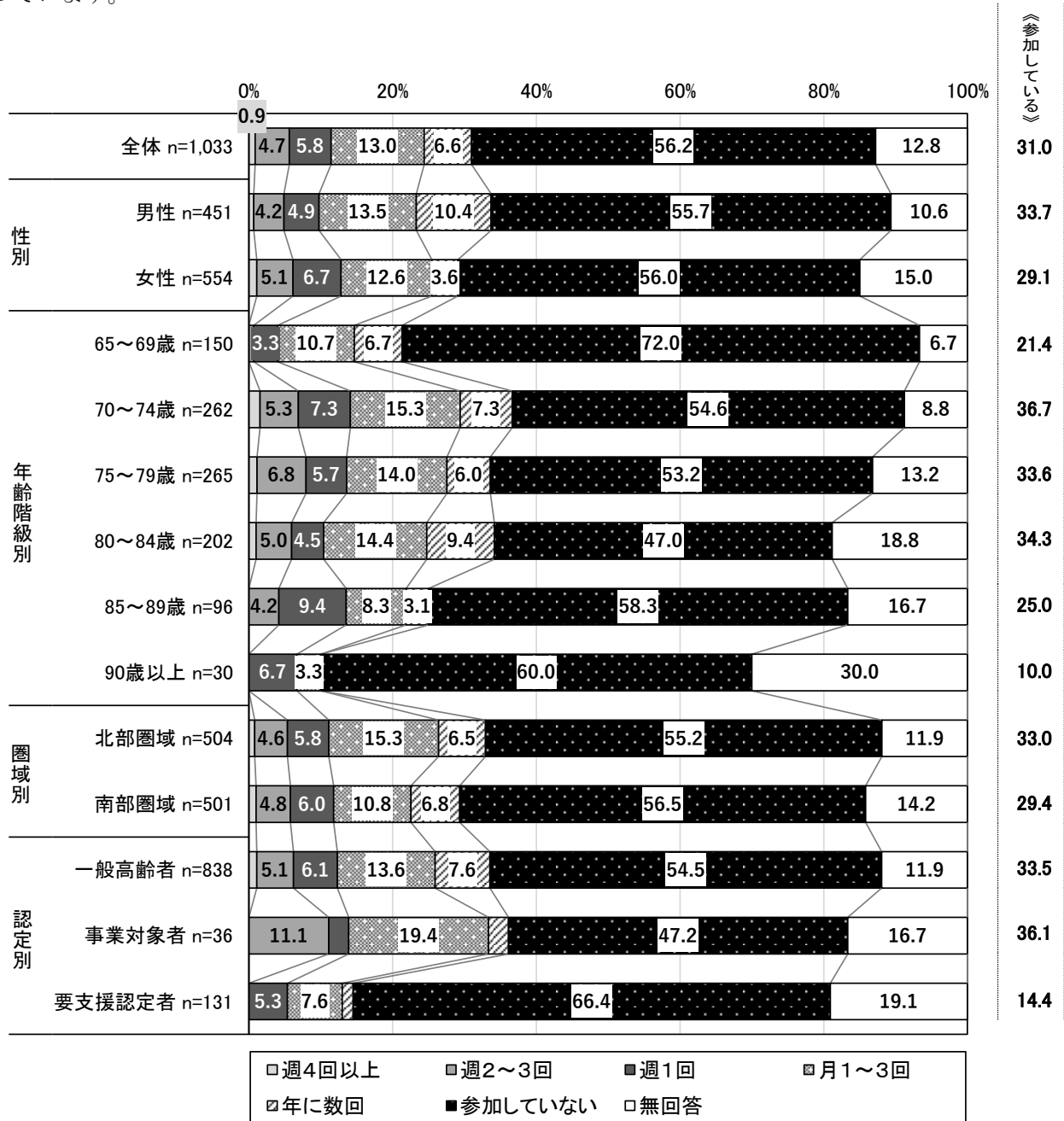


③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、全体では「参加していない」が56.2%で最も高く、次いで「月1～3回」が13.0%、「年に数回」が6.6%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「参加している」は、70～74歳が最も高く、次いで80～84歳、75～79歳となっています。

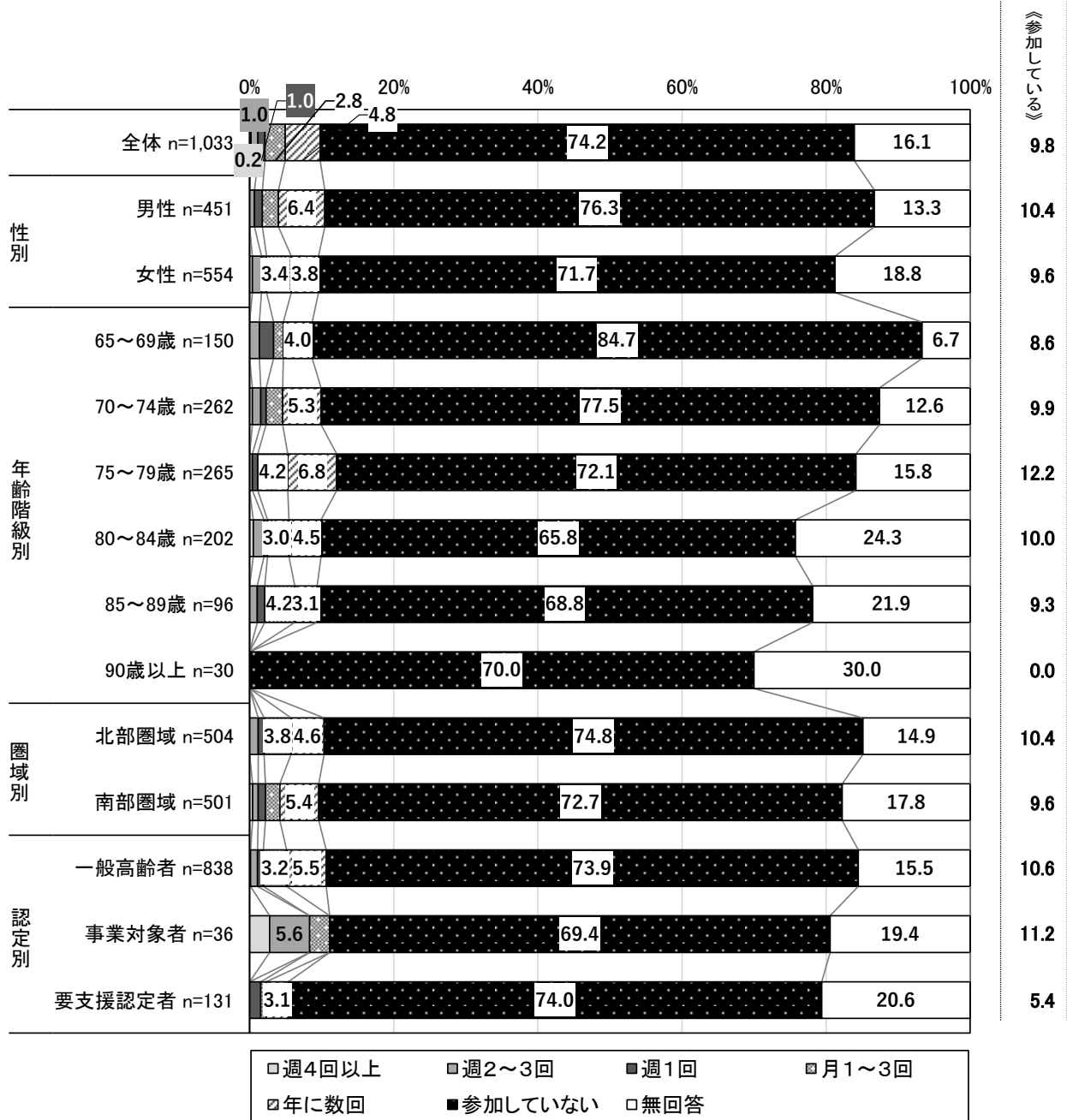


④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、全体では「参加していない」が74.2%で最も高く、次いで「年に数回」が4.8%、「月1～3回」が2.8%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「参加している」は、75～79歳が最も高く、次いで80～84歳、70～74歳となっています。

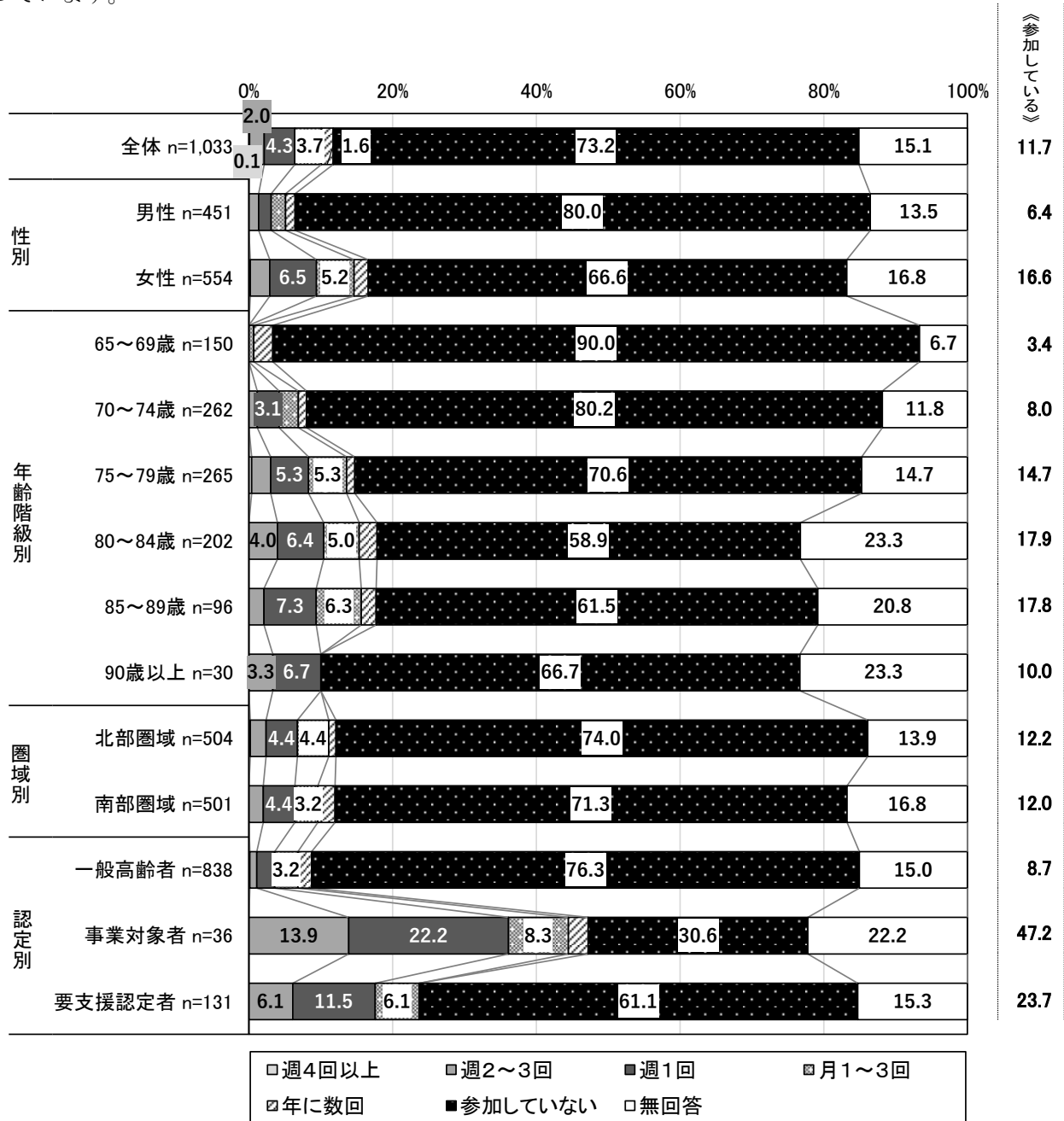


⑤介護予防のための通いの場（シルバーリハビリ体操）

介護予防のための通いの場（シルバーリハビリ体操）への参加状況については、全体では「参加していない」が73.2%で最も高く、次いで「週1回」が4.3%、「月1～3回」が3.7%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「参加している」は、80～84歳が最も高く、次いで85～89歳、75～79歳となっています。

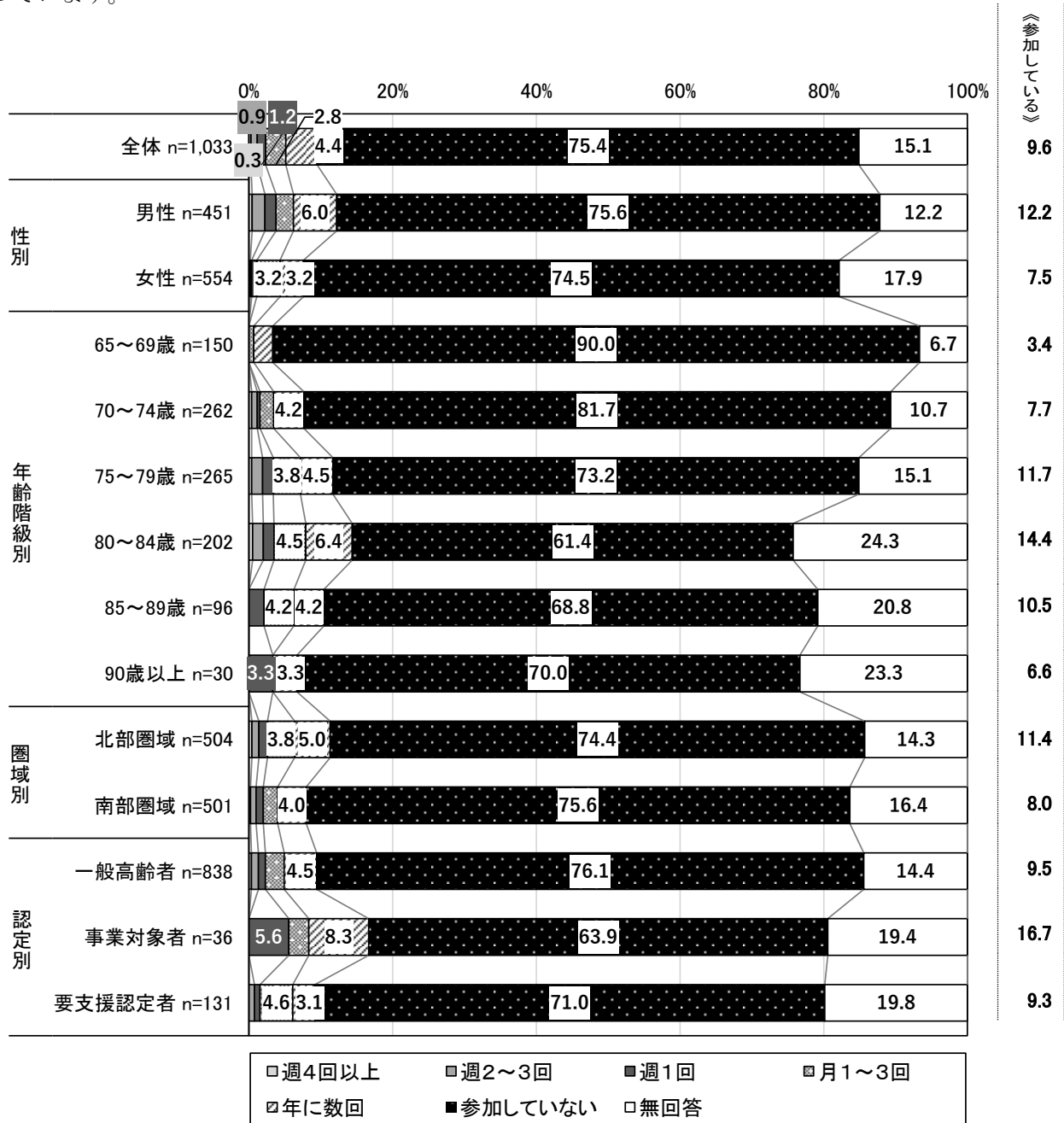


⑥老人クラブ

老人クラブへの参加状況については、全体では「参加していない」が75.4%で最も高く、次いで「年に数回」が4.4%、「月1～3回」が2.8%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《参加している》は、80～84歳が最も高く、次いで75～79歳、85～89歳となっています。

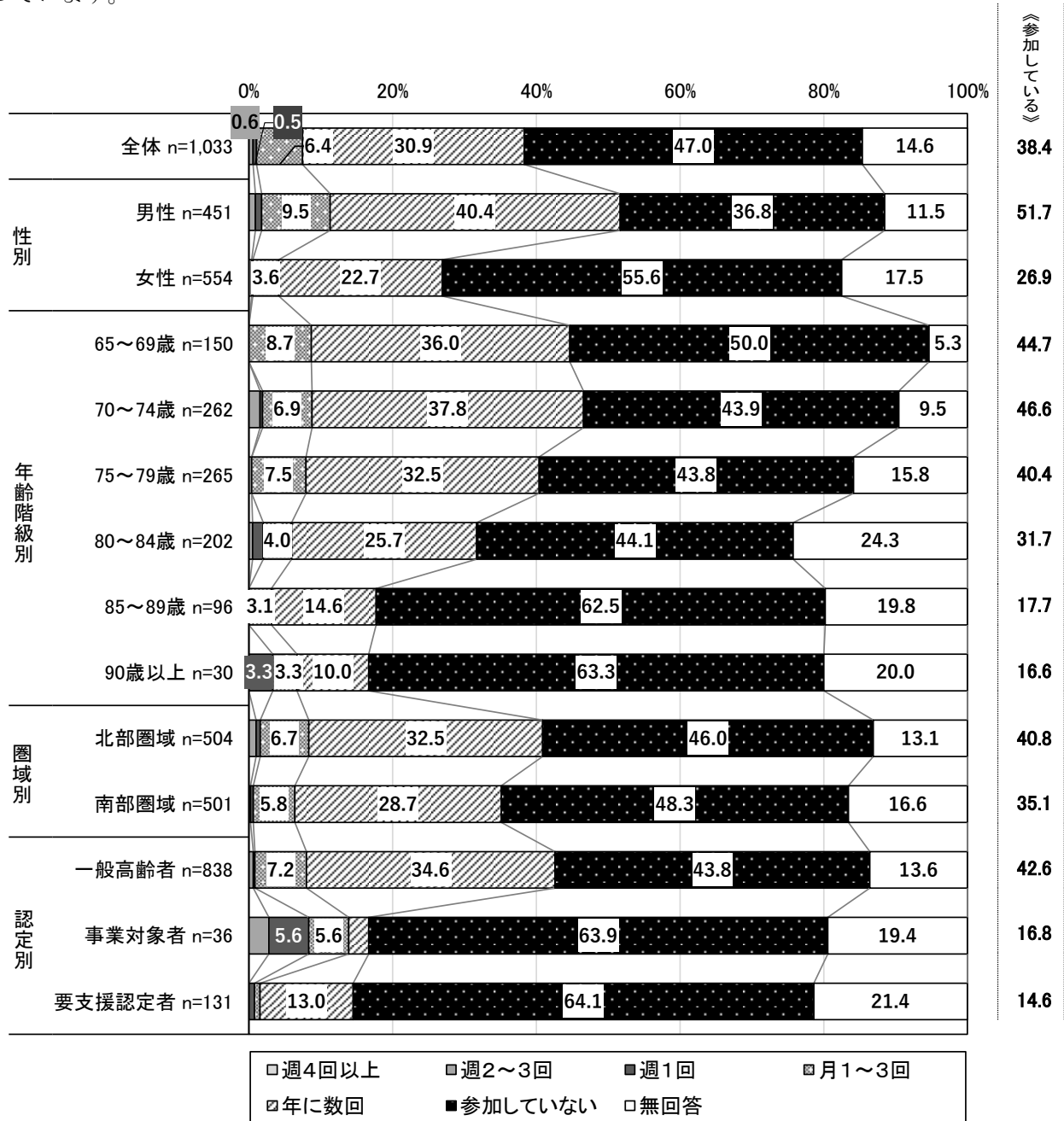


⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、全体では「参加していない」が47.0%で最も高く、次いで「年に数回」が30.9%、「月1～3回」が6.4%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《参加している》は、70～74歳が最も高く、次いで65～69歳、75～79歳となっています。

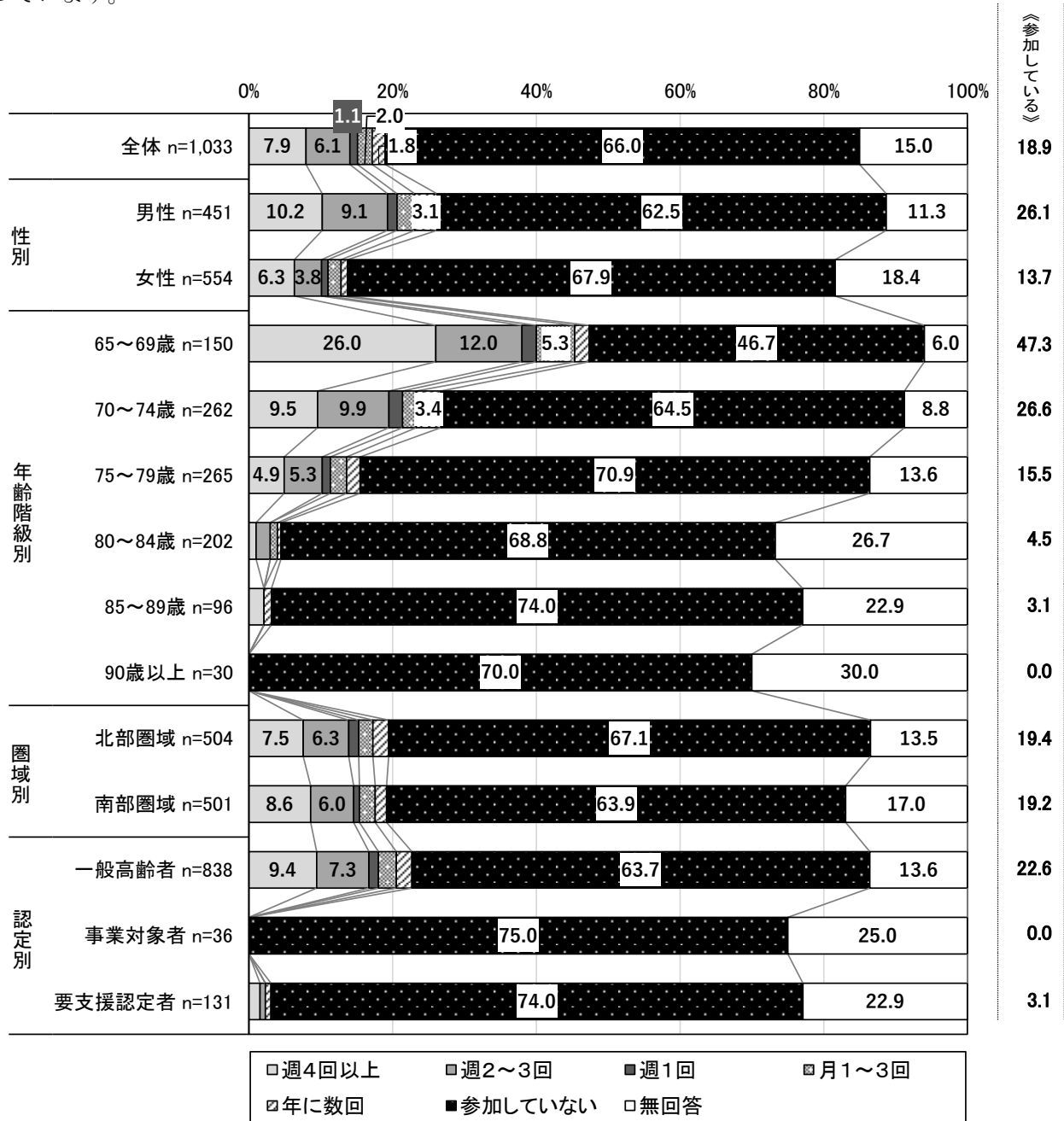


⑧収入のある仕事

収入のある仕事への就労状況については、全体では「参加していない」が66.0%で最も高く、次いで「週4回以上」が7.9%、「週2～3回」が6.1%となっています。

性別でみると、「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計値《参加している》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「参加している」は、65～69歳が最も高く、次いで70～74歳、75～79歳となっています。

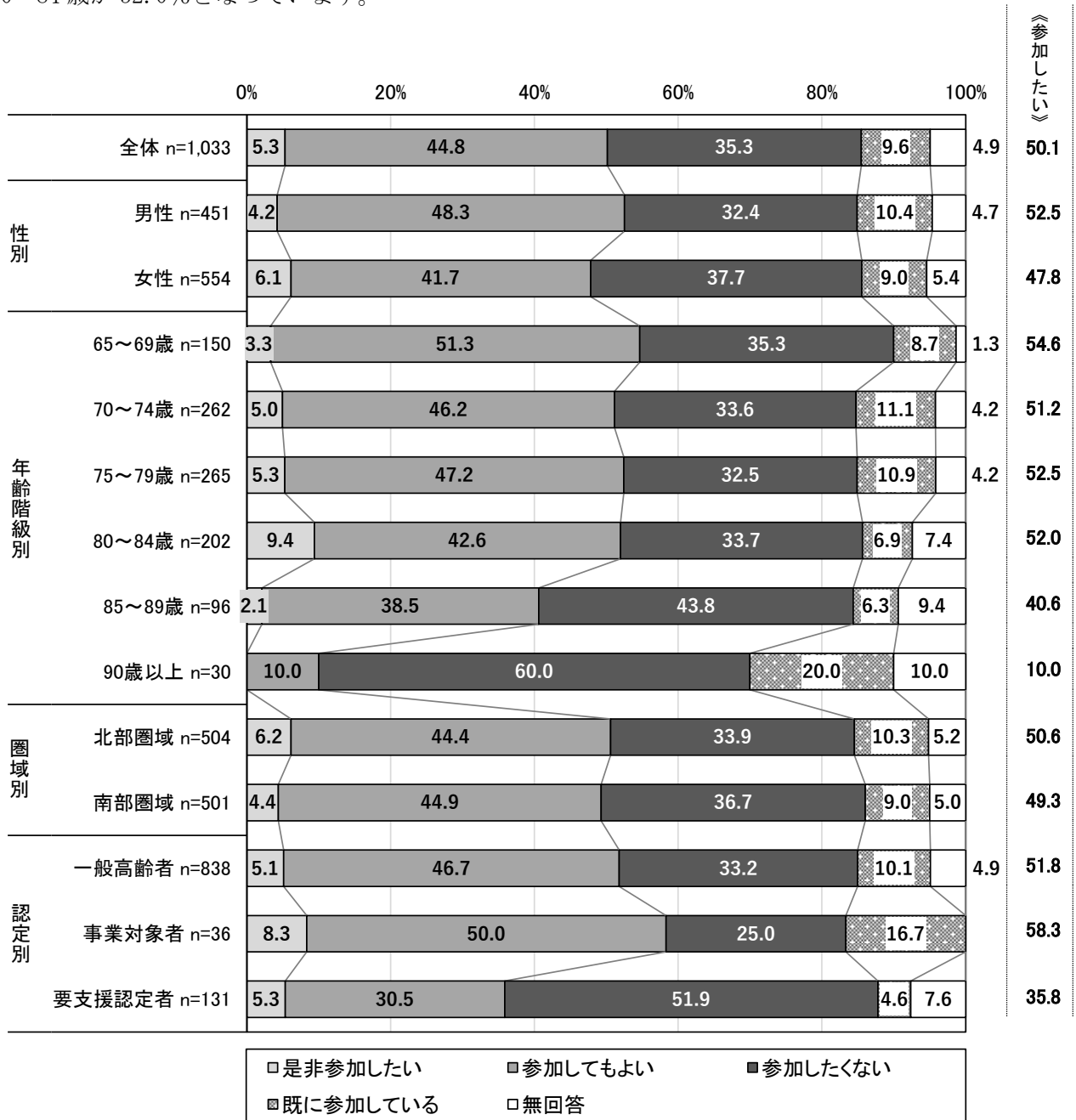


Q2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、全体では「参加してもよい」が44.8%で最も高く、次いで「参加したくない」が35.3%、「既に参加している」が9.6%となっています。

性別でみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計値《参加したい》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《参加したい》は、65～69歳が54.6%で最も高く、次いで75～79歳が52.5%、80～84歳が52.0%となっています。

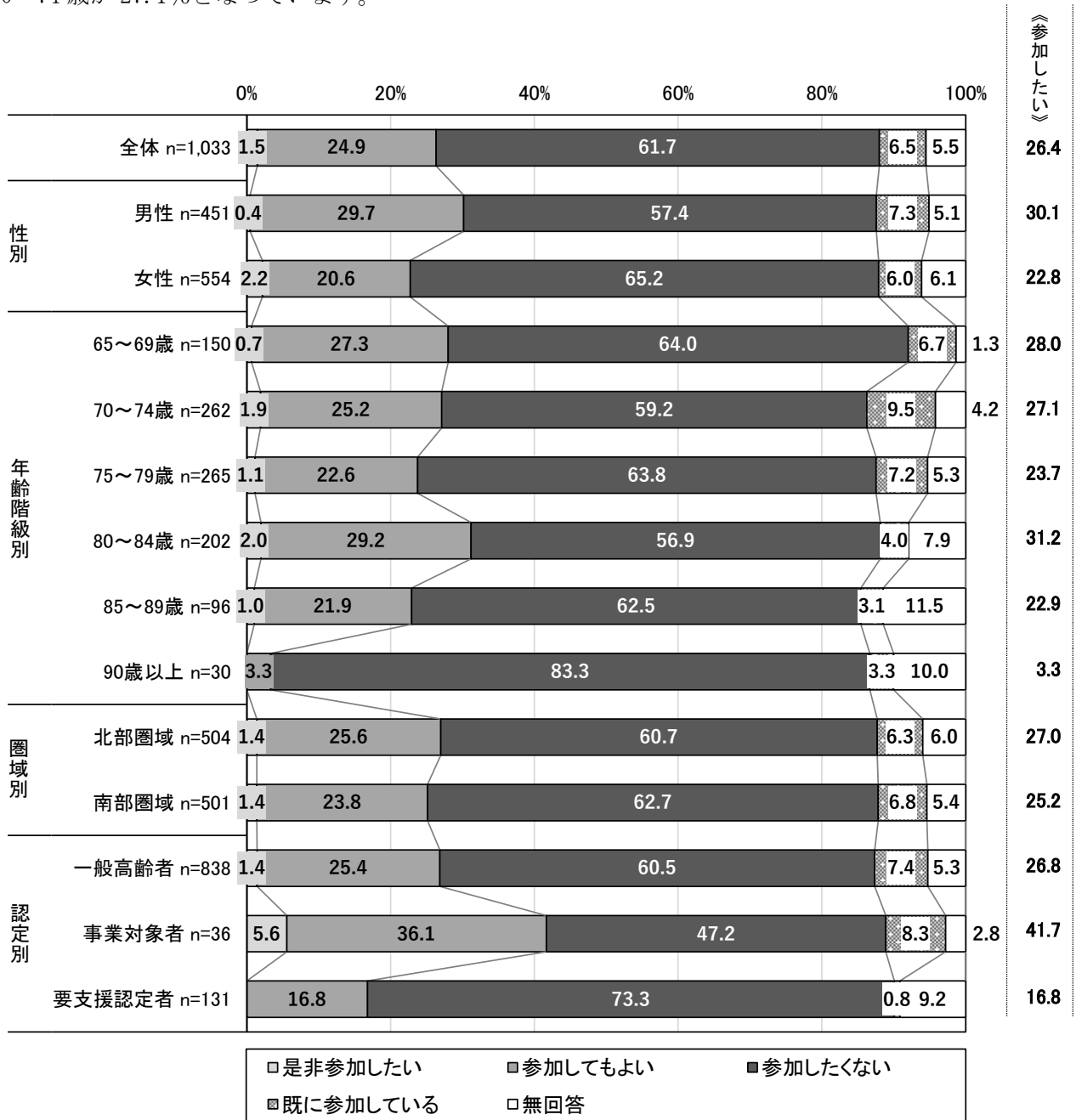


Q3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、全体では「参加したくない」が61.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が24.9%、「既に参加している」が6.5%となっています。

性別でみると、「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計値《参加したい》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《参加したい》は、80～84歳が31.2%で最も高く、次いで65～69歳が28.0%、70～74歳が27.1%となっています。

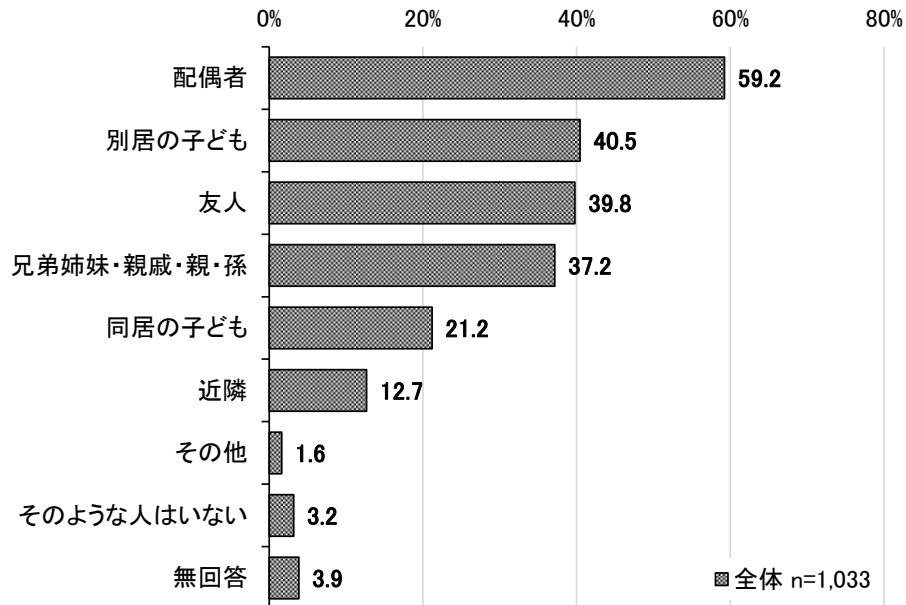


6. たすけあいについて

Q1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、全体では「配偶者」が 59.2%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 40.5%、「友人」が 39.8%となっています。

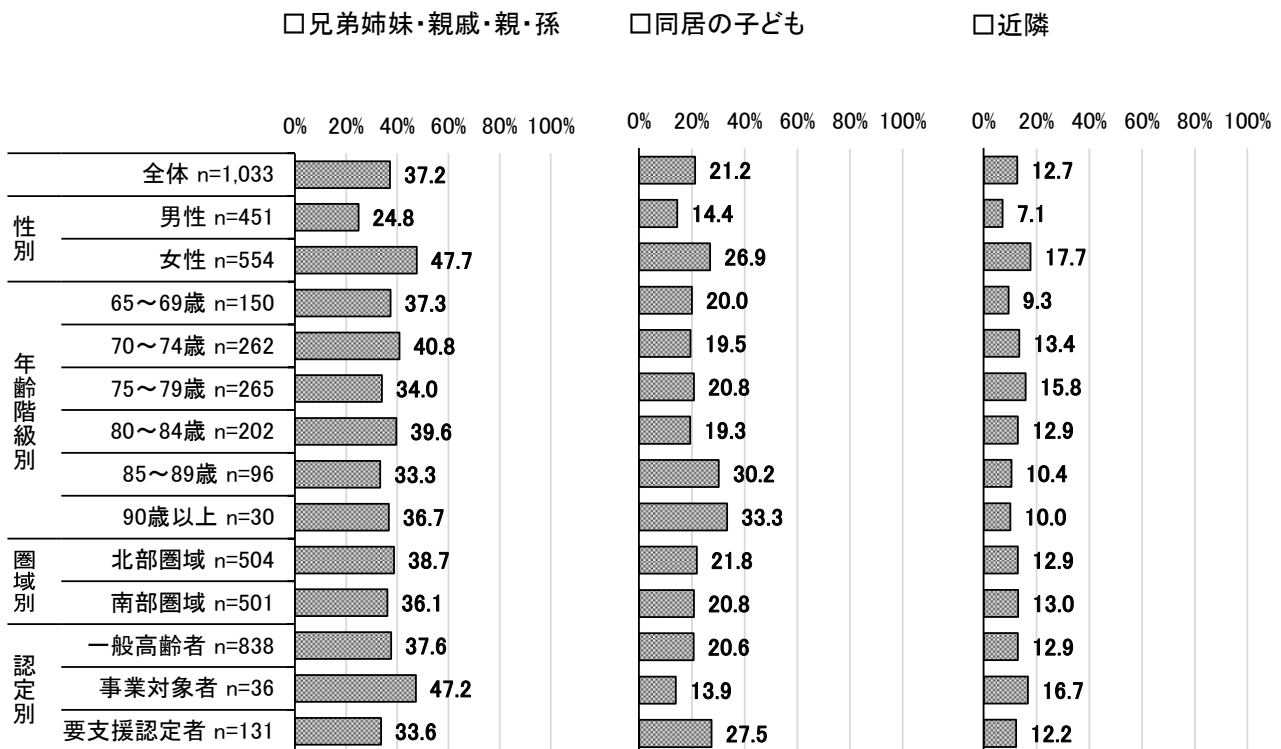
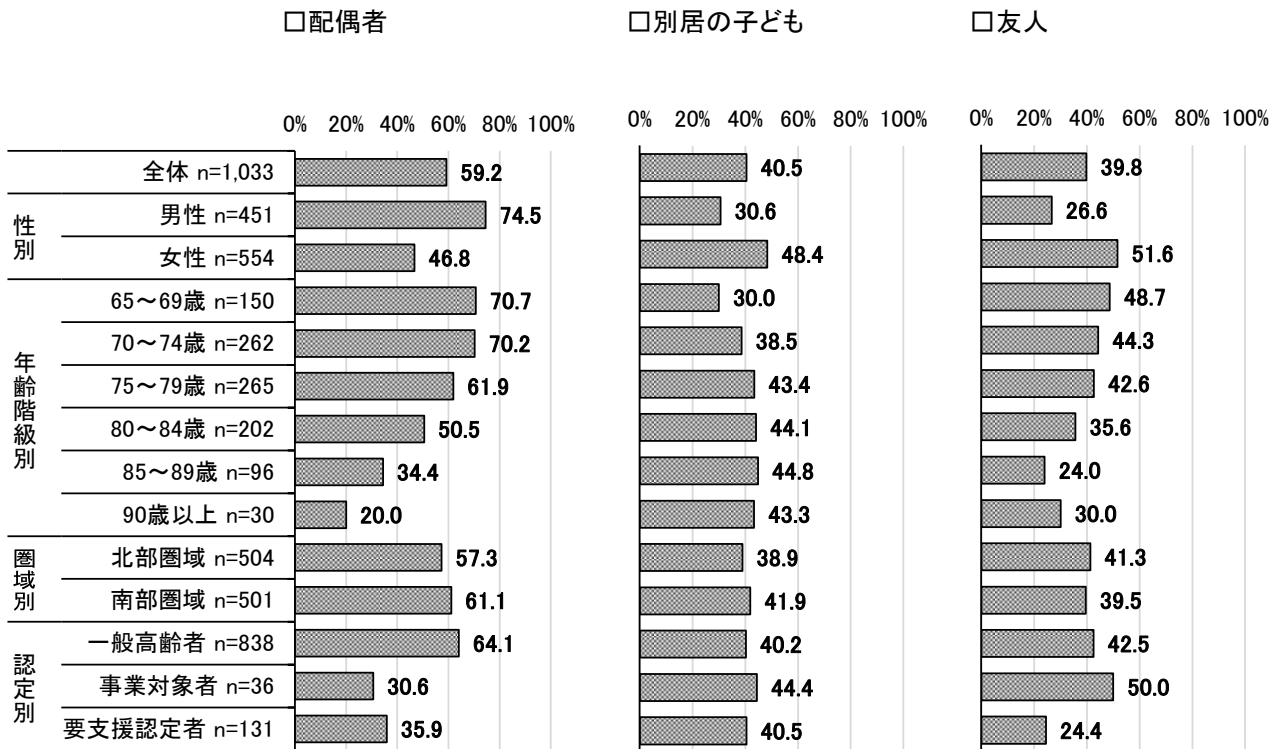
なお、「そのような人はいない」は 3.2%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

性別でみると、男性では、「配偶者」が74.5%で最も高く、次いで「別居の子ども」が30.6%、「友人」が26.6%となっています。女性では、「友人」が51.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が48.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が47.7%となっています。

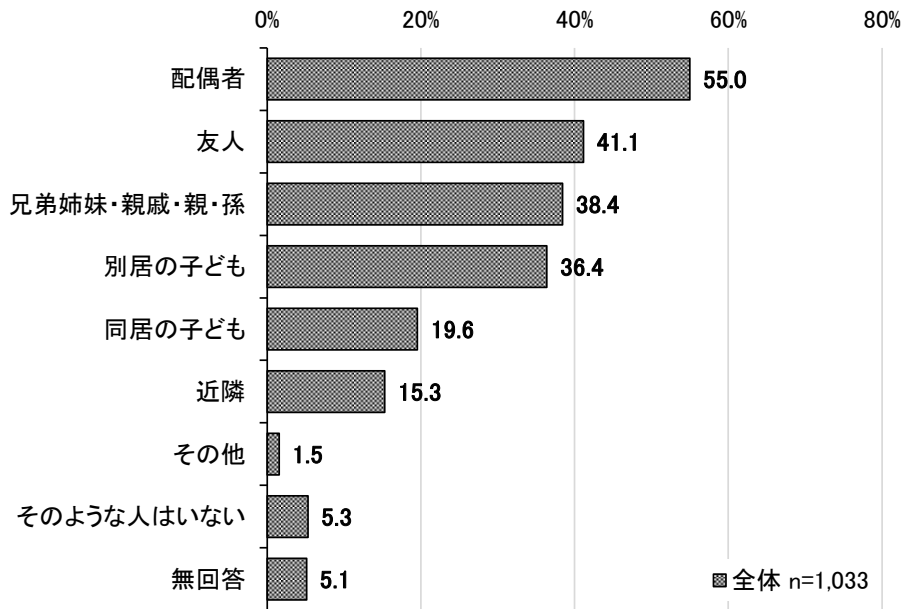
年齢階級別でみると、年齢が上がるともに「配偶者」は減少しています。



Q2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、全体では「配偶者」が 55.0%で最も高く、次いで「友人」が 41.1%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 38.4%となっています。

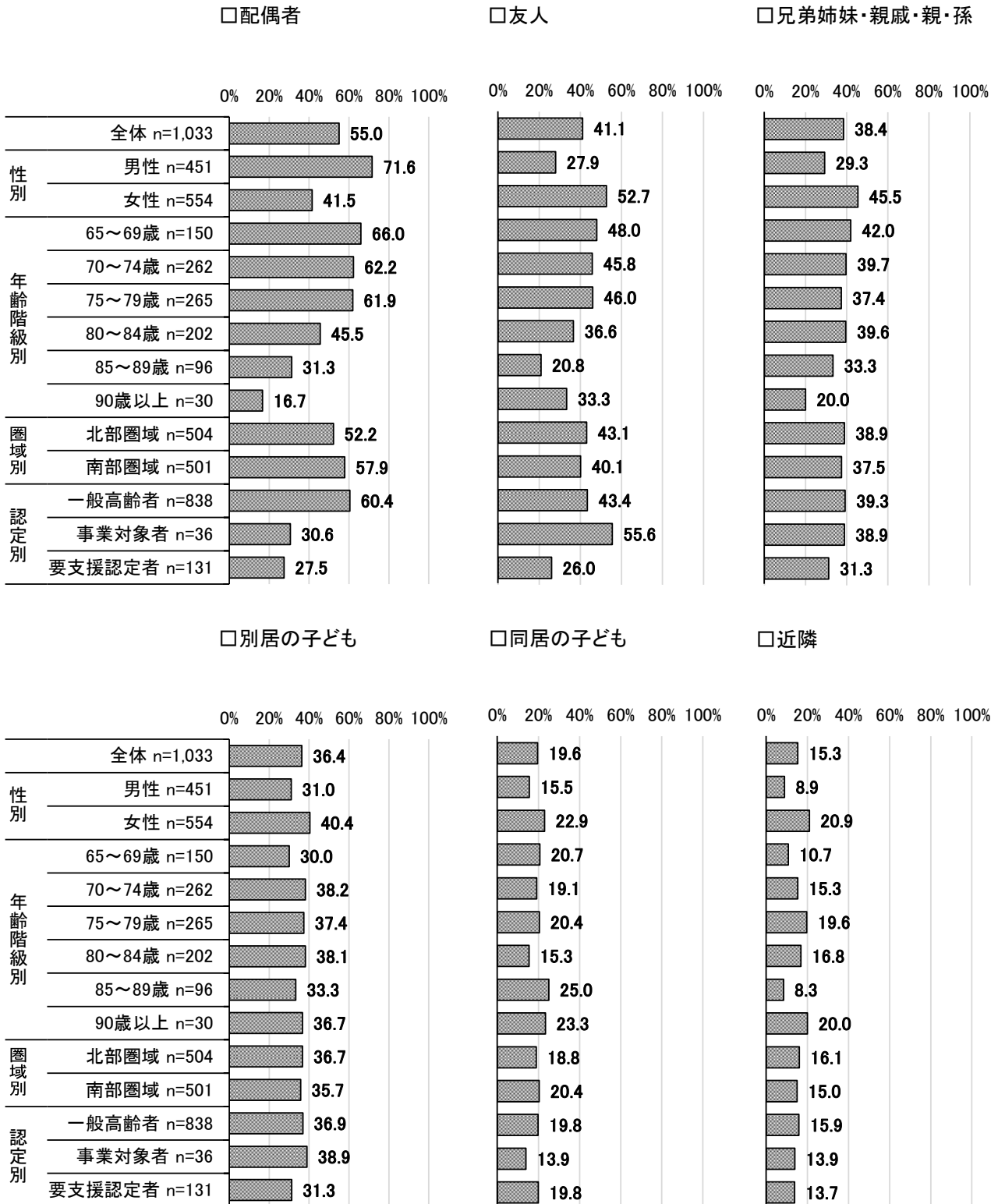
なお、「そのような人はいない」は 5.3%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

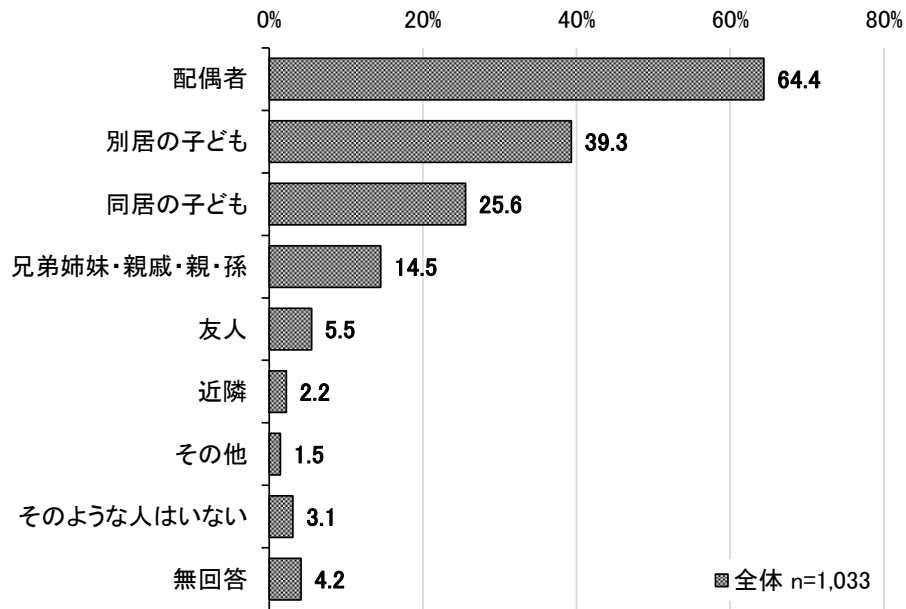
性別で見ると、男性では、「配偶者」が71.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が31.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が29.3%となっています。女性では、「友人」が52.7%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が45.5%、「配偶者」が41.5%となっています。

年齢階級別で見ると、年齢が上がるるとともに「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は減少しています。



Q3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

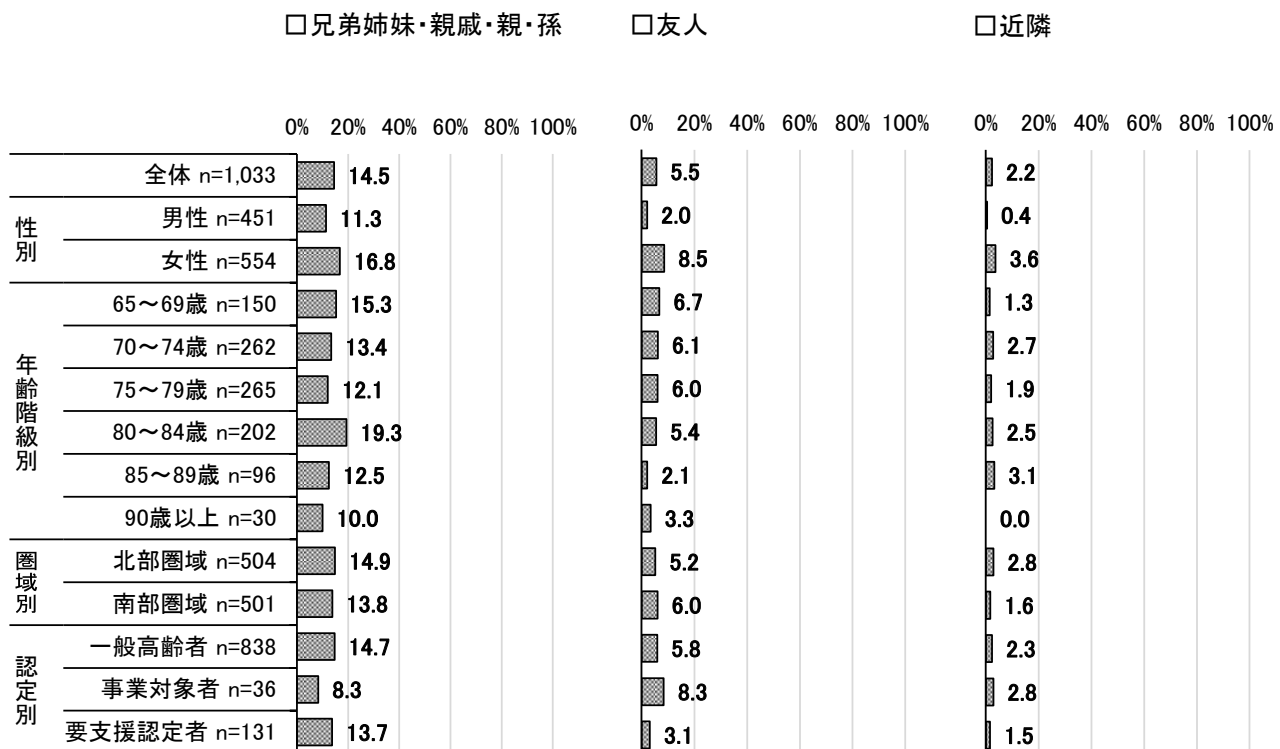
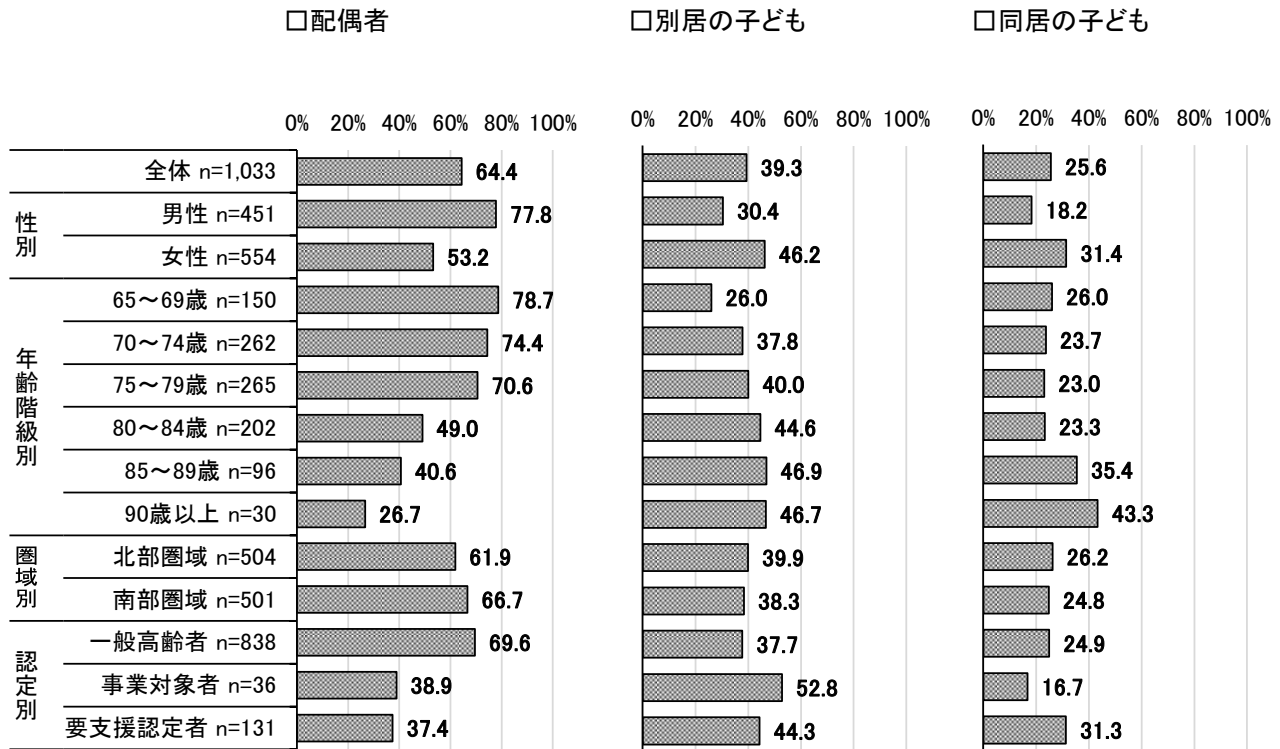
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、全体では「配偶者」が64.4%で最も高く、次いで「別居の子ども」が39.3%、「同居の子ども」が25.6%となっています。なお、「そのような人はいない」は3.1%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

性別で見ると、男性では、「配偶者」が77.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が30.4%、「同居の子ども」が18.2%となっています。女性では、「配偶者」が53.2%で最も高く、次いで「別居の子ども」が46.2%、「同居の子ども」が31.4%となっています。

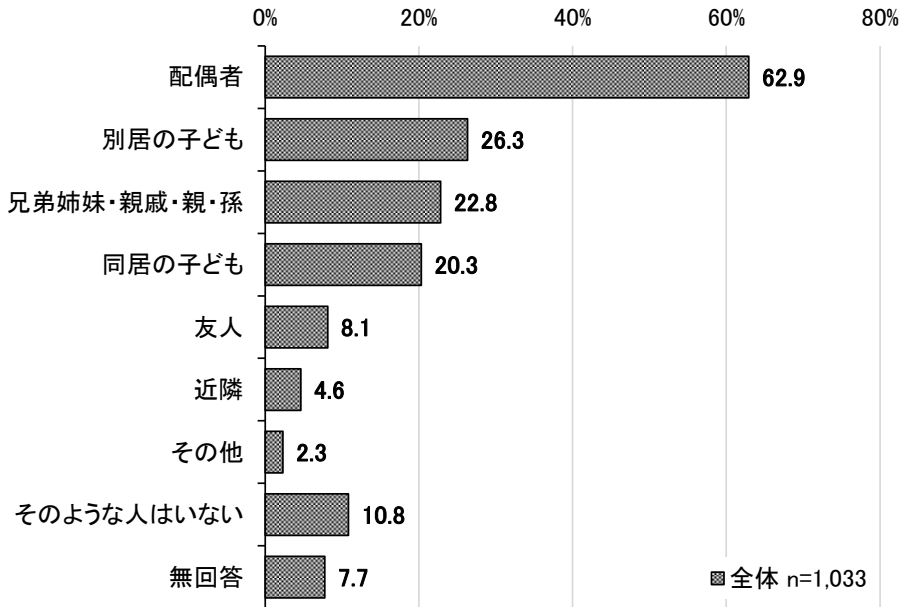
年齢階級別で見ると、年齢が上がるとともに「配偶者」は減少し、「別居の子ども」、「同居の子ども」が増加しています。



Q4. 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

あなたが看病や世話をしあける人については、全体では「配偶者」が62.9%で最も高く、次いで「別居の子ども」が26.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が22.8%となっています。

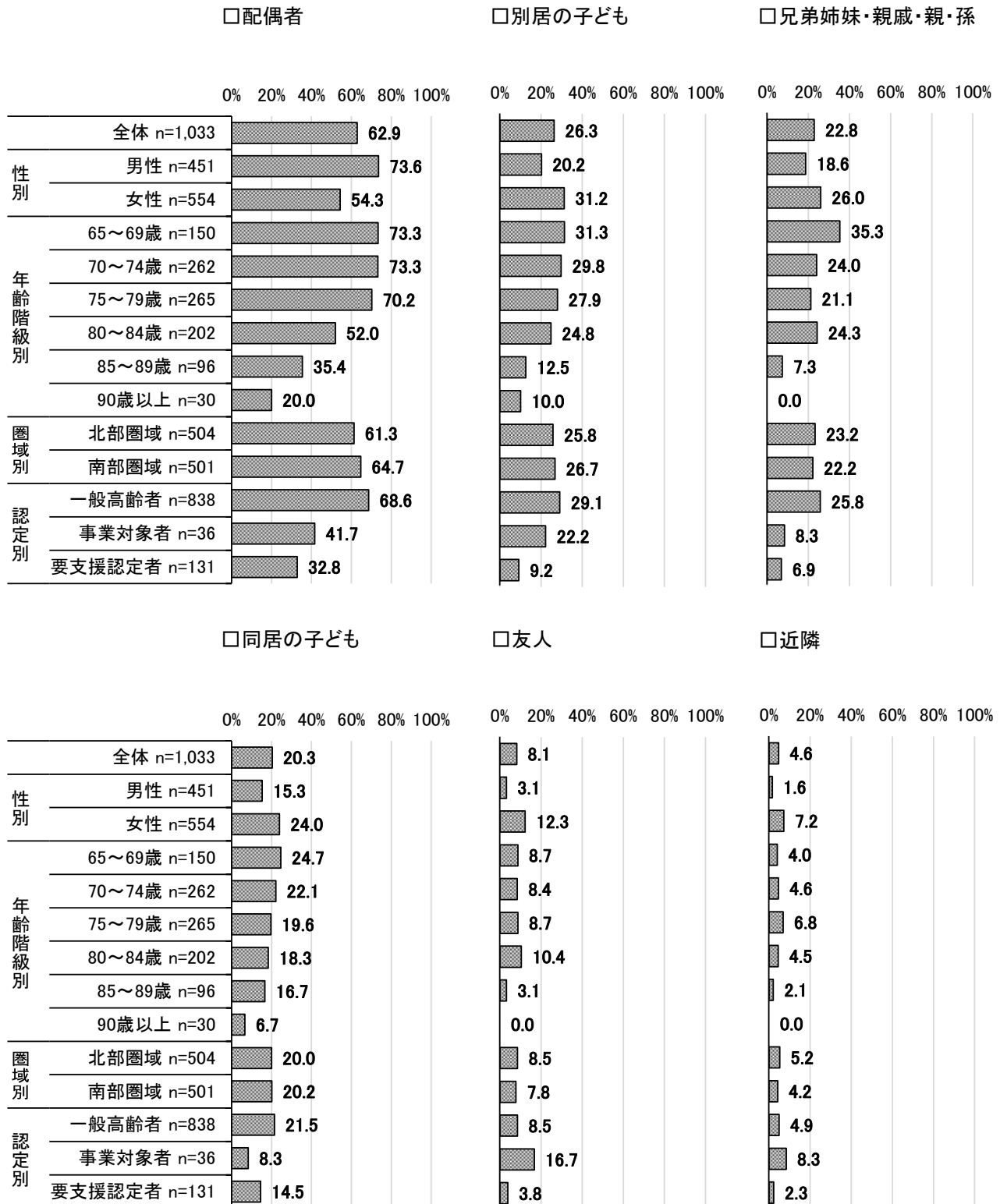
なお、「そのような人はいない」は10.8%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

性別で見ると、男性では、「配偶者」が73.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が20.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.6%となっています。女性では、「配偶者」が54.3%で最も高く、次いで「別居の子ども」が31.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.0%となっています。

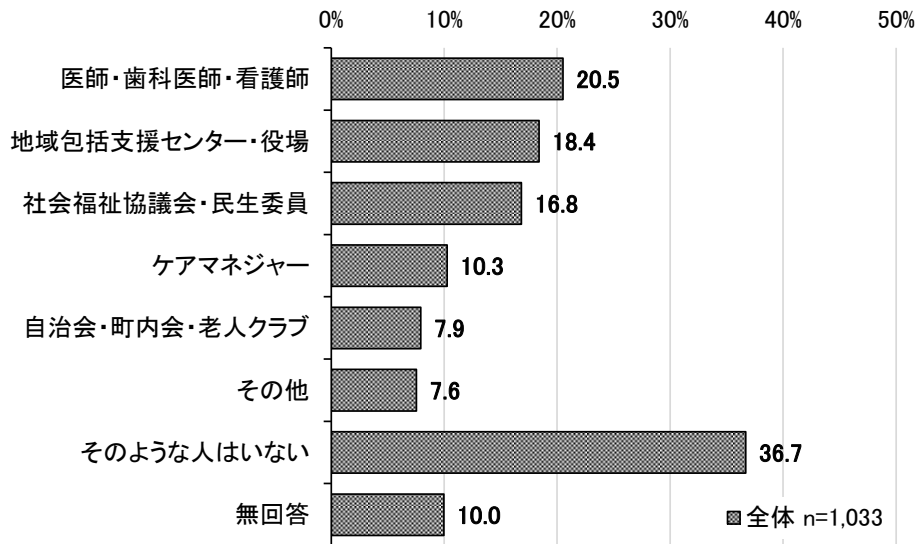
年齢階級別で見ると、年齢が上がるともに「配偶者」、「別居の子ども」、「同居の子ども」は減少しています。



Q5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、全体では「医師・歯科医師・看護師」が20.5%で最も高く、次いで「地域包括支援センター・役場」が18.4%、「社会福祉協議会・民生委員」が16.8%となっています。

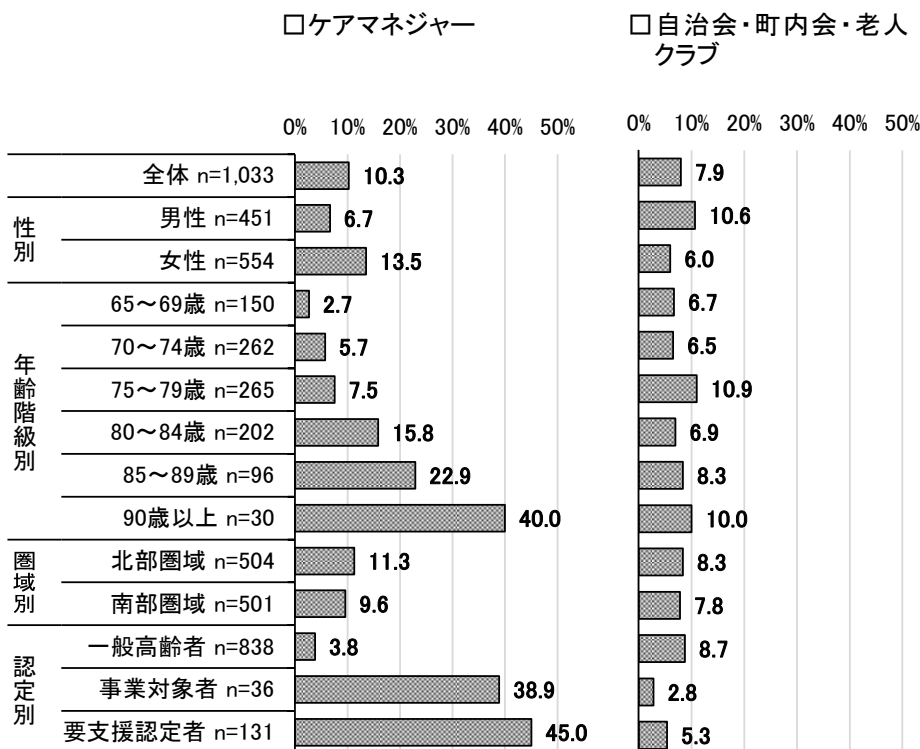
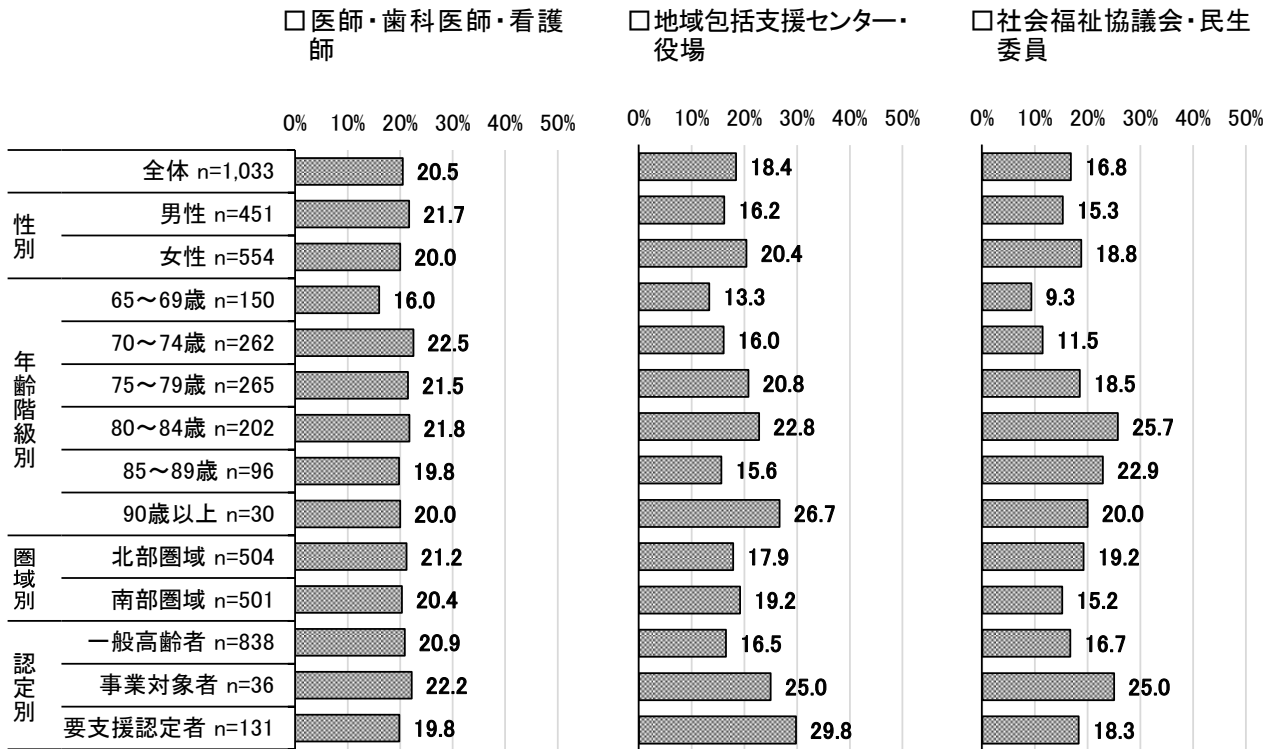
なお、「そのような人はいない」は36.7%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

性別でみると、男性では、「医師・歯科医師・看護師」が21.7%で最も高く、次いで「地域包括支援センター・役場」が16.2%、「社会福祉協議会・民生委員」が15.3%となっています。女性では、「地域包括支援センター・役場」が20.4%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が20.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が18.8%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「ケアマネジャー」は増加しています。

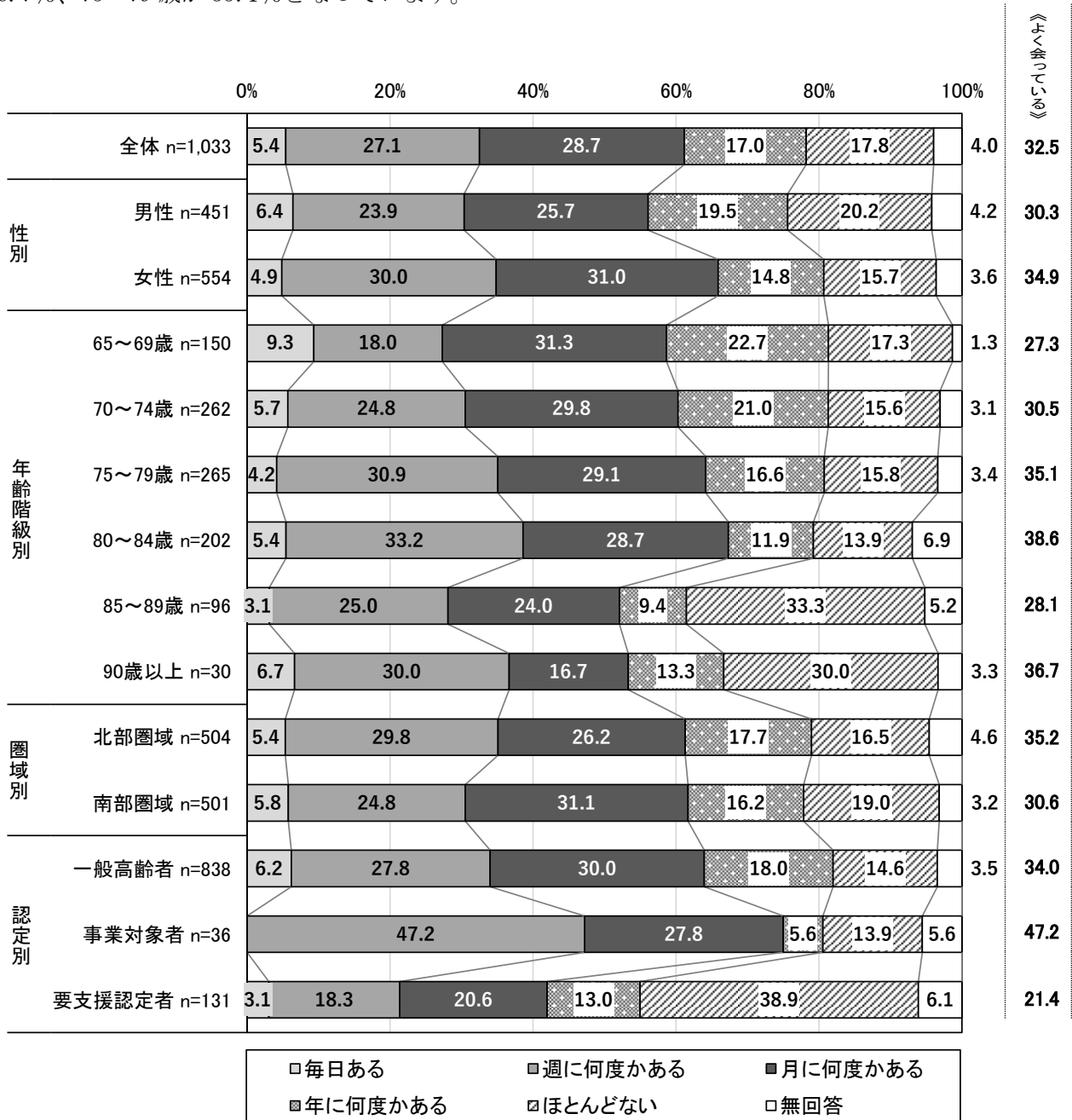


Q6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

友人・知人と会う頻度については、全体では「月に何度かある」が28.7%で最も高く、次いで「週に何度かある」が27.1%、「ほとんどない」が17.8%、「年に何度かある」が17.0%となっています。

性別でみると、「毎日ある」と「週に何度かある」の合計値《よく会っている》は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《よく会っている》は、80～84歳が38.6%で最も高く、次いで90歳以上が36.7%、75～79歳が35.1%となっています。

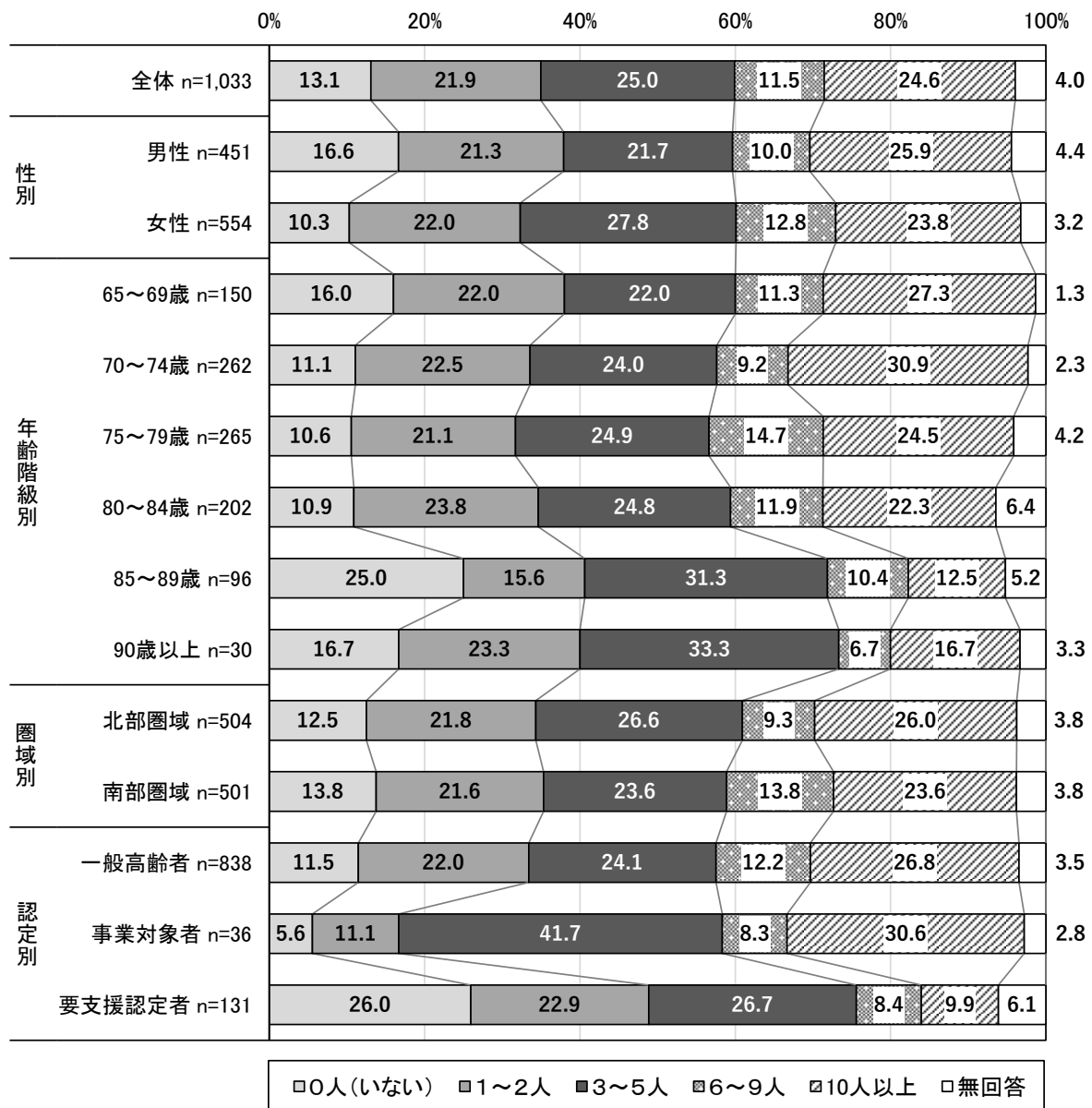


**Q7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）**

この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、全体では「3～5人」が25.0%で最も高く、次いで「10人以上」が24.6%、「1～2人」が21.9%、「0人（いない）」が13.1%となっています。

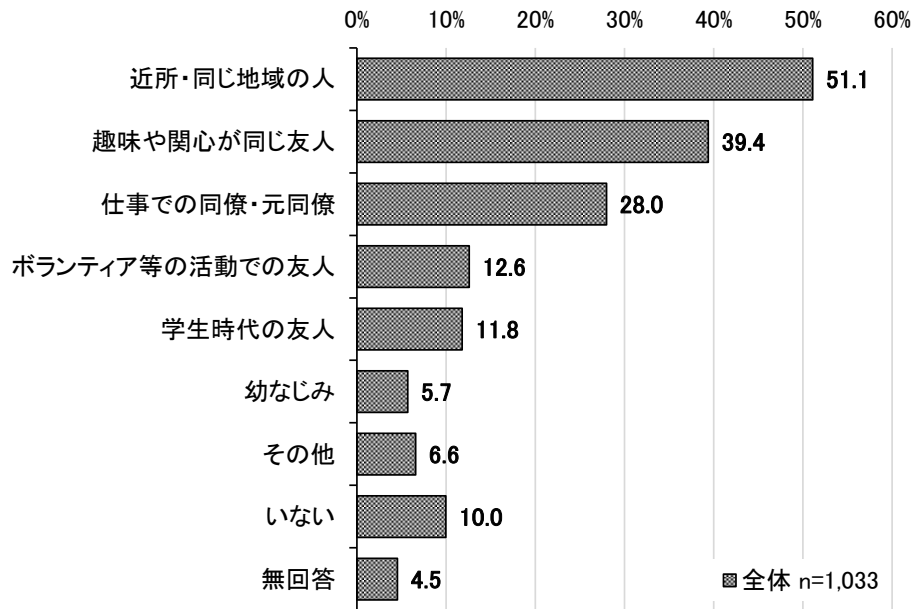
性別で見ると、「0人（いない）」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別で見ると、「0人（いない）」は、85～89歳が25.0%で最も高く、次いで90歳以上が16.7%、65～69歳が16.0%となっています。



Q8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

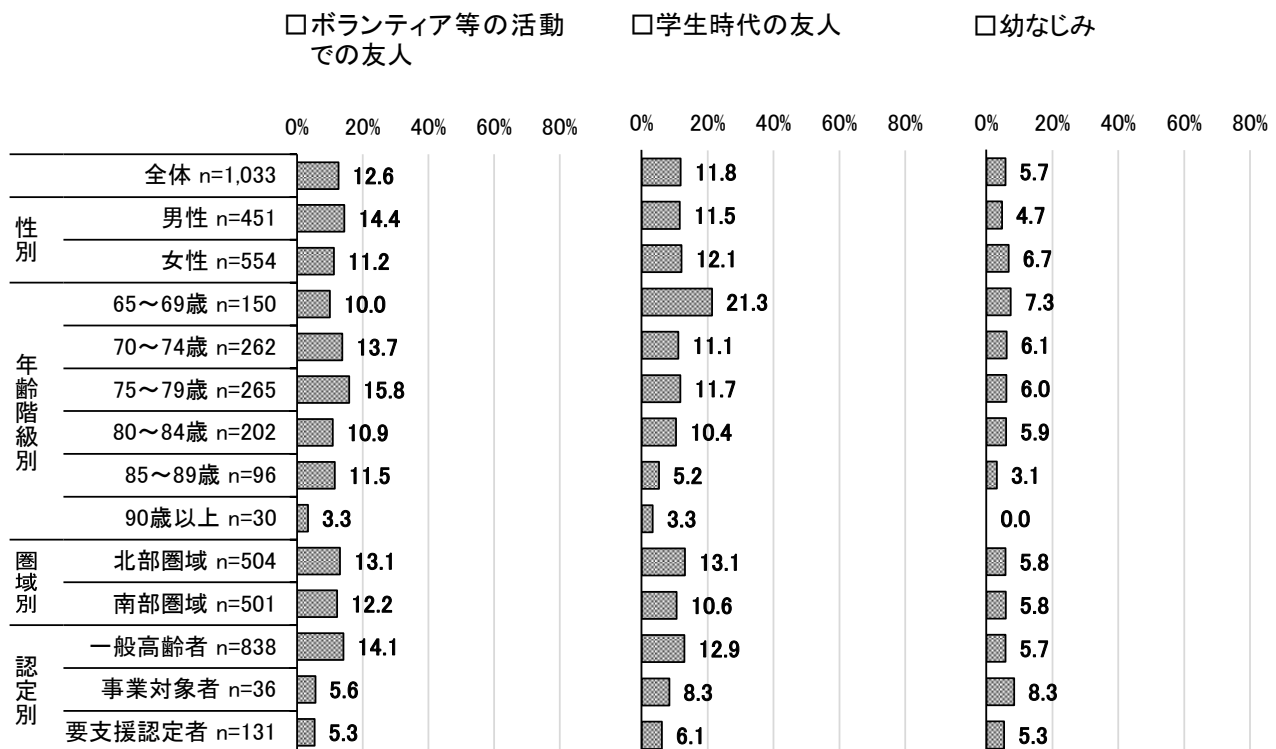
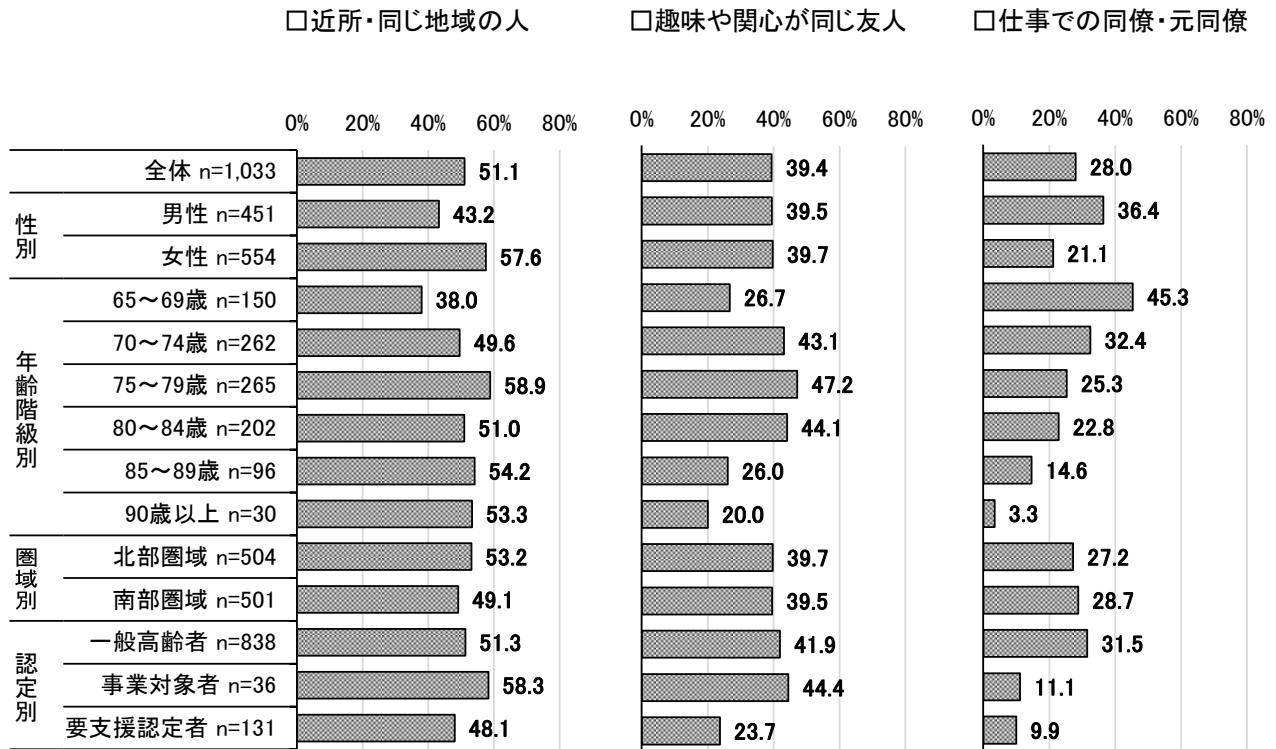
よく会う友人・知人の関係性については、全体では「近所・同じ地域の人」が 51.1%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 39.4%、「仕事での同僚・元同僚」が 28.0%となっています。なお、「いない」は 10.0%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

性別でみると、男性では、「近所・同じ地域の人」が43.2%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が39.5%、「仕事での同僚・元同僚」が36.4%となっています。女性では、「近所・同じ地域の人」が57.6%で最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が39.7%、「仕事での同僚・元同僚」が21.1%となっています。

年齢階級別でみると、年齢が上がるとともに「仕事での同僚・元同僚」は減少しています。

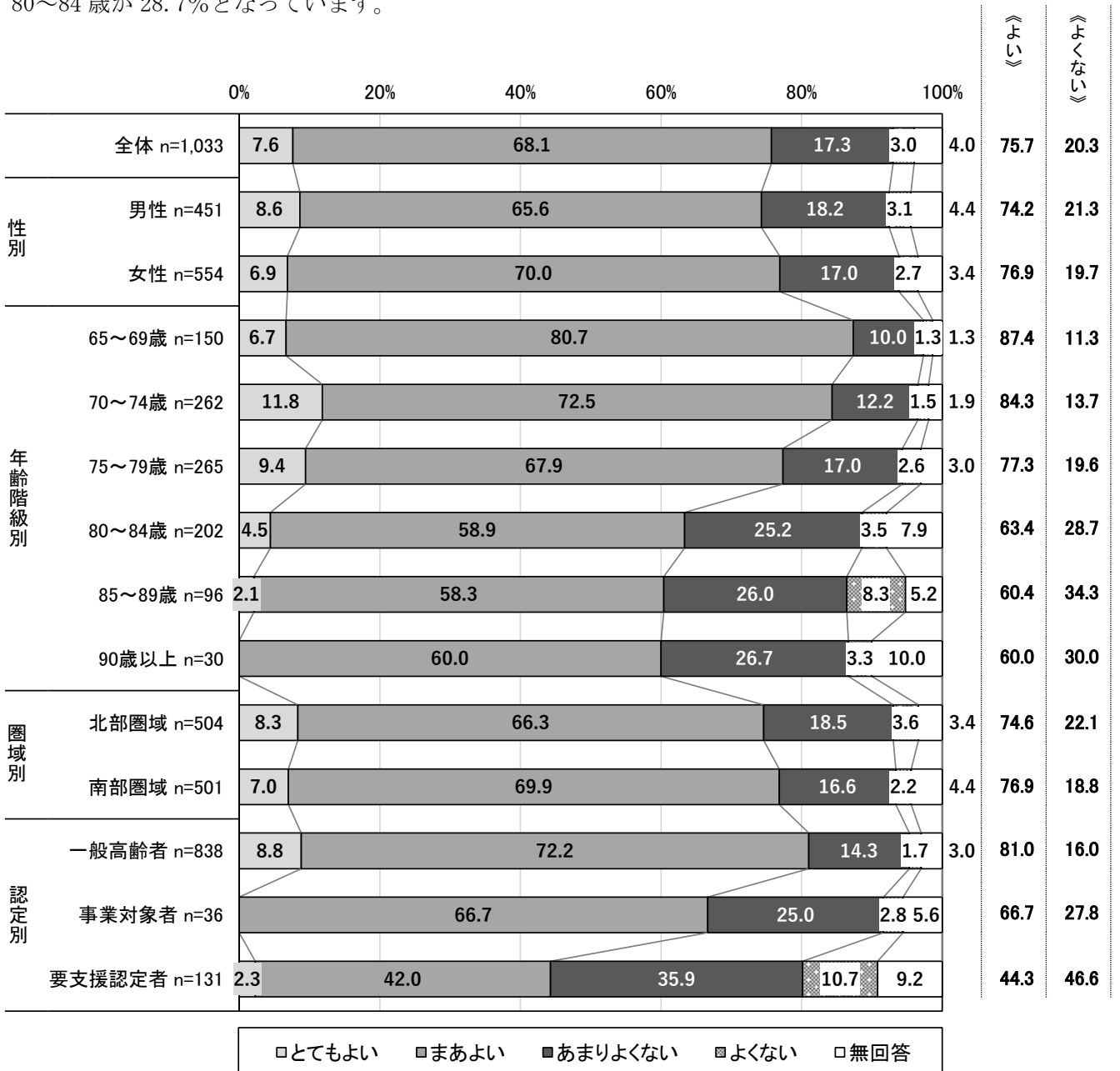


7. 健康について

Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）

現在の健康状態については、全体では「とてもよい」と「まあよい」の合計値《よい》が75.7%、「あまりよくない」と「よくない」の合計値《よくない》が20.3%と、《よい》が55.4ポイント上回っています。

年齢階級別でみると、《よくない》は、85～89歳が34.3%で最も高く、次いで90歳以上が30.0%、80～84歳が28.7%となっています。

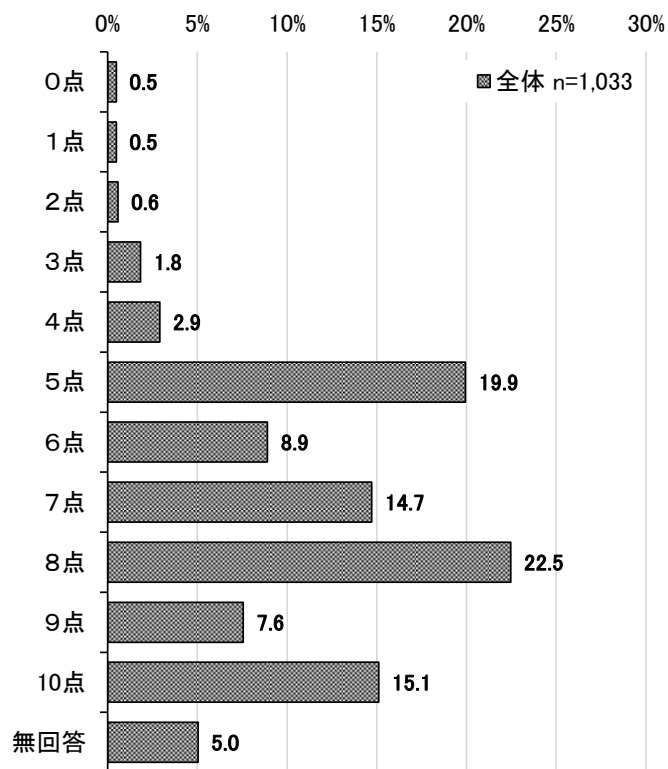


Q2. あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在の幸福感については、全体では「8点」が22.5%で最も高く、次いで「5点」が19.9%、「10点」が15.1%となっています。

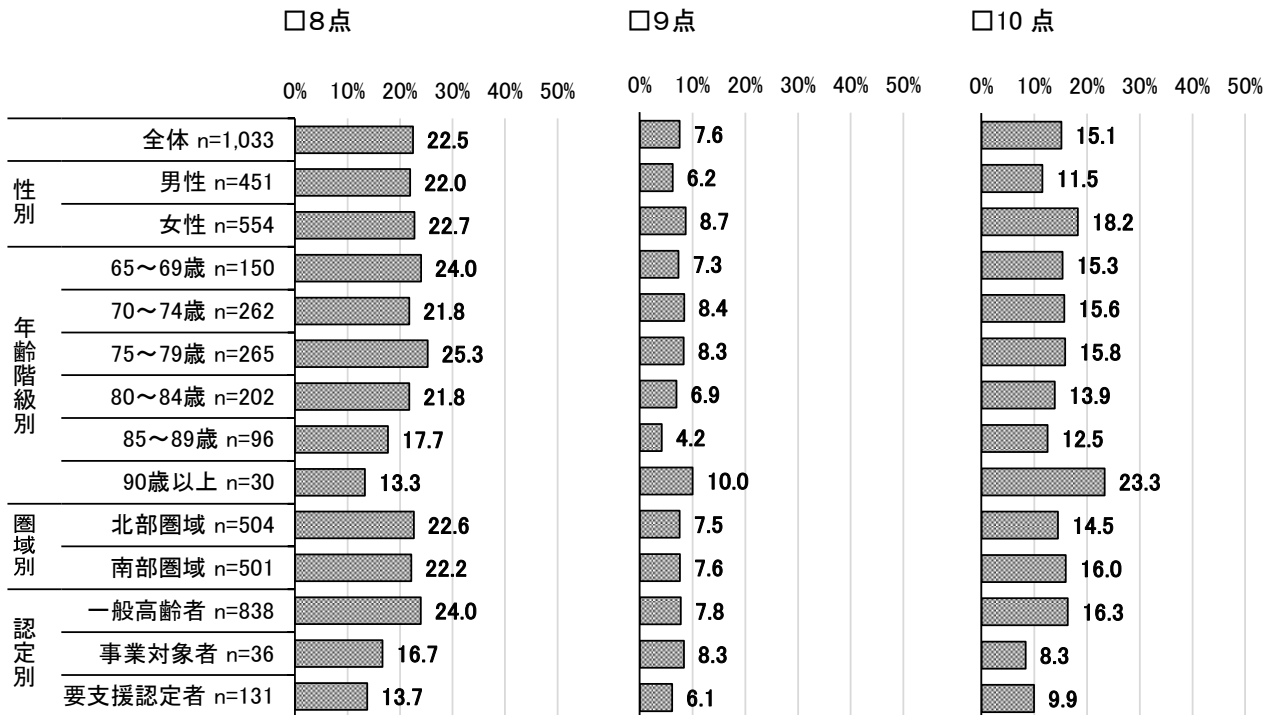
なお、「8点」～「10点」の合計値は45.2%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

性別で見ると、「8点」～「10点」の合計値は、男性が39.7%、女性が49.6%と、女性が9.9ポイント上回っています。

年齢階級別で見ると、「8点」～「10点」の合計値は、75～79歳が49.4%で最も高く、次いで65～69歳、90歳以上がともに46.6%となっています。

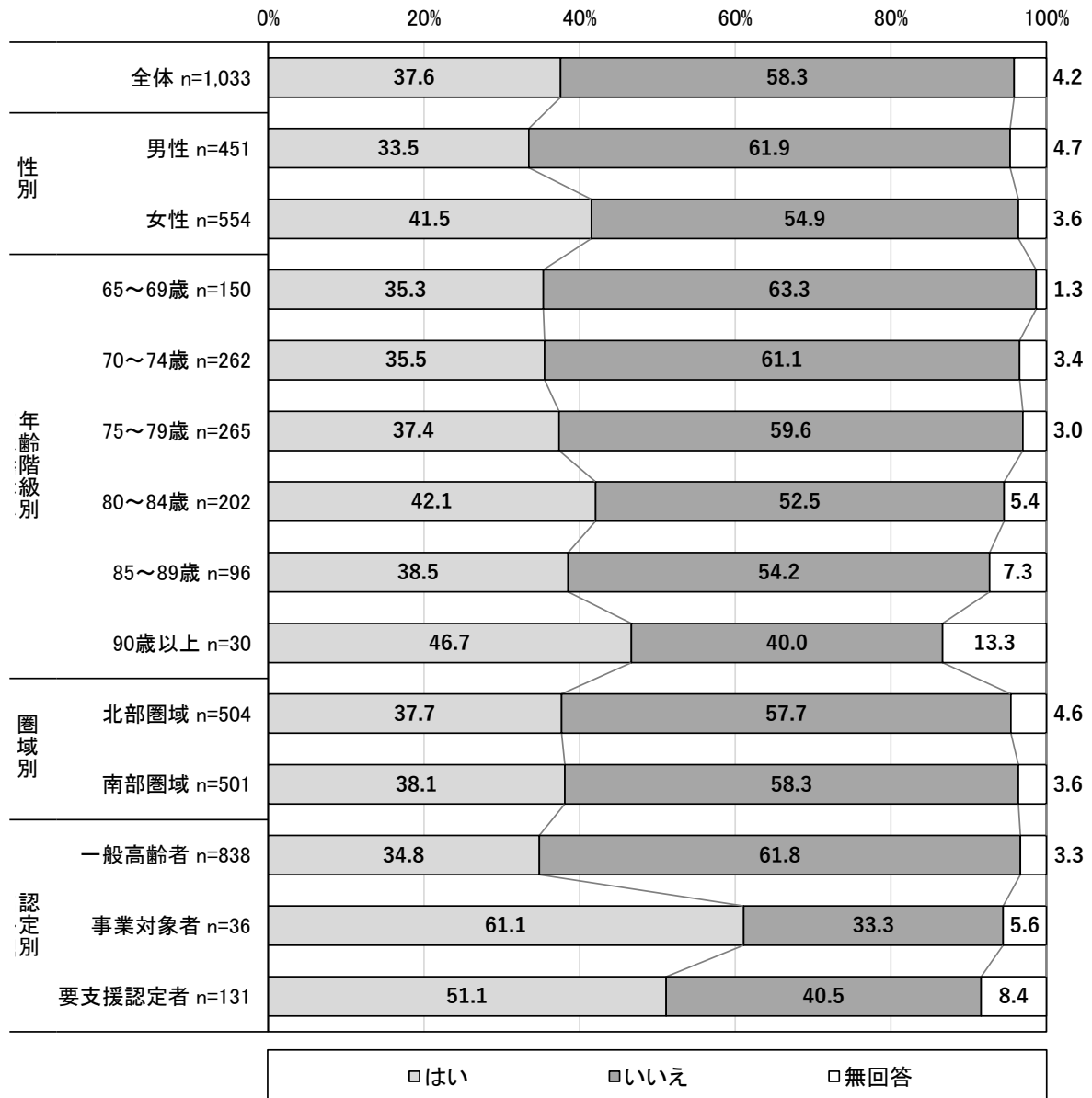


**Q3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか
(1つのみ)**

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、全体では「はい」が37.6%、「いいえ」が58.3%となっています。

性別でみると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

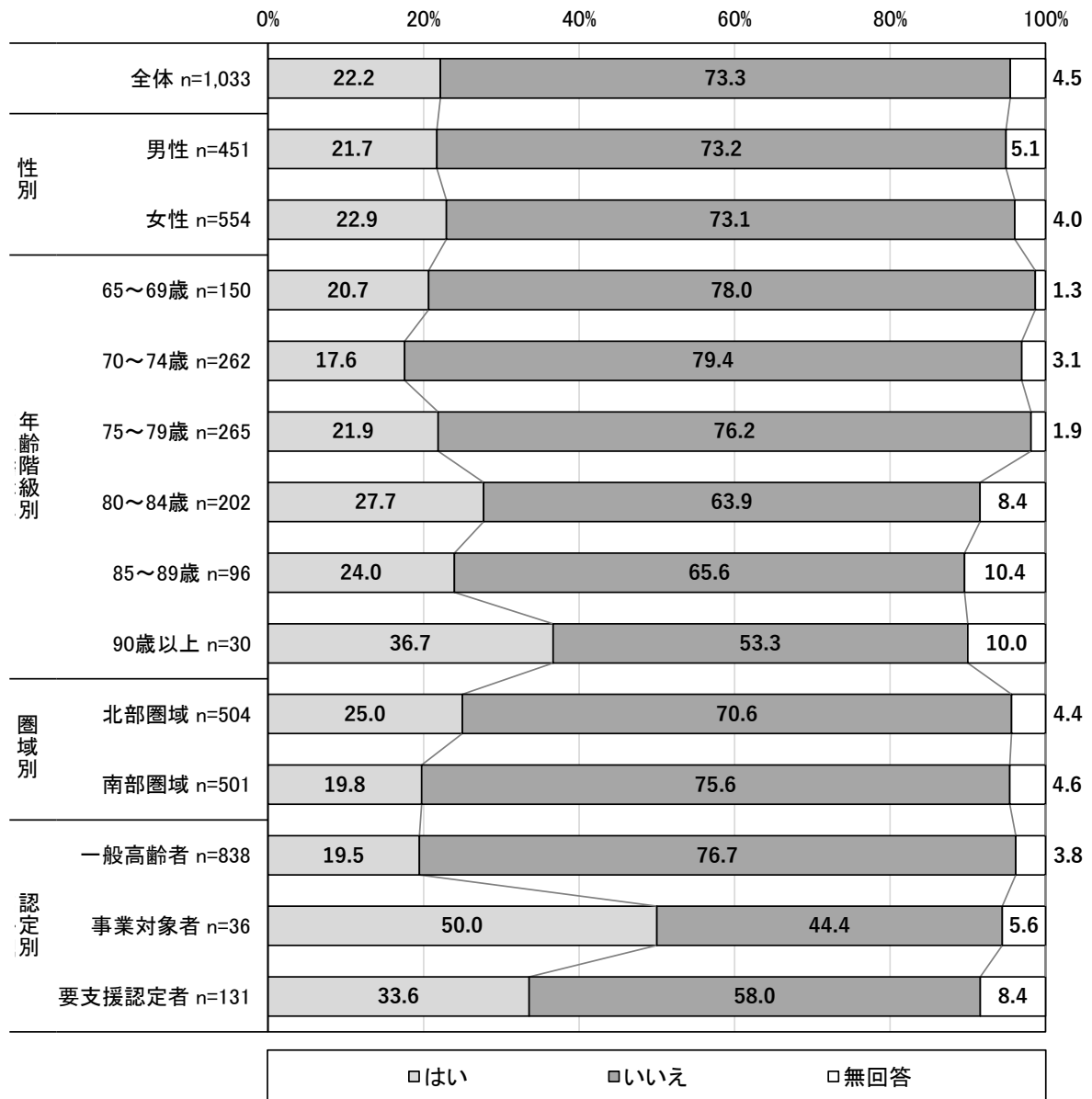
年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が46.7%で最も高く、次いで80～84歳が42.1%、85～89歳が38.5%となっています。



Q4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つのみ）

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、全体では「はい」が22.2%、「いいえ」が73.3%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、90歳以上が36.7%で最も高く、次いで80～84歳が27.7%、85～89歳が24.0%となっています。

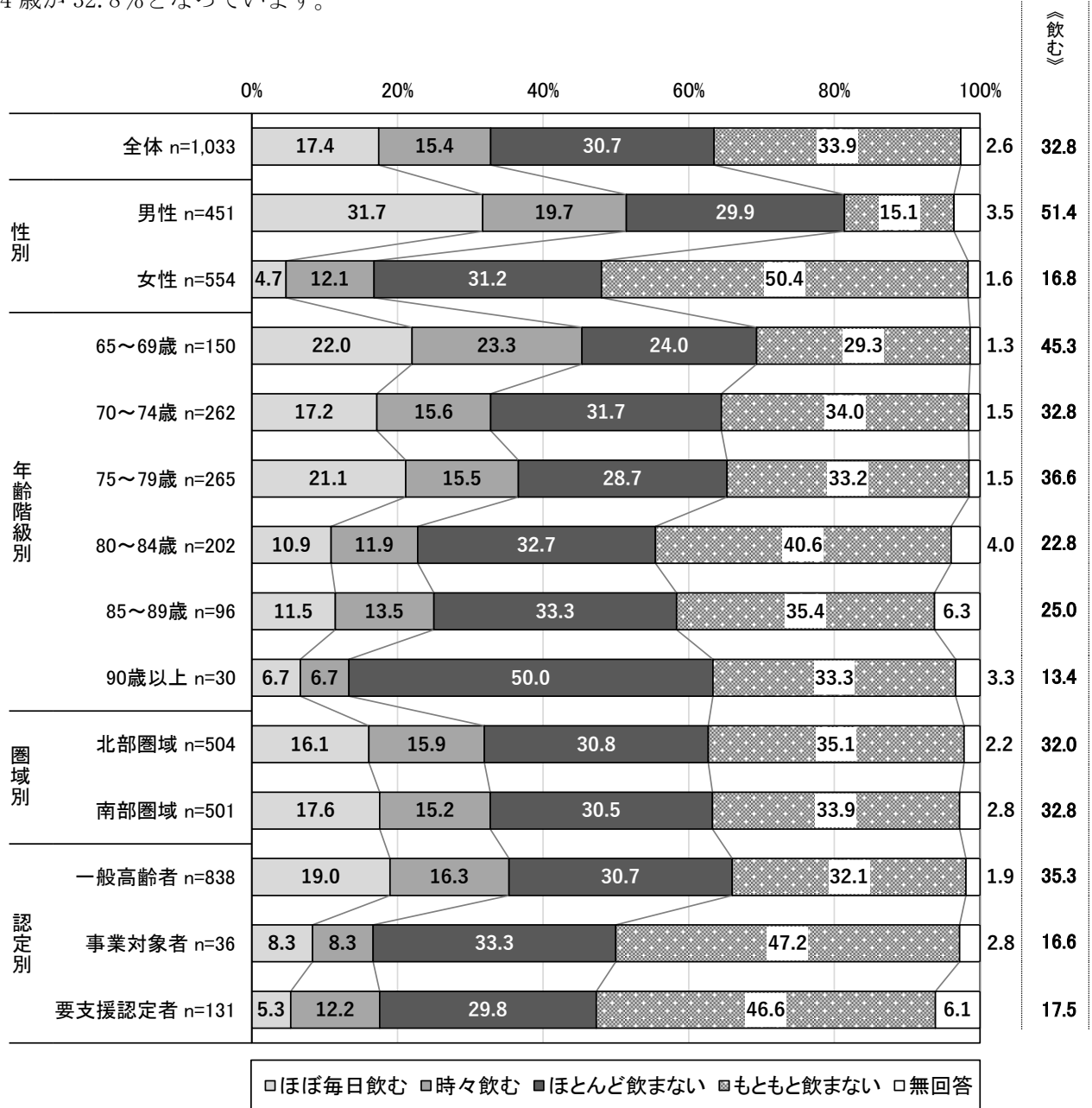


Q5. お酒は飲みますか（1つのみ）

飲酒状況については、全体では「もともと飲まない」が 33.9%で最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が 30.7%、「ほぼ毎日飲む」が 17.4%、「時々飲む」が 15.4%となっています。

性別でみると、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計値《飲む》は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、《飲む》は、65～69歳が 45.3%で最も高く、次いで 75～79歳が 36.6%、70～74歳が 32.8%となっています。

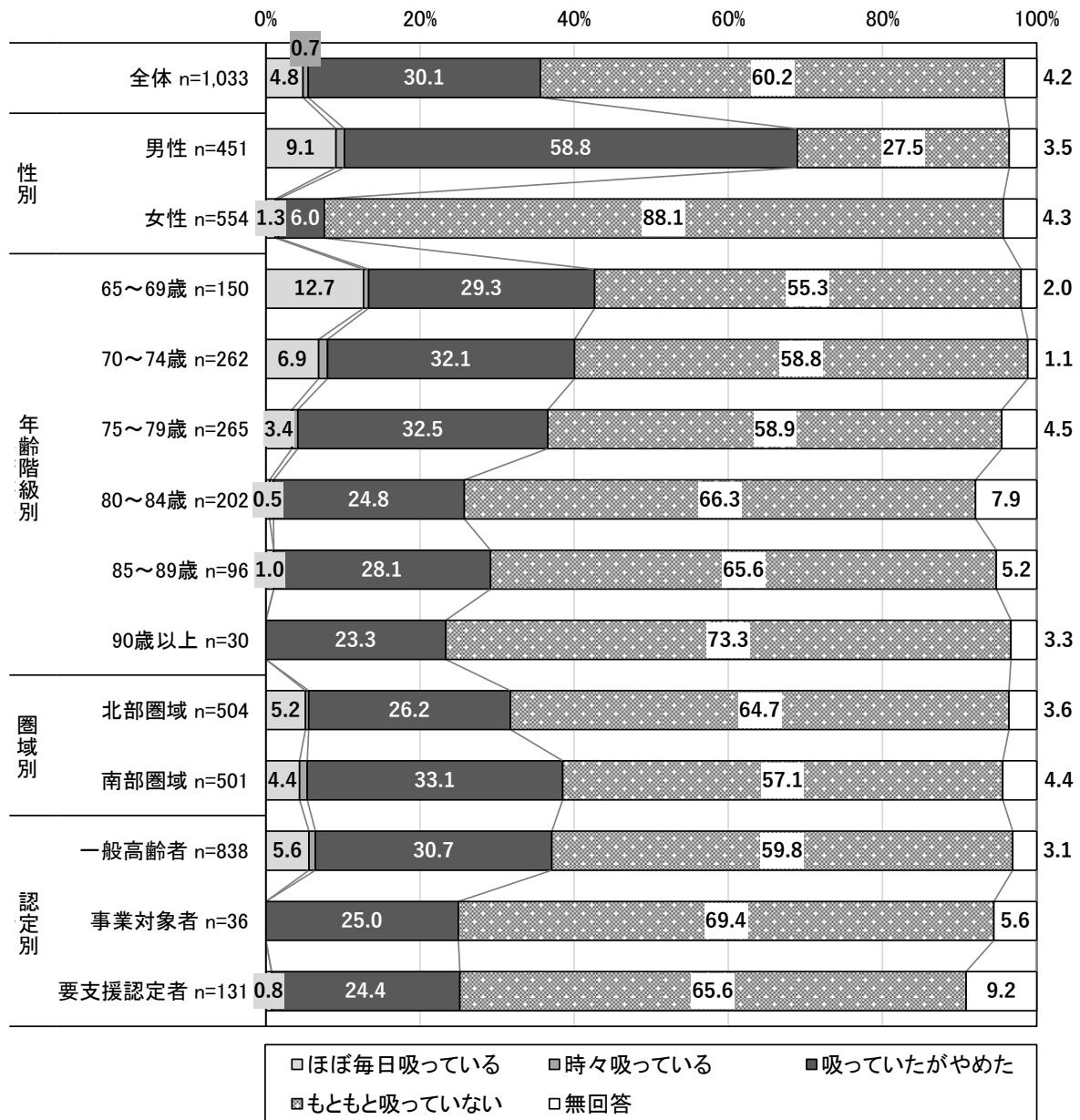


Q6. タバコは吸っていますか（1つのみ）

喫煙状況については、全体では「もともと吸っていない」が60.2%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.1%、「ほぼ毎日吸っている」が4.8%となっています。

性別でみると、「ほぼ毎日吸っている」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「ほぼ毎日吸っている」は、65～69歳が12.7%で最も高く、次いで70～74歳が6.9%、75～79歳が3.4%となっています。



Q7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

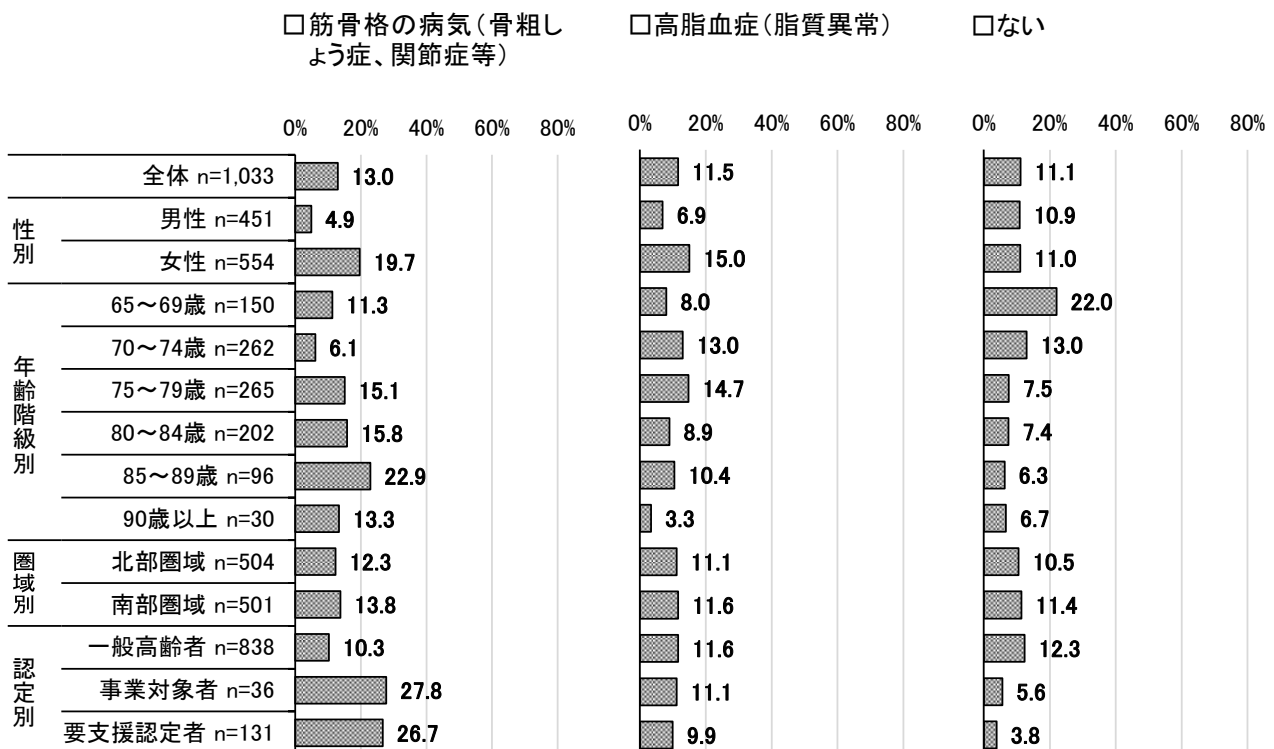
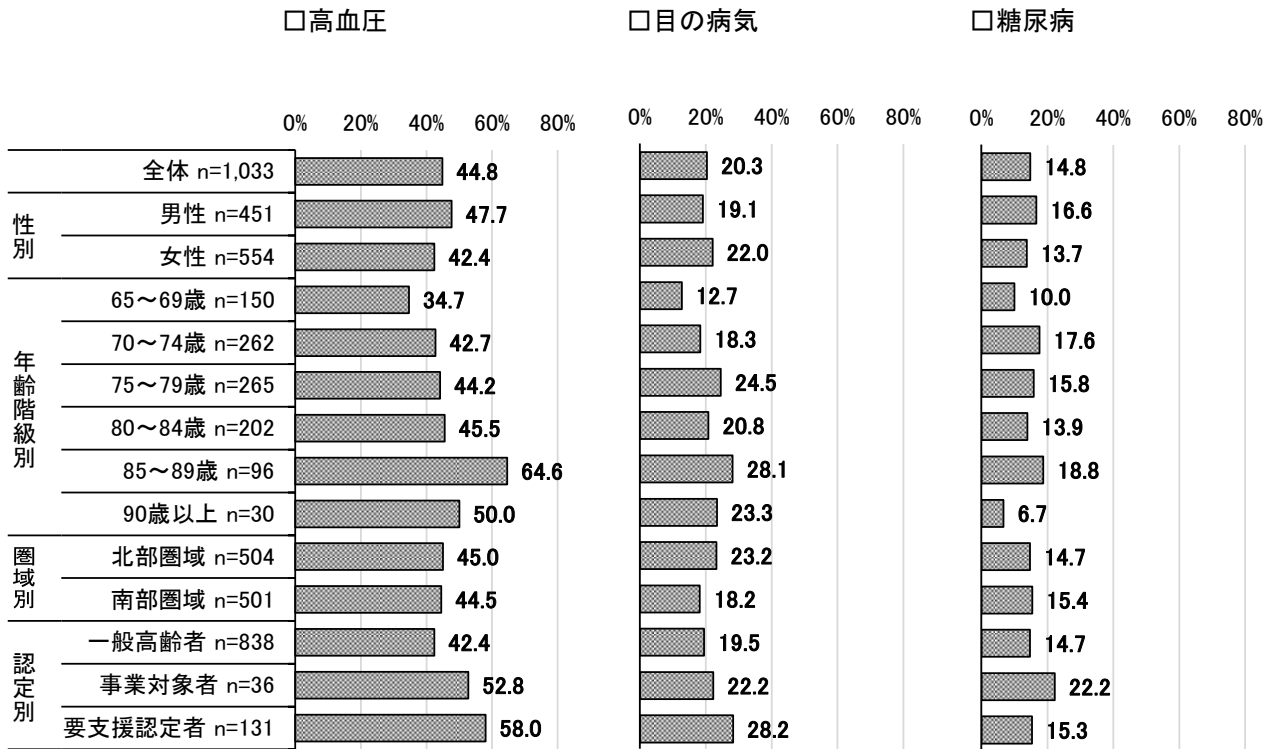
現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、全体では「高血圧」が44.8%で最も高く、次いで「目の病気」が20.3%、「糖尿病」が14.8%となっています。
 なお、「ない」は11.1%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「高血圧」が最も高くなっています。性別による差がみられる病気としては、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」で男性が4.9%、女性が19.7%と、女性が14.8ポイント、「高脂血症（脂質異常）」で男性が6.9%、女性が15.0%と、女性が8.1ポイント上回っています。

なお、「ない」は男性が10.9%、女性が11.0%となっています。

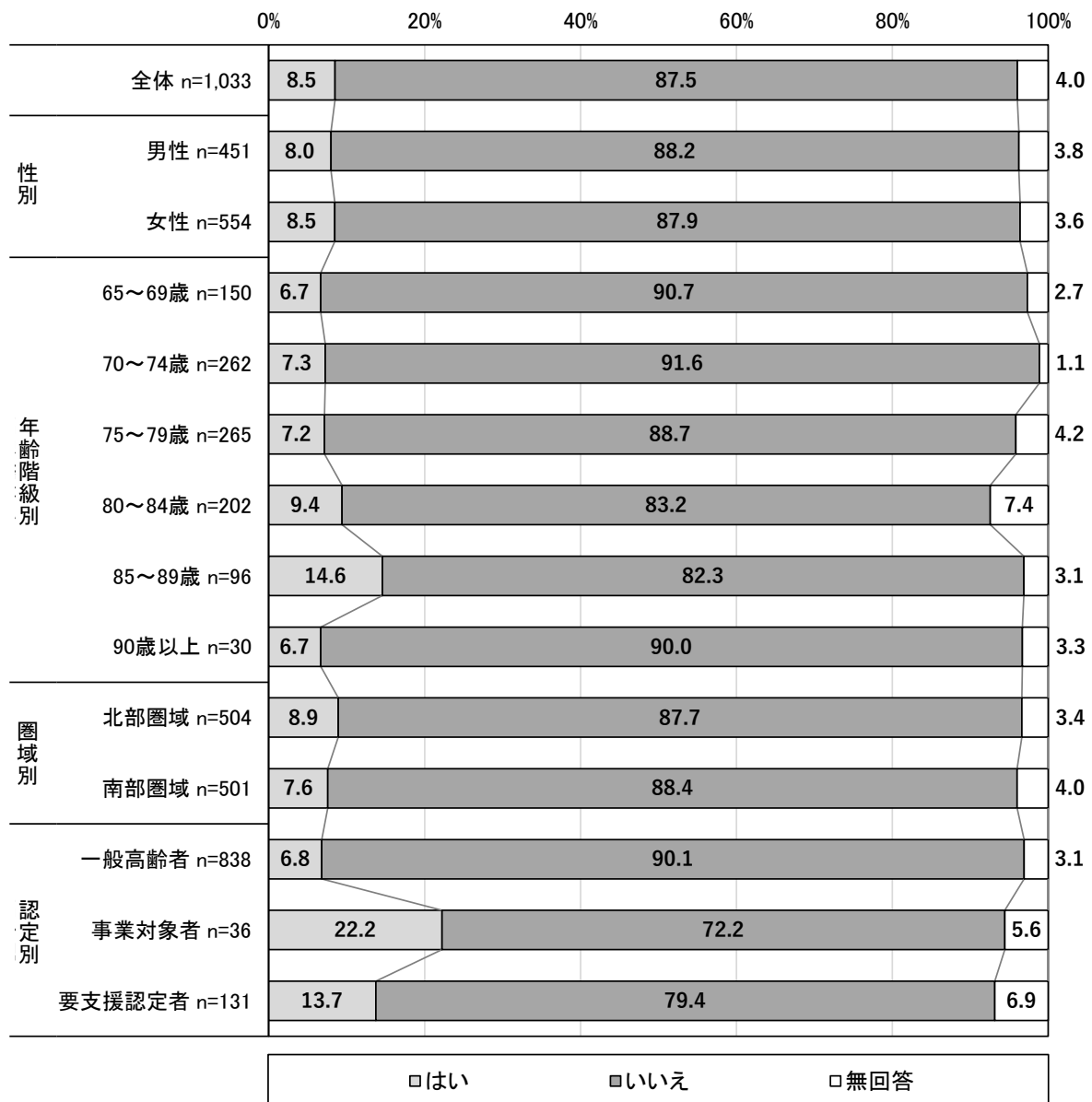


8. 認知症にかかる相談窓口の把握について

Q 1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか（1つのみ）

認知症の症状の有無又は家族に認知症の症状があるかについては、全体では「はい」が 8.5%、「いいえ」が 87.5%となっています。

年齢階級別でみると、「はい」は、85～89歳が 14.6%で最も高く、次いで 80～84歳が 9.4%、70～74歳が 7.3%となっています。

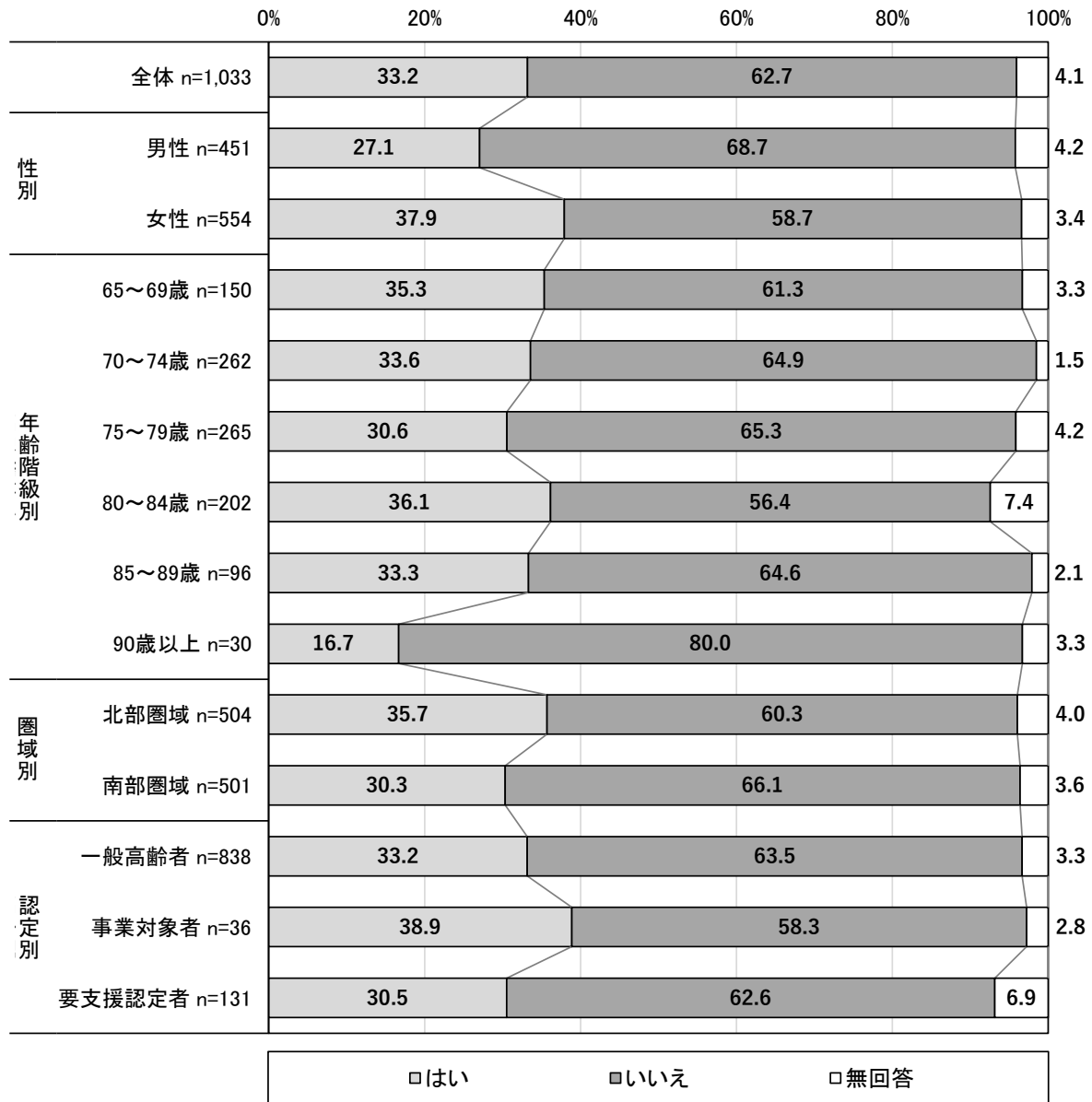


Q2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つのみ）

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、全体では「はい」が33.2%、「いいえ」が62.7%となっています。

性別で見ると、「はい」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別で見ると、「はい」は、80～84歳が36.1%で最も高く、次いで65～69歳が35.3%、70～74歳が33.6%となっています。

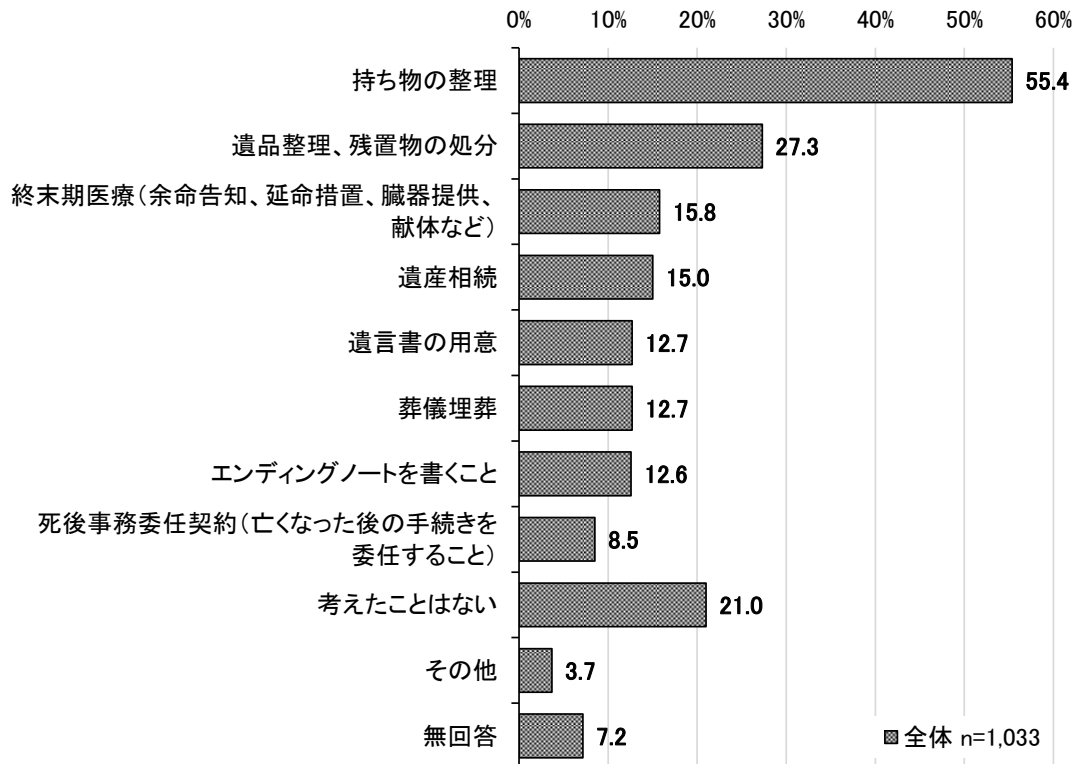


9. 終活や暮らしについて

Q1. 終活において、心配なこと、気になることは何ですか（いくつでも）

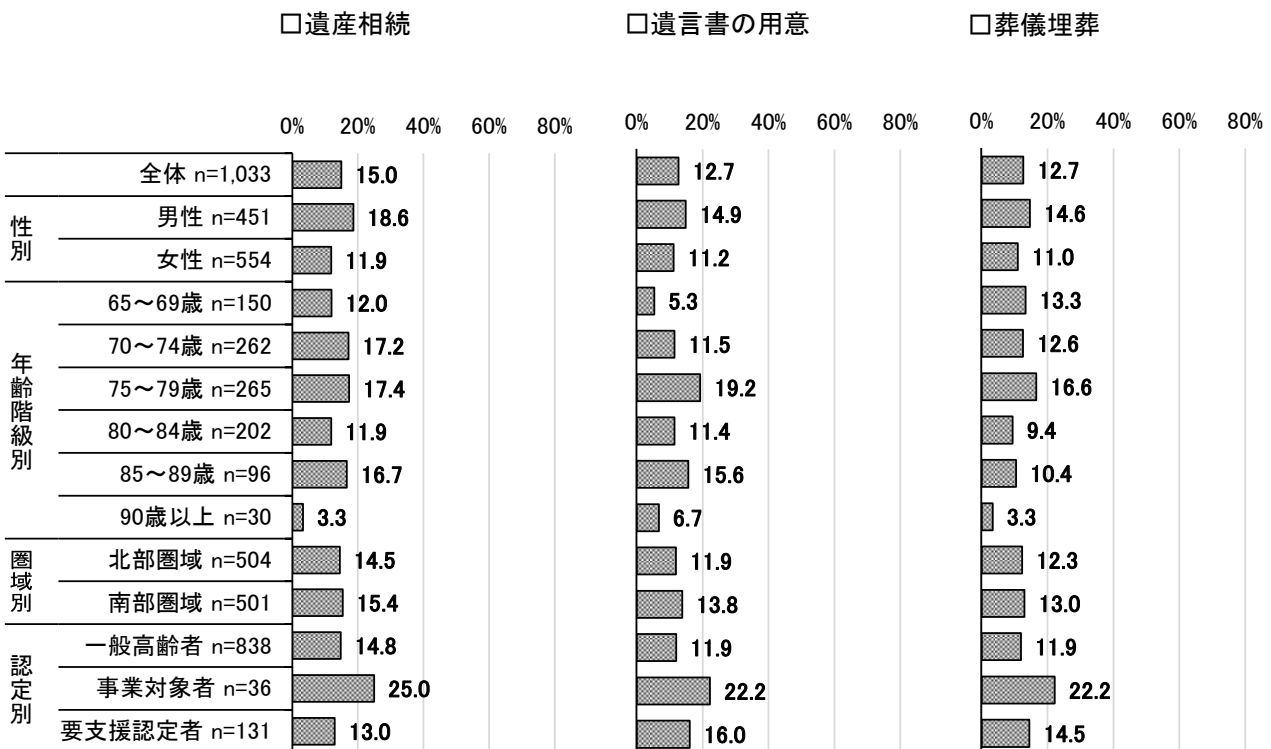
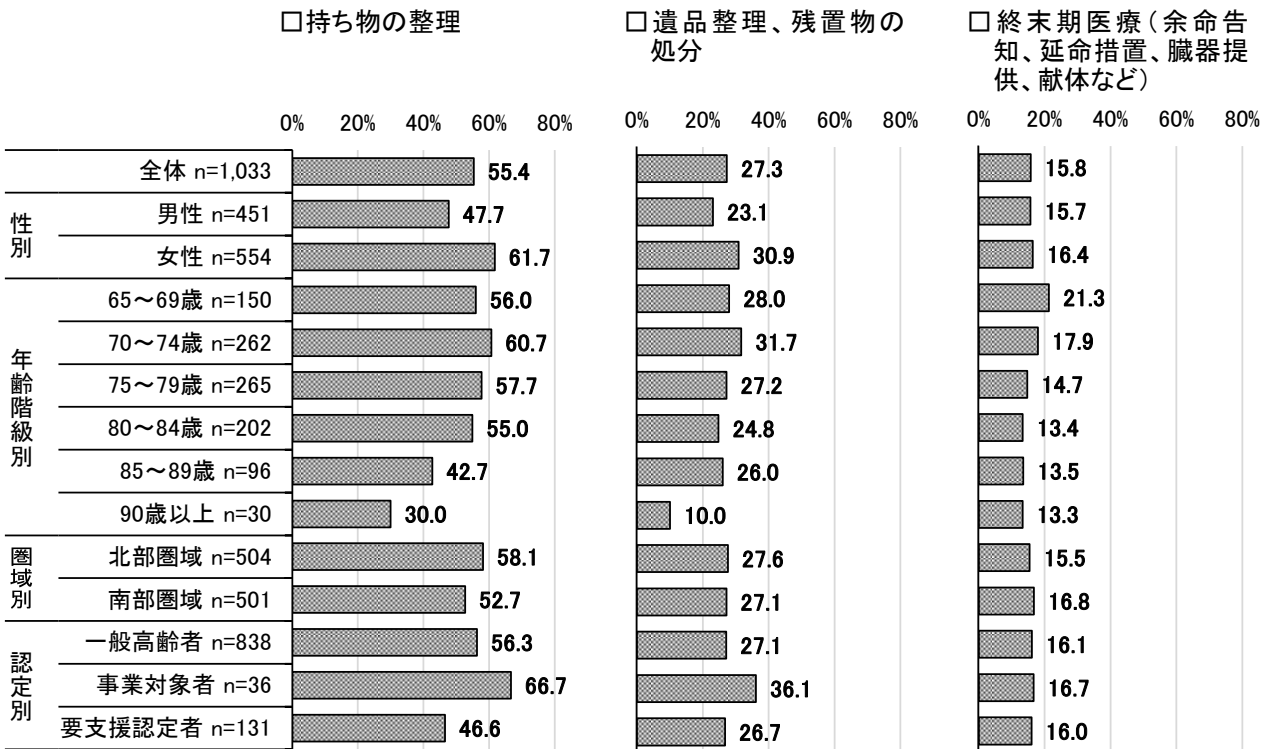
終活において、心配なこと、気になることについては、全体では「持ち物の整理」が55.4%で最も高く、次いで「遺品整理、残置物の処分」が27.3%、「終末期医療（余命告知、延命措置、臓器提供、献体など）」が15.8%となっています。

なお、「考えたことはない」は21.0%となっています。



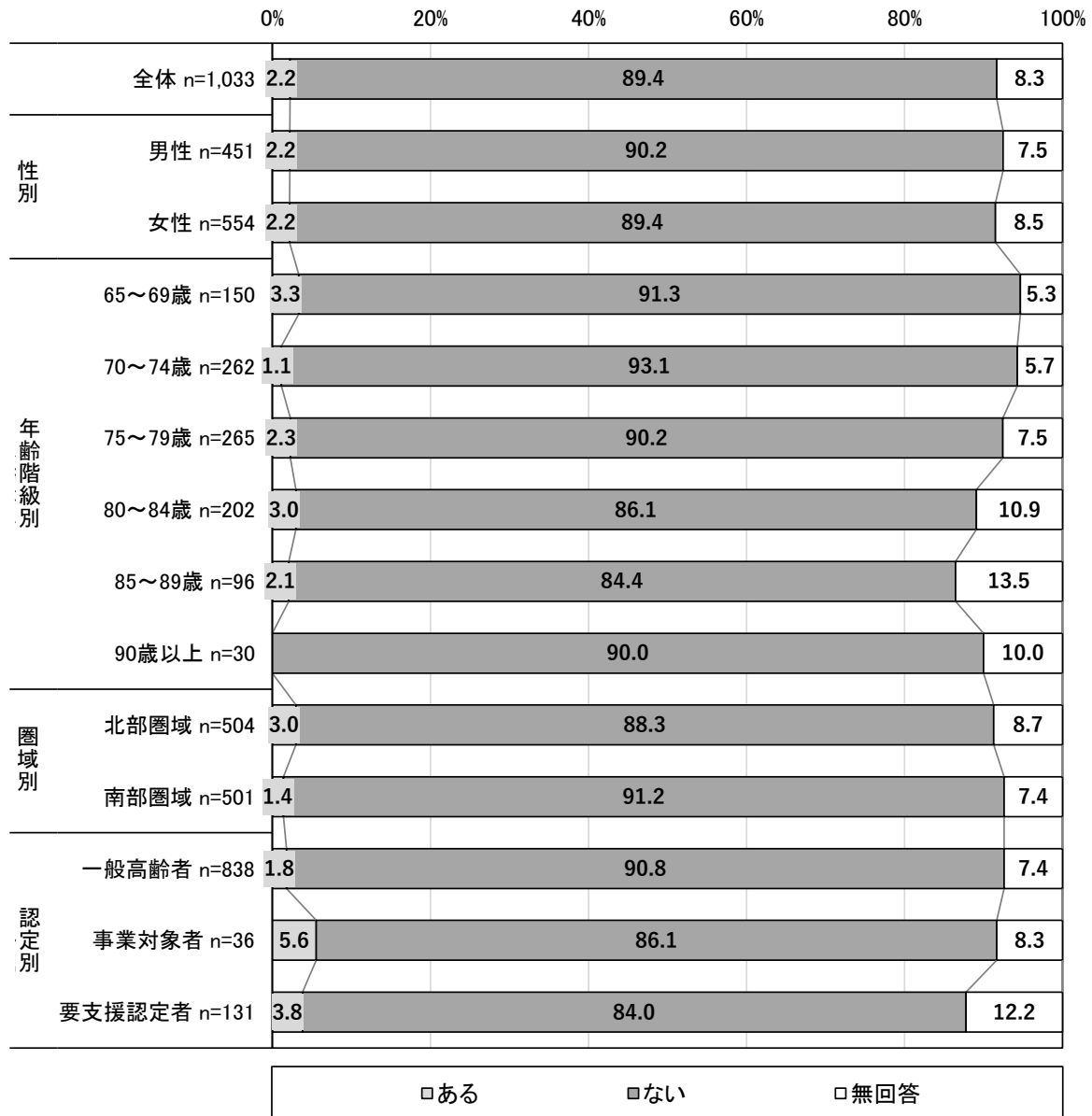
■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性では、「持ち物の整理」が47.7%で最も高く、次いで「遺品整理、残置物の処分」が23.1%、「遺産相続」が18.6%となっています。女性では、「持ち物の整理」が61.7%で最も高く、次いで「遺品整理、残置物の処分」が30.9%、「終末期医療（余命告知、延命措置、臓器提供、献体など）」が16.4%となっています。



Q2. 頼れる人や保証人等がおらず、病院への入院や施設への入所、住居の入居の際に困ったことや断られた経験はありますか。もしくはそのような不安はありますか（1つのみ）

頼れる人や保証人等がおらず、病院への入院や施設への入所、住居の入居の際に困ったことや断られた経験の有無については、全体では「ある」が2.2%、「ない」が89.4%となっています。

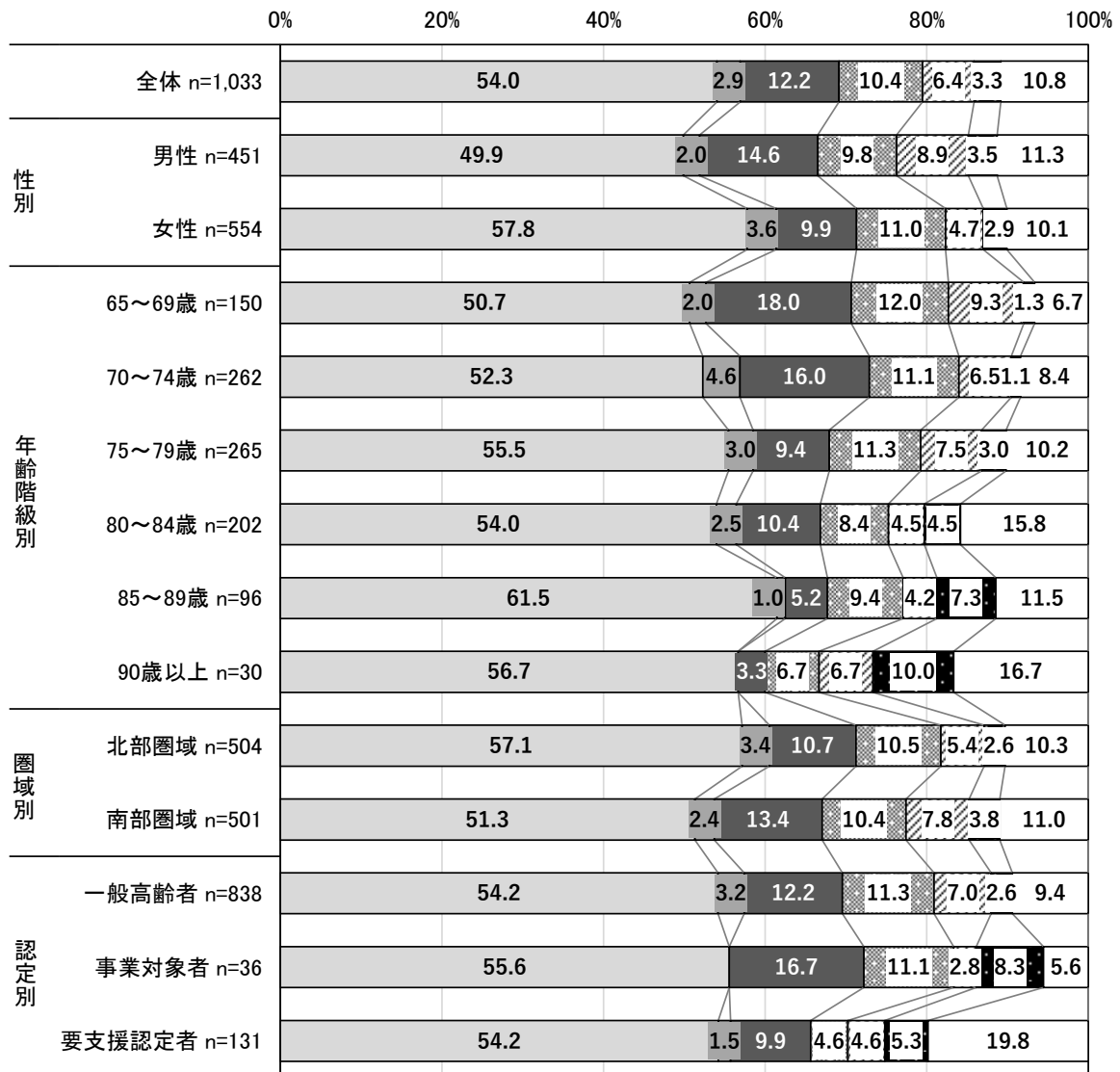


Q3. 一人暮らしとなり見守りをしてもらうなら、どのような手法が良いですか（1つのみ）

一人暮らしとなり、良いと思う見守りの手法については、全体では「家族による訪問や電話による見守り」が54.0%で最も高く、次いで「民間事業所による訪問の見守り」が12.2%、「人感センサーや本人が元気であることを知らせるスイッチ等」が10.4%となっています。

性別でみると、「家族による訪問や電話による見守り」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「民間事業所による訪問の見守り」は、65～69歳が18.0%で最も高く、次いで70～74歳が16.0%、80～84歳が10.4%となっています。



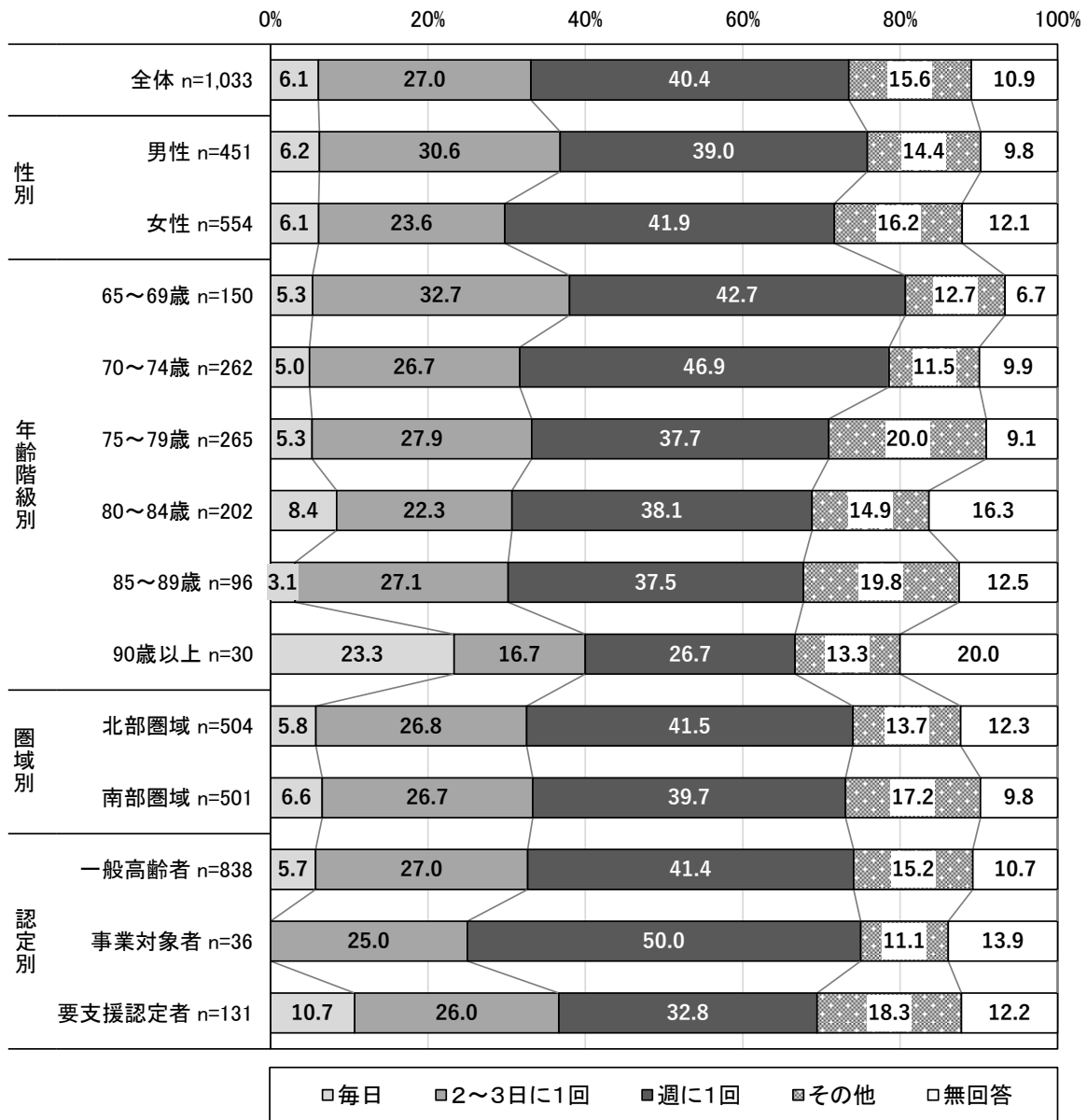
- 家族による訪問や電話による見守り
- 近所の人による訪問の見守り
- 民間事業所による訪問の見守り
- ▨ 人感センサーや本人が元気であることを知らせるスイッチ等
- ▩ 見守りは必要ない
- その他
- 無回答

Q4. 訪問による見守りをしてもらうなら、どのくらいの頻度が良いですか（1つのみ）

訪問による見守りで、良いと思う頻度については、全体では「週に1回」が40.4%で最も高く、次いで「2～3日に1回」が27.0%、「その他」が15.6%となっています。

性別でみると、「2～3日に1回」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

年齢階級別でみると、「週に1回」は、70～74歳が46.9%で最も高く、次いで65～69歳が42.7%、80～84歳が38.1%となっています。



10. 自由記述について

介護保険制度や高齢者福祉サービス等について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

寄せられた意見は、11項目に分類・整理し、一部内容を抜粋して掲載しています。

なお、ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を抜粋して掲載しています。

1. 「生きがいつくり・集いの場」に関すること

- 人との関係は歳を重ねるごとに孤独、話をするのが億劫になり、近所ではいざこぎに巻き込まれてしまったり、本当に難しい問題です。話ができる環境はボケ防止にもなるし、外出することで自分の身の回りを気にします。近所との関わりがなく、気にしないで話ができる場所があれば良いです。歳を取ってもできるボランティアも元気になる素と思います。
- 高齢者でも専門家の多い村です。専門家としての知識を活かせる研修会などがあってもいいと思います。専門分野別に経験を活かせることはできないか、生きがいへの役に立つと良いと思います。
- 共同墓地があったら良いと思います。
- 散歩の途中に休める椅子がほしいです（例：駅前通り、絆への道）。
- コロナですっかり身体を動かす事もなく、水中ウォーキングをしていましたが、すっかり身体が重くなり筋肉の衰えで足腰が弱くなりました。主人を亡くして以来、散歩もしなくなり、本当に身体も心も弱くなりました。私は、聖書の勉強をしていますので、オンラインで仲間とお話が出来ますし、時々出掛けています。近所の人との交流は一切ありません。私の唯一の頼りは聖書を調べる事です。

2. 「介護予防・健康づくり」に関すること

- 高齢者筋トレを活用させていただいています。
- 介護保険や福祉サービス等を受ける前の段階での活動にも力を入れてほしいです。元気でいられる期間を長くする活動です。
- 自分の健康は自分で守りたいです。家族等に迷惑をかけたくないと思い、それなりに頑張っております。
- 出来るだけ介護サービスを受けまいよう努力して生活していきたいです。
- 色紙や広告の紙で良いので、色々な物を折る、作る、無理をしない程度で体操をやる事です。少しでも草取りをやる事です（掴む力をつける）。

3. 「地域の支え合い・見守り・生活支援」に関すること

- 介護のための家の改修、器具等への補助金について、状況に応じて柔軟に限度額の増額などがあればありがたいです。
- 95歳の要介護4の母との二人暮らし、妻も子どももないので、問9の内容が課題です。

- 草刈りや庭木の手入れが困難になるので、どうしたら良いか困っています。シルバー人材センターにお願いすることはわかっていますが料金が高いです。
- 問9 Q 4は、要介護状態によって、希望する頻度が違うと思います（健康状態によっても）。
- 2人なので、1人になった時が心配です（子ども達は帰ってこないため→家には戻らないの意味）。
- 今は夫婦二人で生活しているが、一人になった時を心配しています（子ども達は家に帰ってこないと言っている）。
- 民生委員の方がまめに来てくださいました。嬉しいです。ありがとうございます。ケアマネの方には電話をして、いろいろと報告していて良く受けて下さる人です。ありがとうございます。毎日の介護が嫌にならなく、励みになっていました。素晴らしい人に出会って、感謝しています。ありがとうございます。
- 毎日、隣の方と声をかけ合って過ごしています。
- 要支援1・2においても生活の仕様、仕方が変貌しますので、必要な時に支援していただける便利屋のような登録制の人材支援制度ができるよう希望します。例えば、スマホの扱いの個人指導、電気関係の修理、住宅管理の支援等です。
- ご近所の一人暮らしの方の訪問を何年も前からしています。離れているご家族と連絡を取り合いながらです。村でも傾聴ボランティアが始まりましたが、自分の傾聴とはちょっと方向が違い退会しました。
- 介護保険は利用していませんが、先日、圧迫骨折で入浴ができませんでした。10日程我慢して、やっとシャワーを使うことができましたが、こんな場合はどうしたら良いのでしょうか。
- 高齢になると庭木の手入れが大変です。
- 今年4月から主人の病気で一時大変でした。もっと簡単に介護用品を、例えばベッド等、借りられたら良いと思います。
- 見守りは、週1回と回答しておきましたが、私の場合、毎日の生活は苦勞致しませんので、ありがたいと思っております。
- たまに弁当のサービスがあると良いです。食事づくりが面倒で手抜きしたいです。
- 移動スーパーが来ているが（現在、集会所）、遠く、帰りは買い物した荷物もあり、利用してやめました。できれば資源ごみ収集場所（保育園跡地）でも開店していただければありがたいです。
- 問9 Q 4の見守りは、その時々体調によるとと思いますが、週に1回ぐらいお話し相手ぐらいに来てもらえると良いと思います。
- 現在は夫婦二人での生活が出来ていますが、これから先、介護が必要になった時の事を考えると不安で一杯になります。どうか安心して生活出来る制度の充実をお願いいたします。
- 介護が必要になったら、互いに老老介護となり、どうなるのか不安です。施設に世話になる場合、費用の面が不安です。妻の介護が必要となったら一人での生活ができなくなります。子どもは二人いるが、子ども達は遠方で生活しており、生活状況を考えると頼ることは困難です。
- 一人暮らしになった場合、買い物や料理が不安（運転免許証返納済み）です。東海村地域包括支援センターに相談すれば良いのでしょうか。

- ゴミを所定の場所に持っていくことができなくなった時、どう対応すれば良いでしょうか。
- 退院後は転倒を恐れ、あまり動かなくなってしまいました。入浴もしておりません。日中、一人でテレビを見ている生活なので、少しでも話す相手や身体を動かす支援がいただけたら助かります。
- リサイクル、生ゴミ等廃棄物の処理について、集積場所が遠くて困っています。運べなくなった時を思うと、92歳です。

4. 「交通・移動支援」に関すること

- 免許を返納した後の日常生活が不安です。予約をしていないと利用できないシステムは少し考えてほしいです。急な用事に対応できないと思います。その度にタクシーを使うのは、今後の年金生活では考えにくいと思います。私達は高齢になっても自立した生活ができるように、市街地に引越しをしました。
- 免許証を返納した後の生活が不安です。デマンドタクシーは高いし、電話もなかなかつながらない、なかなか来ないという話を聞きます。まだ先の話だが、高齢者が免許証を返納した後の事を考えてほしいです。
- タクシー代の1/2負担です。はーとろーどの利用について、「東海村くらしの便利帳」でも良いので、利用するにあたっての注意事項、申請する際の必要事項等を掲載したら良いのではないのでしょうか（私は障害者なので、今は自分で運転しているが、免許を返納したら、この車社会で移動手段が大問題になってくる）。
- 現在、自分で運転して用事を済ませているが、免許返納後の交通手段の確保が心配です。
- 免許を返納した時、車で買い物が出来なくなることを考える時が来ました。
- 今は自分で運転して買い物に行っていますが、もし車が乗れなくなったら不便だなと思います。バスの停留所が近くになく、遠いので心配です。
- 外出しようと思っても途中で疲れた時、休む場所（椅子、ベンチ等）がないので外出を躊躇してしまいます。歩道の途中やスーパー、店舗等に椅子を常備して頂けたら、もっと外出できるのにと残念です。
- 運転免許証を返納した場合、スーパーへの買い物、銀行、病院などへの移動手段の充実をお願いしたいと思います。
- 2021年に大腸がんの手術をしました。そのあと免許更新も済ませましたが、今は怖くて運転していません。通院、買い物等は娘が頼りです。主人も80歳を過ぎていますし、これから先、自由に行動できないことが残念です。
- 公共の移動手段の充実です。
- 交通手段の充実です。デマンドタクシーがあるが、早朝・夜・日曜・祝日のサービスなし等、必要なときに利用できないことが多いです。病院・銀行・郵便局・駅・スーパー・コミセン等を巡回するミニバスを考えてほしいです。
- デマンドタクシーは1度も利用した事はないのですが、予約を取るのに前の日に予約を入れるとか、帰りの予約が入れないので、タクシーを呼んで帰ってくるのを聞きましたが本当でしょうか。今までは、病院に行くときは友達にお願いしてたのですが、友達も免許返納したので利用できません。
- 今は車があるが、運転が出来なくなったら買い物・病院の通院をどうすれば良いか考えさせられます。
- 高齢者の免許返納とそれに対する福祉サービスの充実です。

○買い物のできる店が駅周辺に偏っていて遠い人は困ります。分散してほしいです。出来ないのなら交通手段を頻繁に利用できることを考えてほしいです。

○私は 82 歳になる女性です。昨年、夫を亡くしています。もともと夫が運転する車に乗せてもらっていたので、今は、駅とか近くの病院には、天気が良ければ電動自転車で行けますが、雨の時はあいのりくんを利用しています。子ども達からは、自転車に乗るなど言われています。

5. 「医療・通院」に関すること

○隣接する市町村の病院・医院にあいのりくんを使えるようにしてもらえたら良いと思います。

○主人もまだ元気にしており、あまり実感がありませんが、病気になった時の受け入れ先（病院、施設）が不安になることはあります。

○失明直前で目の大手術、現在、片目は弱視寸前。背骨も大手術で歩けるようにはなったけど、腰がだるく重い。ゆっくり歩いています。こんな状態なので、車は使えず行動範囲が限られています。リハビリで車いす生活から歩けるようになっただけましです。現在は徐脈が気になっています。

○突発性大腿骨頭壊死症のため、3年前に手術をしたので、現在も自分の足で歩けず、歩行器で歩いています。左膝が硬直状態で困っています。現在、毎週木曜日にリハビリを行っています。やはり表に出ると歩行器使用のため、ジロジロと見られ、人の目が気になりストレスが溜まります。また、家には障害者がいるため、気遣いで疲れてしまいます。早く楽になりたいです。

○手術で色々なことがわかりましたが、役所に出す書類が大変でした。今回は夫がしてくれましたが、私がその立場になった時、手続きができるか心配です。

○私は現在 86 歳で、令和 2 年に肺炎で配偶者を亡くし、現在はケアマネジャーの勧めで週 1 回デイサービスに行っています。持病が多いので、通院や医療費等の支払いを心配しております。

○妻が介護サービスを受けております。ケアマネジャーがとても良くしてくれており感謝しております。

○90 歳 11 か月で余命幾年もありませんが、家の近くの整骨院へ週 2 回リハビリに行っています。

6. 「介護保険サービス（居宅介護・施設）」に関すること

○令和 5 年 1 月で古希です。今は元気ですが将来はわかりません。介護保険制度や高齢者福祉サービスの内容が良くわかっていません。理解して、安心して年をとることが出来たら良いと思います。

○介護や福祉サービス等は、できる限り公平に行ってもらいたいです。ある人は快適に生活し、またある人は定員オーバーで不自由な生活を送っています。これから先、このような現実が待っているのではないかと心配しています。

○福祉サービス、入院は無料とすることです。

○公的な施設で、老人ホームと病院の機能を持つような施設を増やすべきではないでしょうか。

○訪問医療及び居宅介護、通所介護、訪問介護等を利用する高齢者へ、介護サービスの提供内容を充実してほしい（ケアマネ、ヘルパー等の処遇改善をした上で）です。民間事業所にすべて任せるのではなく、行政主導（社会福祉協議会を含む）で対応してほしいです。

○自分のことが自分でできなくなった時には施設に入所したいです。

- 現状、夫婦ともに元気なので実感はわからないが、連れの世話がどこまで可能なのか不安です（知らない事への不安）。介護付きの施設の確保に問題はないでしょうか。
- 一人暮らしになった時には施設に入りたいです。
- 高齢となり、自分の最期のことをよく考えますが、希望通りにはいかない面が多々出てくることも考えています。できれば最期まで自宅で過ごすことができるよう健康に留意しながら暮らしていますが（散歩、食事等）、自力でトイレを使用できる状態であれば介護保険を利用させていただきながら訪問看護を受けて最期を迎えたいです。それ以上に症状が進んでしまったら、家族には負担をかける訳にはいきませんので、施設への入居を希望しています。
- 高齢者福祉サービスなどについては、他の自治体と比較しても充実していると思います。今後とも、よろしくをお願いします。

7. 「介護保険制度」に関すること

- 今は、何が問題かわからないですが、介護保険制度を利用する場合、お金のことが心配になるかなと思います。
- 介護保険料が高いです。年金だから大変です。
- 物価の上昇に伴い、介護保険料の増額に不安を感じています。
- 介護保険料が高いです。
- 去年まで義母を自宅で介護していました。訪問診療を受けながら98歳で亡くなりましたが、介護保険制度のありがたさをしみじみと感じております。自分もゆくゆくはお世話になることがあると思います。少ない年金から差し引かれると落ち込みますが、これからのことを考えると少しでもお世話にならないよう健康には気をつけたいと思います。
- 介護保険料額の所得段階区分の見直しを要望します。もっと高額所得者から保険料を取るべきです。
- 介護保険制度も年金制度と同様に保険料に合わせて利用制限を設け、それ以上の利用は自費とすべきです。
- 介護保険料が毎年高くなる一方で、適切さが全くわかりません。現在介護の必要が無い私共にとって、もし介護を受けるとして、どれだけ保険の恩恵があるのでしょうか。年金生活者にとってそれがジレンマです。
- 介護保険制度を利用するにあたり対応が遅いです（常に1か月は待つ）。住宅改修で引き戸のレールを外し平らにする費用が介護保険制度に該当しないことです（一番つまずく原因になる）。
- 年金より医療費、介護保険料等を支出し、生活が苦しく、終活が不安。安心して施設等に入居できる制度、サービス向上を考えています。
- 介護保険料は高額だと思います。しかし、現在、認知症で要介護3の認定を受け、デイサービス、介護パンプスのサービスを受けており、保険制度があればこそだと思っています。福祉行政は財源確保が大変でしょうが、宜しくお願いいたします。
- 保険料負担はできるだけ抑えてほしいです。
- 介護保険料の値上がりにより、生活を圧迫されることを懸念します。

8. 「経済的な問題」に関すること

- 介護保険制度の見直しを国会等で行っているようですが、税金納付が大変になりそうなのが心配です。
- 定年を迎えた後の生活費等の不足が、パート・アルバイトでまかなえられている間はよいが、いつまで出来るかもわからない状態で、その先が不安になります。食費、光熱費他、必要経費が値上がりしているので、余計に不安です。現役時代に蓄えていないのが悪いと言われそうだが、貯金出来る人が何割いるのでしょうか。定年後、働かないでいられる人は何人いるのでしょうか。
- 年金支給が年間 79,000 円そこそこののに介護補助が年間 50,000 円近く徴収されており、生活に重荷となっています。年金支給額に見合った徴収額になりませんか。
- 個人の出費をこれ以上増やさないでほしいです（保険料と医療費の窓口負担など）。
- 年金だけの生活では苦しいのでやむなく働いているが、10 月から後期高齢者医療保険料が 7,900 円のところ、20,600 円も差し引かれるようになりました。年金額も目減りしていて、益々苦しい状況です。
- 耳が悪く、左耳に補聴器を付けています。軽度では有りますが、中度になりつつあります。買い替えをしなければと考えていますが、高額のため迷っています。いくらかでも補助制度があれば助かります。
- 耳、歯、目などの高額医療費に対して、補助をお願いしたいと思います。
- お金が足りないことです。

9. 「情報提供・相談窓口」に関すること

- 介護保険制度や高齢者福祉サービス等があるのは知っていますが、利用する時の手続きなどはよくわかりません。そういう時はこうした方法がありますよという説明など、もっとわかりやすく説明に来てくれると良いと思います。高齢者が夫婦で生活しているので、これからが心配です。訳がわからなくなる前に説明に来てとか、広報とかいに出すとかしてもらいたいです。
- 介護保険料の負担が重荷、どんな状況で福祉サービスが受けられるのか不明です。健康状態を維持するための公共のサポートは何かあるのでしょうか。本人の状態に合わせたトレーニングの指導や、トレーニングの場がほしいです。今は健康年齢を延ばすことが大切だと思うので、どんなサポートが村にはあるのか知りたいです。
- 高齢者福祉サービスの内容を知らないです。村からこれらのパンフレットなり、説明書等を送っていただきたいです。知らないでいることが多いと思います。
- 認知症になった時、遺産管理を本当に任せられる人がいるのか、公的な肩書があっても訳がわからなくなった人のお金だと思い、自分のものにする人ばかりです。
- 介護保険制度や高齢者福祉サービス等に関して、村のホームページで内容がわかるよう公開してほしいです。
- 介護保険制度や高齢者福祉サービス等について、自分自身が身近に感じられていないのが問題で、自覚出来るように役所からのアウトプットがもう少しほしいです。
- 高齢になり困ったことがありましたら、社会福祉協議会に相談するつもりでおります。
- 介護が必要になった時、すぐに相談にのってほしいです。
- 介護認定の基準が、いまいちわかりません。

- 一人になっても自宅で生活を続けていきたいと思えます。例えば、入院を必要としない程度の自宅療養の場合、在宅介護を支援してくれる医療機関、ヘルパー等、2025年に向かって人員は足りるのでしょうか。その時になって支援を受けられないのでは困るので、どのような現状なのか、早くから情報を得たいです。
- まだ介護保険制度や高齢者福祉サービスを利用する必要性に迫られている状態にはなっていないが、お世話にならなくてはならない日は近づいているのだと思えます。状況によってどのように助けていただけるのか、わかりやすい説明を用意しておいていただけるとありがたいと思えます。
- 介護保険制度や高齢者福祉サービス等について、色々と資料は出ているのですが、簡潔でわかりやすい資料を、利用する立場に立って工夫していただけたら嬉しいです。
- 内容について、あまり知らないなので、ぜひ知る機会を設けてほしいです。
- 介護施設等を利用する場合の費用など、詳しい説明があればありがたいです。施設ごとに費用を表示できないでしょうか。
- 年1度行われる健康診断などで認知症の検査を行って、ある程度の状態を把握してほしいです。同居の子どもは、いつ地域包括支援センターや役場、ケアマネ、民生委員に相談してよいかわかりません。
- これから何かありましたら相談します。宜しく、お願いいたします。
- 高齢者にわかりやすい制度の本又はパンフレットを配布してほしいです。

10. 「まちづくり・村への要望等」に関すること

- 年上の知人や友人で、耳が遠くなってきている人がいて、付き合いが難しく感じている様子です。村からの支援は何かありますか、ぜひお願いします。
- 関係ないが税金が高すぎます（役所の人員を減らせ）。
- 介護認定が簡単でスピーディーに受けられる様になりますか。サービスが公平に受けられ、適切な施設を利用できるようにしてください。
- 介護サービスを受ける状態になる前から、気軽に相談できるような雰囲気づくりをしていただきたいと思えます。日頃から、地域住民のためにご尽力いただき感謝しております。
- すべてが当事者からの申請・申告になっているように思えます。行政担当側からの見守り、聞き取りによる最適処置のサービスの検討はできないでしょうか。最新のICT、AI技術を駆使したサービスは可能と思えます。今は元気ですが、いずれ行政にお世話になります。現在の高齢者には難しい操作はできませんので、“○or×”、“はい or いいえ”等の回答方式が良いと思えます。10～20年後の高齢者はICTに慣れているので難しいシステムも可能だと思います。
- 今の高齢者は皆さん元気です。よって、年齢の見直しが必要と考える。65歳→75歳。心身の機能が低下して介護サービスが必要になる人の実態はいかがでしょうか。
- 東海村の福祉サービスはとても行き届いていると思えます。横須賀に住んでいる友人は、脊髄損傷で車椅子生活でした。腕の手術で手も不自由なのに息子（働いているので昼間は留守）が同居しているから介護保険が受けられません。横須賀は高齢者が多いことありますが、自治体により福祉に差があることに納得がいきません。それに比べると東海村は、このような調査をすること自体、福祉行政に力を入れていることと思えます。

- これから益々増加する老老介護、痛ましいことになるケースがテレビ等で見ると、他人事とは思えません。村でもそのような家庭を把握していただき、見回り等が出来ればと思っております。
- 独居老人の立場、要介護になった人への行政サポートが、システム化され、明示されると老後の安心感が高まると思います。
- 他の市町村はわかりませんが、東海村は良くしてくれています。とても感心します。これからも、宜しくお願いいたします。
- 妻が病気で、介護についてどのような対応をしたら良いか問い合わせに行ったところ、パンフレットを渡され困りました。その後、別の職員に問い合わせをしたところ親切に対応していただき本当に助かりました。困って伺う訳で、対応のほど、宜しくお願いいたします。
- 村役場の窓口をはじめ、福祉関係は対応が大変親切で助かります。安心して相談、お願いできるのは幸いです。

11. 「その他」

- 年老いたら楽しく暮らしていけると思っていました。「己を責めて他人を責めるな」と、今後の人生しっかり生きていこうと決めました。
- 調査票に記入しながら、改めて自分の終活や暮らしについて考えようと思いました。
- 現在、子ども達と同居しているのであまり心配はありませんが、それはそれで心配はあります（子ども達のこれからのこと等）。
- このアンケートの集計結果を回答者にも知らせてほしいです。
- 今 72 歳です。まだ若いと思い、終活について本気を出して考えた事はありません。しかし、そろそろ終活について本気を出して考えてみようという気持ちになりました。これから終活についての書類を入手し、考えてみようと思いました。
- 今のところ自分のことは出来ていますので、あまりわかりません。
- 現在はあまり考えていないが、将来考える必要があると思います。
- 共倒れになった場合が一番心配です。
- まだ元気なので実感しませんが、転んで病院に行けなくなったら、家族の者がいない場合など、心配しています。
- 今のところ考えてはいませんが、考える必要があります。
- アンケート調査ありがとうございます。
- 介護は受けていないが保険証はもらえるのでしょうか。
- 本件に記入してから、介護の申請をしました。本記入はそれ以前の状況で記入をしました。
- 介護の手続き中です。
- 今のところありません。
- 質問内容が表面すぎます。もっと突っ込んだ質問をすべきです。

第Ⅳ部 生活機能判定結果

1. 介護予防のための生活機能判定結果

今回実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、介護予防のための生活機能を評価する項目が設けられており、調査項目の回答結果をもとに、各機能を評価することができます。さらには、これらの各機能の評価をもとに、事業対象者に該当するか判断できます。（生活機能判定項目「基本チェックリスト 22 項目」）

○各機能の評価項目

項目	評価方法	設問番号
生活機能	生活機能判定項目（後述参照）で、うつに関する 2 項目を除いた 20 項目中、10 項目以上が該当した場合、生活機能の該当者と判定する。	問 4 Q4、Q5、Q8、Q13、Q14
運動機能	生活機能判定項目 6～10 の 5 項目のうち、3 項目以上に該当した場合、運動機能の該当者と判定する。	問 2 Q1～Q5
栄養状態	以下の①かつ②に該当した場合、栄養状態の該当者と判定する。 ①生活機能判定項目 11 に該当 ②生活機能判定項目 12 で BMI が 18.5 未満	問 3 Q1、Q8
口腔機能	生活機能判定項目 13～15 の 3 項目のうち、2 項目以上に該当した場合、口腔機能の該当者と判定する。	問 3 Q2～Q4
閉じこもり	生活機能判定項目 16 に該当した場合、閉じこもりの該当者と判定する。	問 2 Q6、Q7
認知機能	生活機能判定項目 18 に該当した場合、認知機能の該当者と判定する。	問 4 Q1～Q3
うつ	生活機能判定項目 21～22 の 2 項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの該当者と判定する。	問 7 Q3、Q4
事業対象者	生活機能、運動機能、栄養状態、口腔機能、閉じこもり、認知機能、うつのいずれかに該当している場合、事業対象者と判定する。	

○基本チェックリスト 22項目

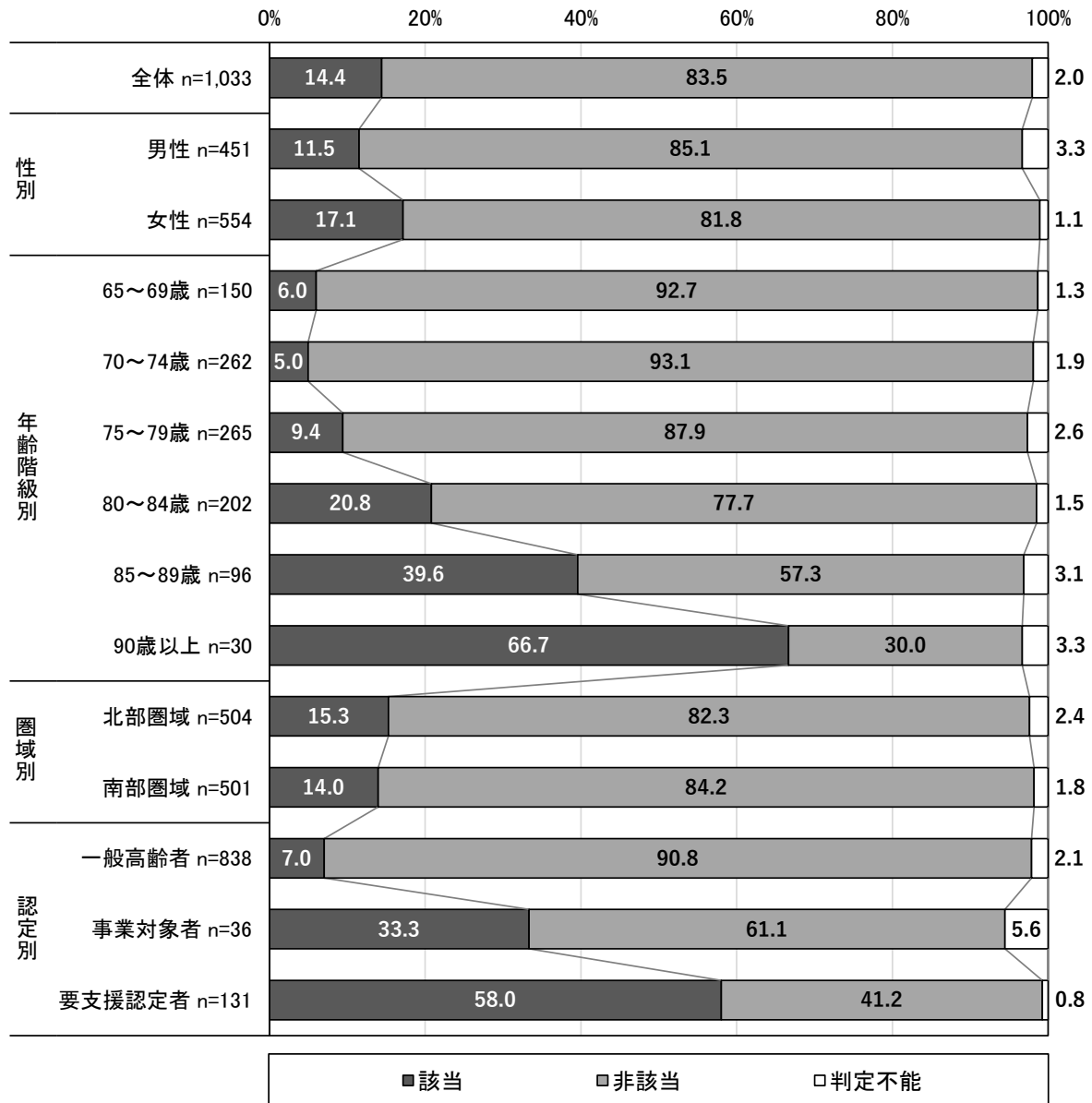
No.	質問項目	該当する回答
1	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	・できるだけしていない ・できない
2	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	・できるだけしていない ・できない
3	自分で預貯金の出し入れをしていますか	・できるだけしていない ・できない
4	友人の家を訪ねていますか	・いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	・いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	・できない
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	・できない
8	15分位続けて歩いていますか	・できない
9	過去1年間に転んだ経験がありますか	・何度もある ・1度ある
10	転倒に対する不安は大きいですか	・とても不安である ・やや不安である
11	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	・はい
12	身長 cm 体重 kg (BMI=)	・BMI=18.5 未満
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	・はい
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	・はい
15	口の渇きが気になりますか	・はい
16	週に1回以上は外出していますか	・ほとんど外出しない ・週1回
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	・とても減っている ・減っている
18	物忘れが多いと感じますか	・はい
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	・いいえ
20	今日が何月何日かわからないときがありますか	・はい
21	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	・はい
22	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	・はい

■生活機能

生活機能についての結果をみると、全体では14.4%が該当者となっています。

性別では、男性が11.5%、女性が17.1%と、女性が5.6ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が66.7%で最も高く、次いで85～89歳が39.6%、80～84歳が20.8%となっています。

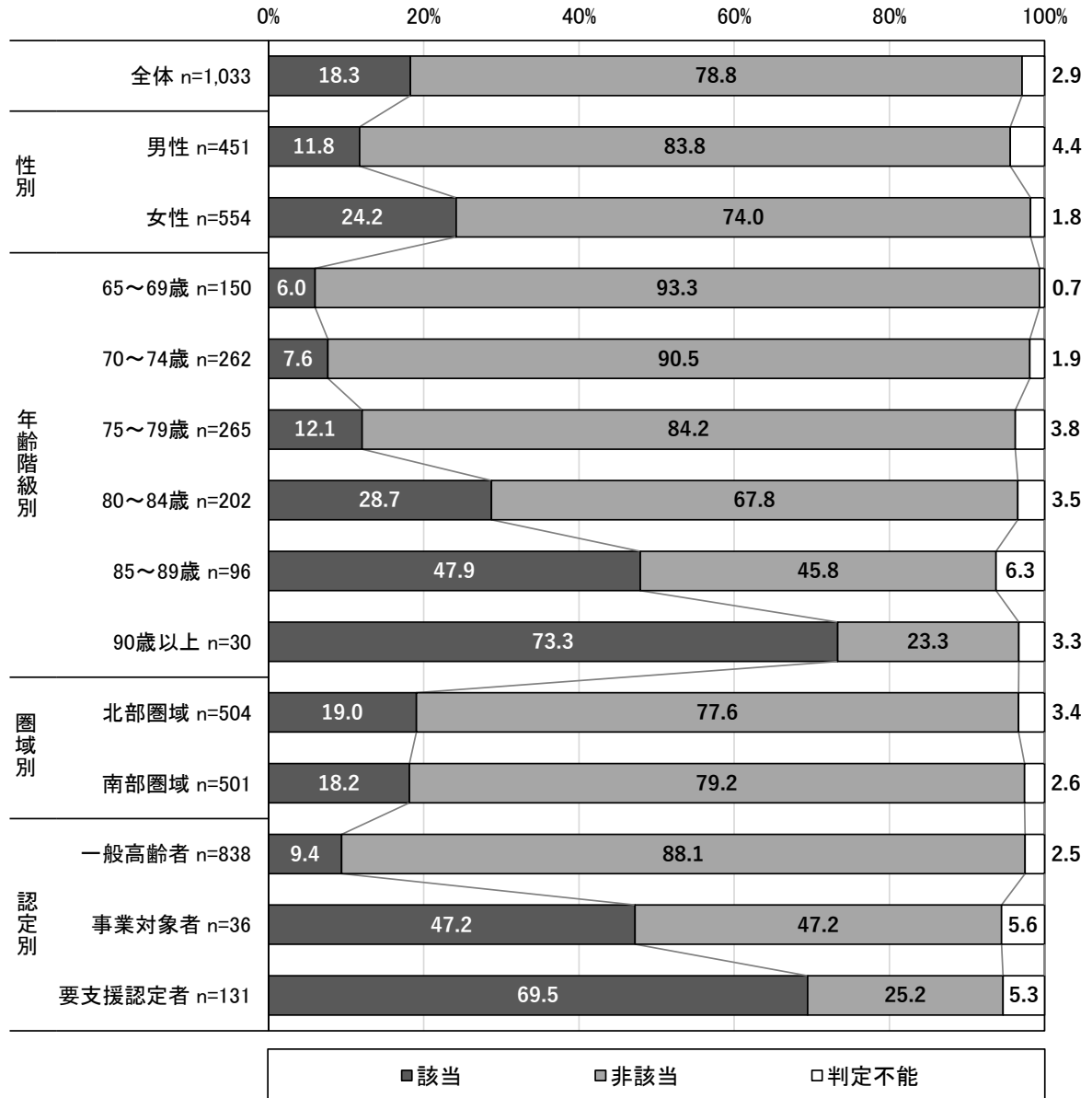


■運動機能

運動機能についての結果をみると、全体では18.3%が該当者となっています。

性別では、男性が11.8%、女性が24.2%と、女性が12.4ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が73.3%で最も高く、次いで85～89歳が47.9%、80～84歳が28.7%となっています。

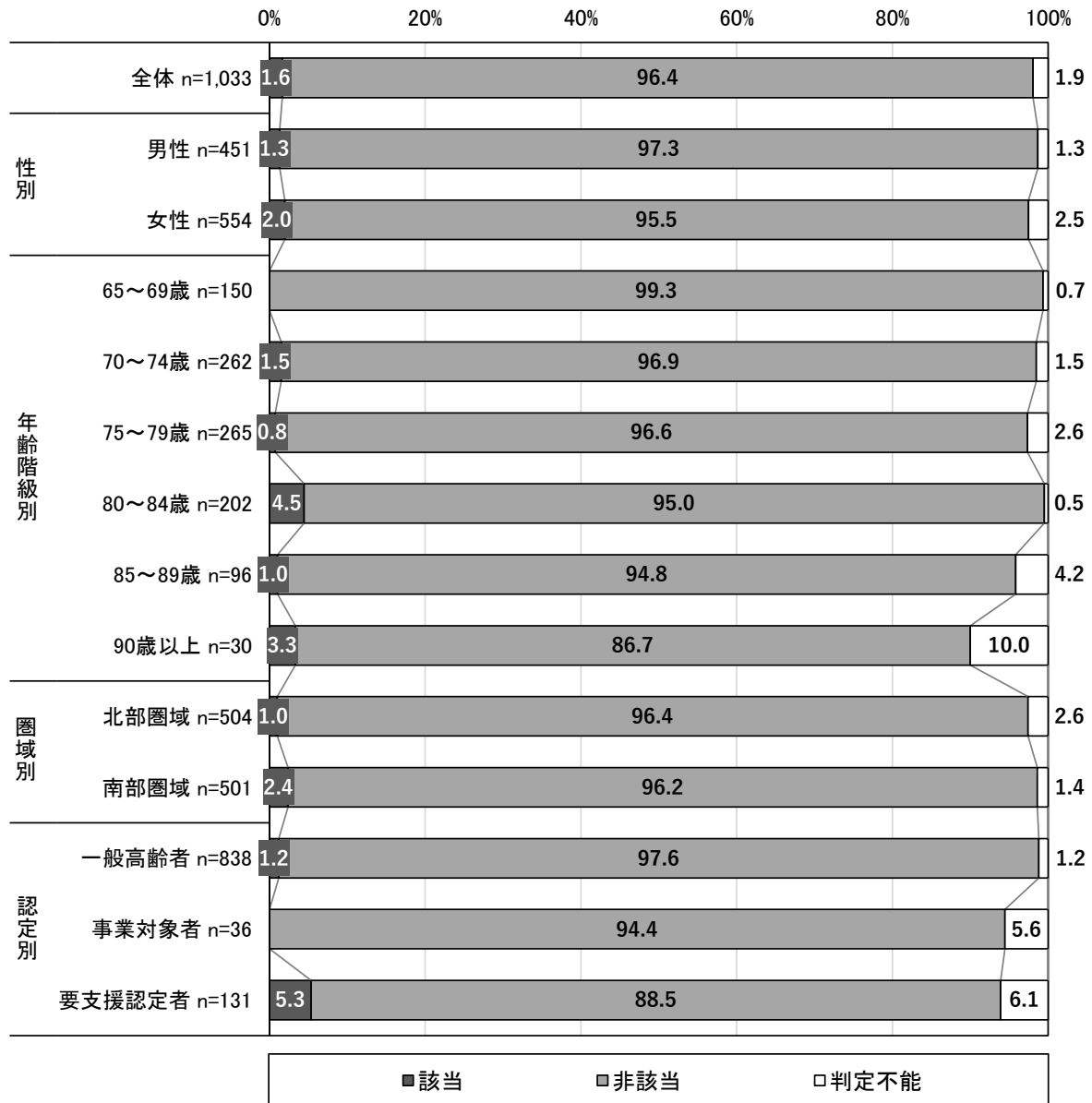


■ 栄養状態

栄養状態についての結果をみると、全体では1.6%が該当者となっています。

性別では、男性が1.3%、女性が2.0%となっています。

年齢階級別では、80～84歳が4.5%で最も高く、次いで90歳以上が3.3%、70～74歳が1.5%となっています。

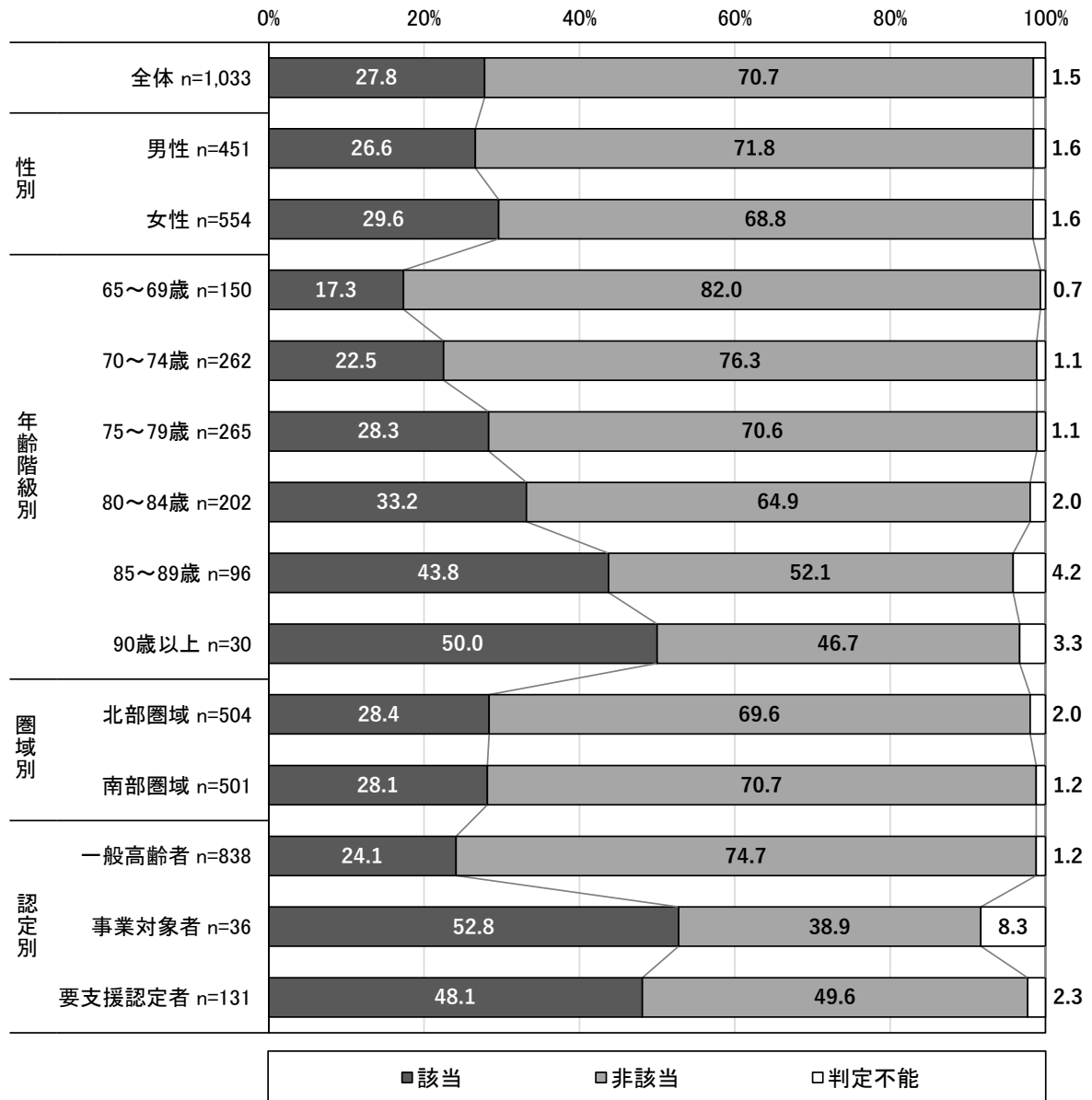


■ 口腔機能

口腔機能についての結果をみると、全体では27.8%が該当者となっています。

性別では、男性が26.6%、女性が29.6%と、女性が3.0ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が50.0%で最も高く、次いで85～89歳が43.8%、80～84歳が33.2%となっています。

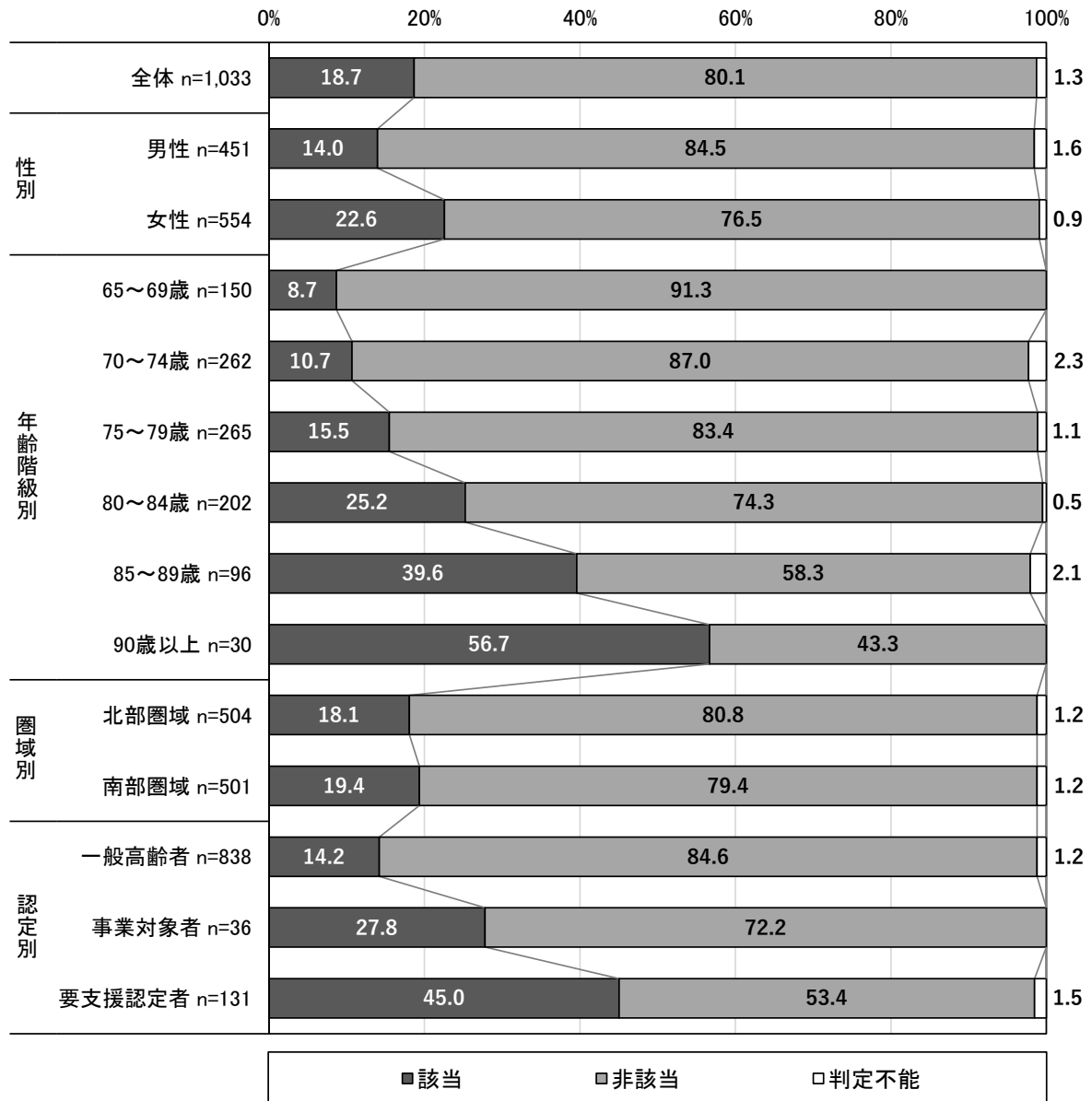


■閉じこもり

閉じこもりについての結果をみると、全体では18.7%が該当者となっています。

性別では、男性が14.0%、女性が22.6%と、女性が8.6ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が56.7%で最も高く、次いで85～89歳が39.6%、80～84歳が25.2%となっています。

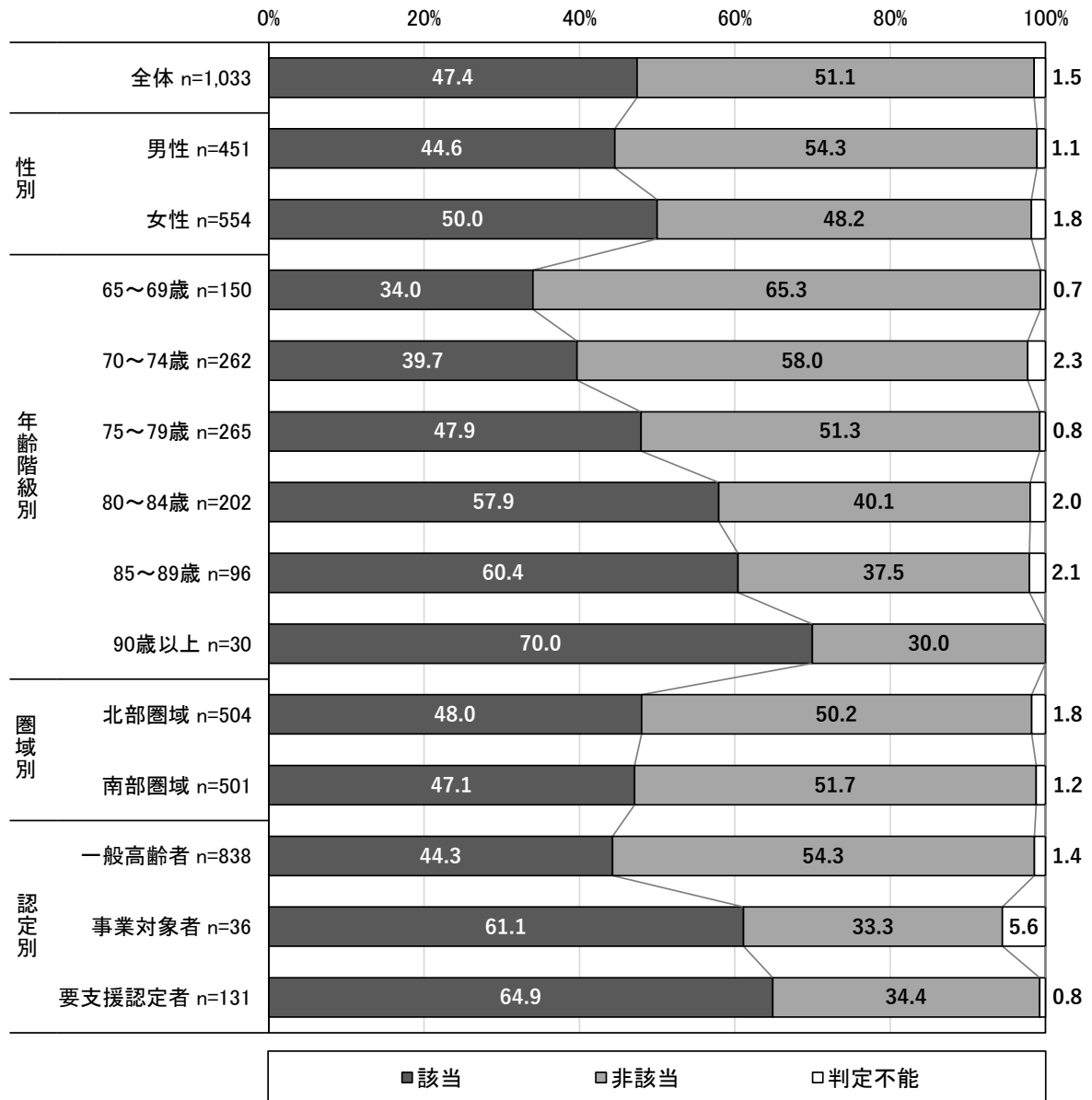


■ 認知機能

認知機能についての結果をみると、全体では47.4%が該当者となっています。

性別では、男性が44.6%、女性が50.0%と、女性が5.4ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が70.0%で最も高く、次いで85～89歳が60.4%、80～84歳が57.9%となっています。

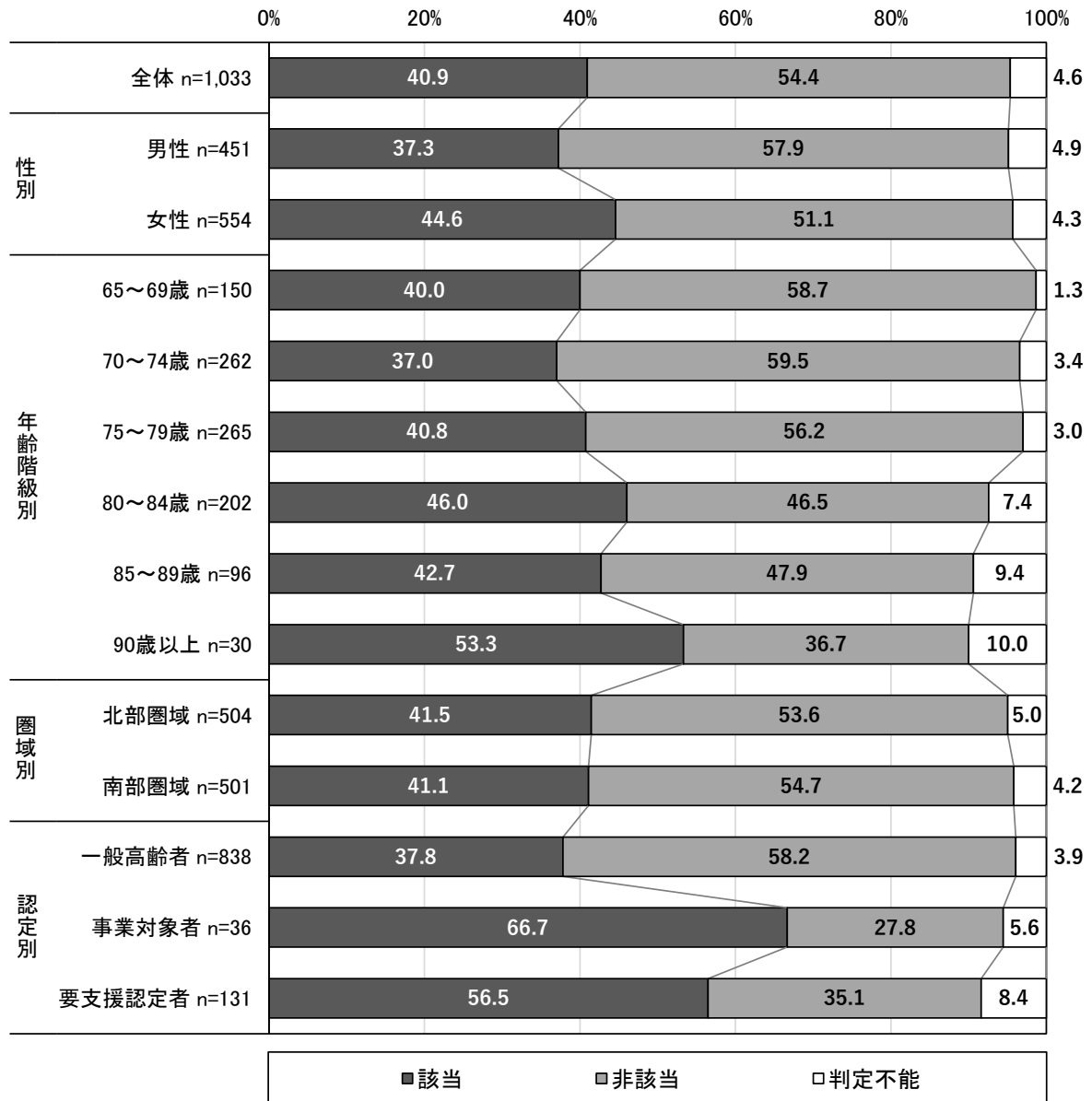


■うつ

うつについての結果をみると、全体では40.9%が該当者となっています。

性別では、男性が37.3%、女性が44.6%と、女性が7.3ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が53.3%で最も高く、次いで80～84歳が46.0%、85～89歳が42.7%となっています。

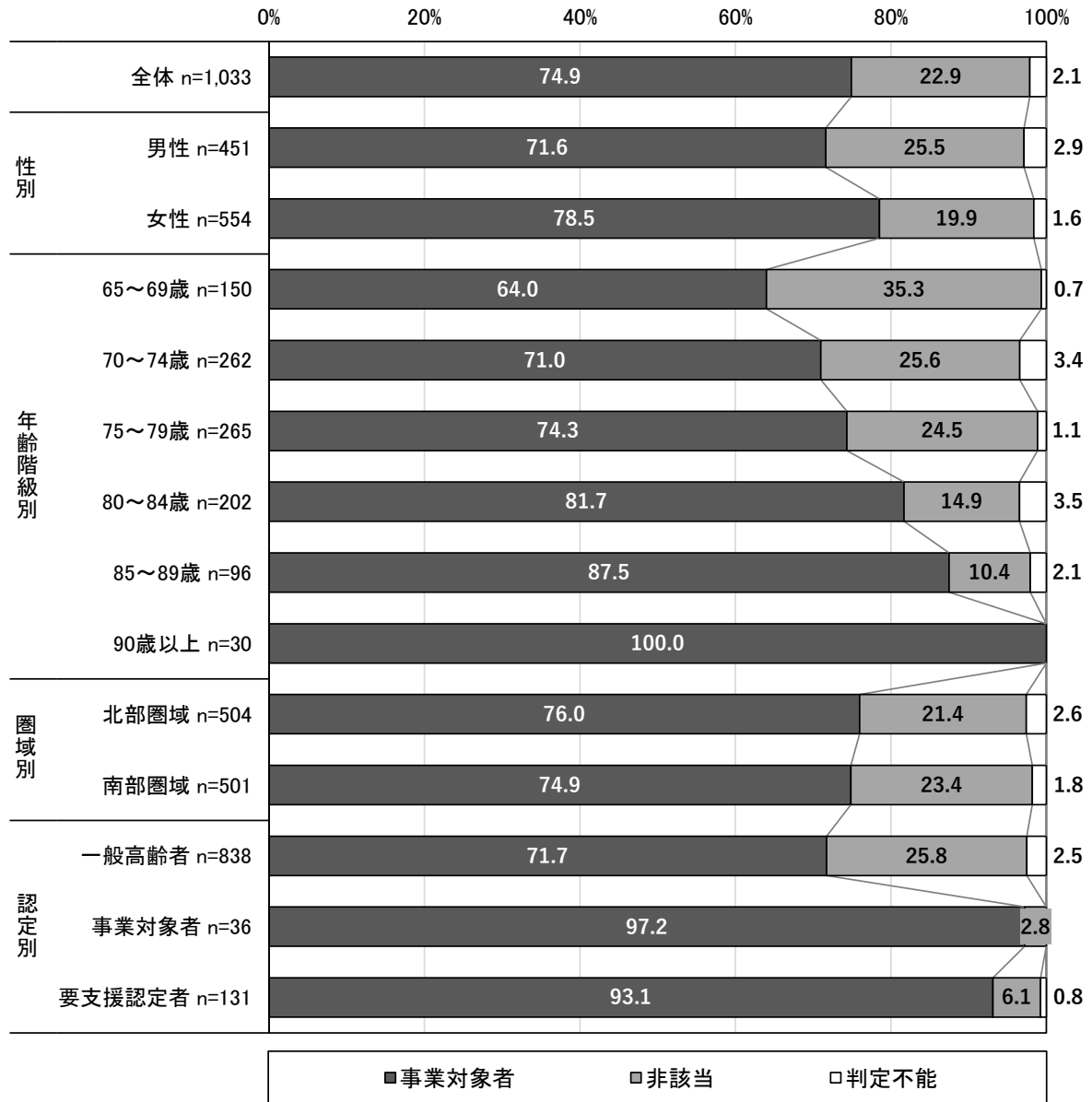


■事業対象者（7項目判定）

事業対象者に該当した結果は、全体で74.9%となっています。

性別では、男性が71.6%、女性が78.5%で、女性が6.9ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上が100.0%で最も高く、次いで85～89歳が87.5%、80～84歳が81.7%となっています。



2. その他の生活機能判定

介護予防のための生活機能評価のほかに、本調査票には、下記の機能を評価するための設問が設けられています。

評価にあたっては、下記の評価方法で実施しています。

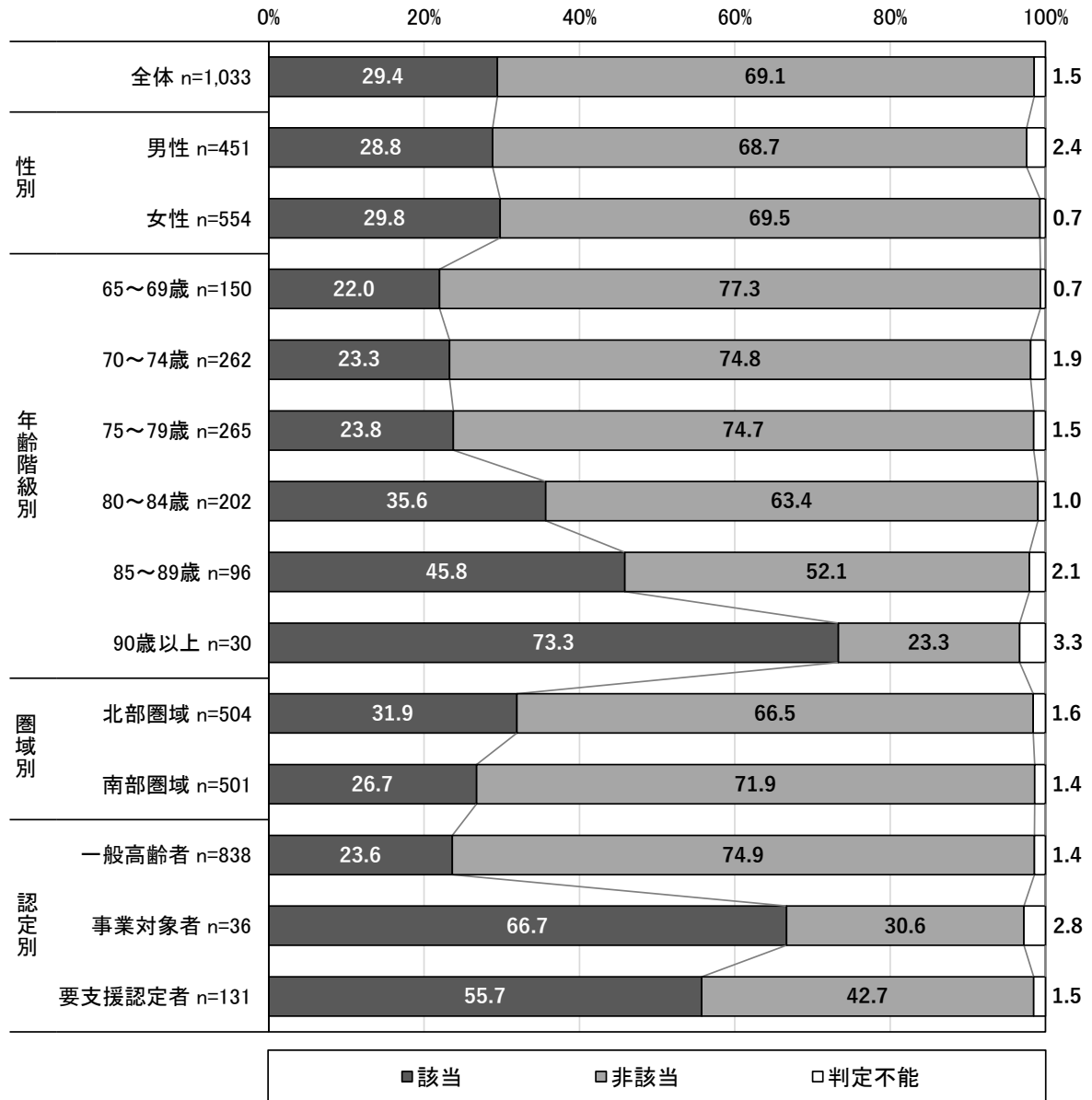
○各機能の評価方法

項目	評価方法	設問番号
転倒リスク	問2 Q4の設問において、「何度もある」「1度ある」と回答した場合、転倒リスクの該当者と判定する。	問2 からだを動かすことについて Q4
手段的自立度 (IADL)	高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度(IADL)については、問4 Q4～Q8について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価する。	問4 毎日の生活について Q4～Q8
知的能動性	老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価する。	問4 毎日の生活について Q9～Q12
社会的役割	老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価する。	問4 毎日の生活について Q13～Q16
生活機能総合評価	手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目で評価を行う。11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」と評価する。	手段的自立度 (問4 毎日の生活について Q4～Q8) 知的能動性 (問4 毎日の生活について Q9～Q12) 社会的役割 (問4 毎日の生活について Q13～Q16)

■転倒リスク

転倒リスクについての結果をみると、全体では29.4%が該当者となっています。

年齢階級別では、90歳以上が73.3%で最も高く、次いで85～89歳が45.8%、80～84歳が35.6%となっています。

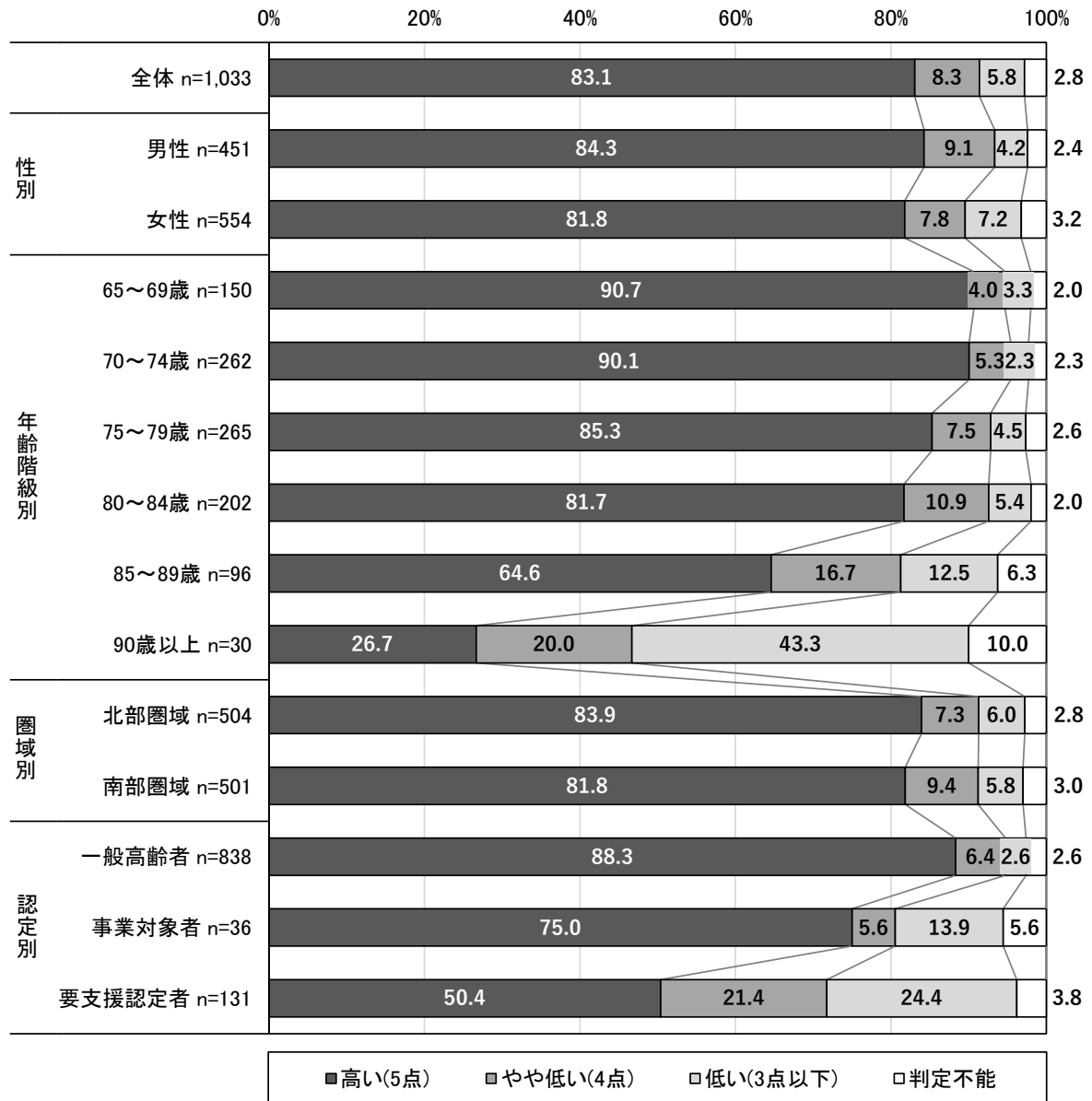


■手段的自立度 (IADL)

手段的自立度 (IADL) についてみると、全体では「高い」が83.1%となっています。

性別では、「高い」が男性では84.3%、女性では81.8%と、男性が2.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85～89歳で6割半ば、90歳以上で2割半ばとなっています。

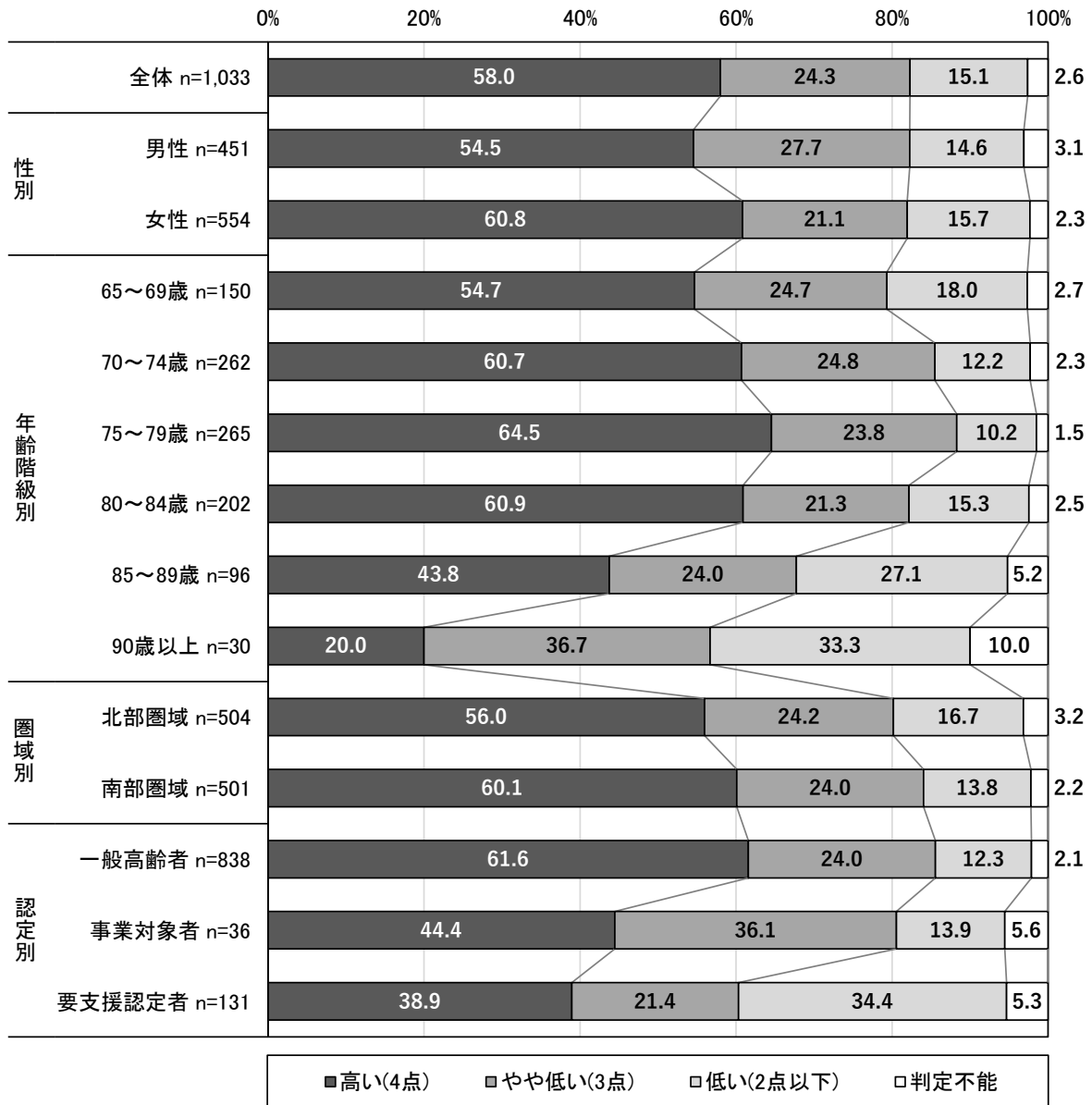


■知的能動性

知的能動性についてみると、全体では「高い」が58.0%となっています。

性別では、「高い」が男性では54.5%、女性では60.8%と、女性が6.3ポイント上回っています。

年齢階級別では、70～84歳で6割台であるものの、85～89歳では約4割、90歳以上では2割となっています。

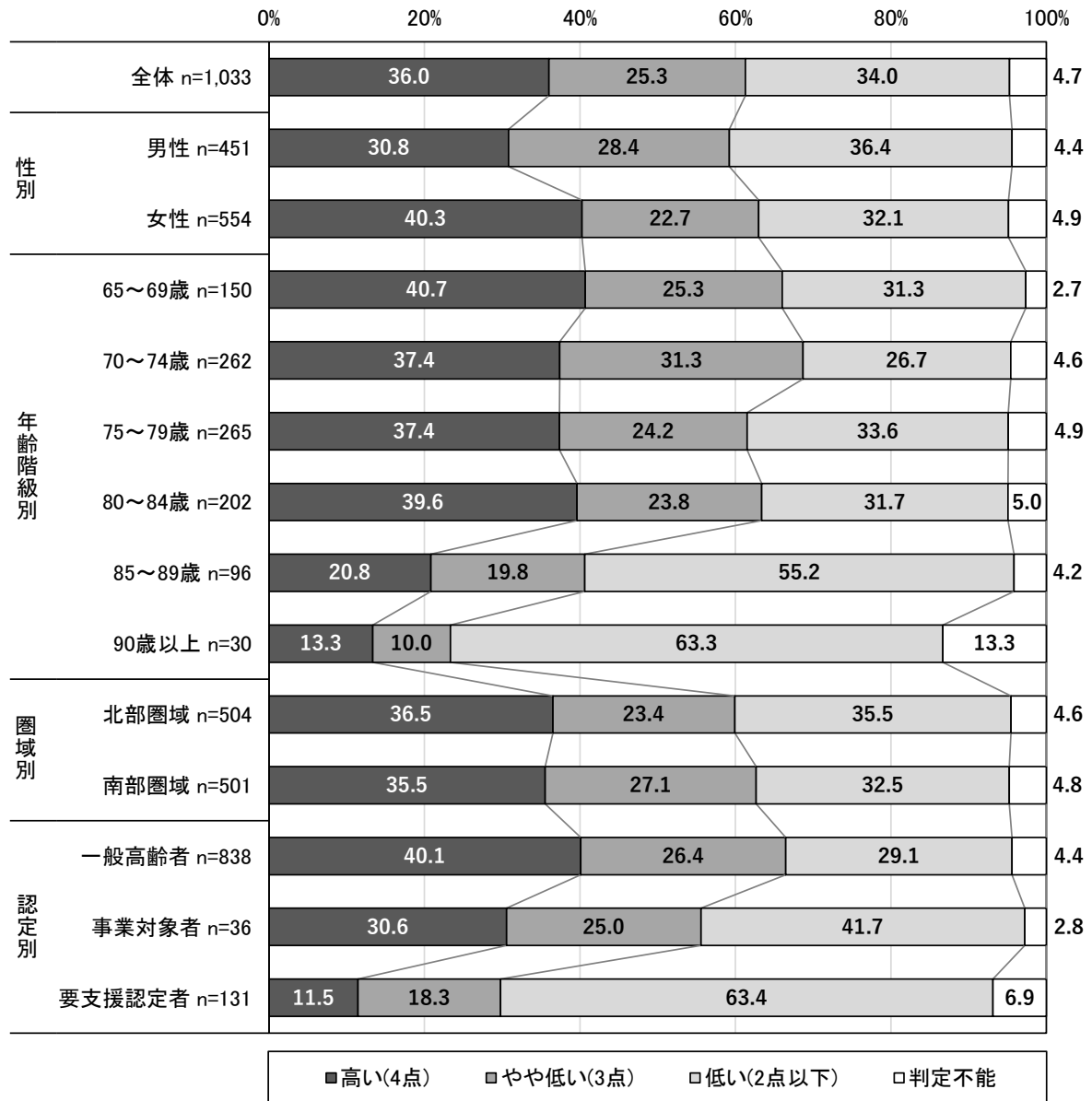


■社会的役割

社会的役割についてみると、全体では「高い」が36.0%となっています。

性別では、「高い」が男性では30.8%、女性では40.3%と、女性が9.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～84歳までは約4割であるものの、85～89歳では約2割、90歳以上では約1割となっています。

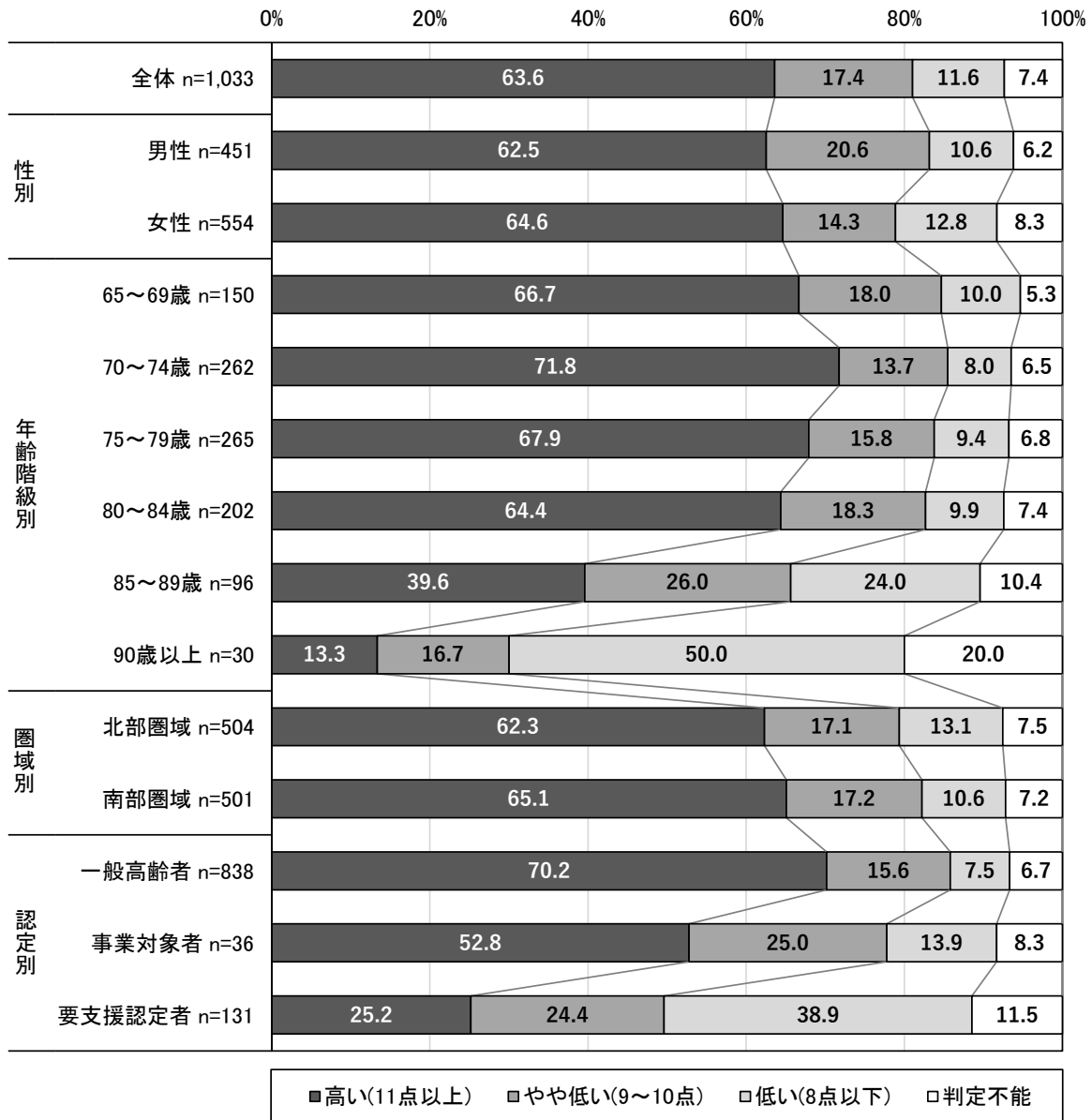


■生活機能総合評価

生活機能総合評価についてみると、全体では「高い」が63.6%となっています。

性別では、「高い」が男性では62.5%、女性では64.6%と、女性が2.1ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85～89歳では約4割、90歳以上では約1割となっています。

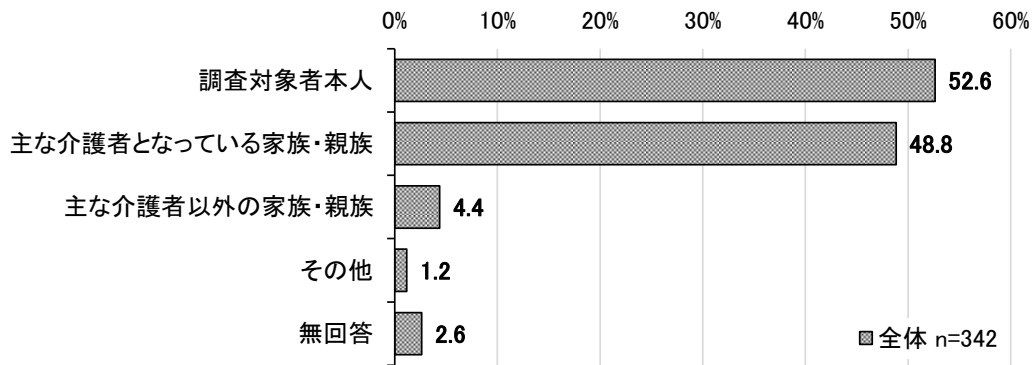


第Ⅴ部 在宅介護実態調査結果

1. A票 調査対象者様ご本人について

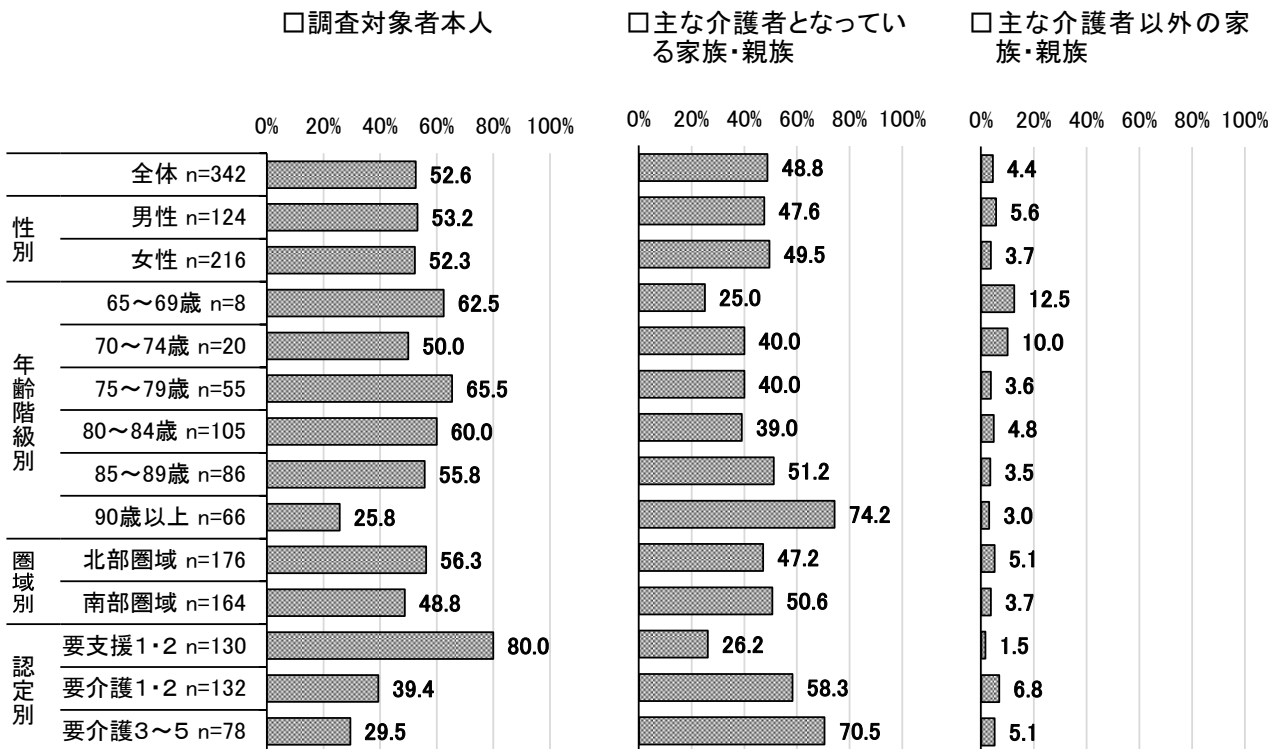
Q1. 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）

調査票に回答した方については、全体では「調査対象者本人」が 52.6%で最も高く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 48.8%、「主な介護者以外の家族・親族」が 4.4%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

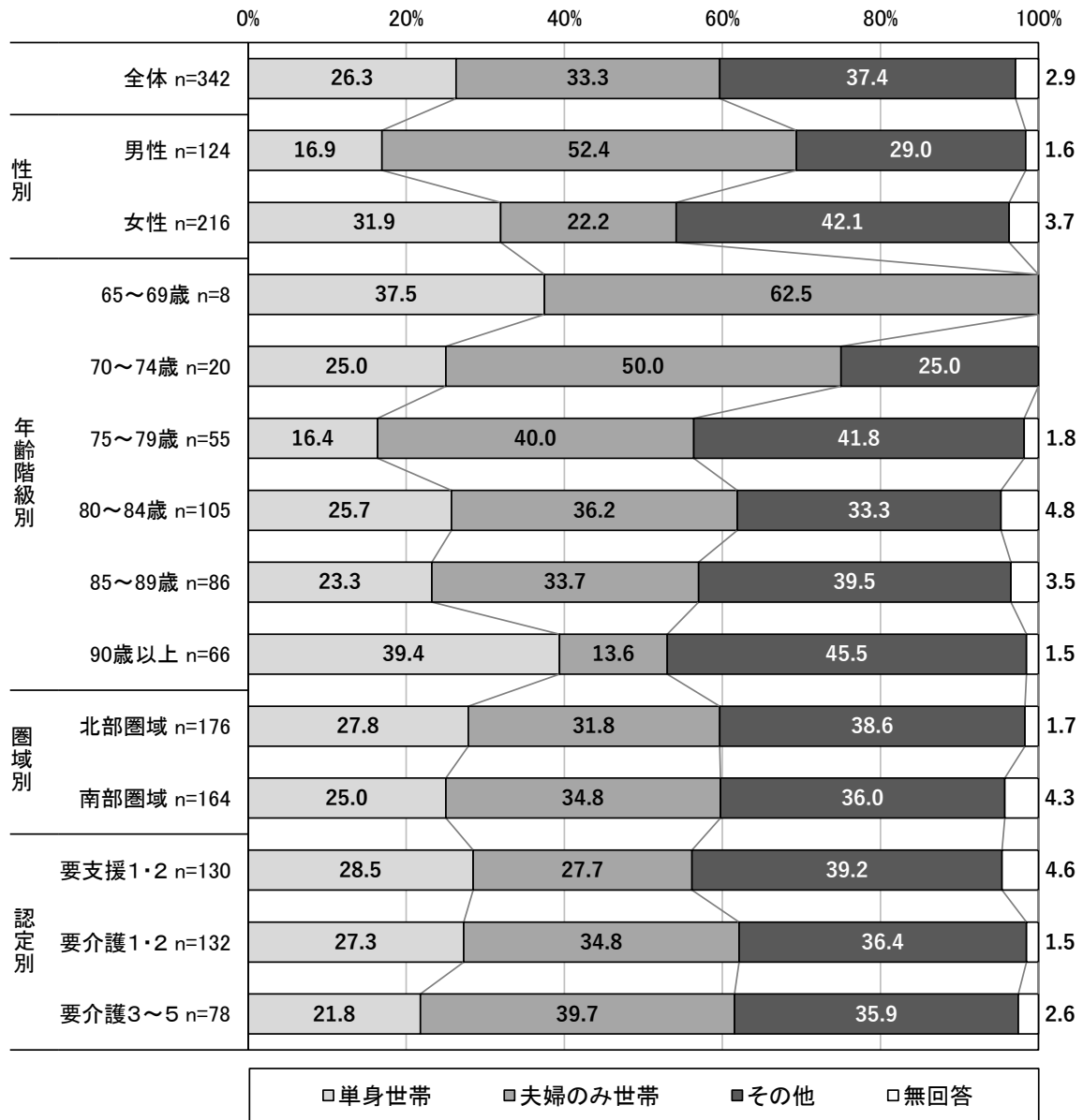
圏域別でみると、「調査対象者本人」は、南部圏域に比べ北部圏域のほうが上回っています。



Q2. 世帯類型について、ご回答ください（1つのみ）

世帯類型については、全体では「その他」が37.4%で最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.3%、「単身世帯」が26.3%となっています。

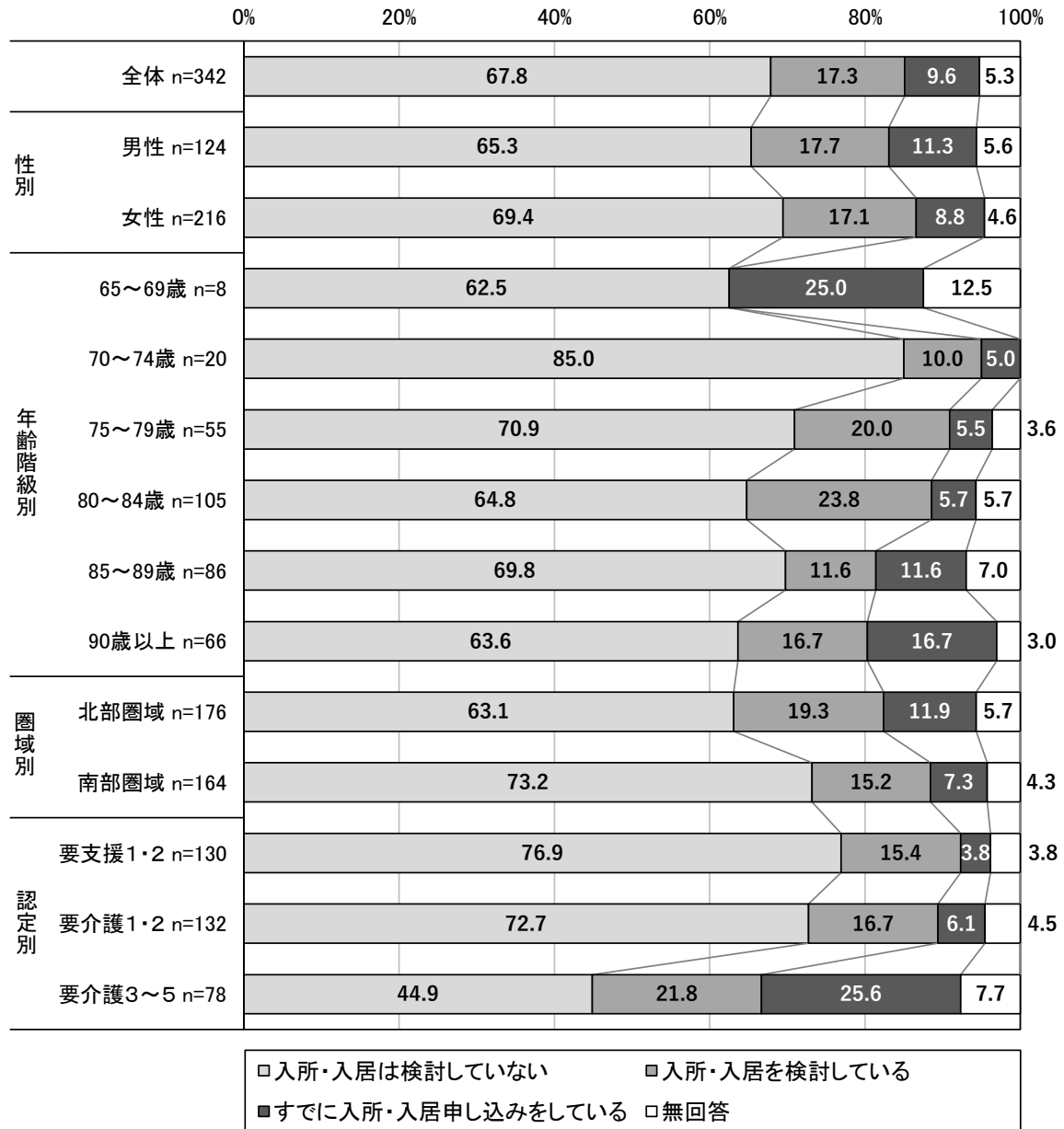
性別で見ると、「単身世帯」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。



Q3. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つのみ）

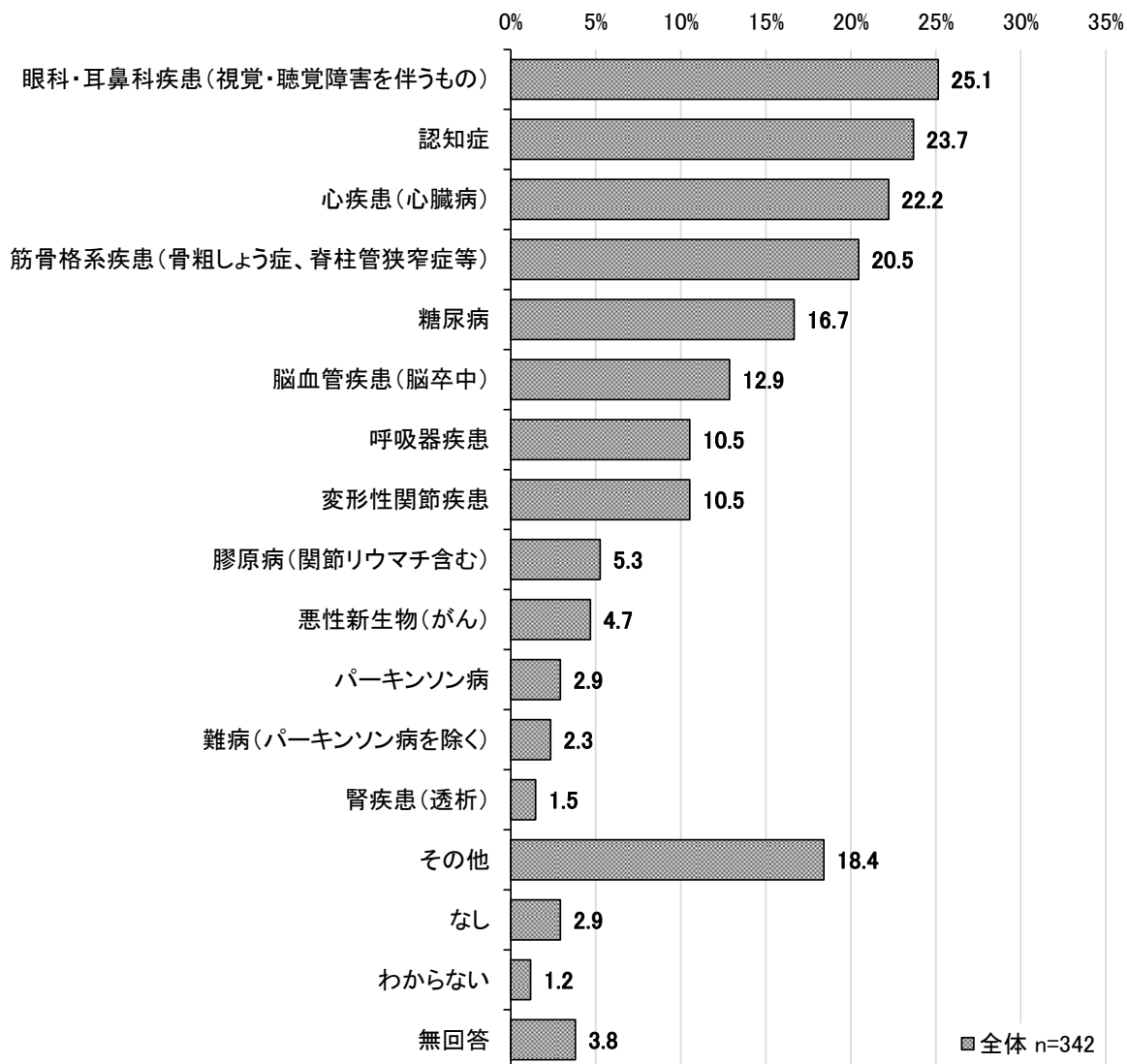
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、全体では「入所・入居は検討していない」が67.8%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が17.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が9.6%となっています。

性別でみると、「入所・入居は検討していない」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。



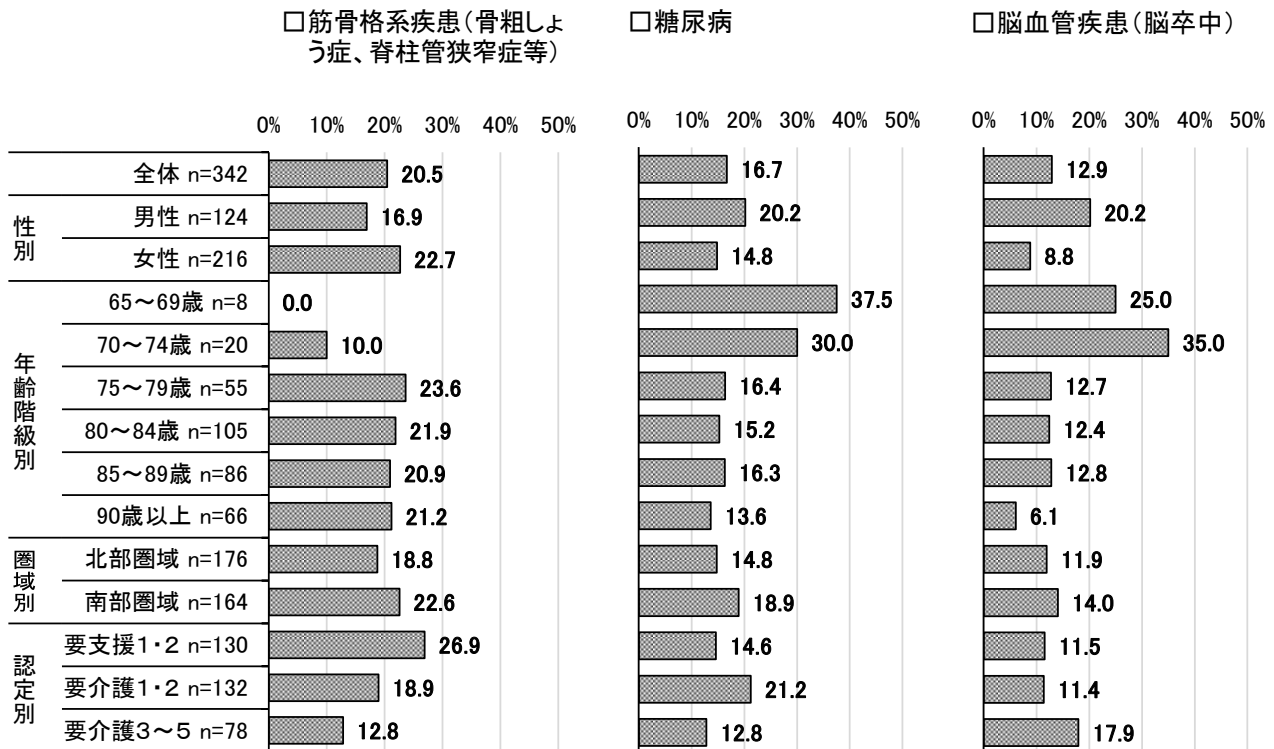
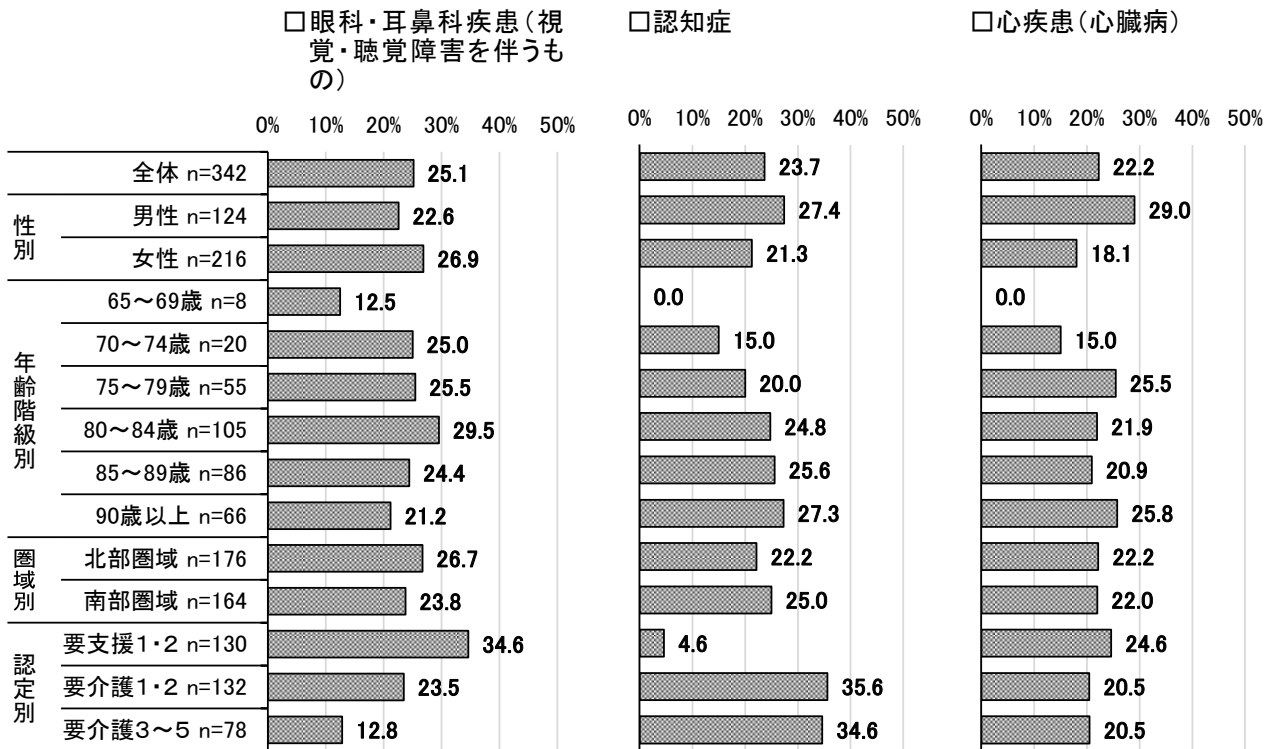
Q4. ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

現在抱えている傷病については、全体では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が25.1%で最も高く、次いで「認知症」が23.7%、「心疾患（心臓病）」が22.2%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

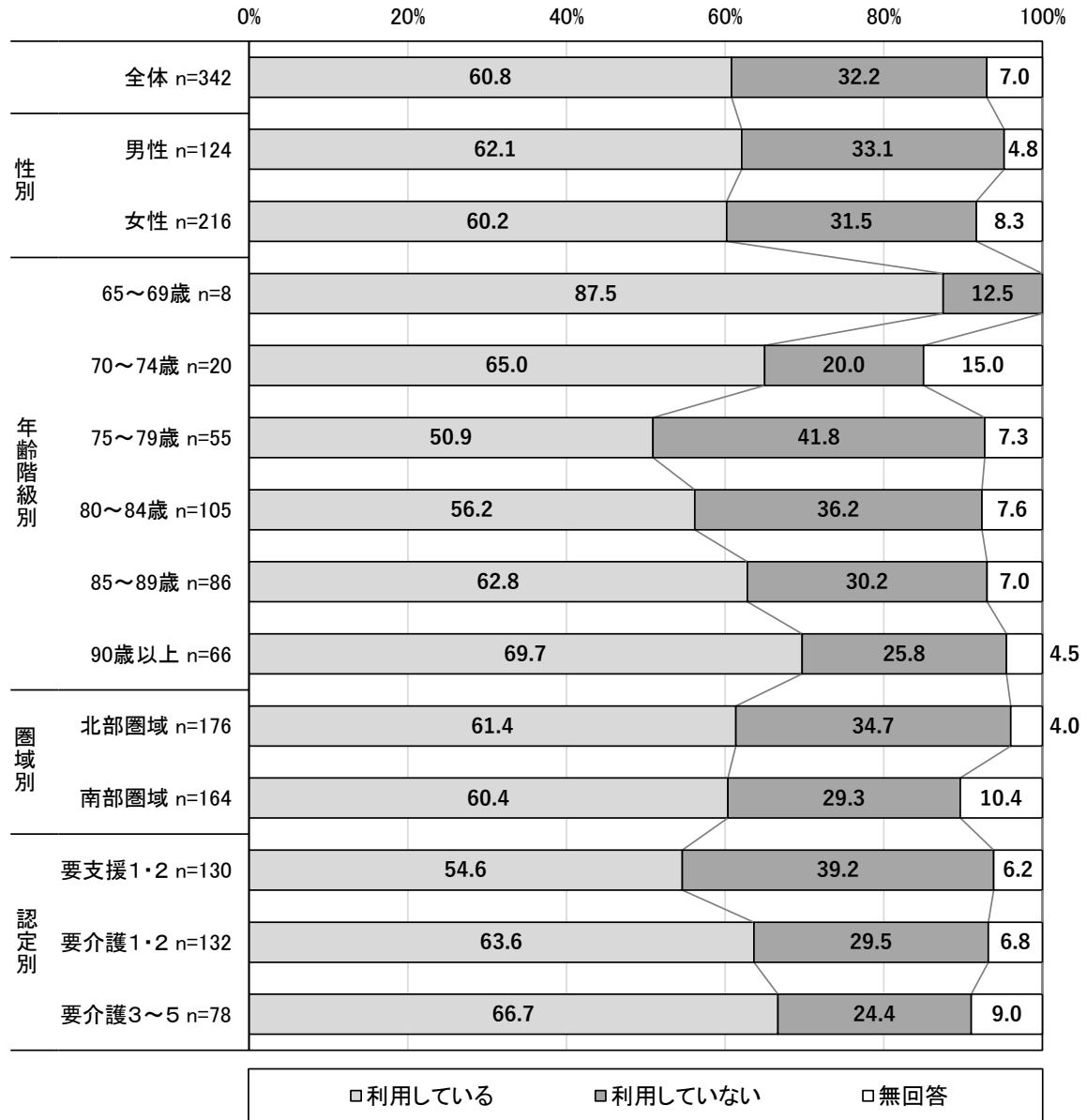
性別で見ると、男性では、「心疾患（心臓病）」が29.0%で最も高く、次いで「認知症」が27.4%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.6%となっています。女性では、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.9%で最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が22.7%、「認知症」が21.3%となっています。



**Q5. 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか
(1つのみ)**

介護保険サービスの利用状況については、全体では「利用している」が60.8%、「利用していない」が32.2%となっています。

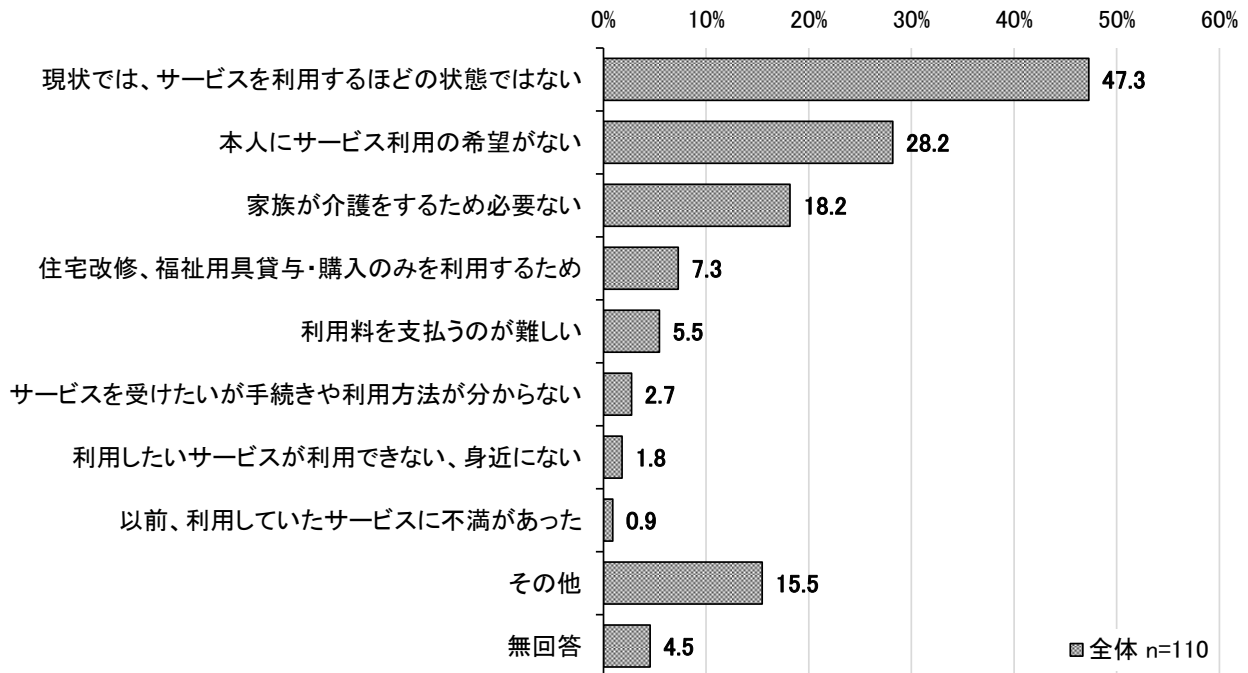
性別でみると、「利用している」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。



【Q5で「利用していない」と回答した方にお伺いします】

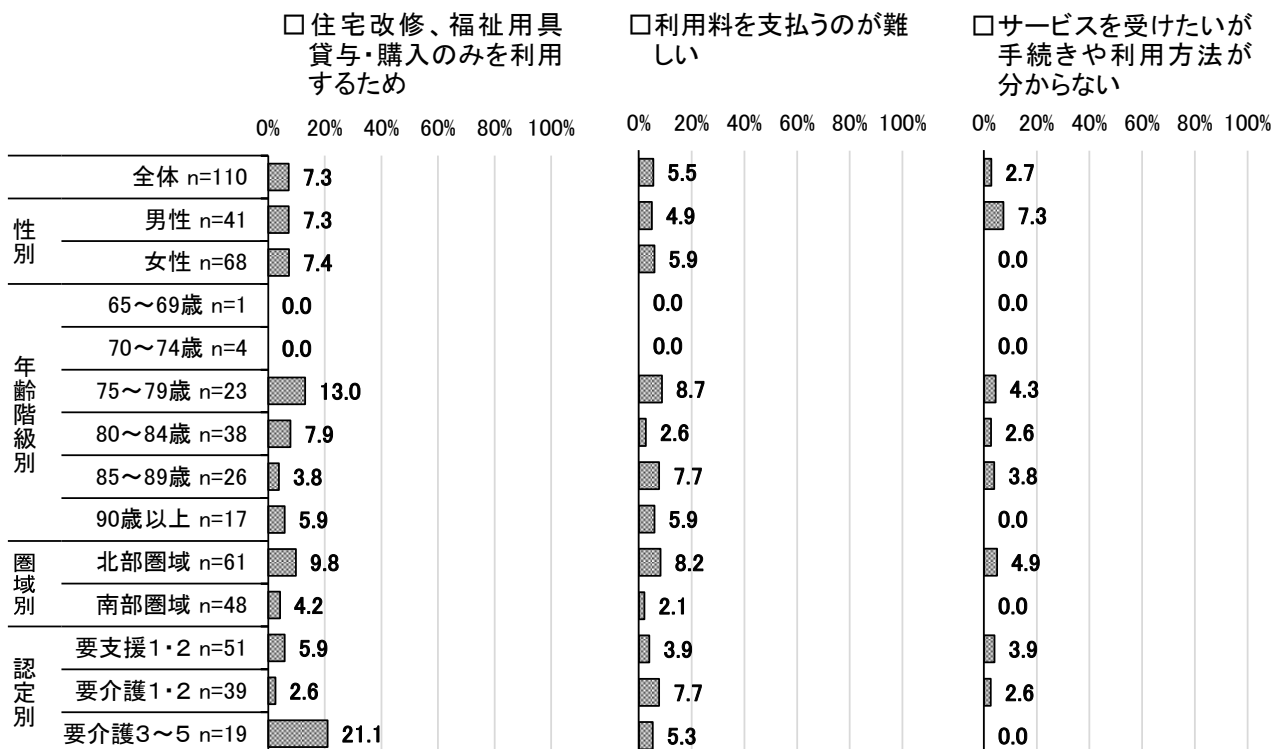
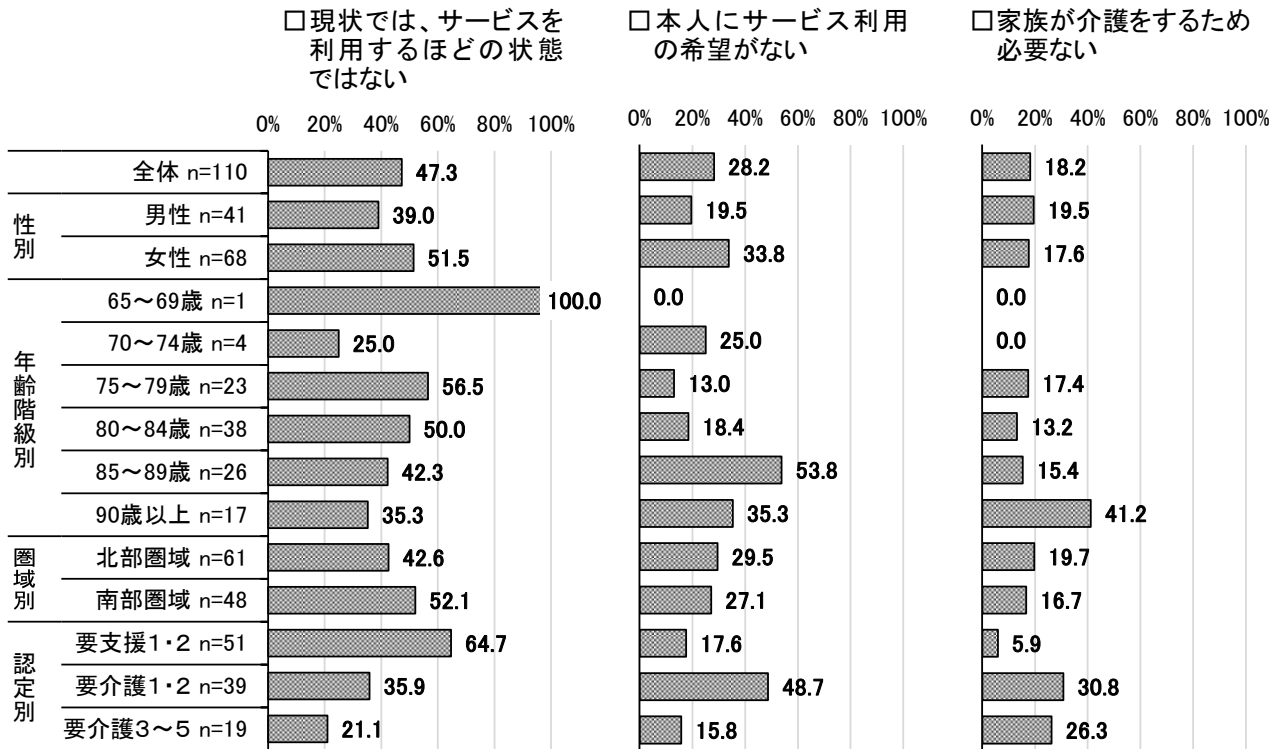
Q6. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

介護保険サービスを利用していない理由については、全体では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.3%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が28.2%、「家族が介護をするため必要ない」が18.2%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

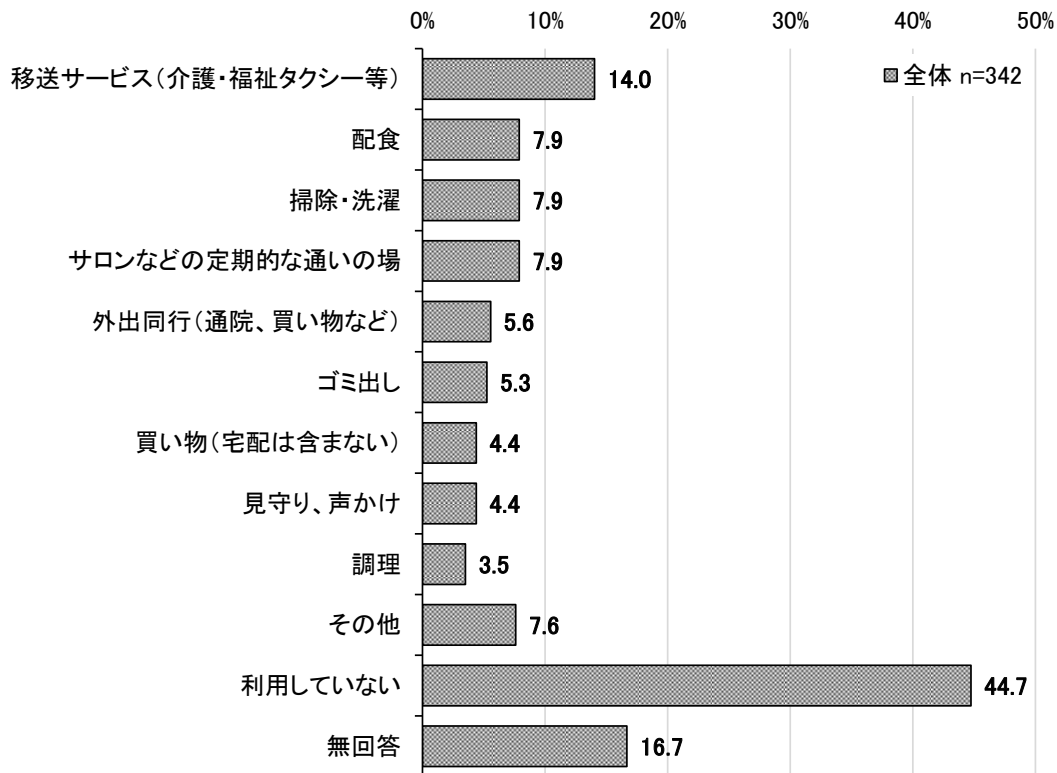
性別でみると、男性では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が39.0%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」がともに19.5%となっています。女性では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が51.5%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が33.8%、「家族が介護をするため必要ない」が17.6%となっています。



**Q7. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください
(いくつでも)**

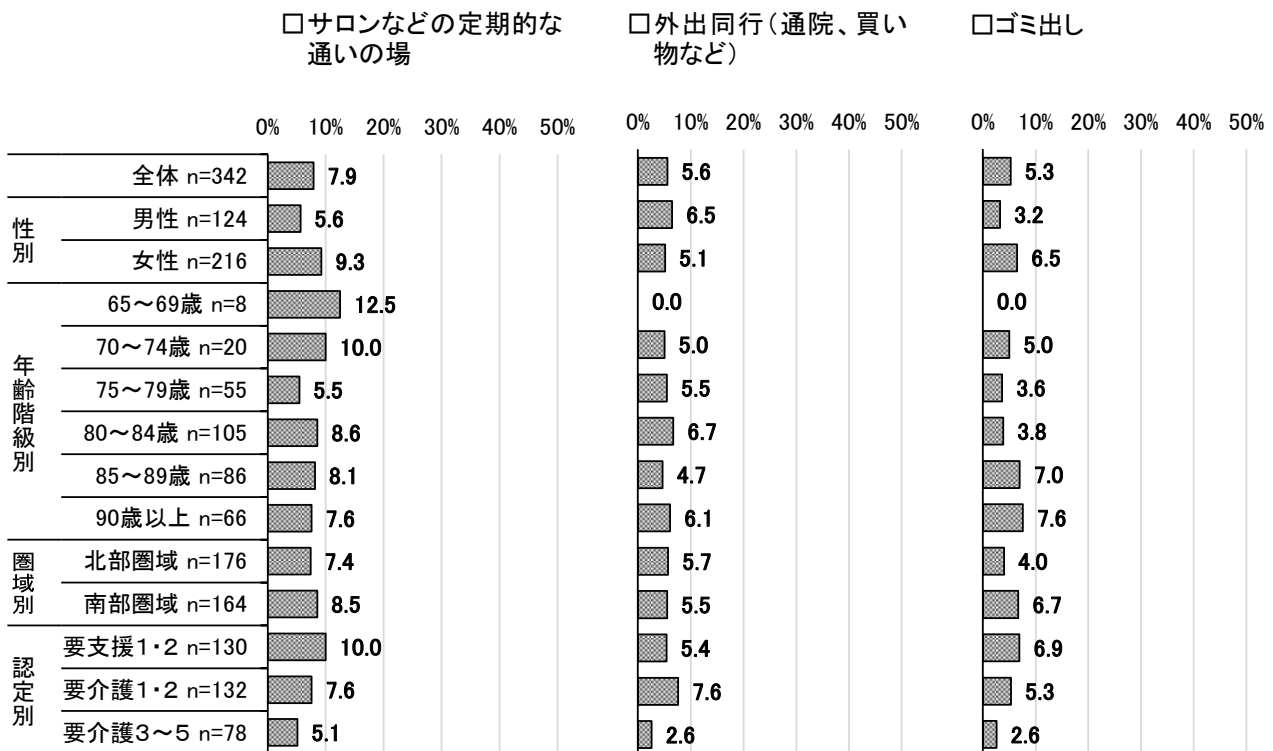
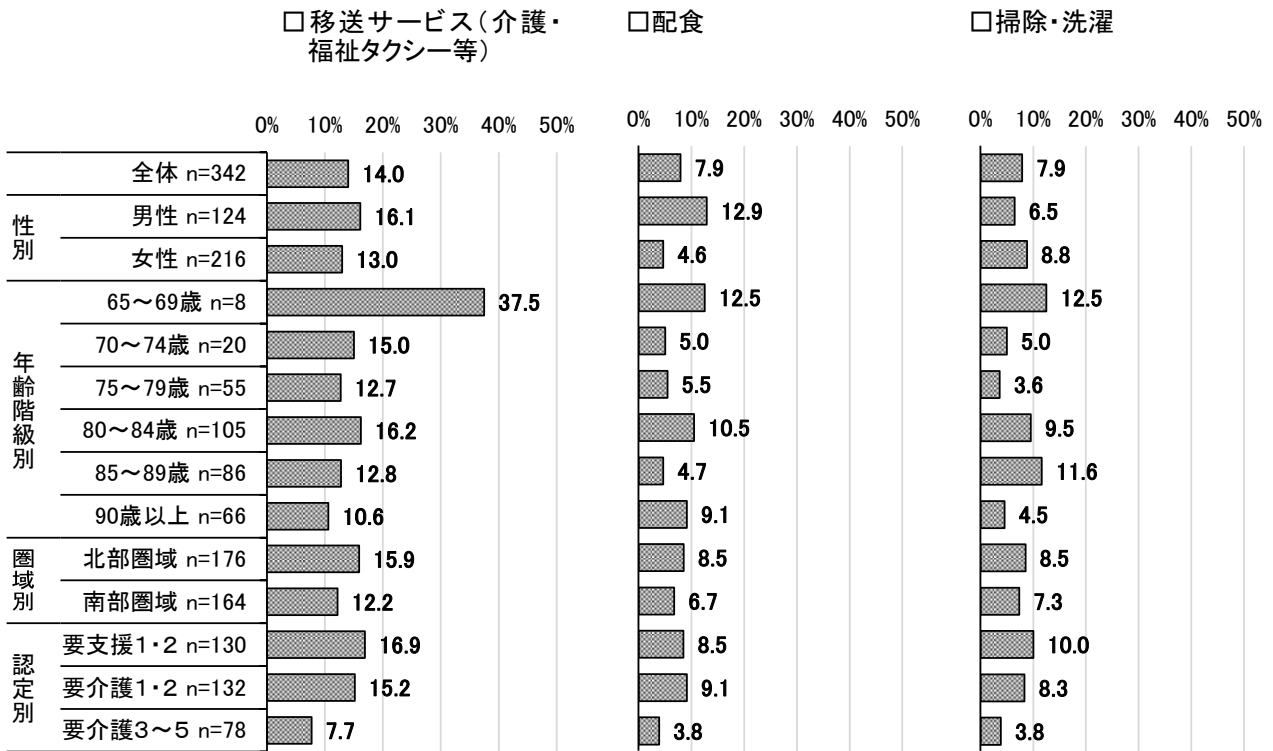
現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、全体では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が14.0%で最も高く、次いで「配食」、「掃除・洗濯」、「サロンなどの定期的な通いの場」がともに7.9%、「外出同行(通院、買い物など)」が5.6%となっています。

なお、「利用していない」は44.7%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

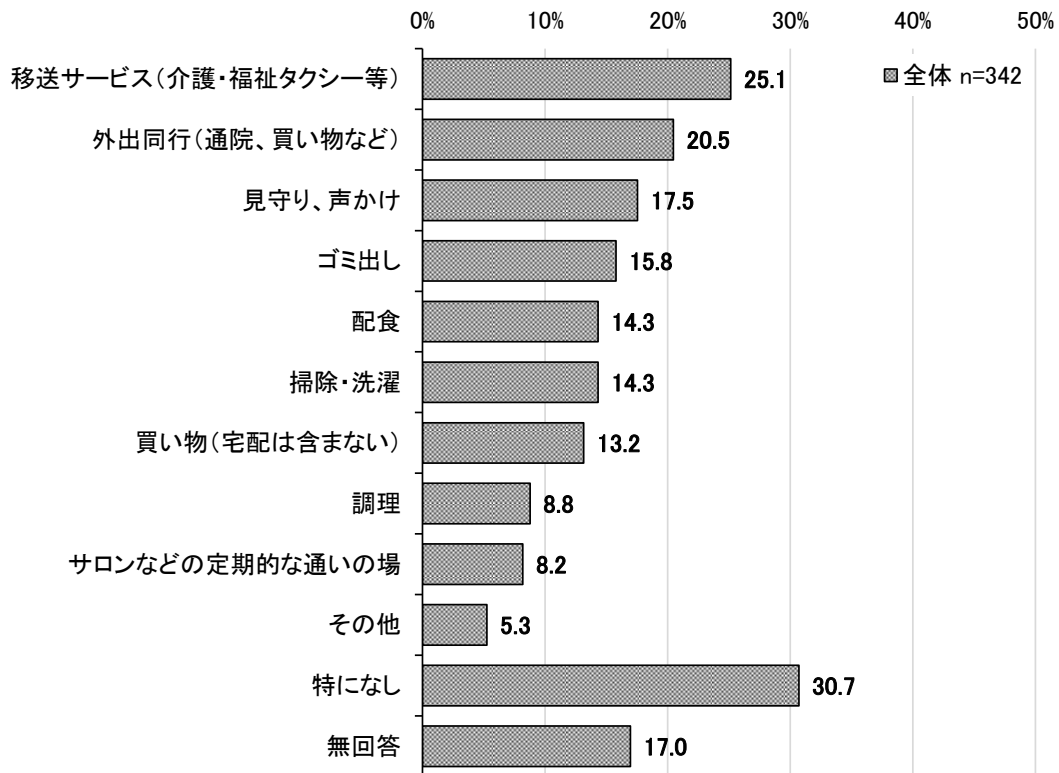
性別で見ると、男性では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が16.1%で最も高く、次いで「配食」が12.9%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」がともに6.5%となっています。女性では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.0%で最も高く、次いで「サロンなどの定期的な通いの場」が9.3%、「掃除・洗濯」が8.8%となっています。



Q8. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

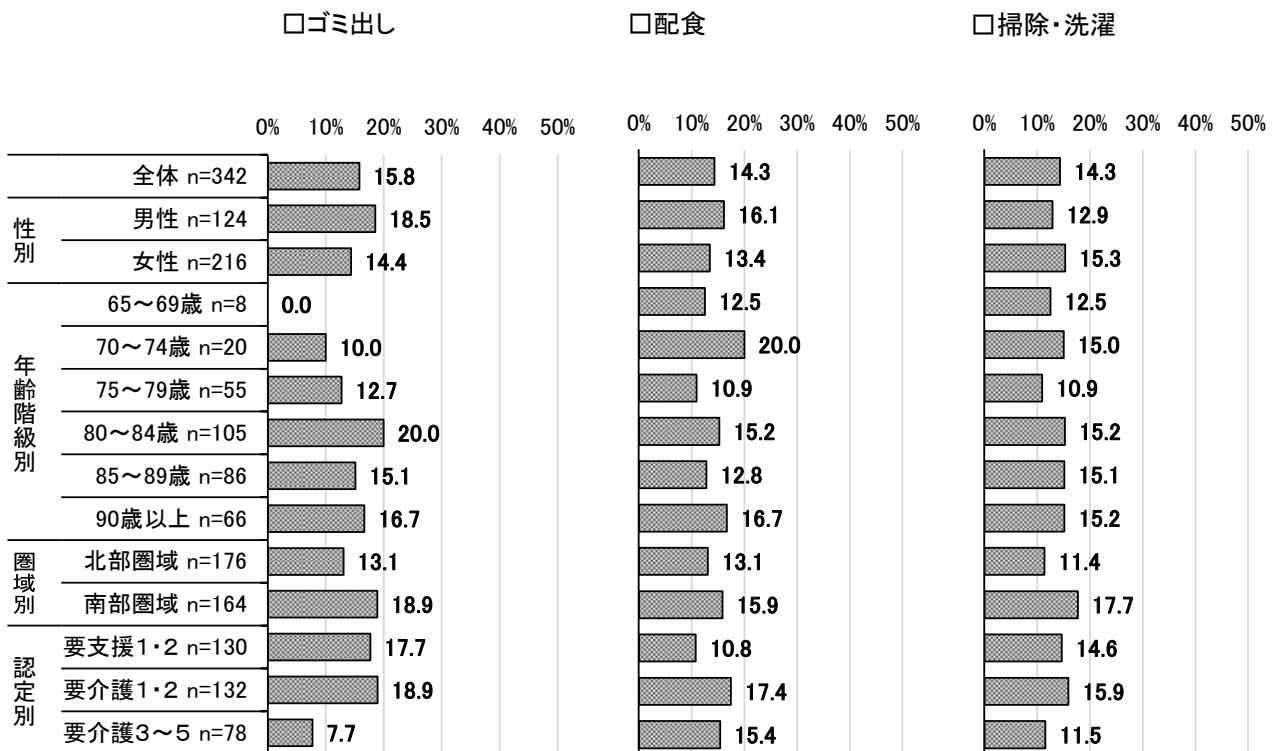
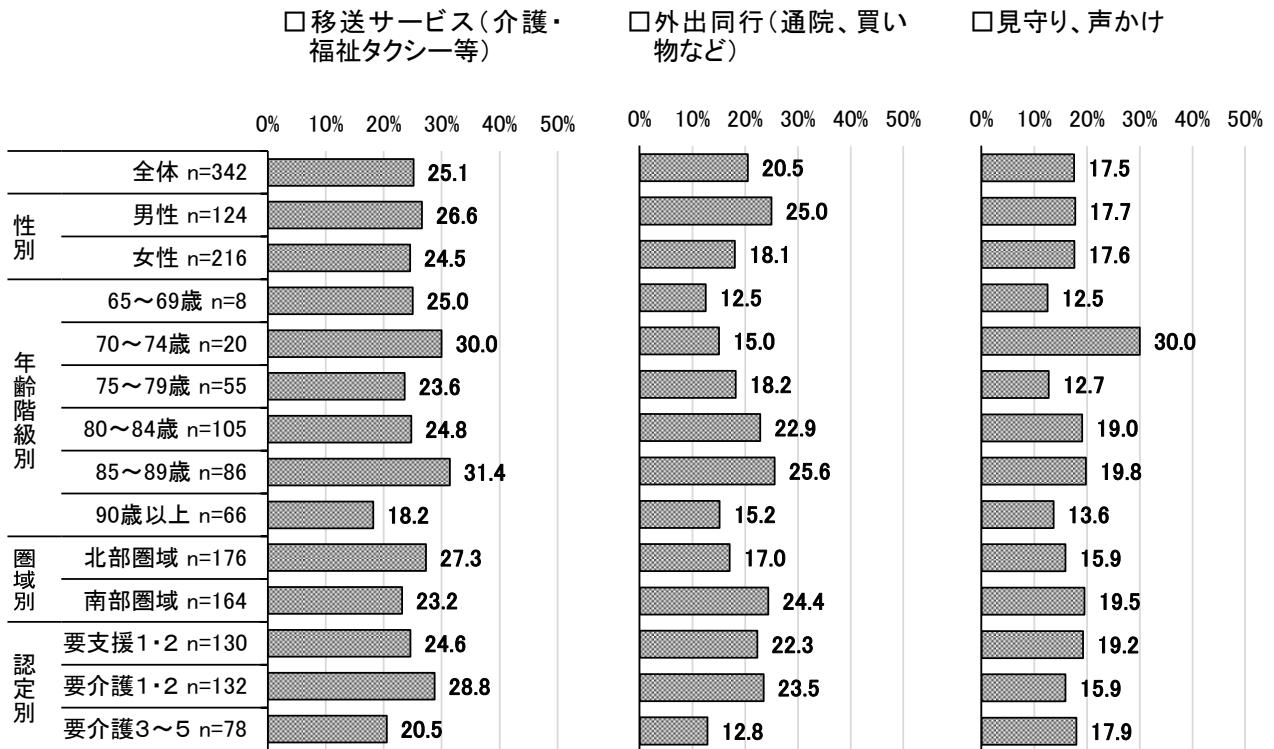
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、全体では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.1%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が20.5%、「見守り、声かけ」が17.5%となっています。

なお、「特になし」は30.7%となっています。



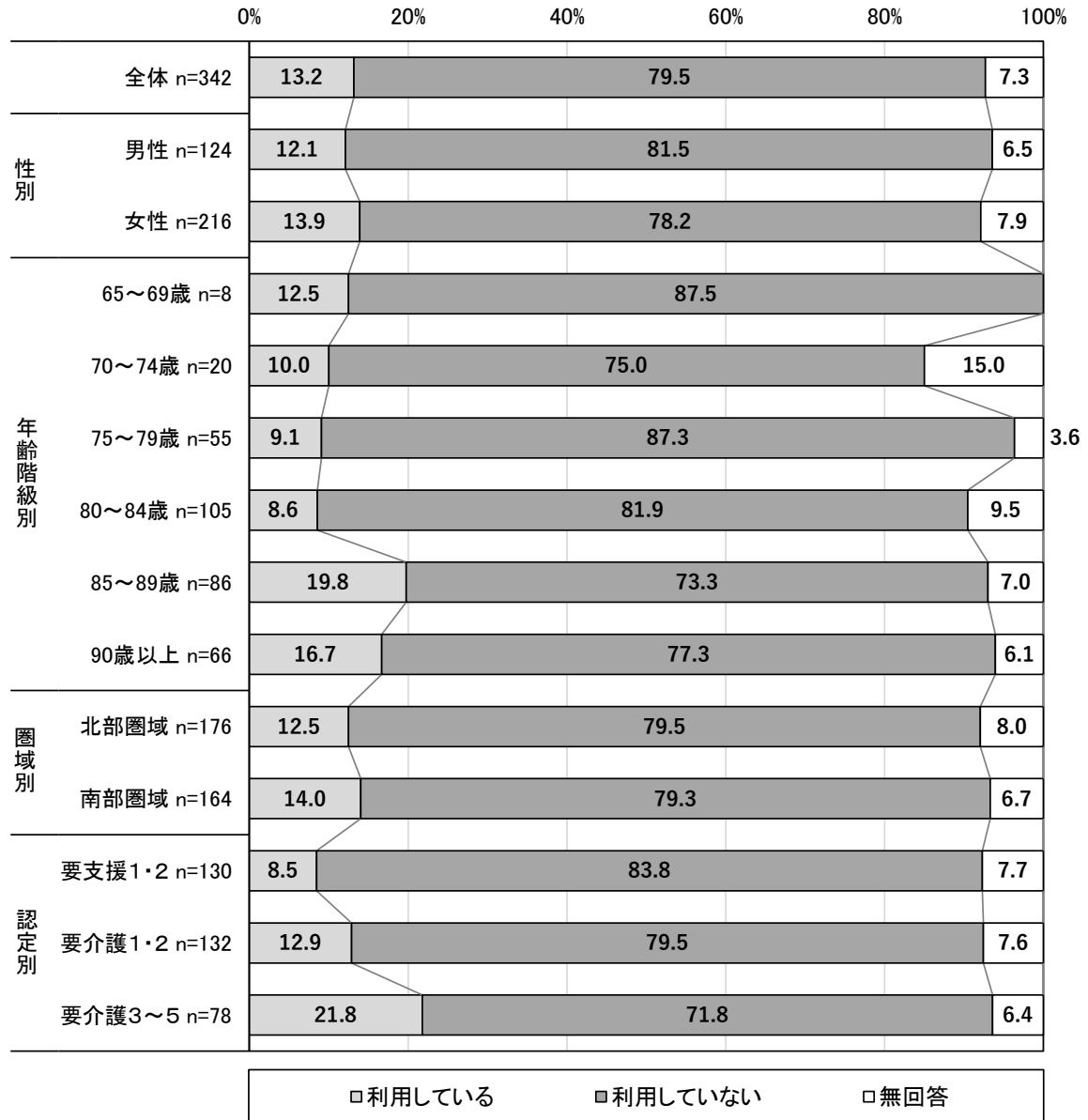
■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.6%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が25.0%、「ゴミ出し」が18.5%となっています。女性では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.5%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が18.1%、「見守り、声かけ」が17.6%となっています。



Q9. ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つのみ）

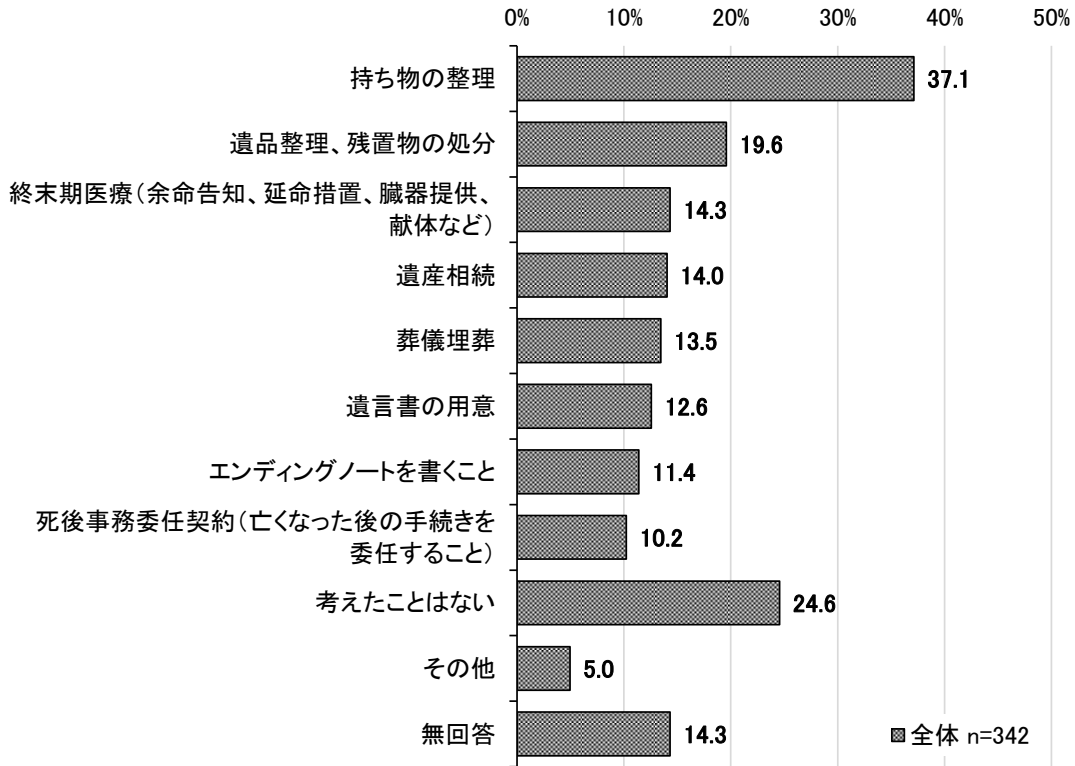
訪問診療の利用状況については、全体では「利用している」が13.2%、「利用していない」が79.5%となっています。



Q10. 終活において、心配なこと、気になることは何ですか（いくつでも）

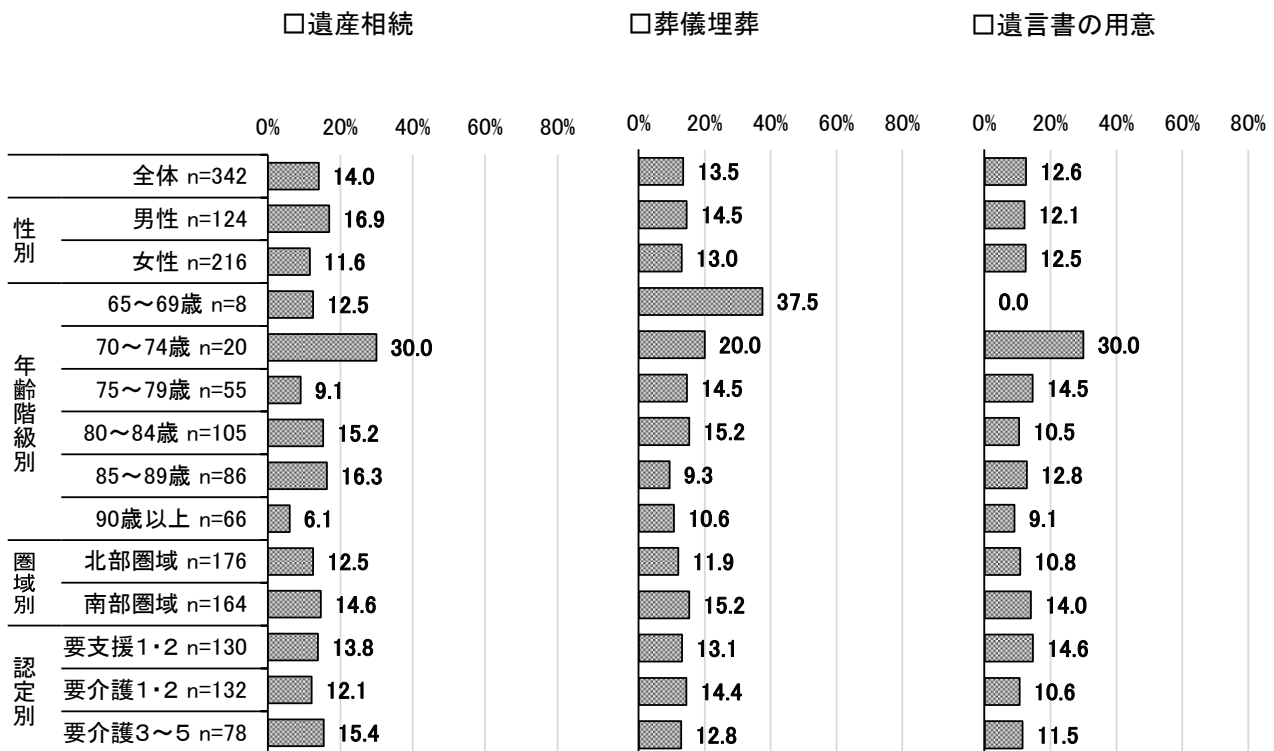
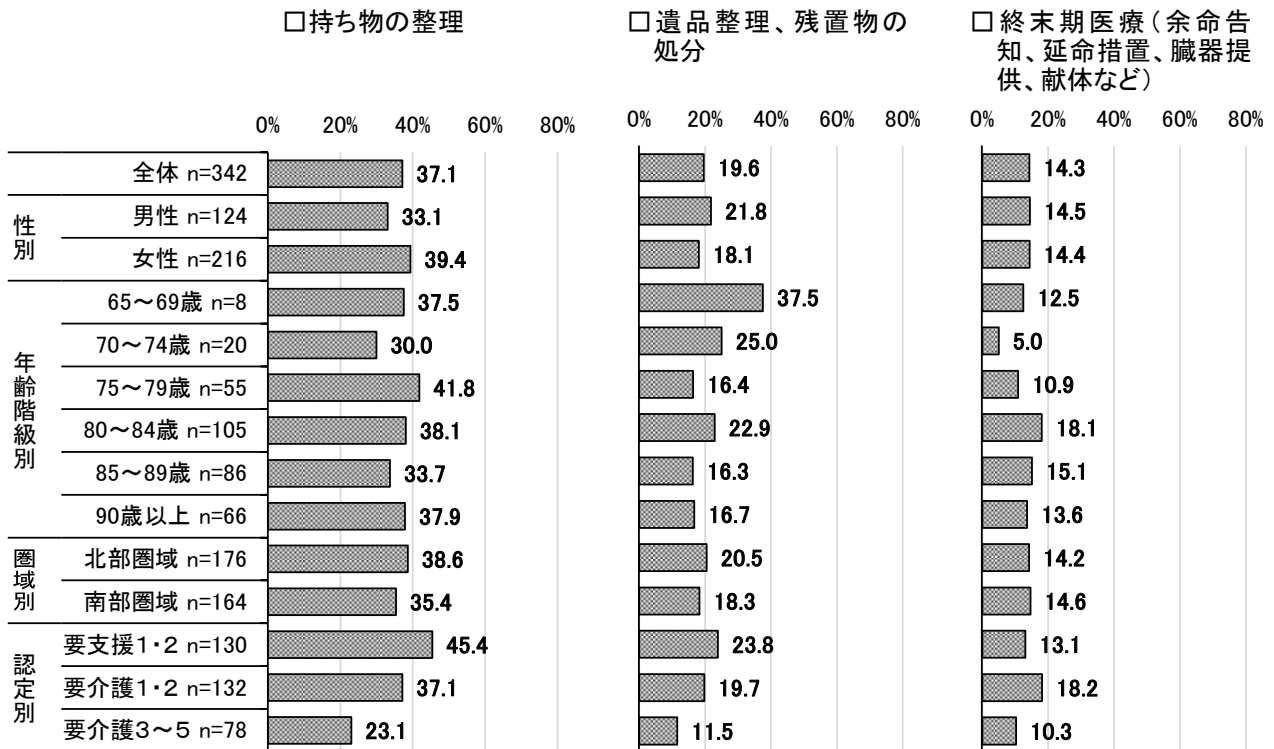
終活において、心配なこと、気になることについては、全体では「持ち物の整理」が 37.1%で最も高く、次いで「遺品整理、残置物の処分」が 19.6%、「終末期医療（余命告知、延命措置、臓器提供、献体など）」が 14.3%となっています。

なお、「考えたことはない」は 24.6%となっています。



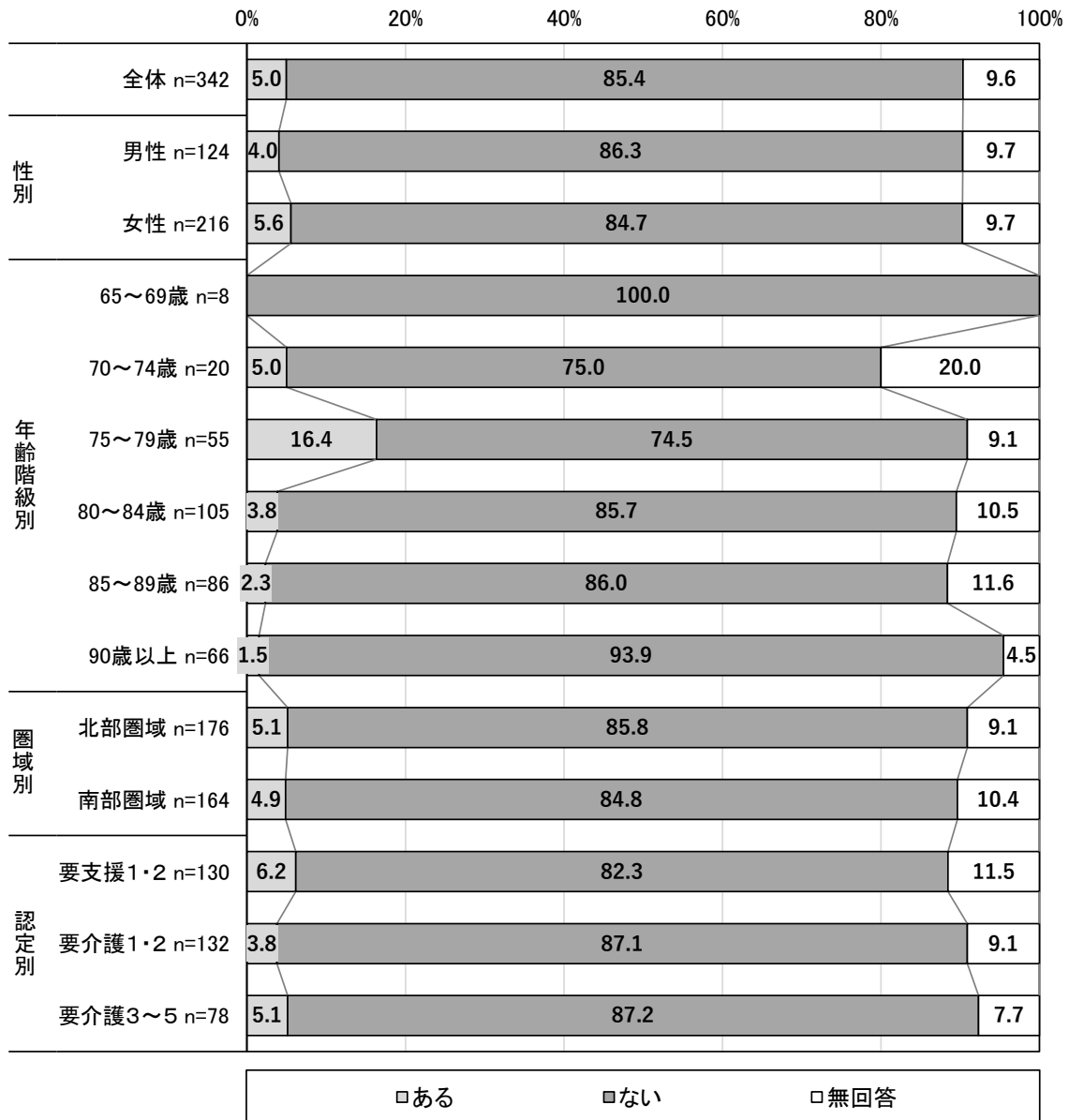
■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性では、「持ち物の整理」が33.1%で最も高く、次いで「遺品整理、残置物の処分」が21.8%、「遺産相続」が16.9%となっています。女性では、「持ち物の整理」が39.4%で最も高く、次いで「遺品整理、残置物の処分」が18.1%、「終末期医療（余命告知、延命措置、臓器提供、献体など）」が14.4%となっています。



Q11. 頼れる人や保証人等がおらず、病院への入院や施設への入所、住居の入居の際に困ったことや断られた経験はありますか。もしくはそのような不安はありますか（1つのみ）

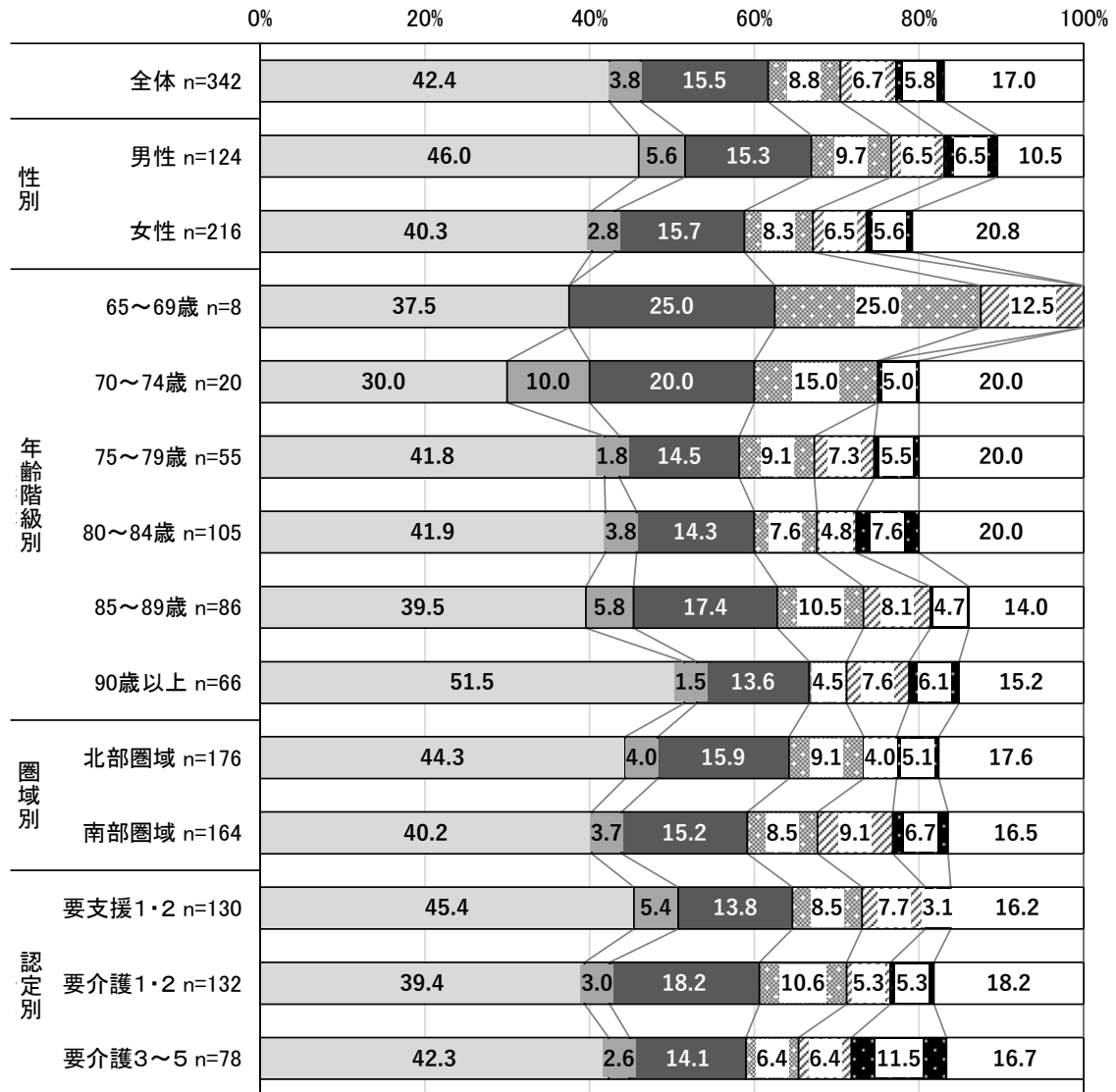
頼れる人や保証人等がおらず、病院への入院や施設への入所、住居の入居の際に困ったことや断られた経験の有無については、全体では「ある」が5.0%、「ない」が85.4%となっています。



Q12. 一人暮らしとなり見守りをしてもらうなら、どのような手法が良いですか（1つのみ）

一人暮らしとなった際に良いと思う見守りの手法については、全体では「家族による訪問や電話による見守り」が42.4%で最も高く、次いで「民間事業所による訪問の見守り」が15.5%、「人感センサーや本人が元気であることを知らせるスイッチ等」が8.8%となっています。

性別でみると、「家族による訪問や電話による見守り」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

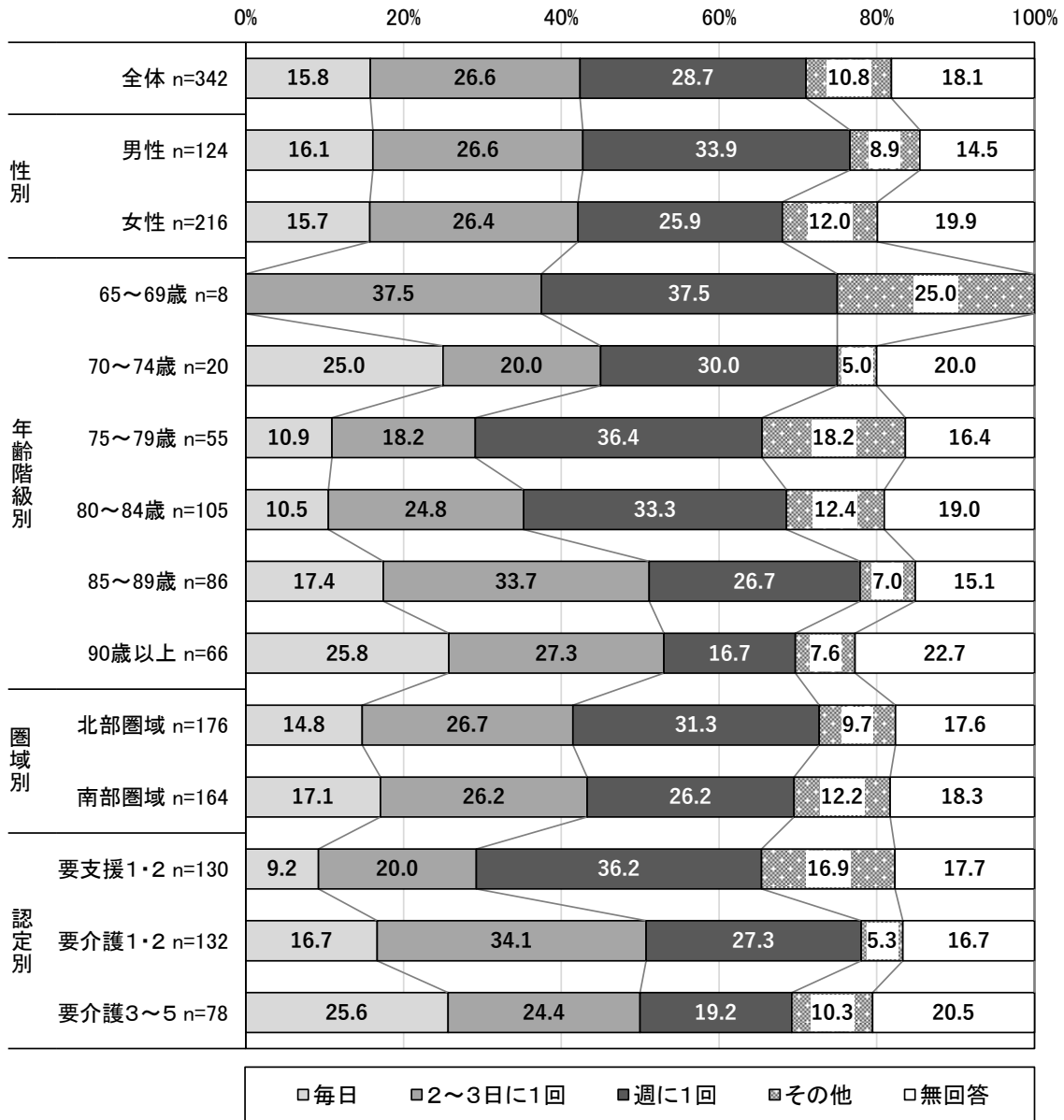


- 家族による訪問や電話による見守り
- 近所の人による訪問の見守り
- 民間事業所による訪問の見守り
- ▣ 人感センサーや本人が元気であることを知らせるスイッチ等
- 見守りは必要ない
- その他
- 無回答

Q13. 訪問による見守りをしてもらうなら、どのくらいの頻度が良いですか（1つのみ）

訪問による見守りをしてもらう場合に、良いと思う頻度については、全体では「週に1回」が28.7%で最も高く、次いで「2～3日に1回」が26.6%、「毎日」が15.8%となっています。

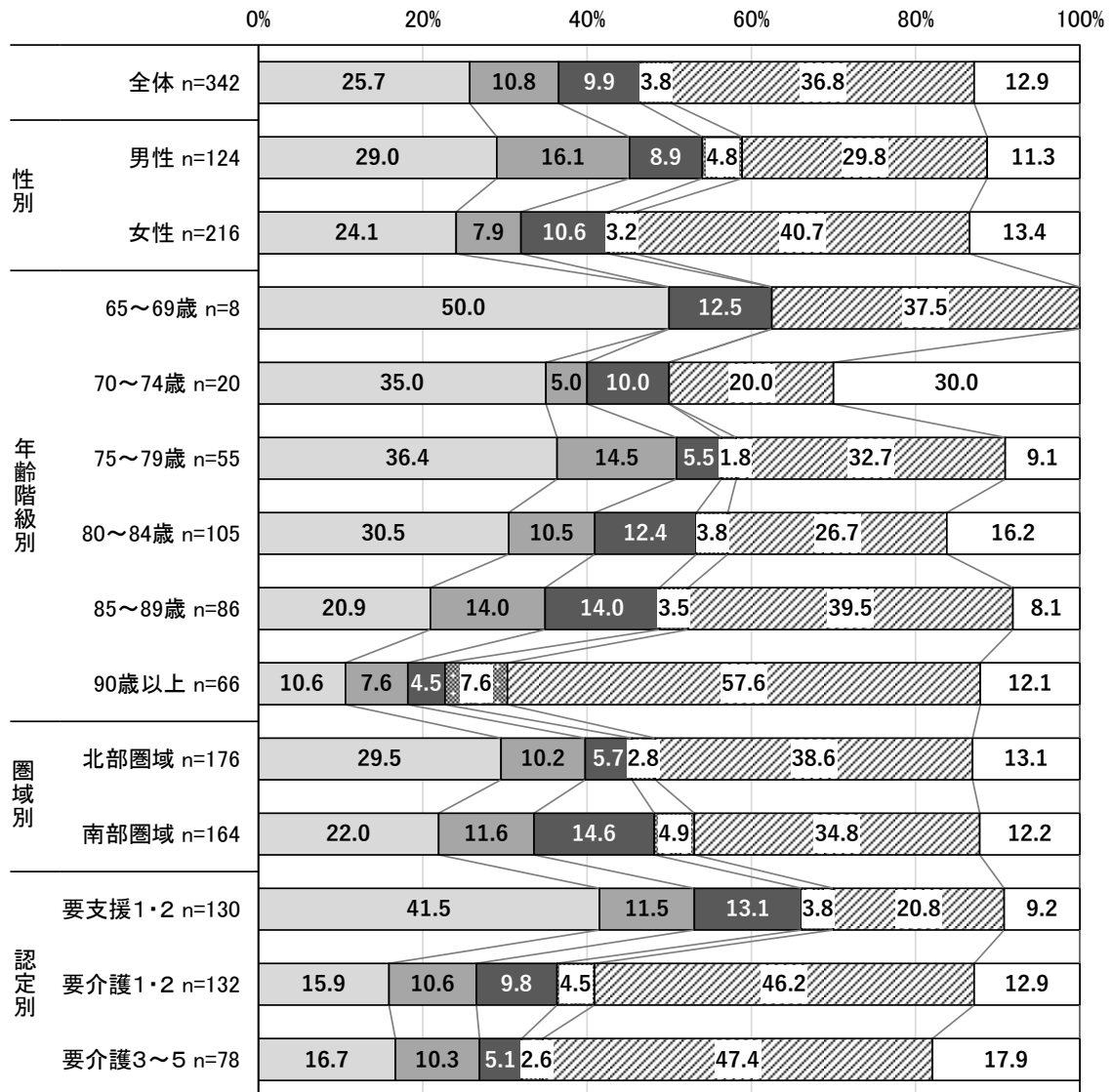
性別で見ると、「週に1回」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。



Q14. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つのみ）

ご家族やご親族の方からの介護状況については、全体では「ほぼ毎日ある」が36.8%で最も高く、次いで「ない」が25.7%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が10.8%となっています。

性別でみると、「ない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。一方で、「ほぼ毎日ある」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。



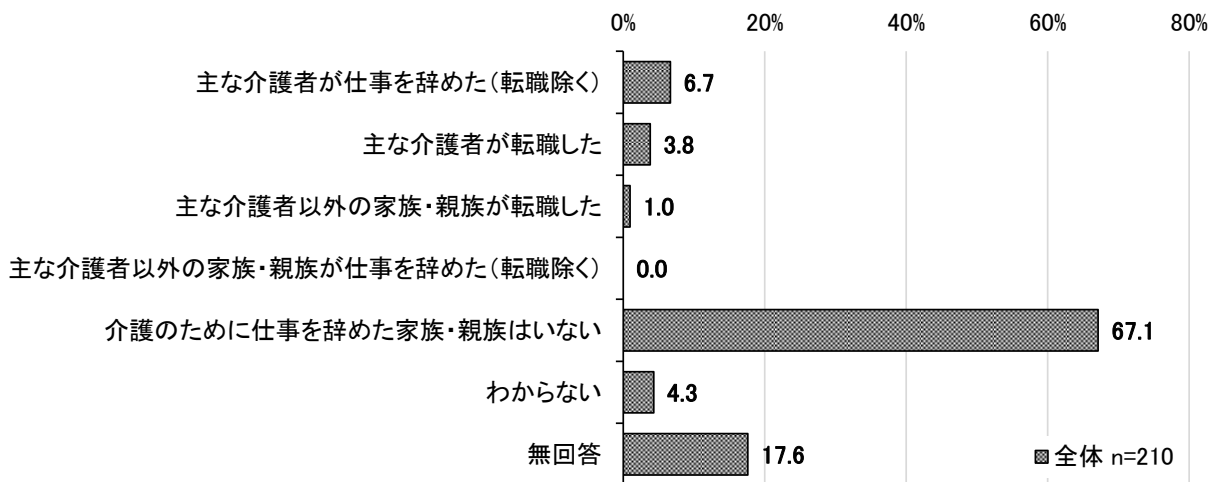
- ない
- ▣ 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
- 週に1～2日ある
- ▣ 週に3～4日ある
- ▣ ほぼ毎日ある
- 無回答

2. B票 主な介護者の方について

Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

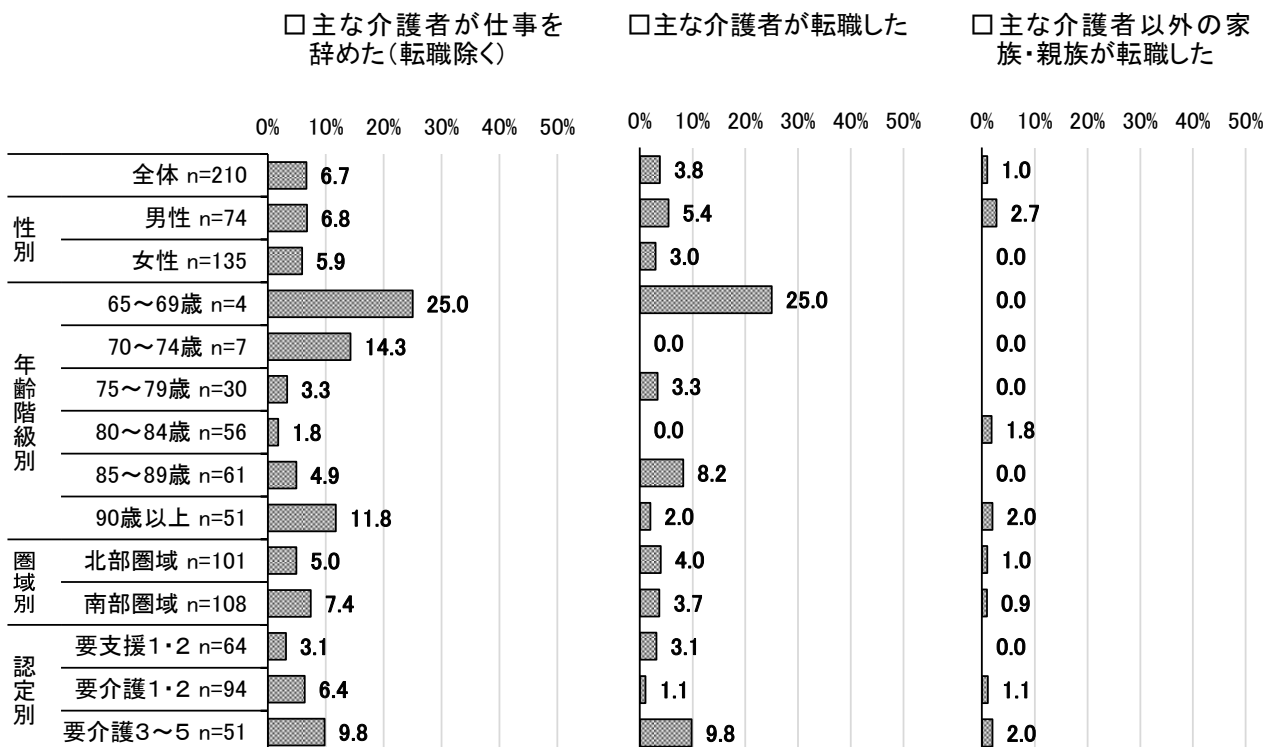
ご家族やご親族の中で、介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方がいるかについては、全体では「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.7%、「主な介護者が転職した」が3.8%、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」が1.0%となっています。

なお、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は67.1%となっています。



■ 性別・年齢階級別・圏域別・認定別

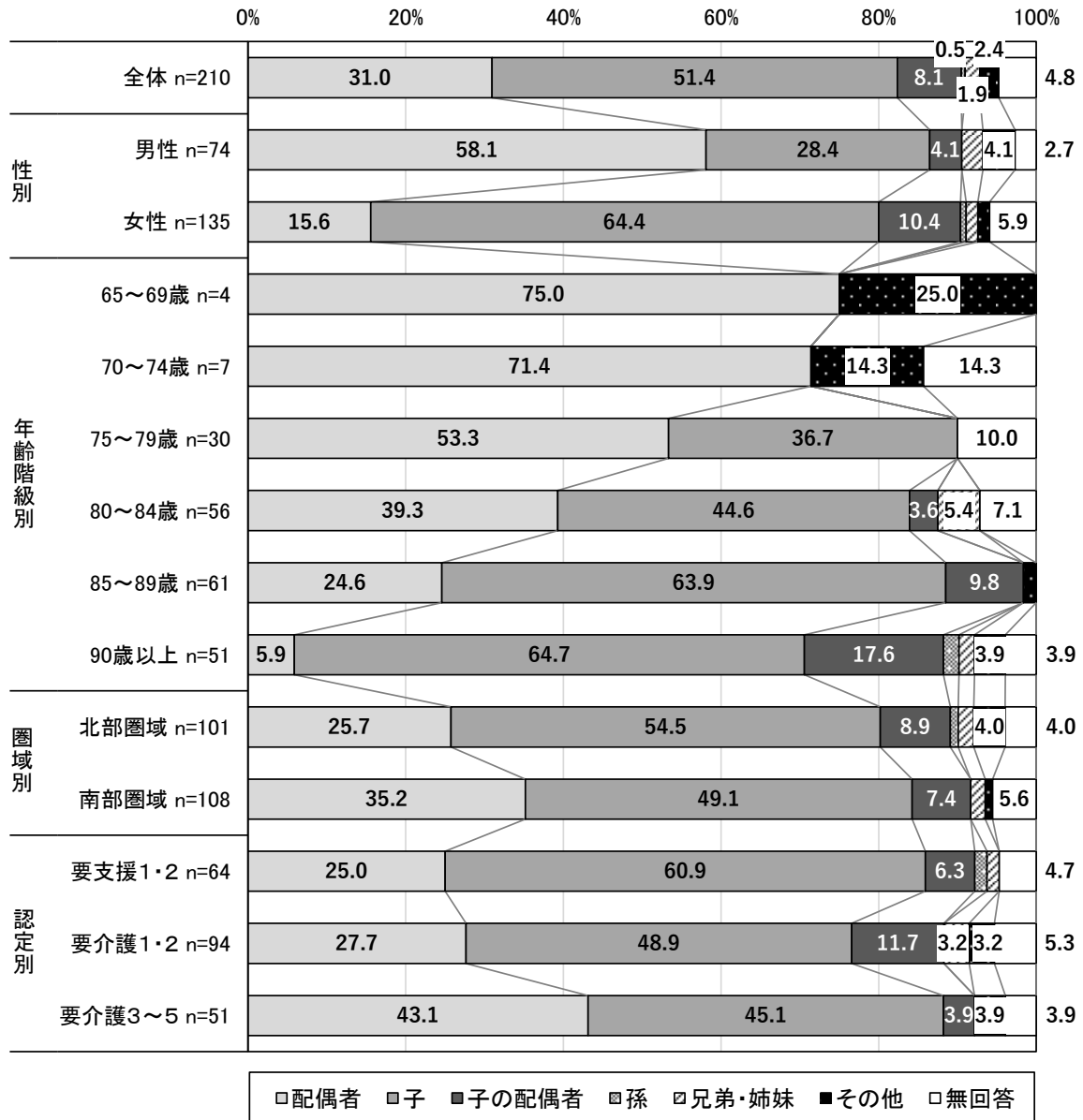
性別でみると、いずれの回答も男性が女性を上回っています。



Q2. 主な介護者の方は、どなたですか（1つのみ）

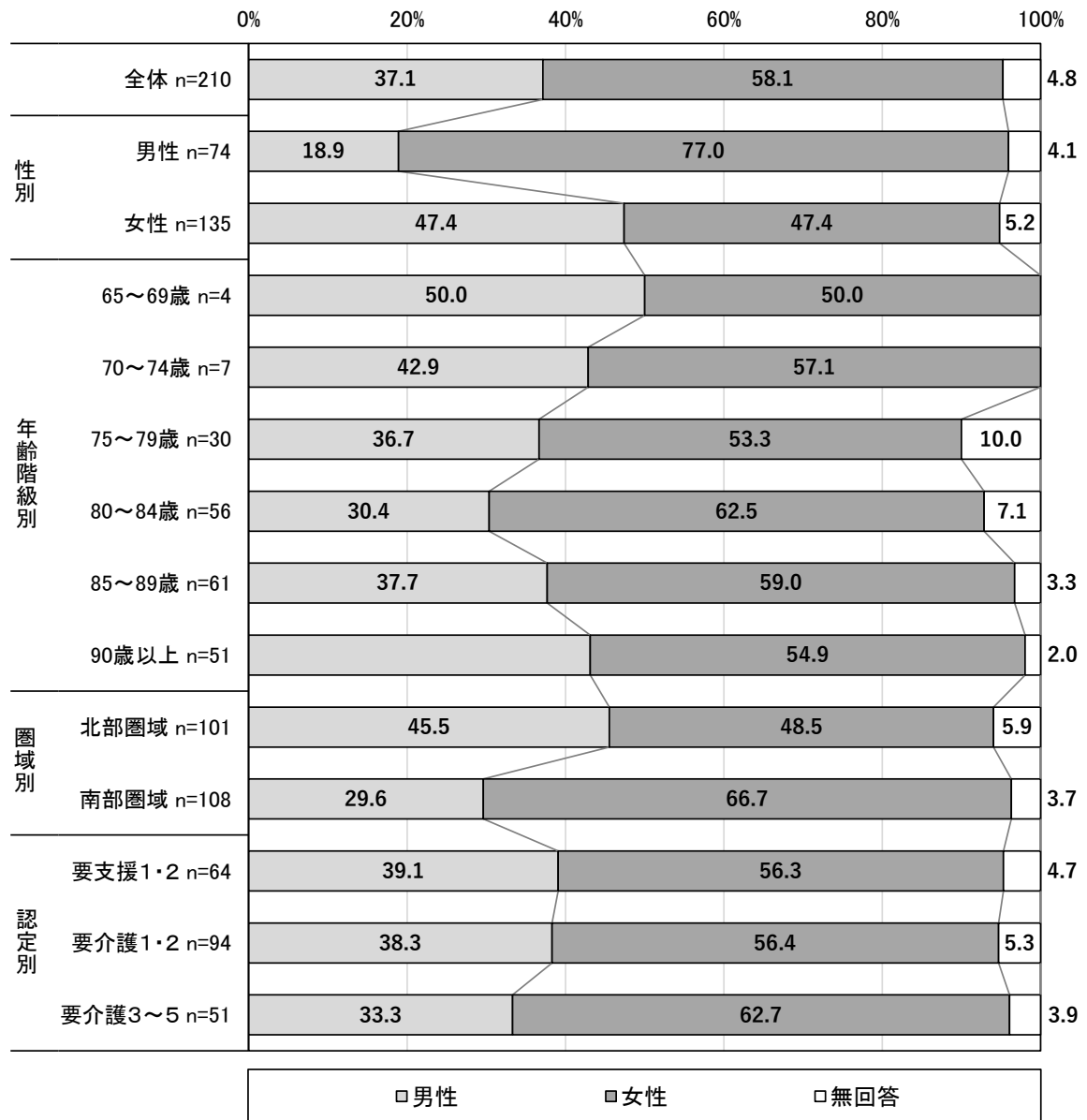
主な介護者については、全体では「子」が51.4%で最も高く、次いで「配偶者」が31.0%、「子の配偶者」が8.1%となっています。

性別で見ると、「配偶者」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。一方で、「子」は、男性に比べ女性のほうが上回っています。



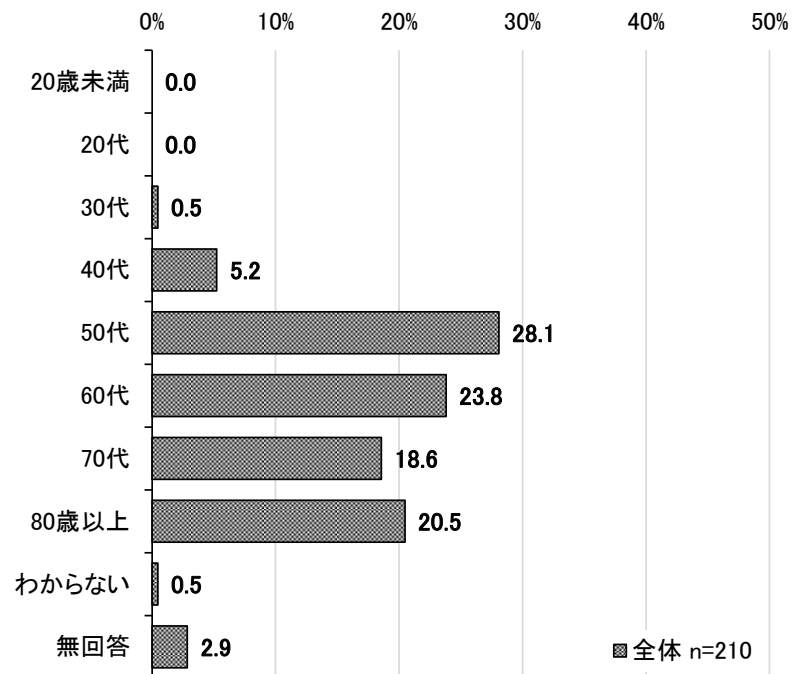
Q3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つのみ）

主な介護者の方の性別については、「男性」が37.1%、「女性」が58.1%となっています。



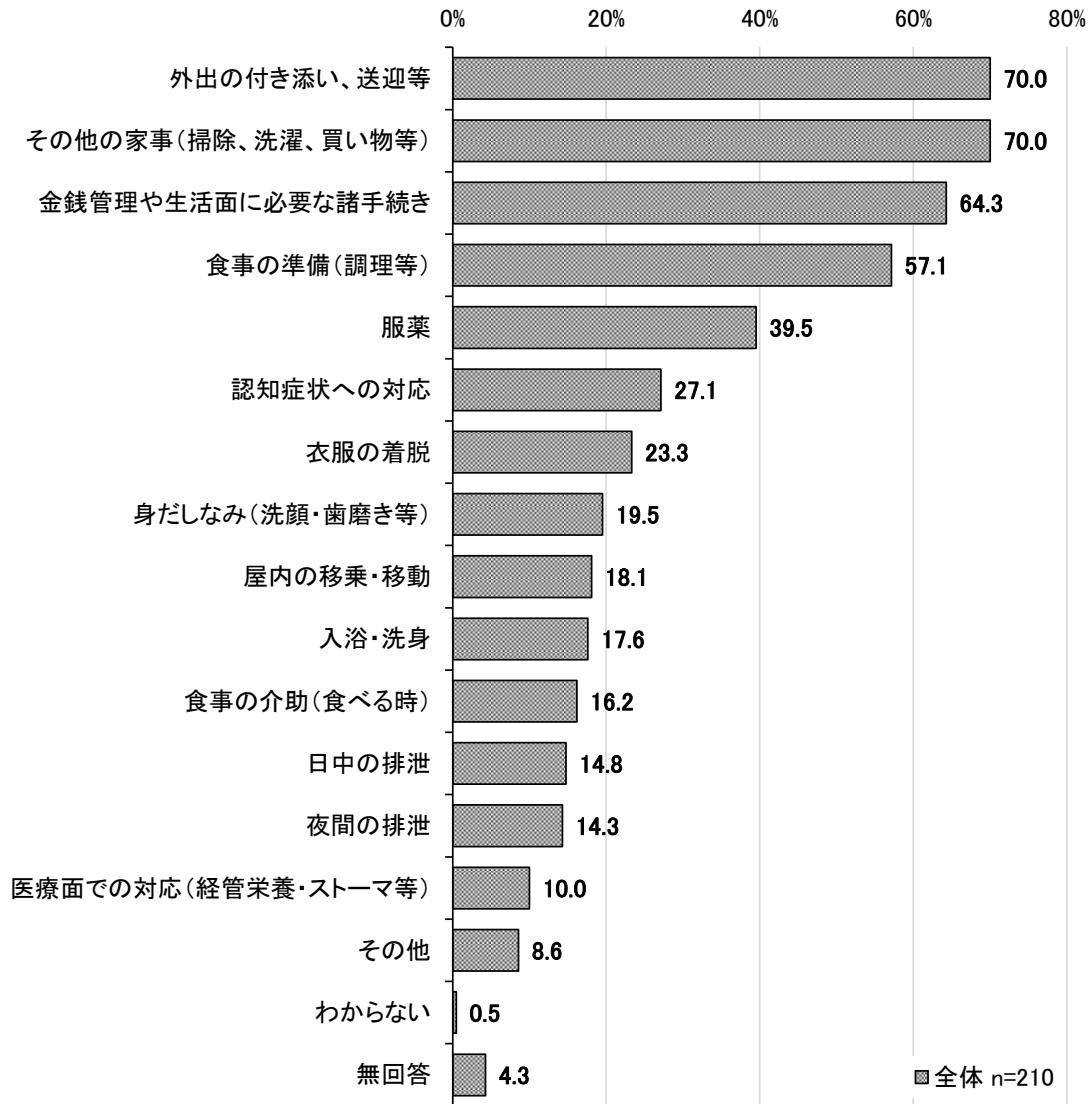
Q4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つのみ）

主な介護者の方の年齢については、全体では「50代」が28.1%で最も高く、次いで「60代」が23.8%、「80歳以上」が20.5%となっています。



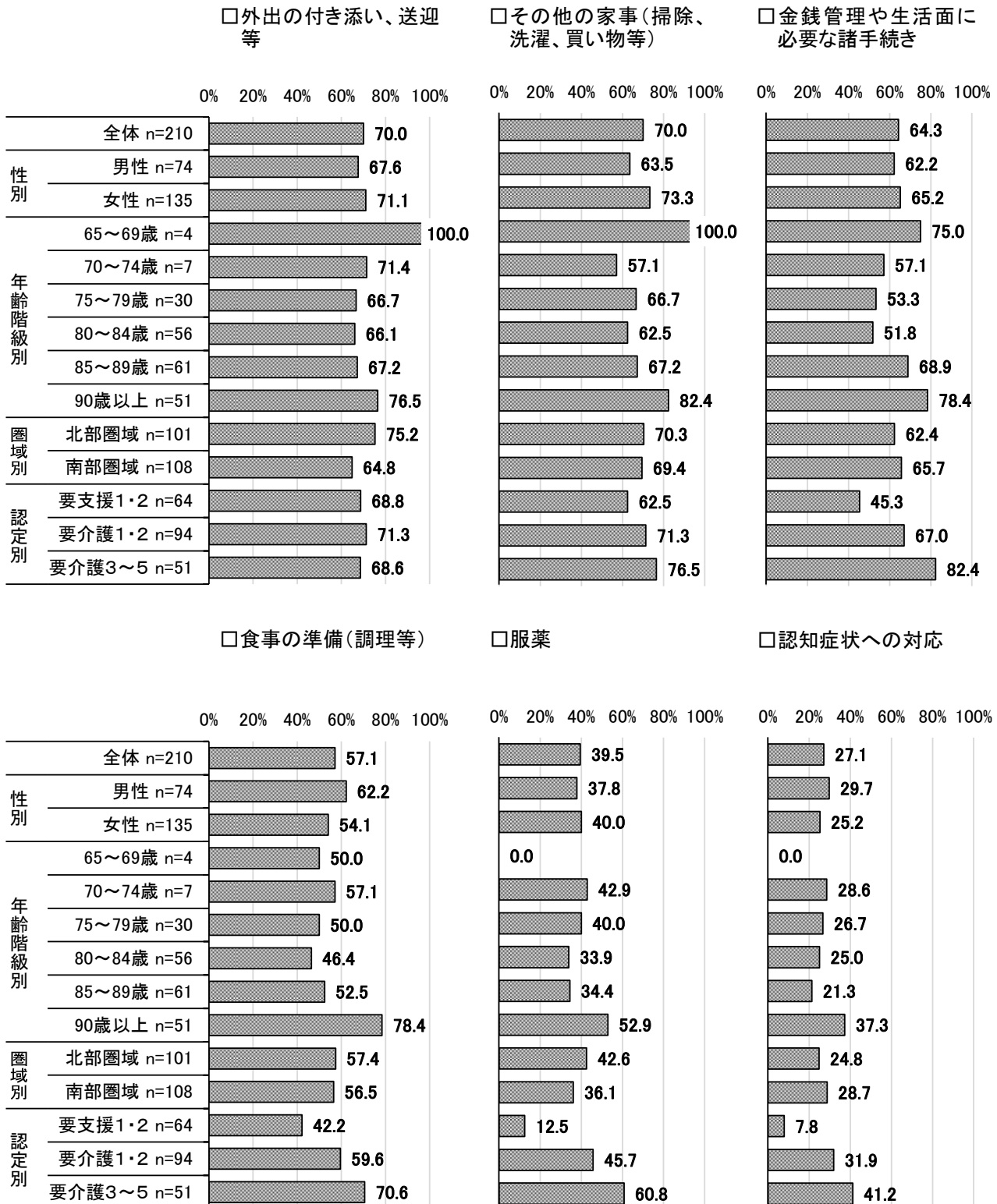
Q5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

主な介護者の方が行っている介護については、全体では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」がともに70.0%で最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が64.3%、「食事の準備（調理等）」が57.1%、「服薬」が39.5%となっています。



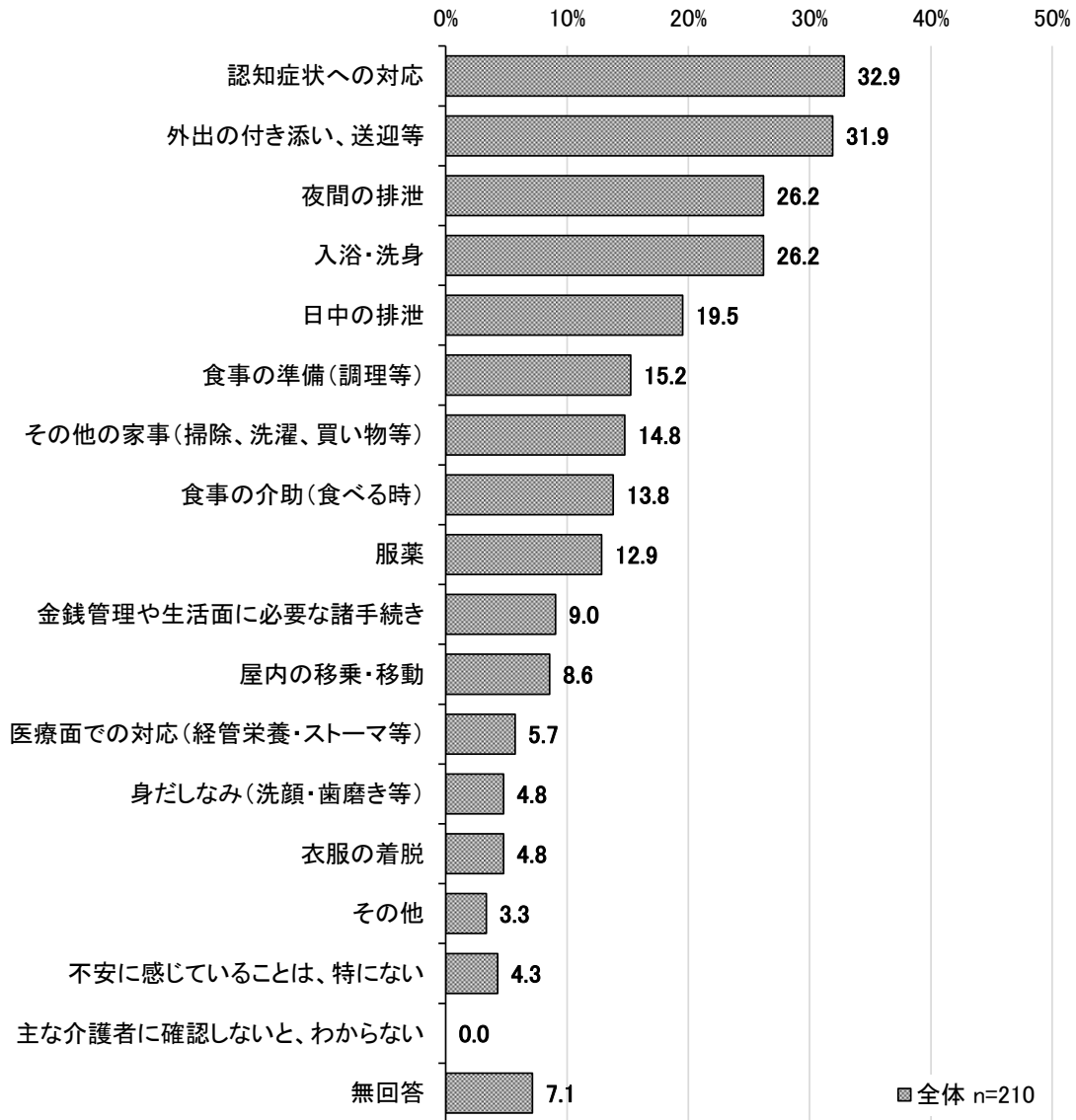
■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性では、「外出の付き添い、送迎等」が67.6%で最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が63.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が62.2%となっていて、女性では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が73.3%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が65.2%となっています。



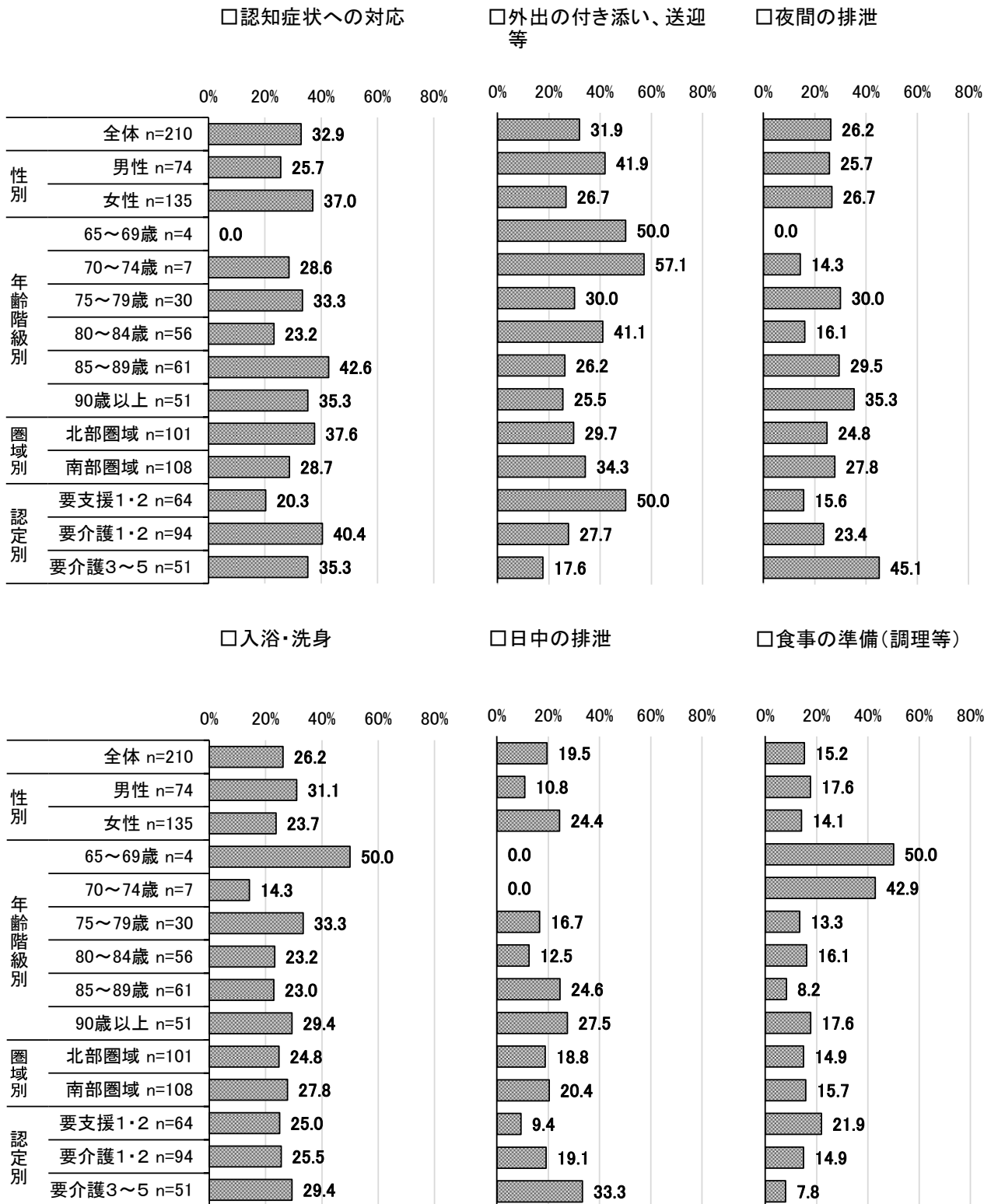
Q6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等については、全体では「認知症状への対応」が32.9%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が31.9%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」がともに26.2%、「日中の排泄」が19.5%となっています。



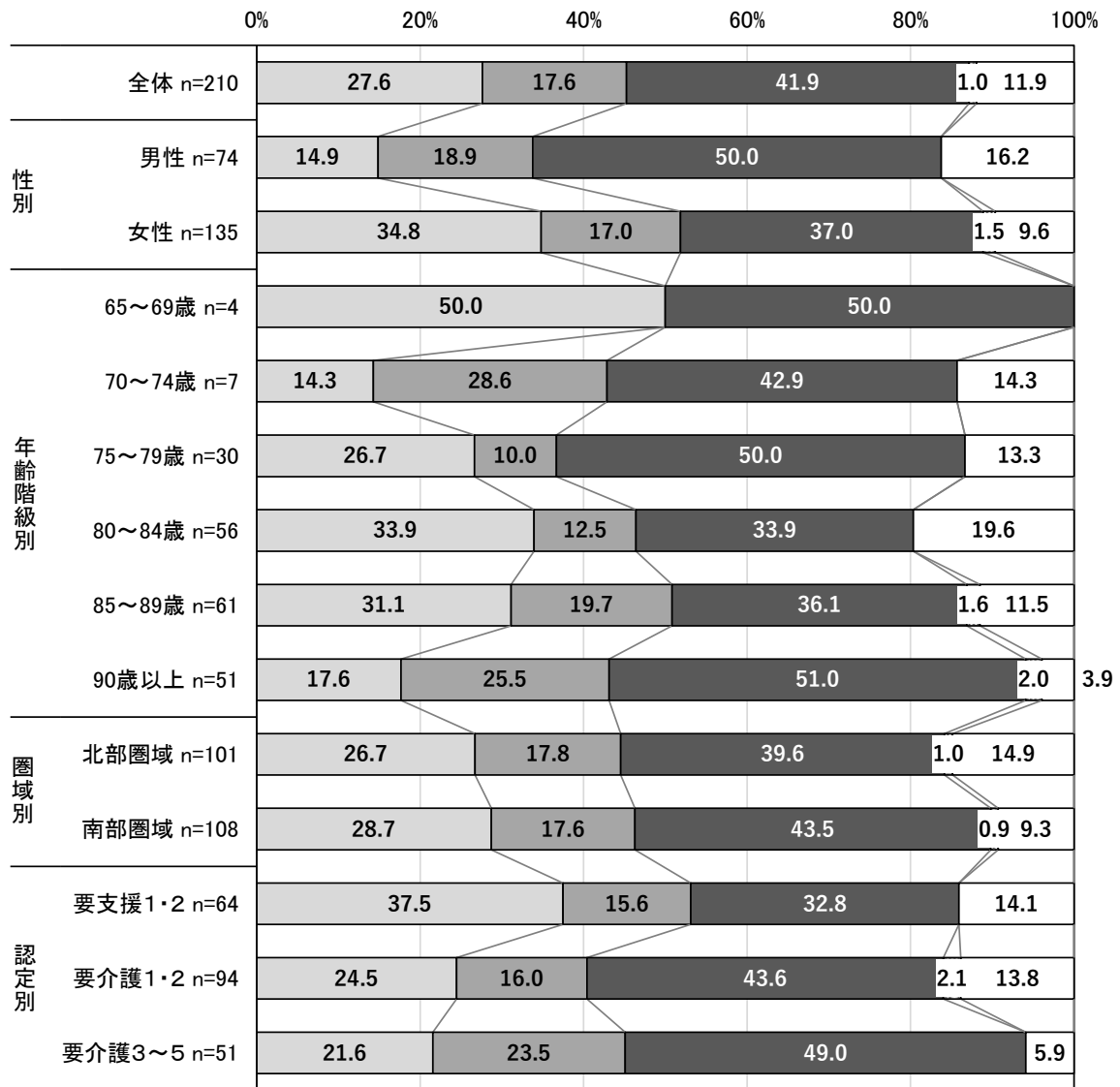
■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

性別で見ると、男性では、「外出の付き添い、送迎等」が41.9%で最も高く、次いで「入浴・洗身」が31.1%、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」がともに25.7%となっています。女性では、「認知症状への対応」が37.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「夜間の排泄」がともに26.7%、「日中の排泄」が24.4%となっています。



Q7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つのみ）

主な介護者の方の現在の勤務形態については、全体では「働いていない」が41.9%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が27.6%、「パートタイムで働いている」が17.6%となっています。
性別で見ると、「働いていない」は、女性に比べ男性のほうが上回っています。

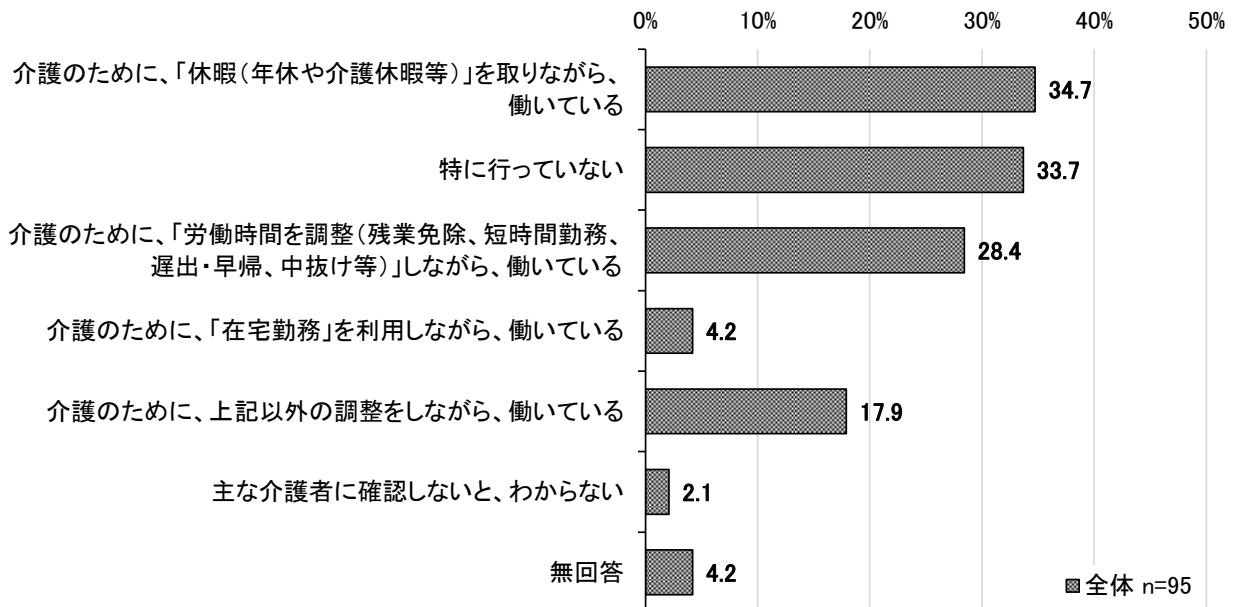


- フルタイムで働いている
- パートタイムで働いている
- 働いていない
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

【Q7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

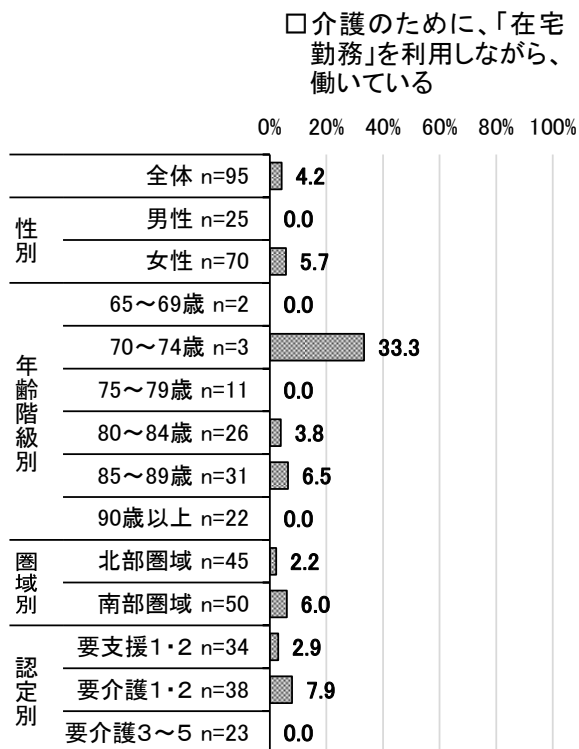
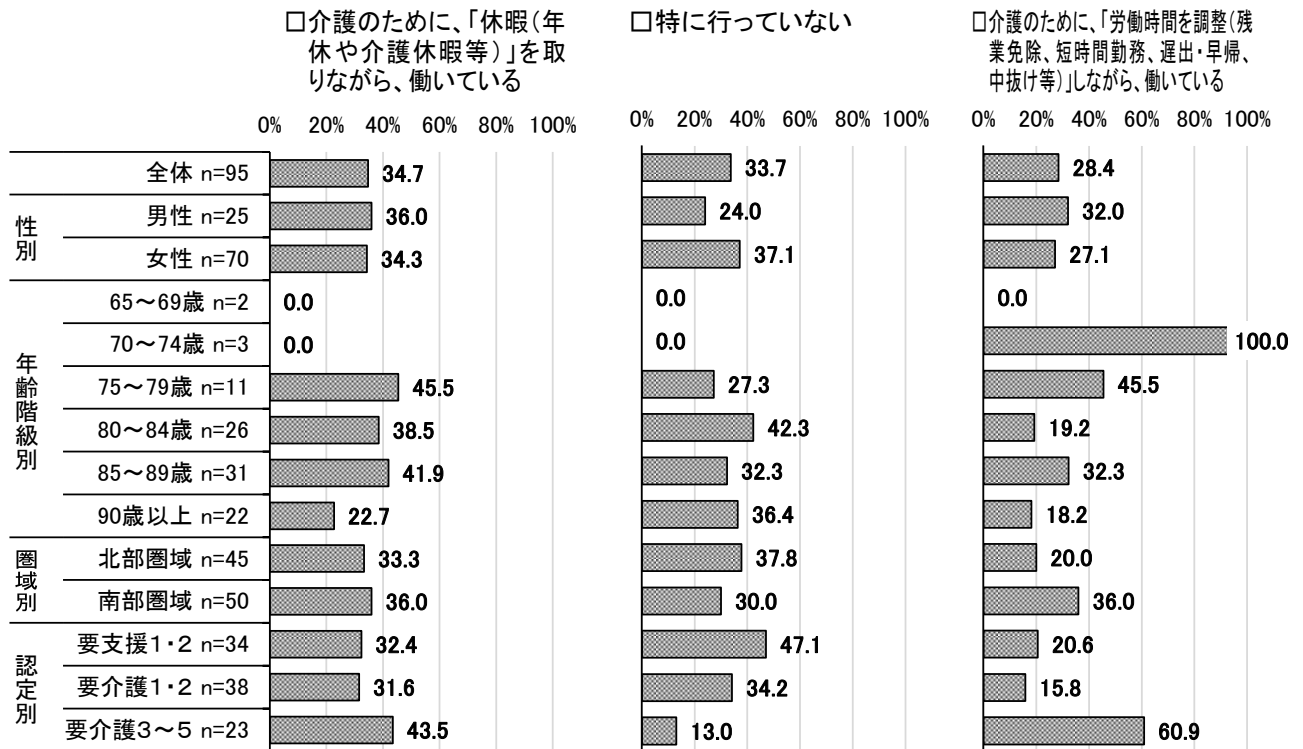
**Q8. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
(いくつでも)**

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしているかについては、全体では「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が34.7%で最も高く、次いで「特に行っていない」が33.7%、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）』しながら、働いている」が28.4%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別

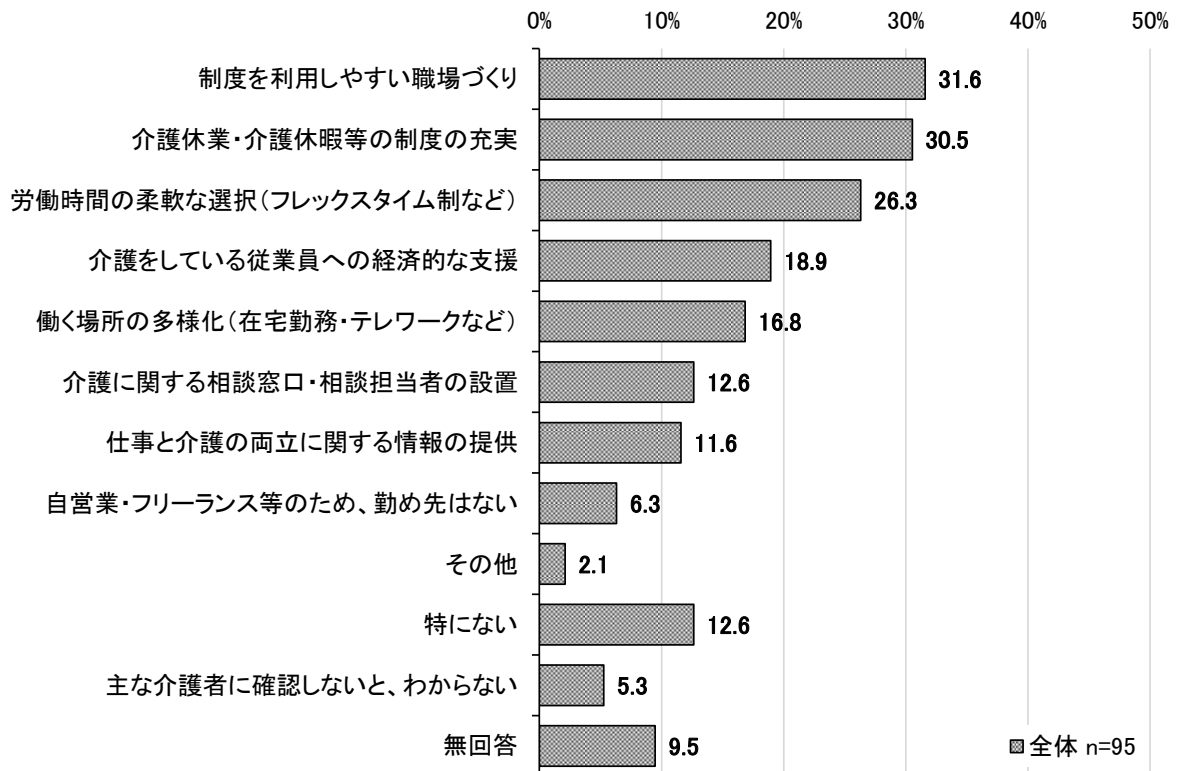
属性別のサンプル数が少数であるため、参考値として示すに留めています。



【Q7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

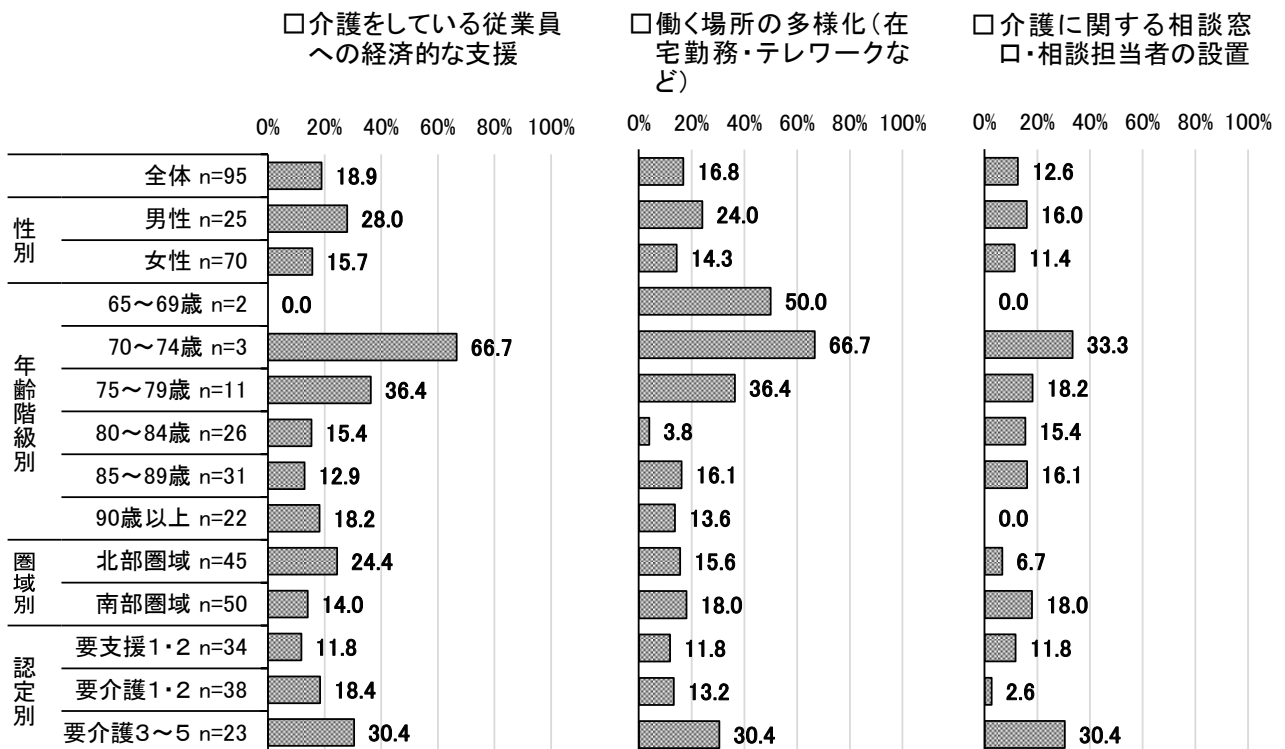
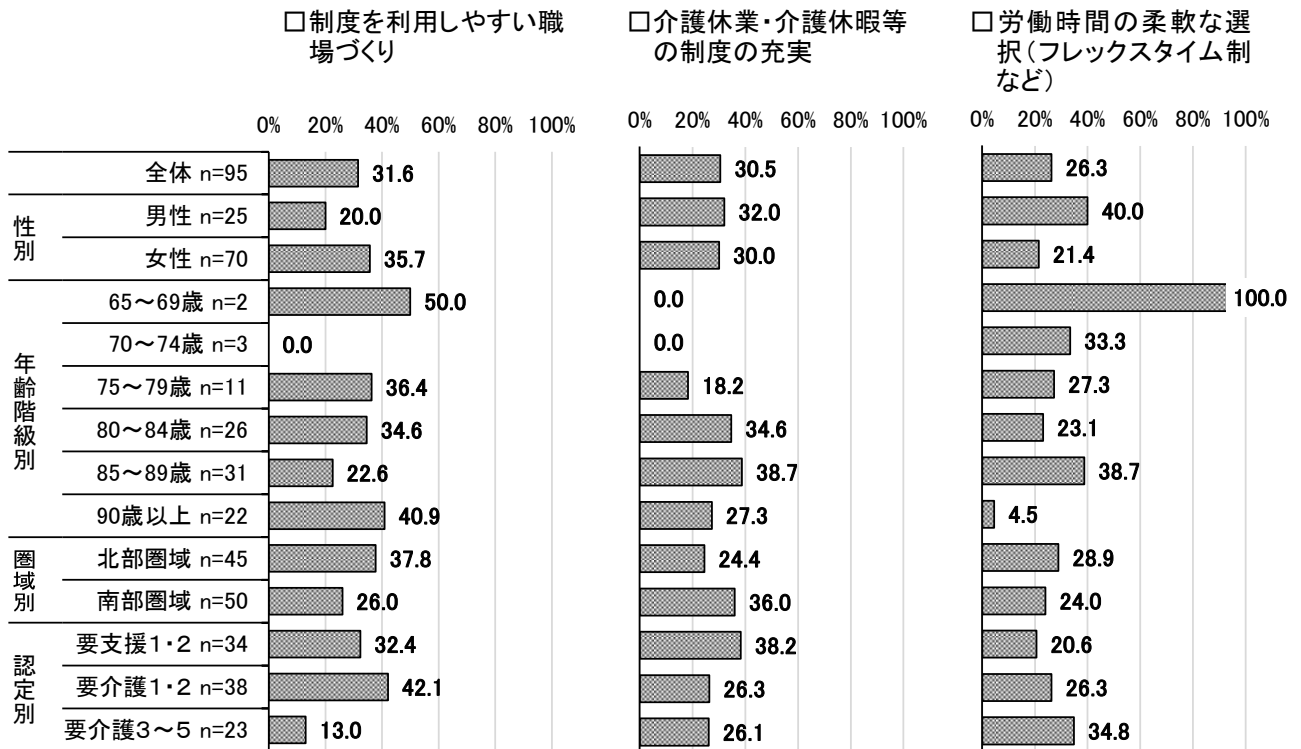
Q9. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、全体では「制度を利用しやすい職場づくり」が31.6%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が26.3%となっています。



■性別・年齢階級別・圏域別・認定別（上位6項目）

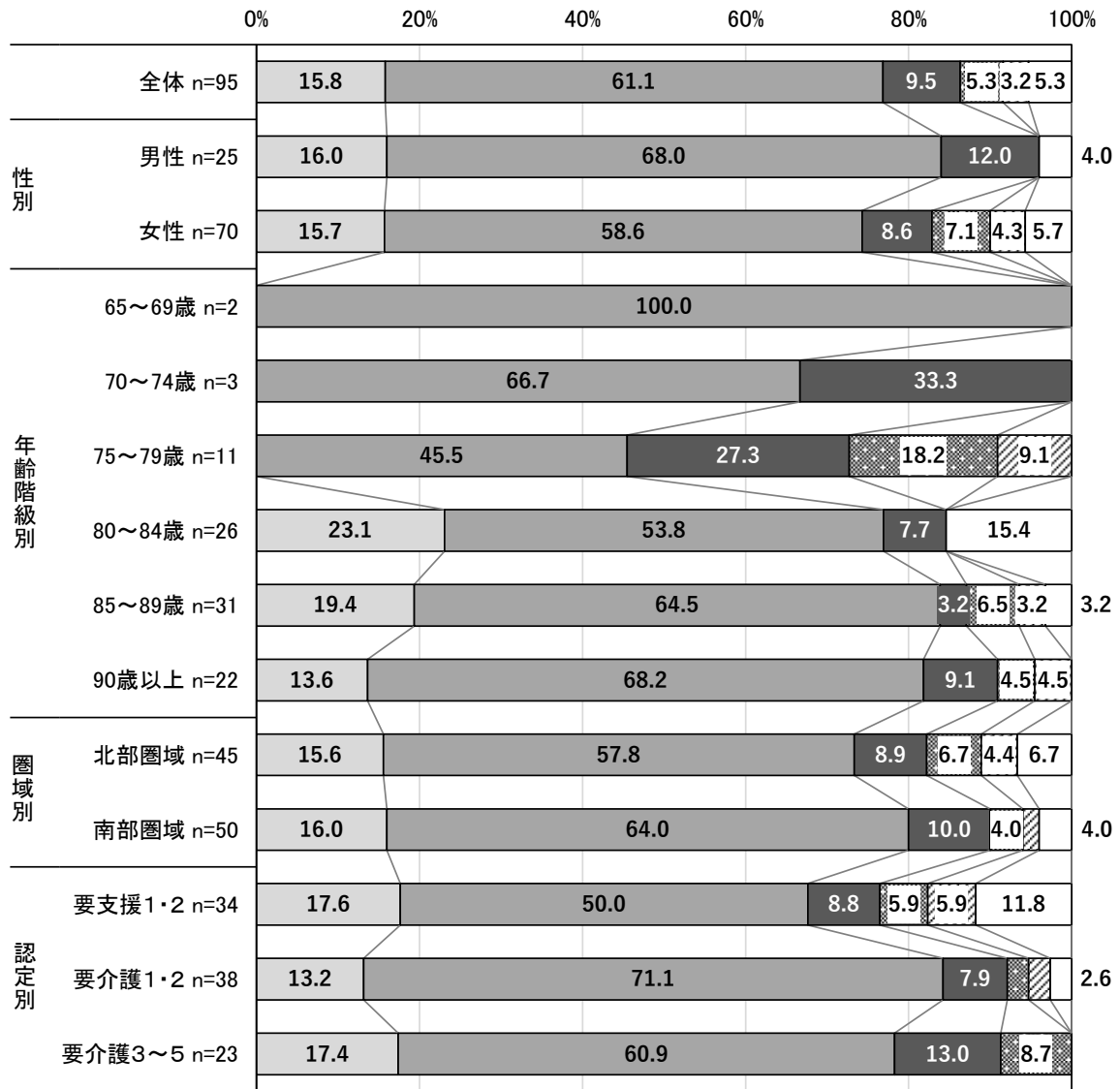
属性別のサンプル数が少数であるため、参考値として示すに留めています。



【Q7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします】

Q10. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）

主な介護者の方が、今後も働きながら介護を続けていけるかについては、全体では「問題はあるが、何とか続けていける」が61.1%で最も高く、次いで「問題なく続けていける」が15.8%、「続けていくのは、やや難しい」が9.5%となっています。



- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- ▣続けていくのは、かなり難しい
- ▤主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

3. 自由記述について

介護保険制度や高齢者福祉サービス等について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

寄せられた意見は、9項目に分類・整理し、一部内容を抜粋して掲載しています。

なお、ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を抜粋して掲載しています。

1. 「本人の状況・家族介護の支援」に関すること

- 2度目の膝の手術も楽にならず、つらい事ばかりでこの先不安です。娘たちにも生活があるし、あまり嫌な思いをさせたくないです。二人の生活をどうにか頑張っております。80歳なので我慢の生活を続けていますけど、人生の最後に普通に歩いてみたいです。
- 在宅介護（1人で介護中）の際、突発的なトラブル等が起こり、助けが必要になります。しかし、急な訪問サービスは予約が無いと対応不可です。介護中に予想なんて出来ません。突然のトラブルに助けが必要な時があります。その様な時のために、何か出来るサービスを考案して下さい。訪問看護の定期巡回は知っていますが、介護にも何かあればと思います。1人で介護をしている人のために、何か心強い対策を切に願います。結局、施設へと考えてしまいます。
- 今頃、こんなにもストーマが大変か、身をもって知りました。また、私は股関節が潰れているとのことで歩くのが大変です。また、ストーマの周りの皮膚が薄くなっているため、激痛に襲われます。若い人たちには、少しでも負担をかけないように耐えて生きるしかないと思います。いろいろ役場にはお世話になり、ありがたいと思っています。
- 介護者が病気になってしまった時など、すぐに援助していただけるようなシステムになっていれば安心です。ゴミ出しなども難しくなった時に、援助があれば本当に助かります。
- 介護者がやれる間は良いのですが、介護者にも何か（病気等）あった時は、目が不自由（障害2級）なため、不安になります。
- 本人が福祉サービスを受け入れるようになるかどうか、説得できる自信がありません。
- 直接介護はしていませんが、現在、施設を出て、病院に入院中です。要介護1のため、施設が見つからず、退院後の行先に困っています。
- A票について、本人に読ませましたが、全く理解出来ないようです。本人は、記憶力ならびに理解力がゼロに近い認知症のためです。したがって、B票のみお答えしました。介護者である私自身、肉体的な問題とストレスで疲れています。月に1～2度、息子が千葉から来てくれますが、買い物にも不自由をしています。
- 在宅での介護が不可となった場合（寝たきりになった等）、受け皿があるか不明です。
- 現在、自宅で介護しており、施設入所を申し込もうと思っていますが、入所までに自宅で歩けなくなったり、寝たきりになった場合、どう対応して良いか不安です（一人での介護）。
- 介護者本人が、突然病気になった場合が心配です。

- ケアマネジャーの対応が悪くて困っています。7月に契約して月1回は訪問との説明がありましたが、ようやくこちらから言って10月の訪問でした。健康上の理由で、別のケアマネジャーに交代の連絡(9月)があり、未だに別のケアマネジャーは来ないです。ケアマネジャーに不信感しかありません。利用者の定期的なアンケート等で評価の低いケアマネジャーの処遇を検討できる仕組みがあれば良いと思います。
- ケアマネジャーは計画書をくださいますが、こちらから連絡しない限り何の連絡もないですが、どのような仕事なのかなと思います。
- 介護者が元気の現状は、特に心配はないが、私の体調に変化が出た場合、どう対応するのが最も心配です。
- オムツの補助や介護タクシーの時、役場に申請しなくてはなりません。それが毎年となると、病院へ行き、認知度の確認やら、また役場と負担になります。1人で介護していると、それについて理解してくれる人がいなく、孤独になる場合もあります。
- 夫(89歳)、私(84歳)、夫は週5日デイサービスに通っています。今一番心配なことは、夫が認知度3で物忘れがひどく、もし私が倒れたりした場合、何の処置も出来ず、助けを頼むことも出来ません。子ども達は週2日程、交替で来てくれますが、安心は出来ません。
- アルツハイマー型認知症の主人を介護しております。デイサービスの利用を受けてくれず、大変な時があります。今、胆管炎で入院しておりますが、家に帰りたいと看護師さんを、手こずらせております。配偶者の私がどこまで看護出来るか不安です。
- 一人住まいで不安でいます。昨年、脳梗塞で倒れました。一人で住んでいるので連絡が出来ず困りました。かろうじて知人に連絡がつき、すぐに駆けつけてもらったので助かりました。救急車で病院へ運ばれた。あと2時間遅かったら死んでいたと言われました。
- 認知症初期のためかもの忘れが激しい、少なくならないか、夫が見た妻の現在です。

2. 「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること

- 訪問による見守りはされたことはないが、できるのであれば1か月又は2週間に1度くらい訪問していただくと良いと思います。
- 認知症への対応として、夜間徘徊が一番心配です。玄関センサーやGPSシステム等のレンタルや取り付けサービスがあると幸いです。
- 一人暮らしで在宅生活している者です。見守りしていただけたら心強いです。日々生活の中で困ったときに、どこに、だれに相談すればと思っています。
- 私は要介護2なので、ほとんど介護サービスを受ける事が出来ません。1番大変なのは掃除なので、週1回でも来て頂けたら助かります。足と腰が痛いので、出来る事でしたらお願いいたします。
- どんどん認知症が悪化し、それに伴い家のリフォームを考えているが、すでに補助金を使ってしまい、全額負担だと難しいため、レンタルでなんとか生活しています。
- 現在、近所の方の好意でリハビリの車を出してもらえているので助かっています。気持ちよく暮らすためには、甘えることも、助けることも大切に、感謝しています。今はあまり手がかからないので勤めています。いずれ大変な時もくると思いますが、その時になったら考えます。

3. 「交通・移動支援」に関すること

- 村の健診についての希望です。近くの集会所、コミュニティセンターで受診できれば良いと思いますが、申込、受診も保健センターまで行くのですが、バス、デマンドタクシー利用申込など、電話、FAXでできればと思います。近くで受診可能なら、受診希望者も増えると思います。私もいつまで保健センターまで行けるか、ご一考を、宜しくお願いいたします。
- 要支援2で、買い物は、今自転車に乗れなくなって、あいのりくんを使っているが、100円になりませんか。腰に異常あるので歩いては行けません。
- デマンドタクシーを、ひたちなか市まで出してもらえれば、もう少し一人での行動が出来て、介護者が楽になります。どうか検討してほしいです（代金は上げて構いません）。
- デマンドタクシーの対象日と利用の範囲ですが、日曜日でも利用できるようにしてほしいです。東海村のとなりの市町村（例えば日立市）まで可能にしてほしいです。
- 村内の移動手段を充実してほしいです（あいのりくん以外で、予約なしで自由に利用できる交通手段など）。
- 公共交通機関を充実してほしいです。予約を取れないことが多い、あいのりくんをもっと便利にほしいです。

4. 「介護保険サービス」に関すること

- 介護用品のカタログについて、古いタイプが多いです。おむつも新しいタイプのものをカタログに入れてほしいです。パンツ専用のパットなども、においがしない良い香りが付いたものなど、スーパーにはありますがそういうものをしっかりリサーチして、どんどん便利な商品と変えてほしいです。介護している人たちの収入が減ってしまった分を、保障していただくとありがたいです。
- 出来る限り、在宅で見ていきたいと思っておりますが、どうしても無理となった時の受け入れ施設（特養）を充実させてほしいです。
- 住宅改修の場合、お金の返金をもっと早くしてほしいです。
- 在宅介護でリハビリを受けております。少しずつ回復しております。ケアマネジャーはじめ、皆様に良くしていただいております。
- 現在、週1回デイサービスを利用しているが、週2回ないし3回、利用出来れば良いと感じます（日中一人であるため、外部との接触がなく孤立していると思う）。
- 現在は短期入所中ですが、施設入所を検討しています。施設の情報を見ると、待機人数の多さに戸惑っております。歩けない状態の父を、高齢の母が家で見るのは限界があり、今後のことで不安を抱えております。
- 現在、夫が介護しているが、介護者も高齢のため、先行きが心配です。施設等に入る事を考えています（長男が仕事をしているため）。
- 介護者が高齢となり、介護が困難になってきています。特養などへの入所が必要と思われます。
- フリーで行くことができるリハビリ施設があると良いと思います。要介護3のため、歩行訓練等をしてほしいです。
- ショートステイを利用する場合、日中のリハビリができないことが多いと聞きました。現在、利用している施設はリハビリを行ってくれますので助かっていますが、そういった施設が増えてくれると良いと思います。

- 介護保険制度の改訂が検討されているようですが、要介護1・2について、質的なサービスの低下がないように希望します。
- 障害福祉サービスの居宅介護支援を使いたいです。今、デイサービス（週3回）と日曜日以外はヘルパーさんをお願いしているが、日曜日に用事がある時、ヘルパーさんをお願いすると、自費になると言われた。腰も痛いし、利用出来るならなんとかしてほしいです。
- 車イス：障害2級、人工膀胱：障害4級。妻の介護でやっと生活を続けています。妻に代わって適切な介護を期待できる施設の紹介をお願いします。
- 現在、娘、孫、主人と合計5人で生活し、今のところは元気ですが、この先主人が先に逝ったり、自分の具合が悪くなった場合、家族に迷惑をかけたくないので、施設の入所を希望したいので、介護保険で入れる場所を多くつくってほしいです。
- 現在、母は骨折のため入院していますが、普段は有料老人ホームを利用させて頂いています。しかし母は、スタッフの対応やスタッフ内の仲割れ、他の利用者の方へのスタッフの言動などに疑問を抱き、不快な思いを抱いている様で、退院後は転居を希望しています。ケアマネジャーに相談すると、直接運営会社に言って下さいと言われましたが、もしこれがわかったら、母に不利になるのではと心配で言えません。どこに相談したら良いのかわからず困っています。
- デイサービスの負担金などを減らしてほしい。

5. 「介護保険制度」に関すること

- 通院していた病院の看護師さんに紹介していただいたケアマネジャーを通して、良い施設を紹介していただき、母も大変喜んでいます。費用面で足りない分は、兄弟で負担していましたが、介護保険のおかげで大変助けられています。ありがとうございます。
- 介護者が私一人だけなので、介護保険制度や高齢者福祉サービスに助けられて、本当にありがたいです。これからも、宜しく願いいたします。
- 支援を受ける身になって、介護にかかる制度や福祉サービスなどがあることを知り、ありがたく感じています。
- 介護保険料の値上げに不安を感じます。目、耳、歯などの高額医療に補助をお願いしたいと思います。
- 2割負担になりましたが、政府に1割負担にするよう要請をお願いしたいです。
- 介護保険料を下げてください。
- 介護保険制度を利用するにあたり対応が遅いです（常に1か月は待つ）。介護保険制度で、住宅改修での引き戸のレールを外し平らにする費用が該当しない、一番つまずく原因になります。

6. 「経済的な問題」に関すること

- 世の中すべてお金がないとどうしようもないです。借金があり、3人での生活に毎日苦しんでいます。
- 小さい時の耳のトラブルと、加齢とが合わさり、聞こえが悪くなっています。補聴器を着けていますが、より感度の良い物に変えたいと考えています。高価のため補助制度を考えていただきたいです。

7. 「情報提供・相談窓口」に関すること

- 受けられるサービスの内容が理解できていないと思います。今後、様々な場面で、ケアマネジャーとよく連絡をとることが必要なのかなと思っています。信頼できるケアマネジャーが付いてくれることが望ましいが、人を表面で理解できないことが多々あり不安であります。
- 現在、私は要支援2で、つれあいは82歳、脊柱管狭窄症で日常生活に色々不自由を感じながらの生活です。子ども達（娘2人）も東京での生活で時折、様子を見に来たり電話もありますが、できれば今後も東海村で生活していきたいと思っています。老化が進んで2人での生活が大変になった時のことを考え、村内で私たちが利用出来るような施設など、どこにあるのか、大体の利用料金など、それぞれ施設ごとの諸事情もあろうかと思いますが、ぜひ知りたいと思います。漠然と考えての心配より、ちょっと安心しながら過ごしていけるように思います。現在、私たちはデイサービスを週1回利用しております。ケアマネジャーの親切な対応に感謝しております。
- 介護保険制度や高齢者福祉サービスの情報をどうやって見つけるのかがわかりません。そのために、あまり利用することができていない気がします。
- 介護保険制度・高齢者福祉サービスをよく理解できていません。いざ利用しようと思った時に迷ってしまいます。冊子みたいなものがあると、無くすこともないかと思います。私だけわかってないのかもしれない。こんな時はここを利用すると良いとか、ここに電話すると良いとか、一つにまとまっていると良いなと思いました。
- どの様な状態になったらサービスを受けられるのかよくわかりません。
- ケアマネジャーと相談しながらやっていきます。

8. 「まちづくり・村への要望等」に関すること

- 前村長の頃のように、高齢者への支援等を手厚くしてほしいです。現村長に変わってから、費用が削られています。
- 介護者への書類、役場関係など、自宅に出向いてほしいです。

9. その他

- 介護関係の方々に感謝しています。
- 今回の調査も程度が低いです。もっと詳細について質問してください。
- 特にありません。
- 自宅療養が困難です（歩行困難、点滴等）。医療療養病棟で入院生活中のため、アンケートに当てはまりません。
- 現在、妻が要介護1で、週1回デイサービスに通っています。昼食の場合、寒い時期はスープ等が冷めてしまいます。出来るだけ早く運んで頂きたいです。
- いつも色々有難うございます。感謝のみです。
- 以前”絆”で年配の方のおしゃべりの広場が畳の部屋にあったように思いますが、現在もありますか。

第Ⅵ部 在宅生活改善調査

1. 居所変更の状況について

(1) 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

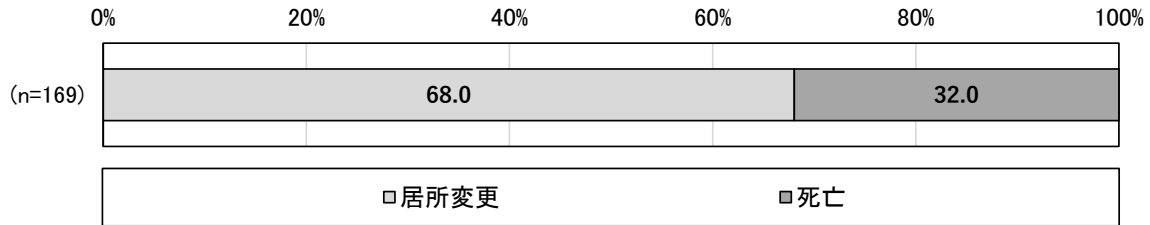
過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数については、合計では「特別養護老人ホーム（58人：50.4%）」が最も高く、次いで「介護老人保健施設（22人：19.1%）」、「サービス付き高齢者向け住宅（13人：11.3%）」となっています。

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	0人	2人	2人
	0.0%	1.7%	1.7%
住宅型有料老人ホーム	1人	6人	7人
	0.9%	5.2%	6.1%
軽費老人ホーム	0人	5人	5人
	0.0%	4.3%	4.3%
サービス付き高齢者向け住宅	2人	11人	13人
	1.7%	9.6%	11.3%
グループホーム	3人	0人	3人
	2.6%	0.0%	2.6%
特定施設	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
地域密着型特定施設	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	8人	14人	22人
	7.0%	12.2%	19.1%
療養型・介護医療院	1人	0人	1人
	0.9%	0.0%	0.9%
特別養護老人ホーム	51人	7人	58人
	44.3%	6.1%	50.4%
地域密着型特別養護老人ホーム	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
その他	1人	3人	4人
	0.9%	2.6%	3.5%
行先を把握していない			0人
			0.0%
合計	67人	48人	115人
	58.3%	41.7%	100.0%

※「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームは含めていません。

(2) 過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合

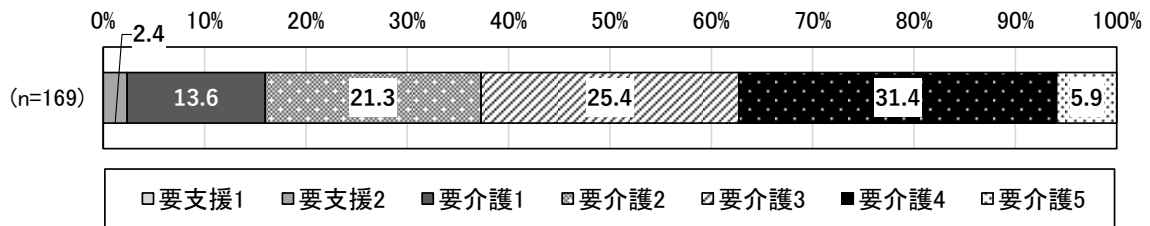
過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合については、「居所変更」が68.0%、「死亡」が32.0%となっています。



※「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームは含めていません。

(3) 過去1年間に自宅等からの居場所を変更した利用者の要介護度の内訳

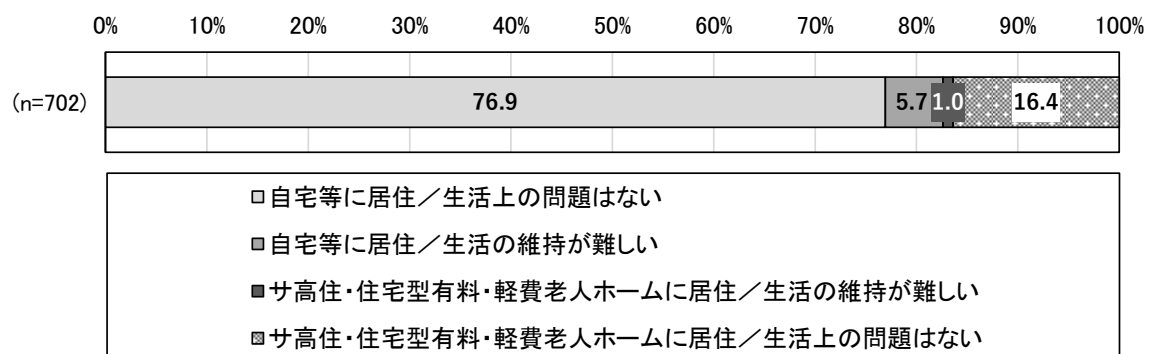
過去1年間に自宅等からの居場所を変更した利用者の要介護度の内訳については、「要介護4」が31.4%で最も高く、次いで「要介護3」が25.4%、「要介護2」が21.3%となっています。



※「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームは含めていません。

(4) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者については、「自宅等に居住／生活上の問題はない」が76.9%で最も高く、次いで「サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住／生活上の問題はない」が16.4%、「自宅等に居住／生活の維持が難しい」が5.7%となっています。



(5) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性については、「独居／自宅等（持ち家）／要介護2以下（11人：23.4%）」が最も高く、次いで「夫婦のみ／自宅等（持ち家）／要介護2以下（7人：14.9%）」、「夫婦のみ／自宅等（持ち家）／要介護3以上（6人：12.8%）」となっています。

No.	回答数	割合	世帯類型				居所			要介護度	
			独居	夫婦のみ	単身の子供との同居	その他の同居	自宅等（持ち家）	自宅等（借家）	住宅型有料・サ高住・軽費老人ホーム	要介護2以下	要介護3以上
1	11人	23.4%	★				★			★	
2	7人	14.9%		★			★			★	
3	6人	12.8%		★			★				★
4	4人	8.5%			★		★			★	
5	3人	6.4%				★	★			★	
6	2人	4.3%			★		★				★
7	2人	4.3%			★				★		★
8	2人	4.3%		★					★		★
9	2人	4.3%	★					★		★	
10	2人	4.3%	★					★			★
11	1人	2.1%	★				★				★
12	1人	2.1%	★						★	★	
13	1人	2.1%	★						★		★
14	1人	2.1%			★			★			★
15	1人	2.1%			★				★	★	
16	1人	2.1%				★	★				★
17	0人	0.0%		★				★		★	
18	0人	0.0%		★				★			★
19	0人	0.0%		★					★	★	
20	0人	0.0%			★			★		★	
21	0人	0.0%				★		★		★	
22	0人	0.0%				★		★			★
23	0人	0.0%				★			★	★	
24	0人	0.0%				★			★		★
合計	47人	100.0%									

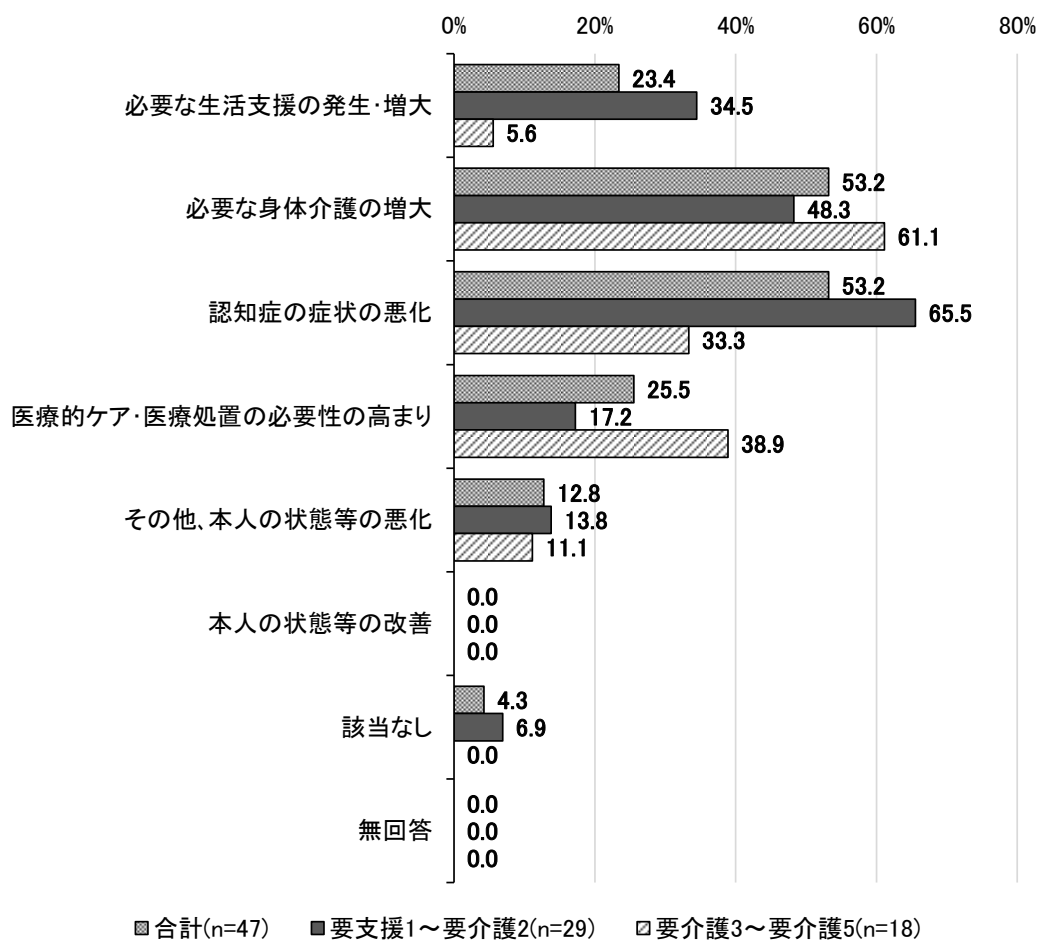
2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について

(1) 本人の状態に属する理由 (いくつでも)

本人の状態に属する理由については、全体では「必要な身体介護の増大」、「認知症の症状の悪化」がともに53.2%で最も高く、次いで「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が25.5%、「必要な生活支援の発生・増大」が23.4%となっています。

要支援1～要介護2では「認知症の症状の悪化(65.5%)」、要介護3～要介護5では「必要な身体介護の増大(61.1%)」が最も高くなっています。

なお、全体で「該当なし」は4.3%となっています。

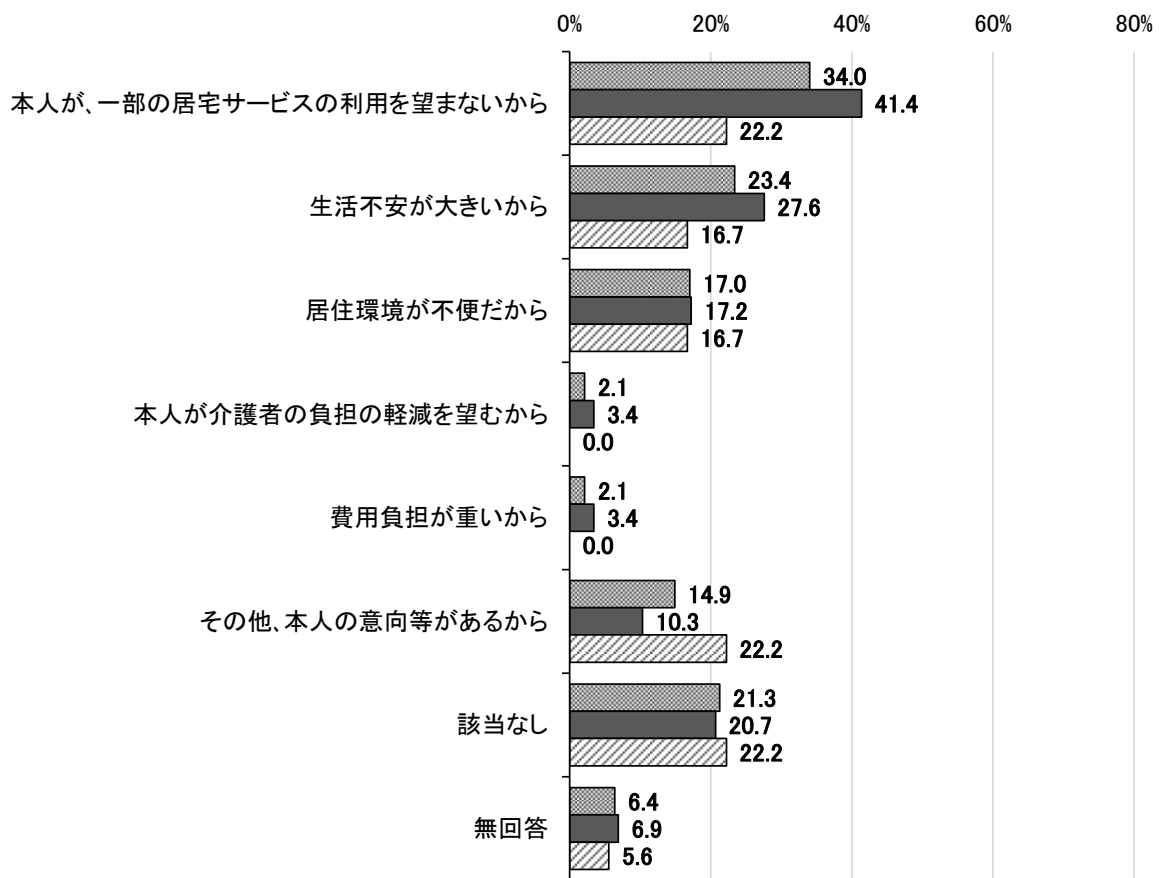


(2) 本人の意向に属する理由 (いくつでも)

本人の意向に属する理由については、全体では「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」が34.0%で最も高く、次いで「生活不安が大きいため」が23.4%、「居住環境が不便だから」が17.0%となっています。

要支援1～要介護2では「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから (41.4%)」、要介護3～要介護5では「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから (22.2%)」、「その他、本人の意向等があるから (22.2%)」が最も高くなっています。

なお、全体で「該当なし」は21.3%となっています。



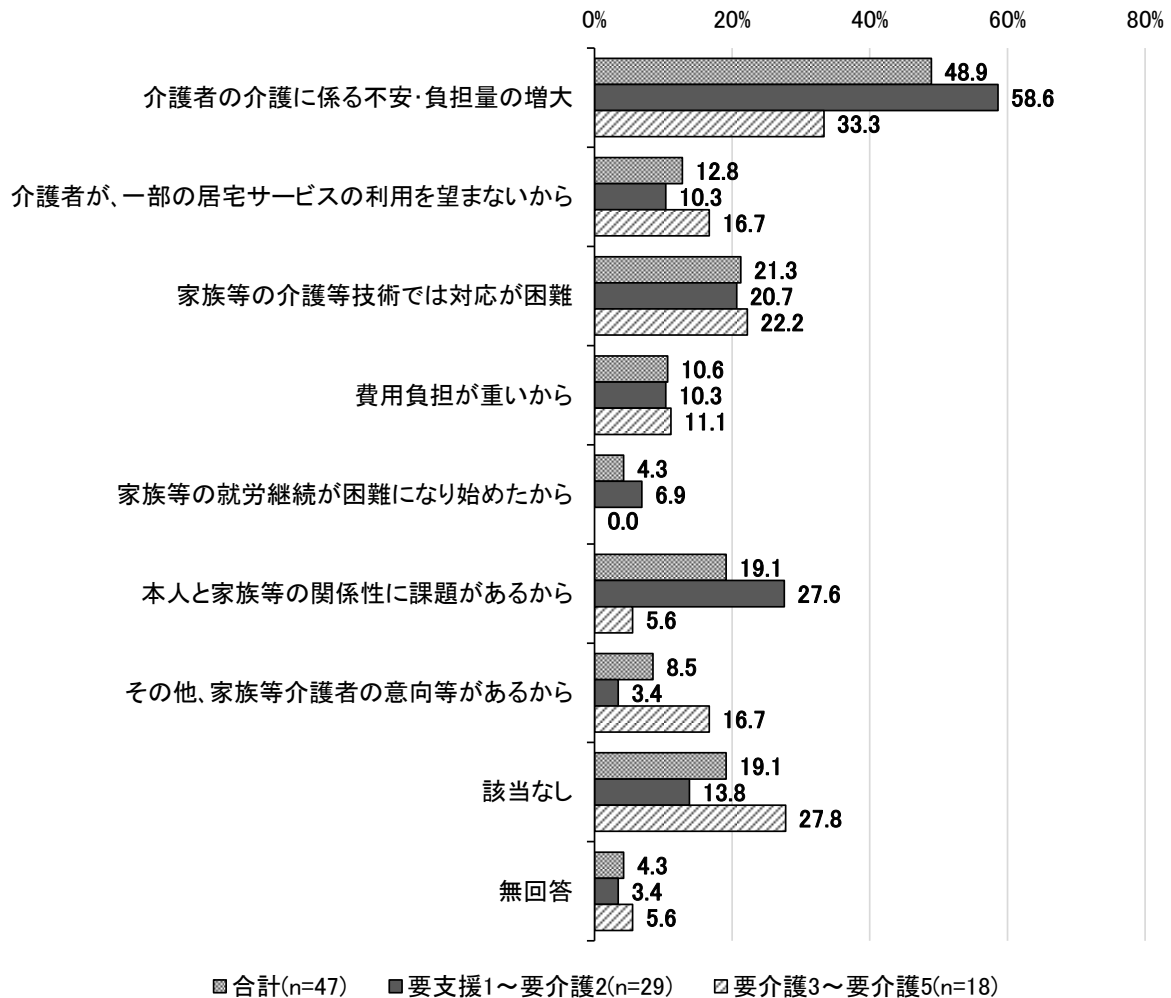
■ 合計(n=47) ■ 要支援1～要介護2(n=29) ▨ 要介護3～要介護5(n=18)

(3) 家族等介護者の意向・負担等に属する理由（いくつでも）

家族等介護者の意向・負担等に属する理由については、全体では「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」が48.9%で最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」が21.3%、「本人と家族等の関係性に課題があるから」が19.1%となっています。

要支援1～要介護2、要介護3～要介護5ともに「介護者の介護に係る不安・負担量の増大（58.6%／33.3%）」が最も高くなっています。

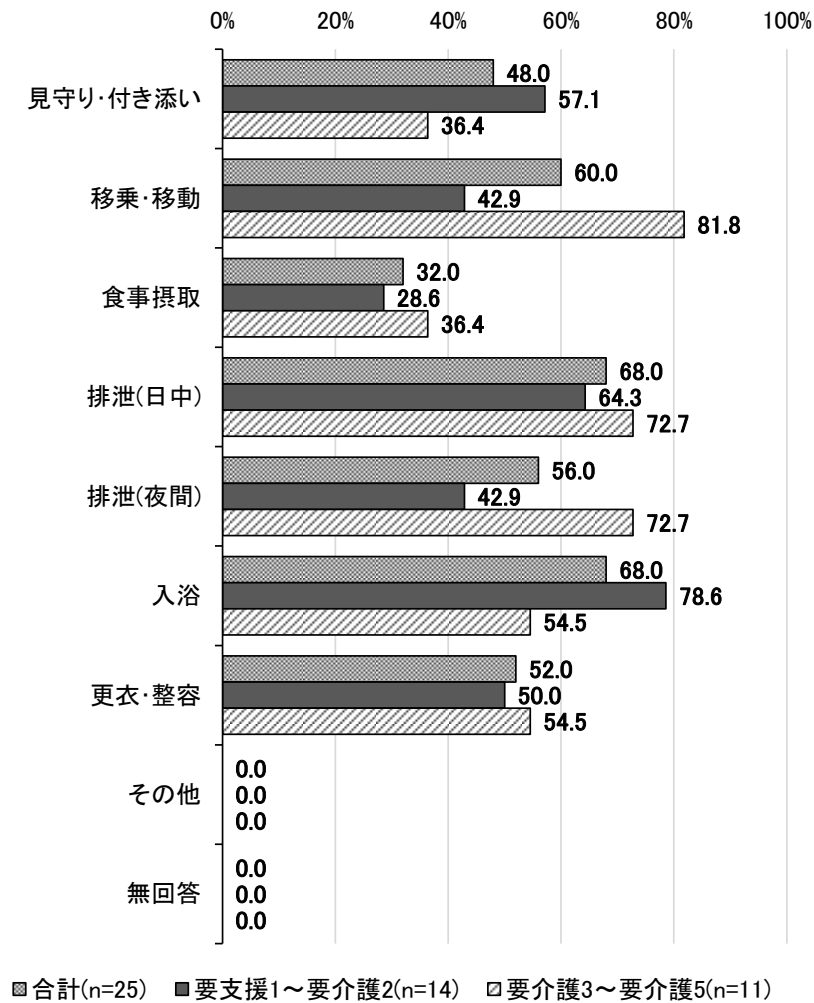
なお、全体で「該当なし」は19.1%となっています。



(4) “必要な身体介護の増大”が理由の人の具体的な内容（いくつでも）

“必要な身体介護の増大”が理由の人の具体的な内容については、全体では「排泄（日中）」、「入浴」がともに68.0%で最も高く、次いで「移乗・移動」が60.0%、「排泄（夜間）」が56.0%となっています。

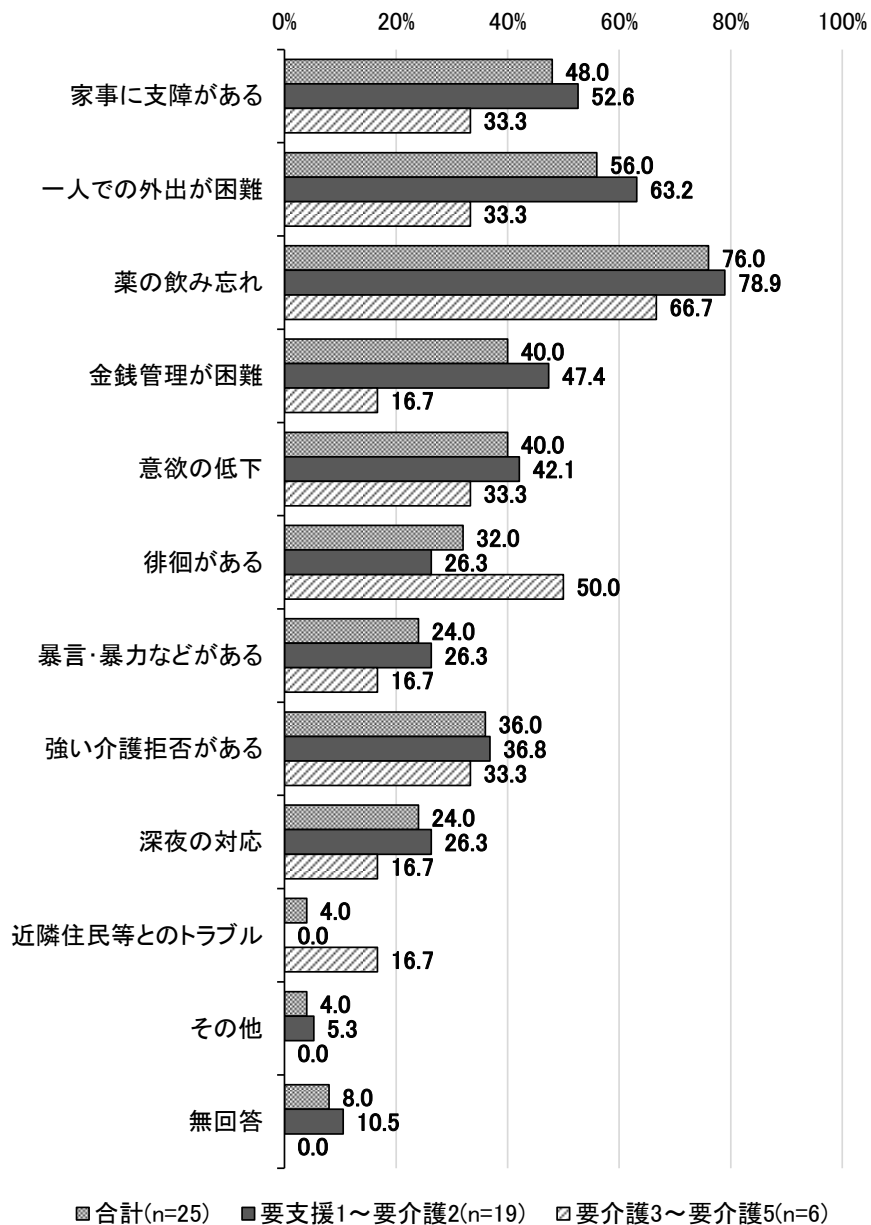
要支援1～要介護2では「入浴（78.6%）」、要介護3～要介護5では「移乗・移動（81.8%）」が最も高くなっています。



(5) “認知症の症状の悪化”が理由の人の具体的な内容（いくつでも）

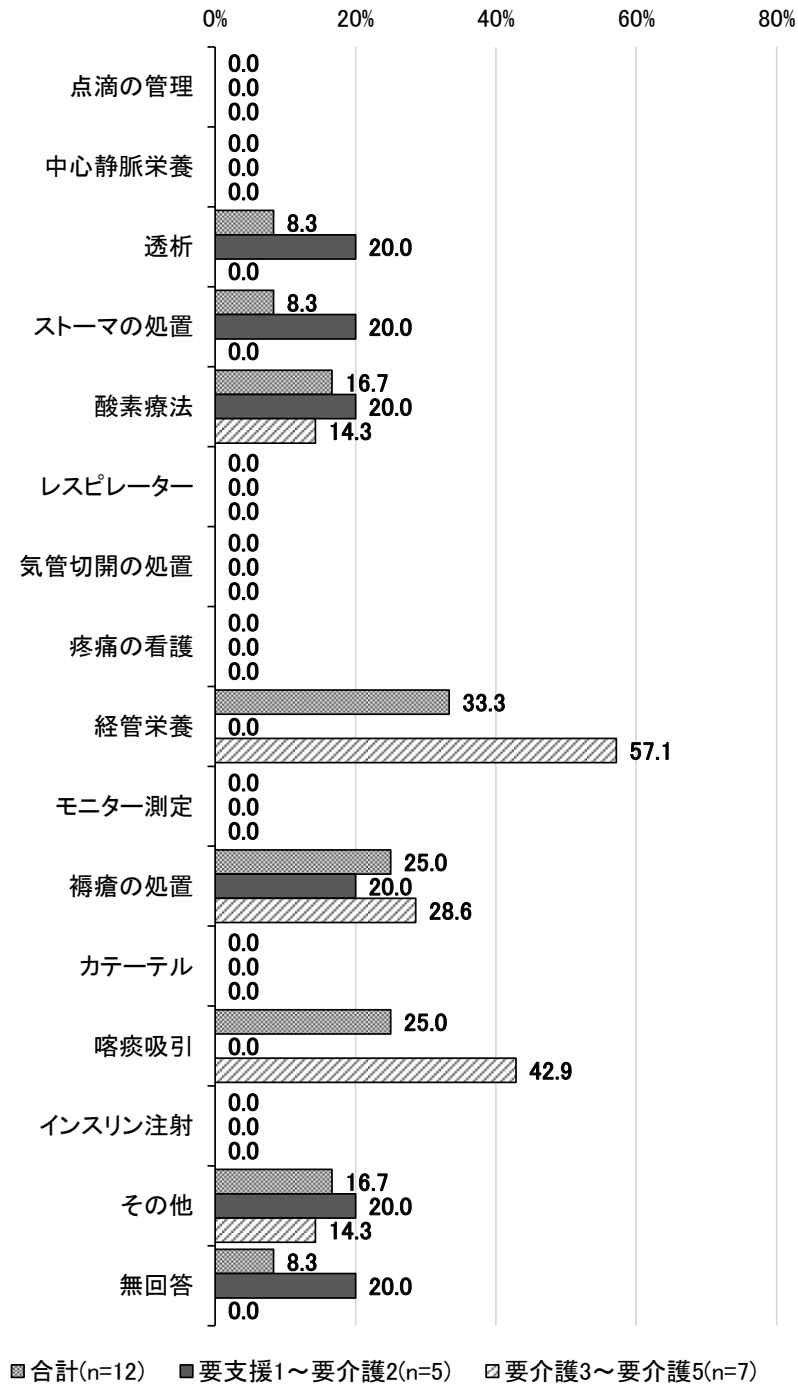
“認知症の症状の悪化”が理由の人の具体的な内容については、全体では「薬の飲み忘れ」が76.0%で最も高く、次いで「一人での外出が困難」が56.0%、「家事に支障がある」が48.0%となっています。

要支援1～要介護2、要介護3～要介護5ともに「薬の飲み忘れ（78.9%/66.7%）」が最も高くなっています。



(6) “医療的ケア・医療処置の必要性の高まり”が理由の人の具体的な内容（いくつでも）

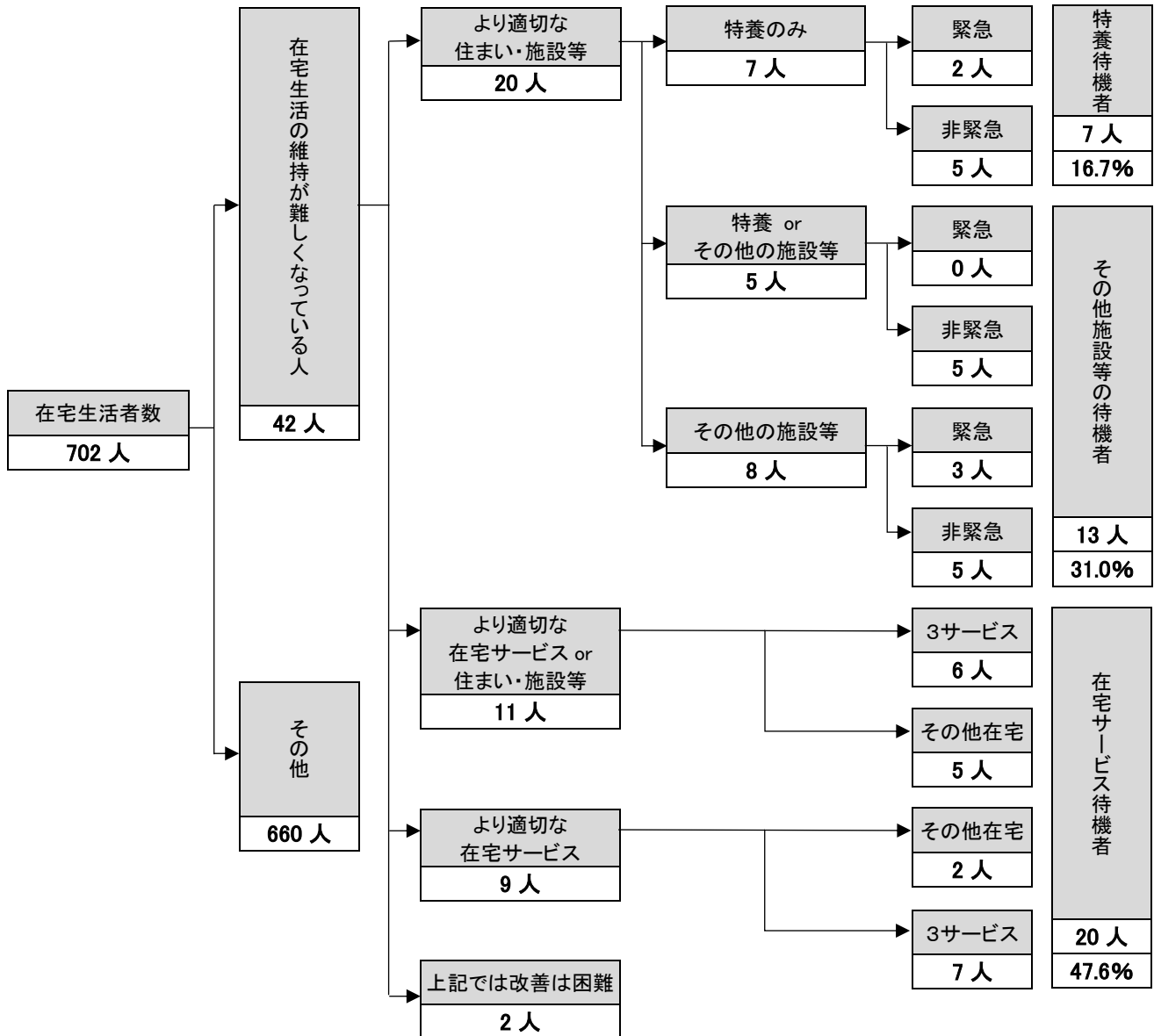
“医療的ケア・医療処置の必要性の高まり”が理由の人の具体的な内容については、全体では「経管栄養」が33.3%で最も高くなっています。



3. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている状況を改善するための、サービス利用の変更等について

(1) “生活の維持が難しくなっている人”の生活の改善に必要なサービス変更

“生活の維持が難しくなっている人”の生活の改善に必要なサービス変更については、「特養待機者」が7人(16.7%)、「その他施設等の待機者」が13人(31.0%)、「在宅サービス待機者」が20人(47.6%)となっています。



※「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

※「生活の維持が難しくなっている人」の合計 47 人のうち、上記の分類が可能な 42 人について分類しています(分類不能な場合は「その他」に算入しています)。割合(%)は、42 人を分母として算出したものです。

※「非緊急」には、緊急度について「入所は望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」、「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

(2) “その他施設等の待機者”と“在宅サービス待機者”の生活の改善に必要なサービス(いくつでも)

“その他施設等の待機者”と“在宅サービス待機者”の生活の改善に必要なサービスについては、“その他施設等の待機者”では「グループホーム」が46.2%で最も高く、次いで「サ高住」、「特別養護老人ホーム」がともに38.5%となっています。“在宅サービス待機者”では、住まい・施設等をみると、「グループホーム」が35.0%で最も高く、在宅サービスでみると、「通所介護、通所リハ、認知症対応型通所」が45.0%で最も高くなっています。

		その他施設等の待機者(13人)		在宅サービス待機者(20人)	
住まい・施設等	住宅型有料	3人(23.1%)	住宅型有料	0人(0.0%)	生活の改善に向けて、代替が可能
	サ高住	5人(38.5%)	サ高住	0人(0.0%)	
	軽費老人ホーム	0人(0.0%)	軽費老人ホーム	1人(5.0%)	
	グループホーム	6人(46.2%)	グループホーム	7人(35.0%)	
	特定施設	1人(7.7%)	特定施設	0人(0.0%)	
	介護老人保健施設	3人(23.1%)	介護老人保健施設	2人(10.0%)	
	療養型・介護医療院	2人(15.4%)	療養型・介護医療院	0人(0.0%)	
	特別養護老人ホーム	5人(38.5%)	特別養護老人ホーム	5人(25.0%)	
在宅サービス			ショートステイ	7人(35.0%)	
			訪問介護、訪問入浴	6人(30.0%)	
			夜間対応型訪問介護	1人(5.0%)	
			訪問看護	1人(5.0%)	
			訪問リハ	1人(5.0%)	
			通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	9人(45.0%)	
			定期巡回サービス	6人(30.0%)	
			小規模多機能	4人(20.0%)	
			看護小規模多機能	2人(10.0%)	

※割合は、それぞれ、その他施設等の待機者13人、在宅サービス待機者20人を分母として算出したものです。

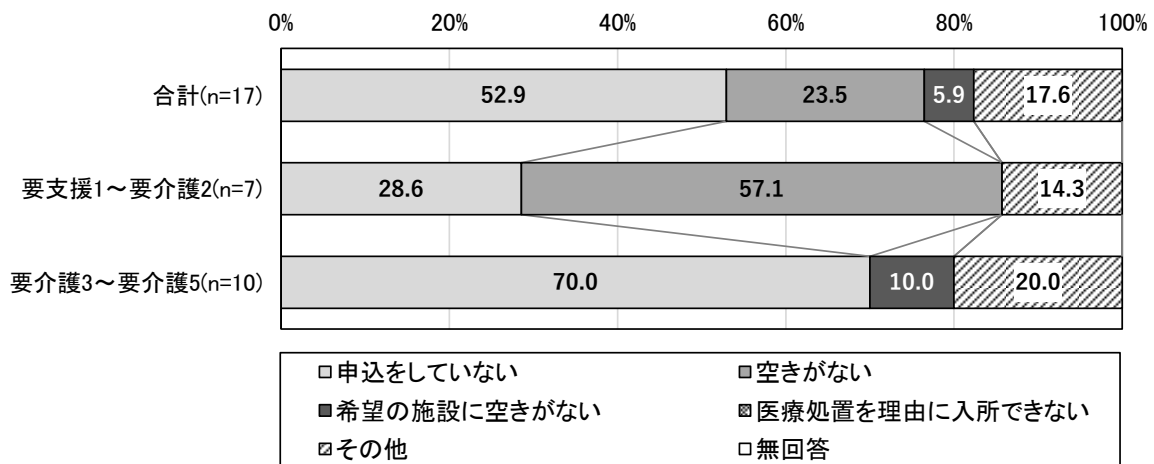
※「在宅サービス待機者」について、生活改善に必要なサービスとして「住まい・施設等」と「在宅サービス」両方を回答している場合は、代替が可能としています。

(3) 特別養護老人ホームに入所できない理由

※改善に必要なサービスで、特別養護老人ホームを選択した人

特別養護老人ホームに入所できない理由については、全体では「申込をしていない」が 52.9%で最も高く、次いで「空きがない」が 23.5%、「その他」が 17.6%となっています。

要支援1～要介護2では「空きがない (57.1%)」、要介護3～要介護5では「申込をしていない (70.0%)」が最も高くなっています。

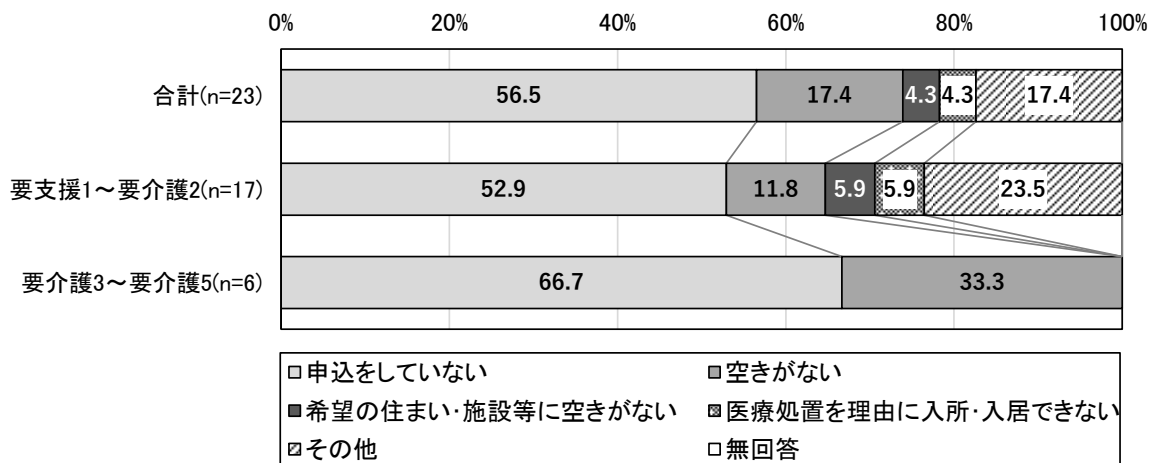


(4) 特別養護老人ホーム以外の住まい・施設等に入所・入居できない理由

※改善に必要なサービスで、特別養護老人ホーム以外の施設・住まい等を選択した人

特別養護老人ホーム以外の住まい・施設等に入所・入居できない理由については、全体では「申込をしていない」が 56.5%で最も高く、次いで「空きがない」、「その他」がともに 17.4%となっています。

要支援1～要介護2、要介護3～要介護5ともに「申込をしていない (52.9%/66.7%)」が最も高くなっています。



第Ⅶ部 資料編（使用した調査票）

1. 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票

東海村 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票

はじめに

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から、本村の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、村では、地域の高齢者の皆様の課題を的確に把握し、今後の福祉行政へ反映させるため、本調査「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」を実施いたします。

この調査は、要介護度の悪化につながるリスクや、健康寿命の延伸に向けた介護予防の推進、生活支援の充実のために皆さまの生活状況や地域の現状、二一ズ等を把握・分析し、それらの結果を「第9期東海村高齢者福祉・介護保険事業計画」（策定年度：令和5年度）へ反映させるための基礎資料となるものです。

なお、お答えいただいた内容は、東海村個人情報保護条例に基づいて適切に取り扱います。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

※本調査の送付対象者は、令和4年10月1日現在の介護保険被保険者情報を基に抽出しております。基準日以降に住所を異動された場合などの行き違いにつきましてはご容赦ください。

令和4年11月

東海村長 山田 修

東海村 福祉部
地域福祉課

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

1. この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第9期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、東海村役場内で適切に管理いたします。
2. ただし、第9期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年10月1日現在、東海村にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方から、1,500名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒にご回答いただいても構いません。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する答えにシ点（）をつけてください。また、数字を記入する欄は右詰め（例

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
4. この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】東海村 福祉部 地域福祉課

〒319-1192

茨城県那珂郡東海村東海三丁目7番1号

電話：029-282-1711（内線1140）

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、令和4年11月25日（金）までに投函（切手不要）してください。

質問の該当する答えにレ点(✓)をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

調査票を記入されたのはどなたですか。（1つのみ）

- あて名のご本人が記入
- ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）
- その他

問 1 あなたのご家族や生活状況について

Q 1. 家族構成を教えてください（1つのみ）

- 1人暮らし
- 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 息子・娘との2世帯
- その他

Q 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つのみ）

- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護を受けている
（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【Q 2において「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」
「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

- 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
- 心臓病
- がん（悪性新生物）
- 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
- 関節の病気（リウマチ等）
- 認知症（アルツハイマー病等）
- パーキンソン病
- 糖尿病
- 腎疾患（透析）
- 視覚・聴覚障害
- 骨折・転倒
- 脊椎損傷
- 高齢による衰弱
- その他（ _____ ）
- 不明

<p>【Q2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】</p> <p>②. 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）</p>		
<input type="checkbox"/> 配偶者（夫・妻）	<input type="checkbox"/> 息子	<input type="checkbox"/> 娘
<input type="checkbox"/> 子の配偶者	<input type="checkbox"/> 孫	<input type="checkbox"/> 兄弟・姉妹
<input type="checkbox"/> 介護サービスのヘルパー	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
<p>Q3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（1つのみ）</p>		
<input type="checkbox"/> 大変苦しい	<input type="checkbox"/> やや苦しい	<input type="checkbox"/> ふつう
<input type="checkbox"/> ややゆとりがある	<input type="checkbox"/> 大変ゆとりがある	
<p>Q4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（1つのみ）</p>		
<input type="checkbox"/> 持家（一戸建て）	<input type="checkbox"/> 持家（集合住宅）	
<input type="checkbox"/> 公営賃貸住宅	<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅（一戸建て）	
<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅（集合住宅）	<input type="checkbox"/> 借家	
<input type="checkbox"/> その他		

問2	からだを動かすことについて		
<p>Q1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つのみ）</p>			
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない	
<p>Q2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）</p>			
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない	
<p>Q3. 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）</p>			
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない	
<p>Q4. 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）</p>			
<input type="checkbox"/> 何度もある	<input type="checkbox"/> 1度ある	<input type="checkbox"/> ない	
<p>Q5. 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）</p>			
<input type="checkbox"/> とても不安である	<input type="checkbox"/> やや不安である	<input type="checkbox"/> あまり不安でない	<input type="checkbox"/> 不安でない

Q 6. 週に1回以上は外出していますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> ほとんど外出しない	<input type="checkbox"/> 週1回	<input type="checkbox"/> 週2～4回
<input type="checkbox"/> 週5回以上		
Q 7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> とても減っている	<input type="checkbox"/> 減っている	<input type="checkbox"/> あまり減っていない
<input type="checkbox"/> 減っていない		
Q 8. 外出を控えていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> はい		<input type="checkbox"/> いいえ
【Q 8で「はい」(外出を控えている)の方のみ】		
①. 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)		
<input type="checkbox"/> 病気	<input type="checkbox"/> 障害 (脳卒中の後遺症など)	
<input type="checkbox"/> 足腰などの痛み	<input type="checkbox"/> トイレの心配 (失禁など)	
<input type="checkbox"/> 耳の障害 (聞こえの問題など)	<input type="checkbox"/> 目の障害	
<input type="checkbox"/> 外での楽しみがない	<input type="checkbox"/> 経済的に出られない	
<input type="checkbox"/> 交通手段がない	<input type="checkbox"/> その他 ()	
Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)		
<input type="checkbox"/> 徒歩	<input type="checkbox"/> 自転車	<input type="checkbox"/> バイク
<input type="checkbox"/> 自動車 (自分で運転)	<input type="checkbox"/> 自動車 (人に乗せてもらう)	<input type="checkbox"/> 電車
<input type="checkbox"/> 路線バス	<input type="checkbox"/> 病院や施設のバス	<input type="checkbox"/> 車いす
<input type="checkbox"/> 電動車いす (カート)	<input type="checkbox"/> 歩行器・シルバーカー	<input type="checkbox"/> タクシー
<input type="checkbox"/> その他 ()		
Q10. 運転免許証の返納を考えたことはありますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> ある		<input type="checkbox"/> ない

問3	食べることについて
Q 1. 身長・体重 (数字をご記入ください)	
身長	<input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>
cm	<input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>
体重	kg
Q 2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 3. お茶や汁物等でむせることがありますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 4. 口の渇きが気になりますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 5. 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 6. 噛み合わせは良いですか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	<input type="checkbox"/> 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
<input type="checkbox"/> 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	<input type="checkbox"/> 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし
【Q 7で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】	
①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 8. 6か月間で 2～3 kg以上の体重減少がありましたか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

Q 9. どなたかと食事をとにもする機会がありますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> 毎日ある	<input type="checkbox"/> 週に何度かある	<input type="checkbox"/> 月に何度かある
<input type="checkbox"/> 年に何度かある	<input type="checkbox"/> ほとんどない	

問 4	毎日の生活について	
Q 1. 物忘れが多いと感じますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
Q 2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
Q 3. 今日が何月何日かわからないときがありますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
Q 4. バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない
Q 5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない
Q 6. 自分で食事の用意をしていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない
Q 7. 自分で請求書の支払いをしていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない
Q 8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> できるし、している	<input type="checkbox"/> できるけどしていない	<input type="checkbox"/> できない
Q 9. 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	
Q10. 新聞を読んでいますか (1つのみ)		
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ	

Q11. 本や雑誌を読んでいますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q12. 健康についての記事や番組に関心がありますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q13. 友人の家を訪ねていますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q14. 家族や友人の相談にのっていますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q15. 病人を見舞うことができますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q16. 若い人に自分から話しかけることがありますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q17. 趣味はありますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> 趣味あり	—————→ ()
<input type="checkbox"/> 思いつかない	
Q18. 生きがいがありますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> 生きがいあり	—————→ ()
<input type="checkbox"/> 思いつかない	

問5 地域での活動について

Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれに1つのみ）

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループや クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場 (シルバーリハビリ体操)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 老人クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 町内会・自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

是非参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

Q3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

是非参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問 6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

Q 1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

Q 2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

Q 3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

Q 4. 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

- 配偶者 同居の子ども 別居の子ども
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 近隣 友人
 その他（ ） そのような人はいない

Q 5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

- 自治会・町内会・老人クラブ 社会福祉協議会・民生委員
 ケアマネジャー 医師・歯科医師・看護師
 地域包括支援センター・役場 その他
 そのような人はいない

Q 6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

- 毎日ある 週に何度かある 月に何度かある
 年に何度かある ほとんどない

**Q 7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
同じ人には何度会っても1人と数えることとします (1つのみ)**

0人 (いない) 1～2人 3～5人
 6～9人 10人以上

Q 8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)

近所・同じ地域の人 幼なじみ
 学生時代の友人 仕事での同僚・元同僚
 趣味や関心が同じ友人 ボランティア等の活動での友人
 その他 いない

問7 健康について										
Q 1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つのみ)										
<input type="checkbox"/> とてもよい <input type="checkbox"/> まあよい <input type="checkbox"/> あまりよくない <input type="checkbox"/> よくない										
Q 2. あなたは、現在どの程度幸せですか («とても不幸»を0点、「とても幸せ»を10点として、ご記入ください)										
とても不幸										とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q 3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (1つのみ)										
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ										
Q 4. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない 感じがよくありましたか (1つのみ)										
<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ										
Q 5. お酒は飲みますか (1つのみ)										
<input type="checkbox"/> ほぼ毎日飲む <input type="checkbox"/> 時々飲む <input type="checkbox"/> ほとんど飲まない <input type="checkbox"/> もともと飲まない										

Q 6. タバコは吸っていますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> ほぼ毎日吸っている	<input type="checkbox"/> 時々吸っている
<input type="checkbox"/> もともと吸っていない	<input type="checkbox"/> 吸っていたがやめた
Q 7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)	
<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> 高血圧
<input type="checkbox"/> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	<input type="checkbox"/> 心臓病
<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 高脂血症 (脂質異常)
<input type="checkbox"/> 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	<input type="checkbox"/> 胃腸・肝臓・胆のうの病気
<input type="checkbox"/> 腎臓・前立腺の病気	<input type="checkbox"/> 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
<input type="checkbox"/> 外傷 (転倒・骨折等)	<input type="checkbox"/> がん (悪性新生物)
<input type="checkbox"/> 血液・免疫の病気	<input type="checkbox"/> うつ病
<input type="checkbox"/> 認知症 (アルツハイマー病等)	<input type="checkbox"/> パーキンソン病
<input type="checkbox"/> 目の病気	<input type="checkbox"/> 耳の病気
<input type="checkbox"/> その他 ()	

問 8	認知症にかかる相談窓口の把握について
Q 1. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
Q 2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

問 9 終活や暮らしについて

Q 1. 終活において、心配なこと、気になることは何ですか (いくつでも)
※終活とは、「人生の終わりのための活動」の略。人間が自らの死を意識して、人生の最期を迎えるための様々な準備やそこに向けた人生の総括を意味する言葉。

- 持ち物の整理
- エンディングノートを書くこと
- 終末期医療 (余命告知、延命措置、臓器提供、献体など)
- 遺言書の用意
- 死後事務委任契約 (亡くなった後の手続きを委任すること)
- 葬儀埋葬
- 遺品整理、残置物の処分
- 遺産相続
- 考えたことはない
- その他 ()

Q 2. 頼れる人や保証人等がおらず、病院への入院や施設への入所、住居の入居の際に困ったことや断られた経験はありますか。もしくはそのような不安はありますか (1つのみ)
※あると回答した方は、具体的な不安や断られた実体験の内容をご記入ください。

- ある
 (具体的 :)
- ない

Q 3. 一人暮らしとなり見守りをしてもらうなら、どのような手法が良いですか (1つのみ)

- 家族による訪問や電話による見守り
- 近所の人による訪問の見守り
- 民間事業所による訪問の見守り
- 人感センサーや本人が元気であることを知らせるスイッチ等
- 見守りは必要ない
- その他 ()

Q 4. 訪問による見守りをしてもらうなら、どのくらいの頻度が良いですか（1つのみ）

毎日

2～3日に1回

週に1回

その他（ ）

問 10

介護保険制度や高齢者福祉サービス等について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

※本項目は、ご意見を収集するために設けております。ご質問等がある場合には、直接、地域福祉課（内線 1140）にお問い合わせください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和4年11月25日（金）までに投函（切手不要）してください。

2. 在宅介護実態調査 調査票

東海村 在宅介護実態調査 調査票

はじめに

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から、本村の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、村では、地域の高齢者の皆様の課題を的確に把握し、今後の福祉行政へ反映させるため、本調査「在宅介護実態調査」を実施いたします。

この調査は、「適切な在宅生活の継続」と「在宅で介護する家族の就労継続」の両立を支える上で効果的な介護サービスを把握・分析し、それらの結果を「第9期東海村高齢者福祉・介護保険事業計画」（策定年度：令和5年度）へ反映させるための基礎資料となるものです。

なお、お答えいただいた内容は、東海村個人情報保護条例に基づいて適切に取り扱います。

お忙しい中、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

※本調査の送付対象者は、令和4年10月1日現在の介護保険被保険者情報を基に抽出しております。基準日以降に住所を異動された場合などの行き違いにつきましてはご容赦ください。

令和4年11月

東海村長 山田 修

東海村 福祉部
地域福祉課

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

1. この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第9期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、東海村役場内で適切に管理いたします。
2. ただし、第9期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年10月1日現在、要支援認定者（1・2）及び要介護認定者（1～5）のうち、在宅で生活されている方から600名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、「A票“ご本人”についてお答えいただく部分」と「B票“主な介護者の方”にお答えいただく部分」がありますので、ご注意ください。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する答えにシ点（）をつけてください。
4. この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】東海村 福祉部 地域福祉課

〒319-1192

茨城県那珂郡東海村東海三丁目7番1号

電話：029-282-1711（内線1140）

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、令和4年11月25日（金）までに投函（切手不要）してください。

質問の該当する答えにレ点(☑)をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします		
Q 1. 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）		
<input type="checkbox"/> 調査対象者本人	<input type="checkbox"/> 主な介護者となっている家族・親族	
<input type="checkbox"/> 主な介護者以外の家族・親族	<input type="checkbox"/> その他	
Q 2. 世帯類型について、ご回答ください（1つのみ）		
<input type="checkbox"/> 単身世帯	<input type="checkbox"/> 夫婦のみ世帯	<input type="checkbox"/> その他
Q 3. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つのみ）		
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。		
<input type="checkbox"/> 入所・入居は検討していない	<input type="checkbox"/> 入所・入居を検討している	
<input type="checkbox"/> すでに入所・入居申し込みをしている		
Q 4. ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）		
<input type="checkbox"/> 脳血管疾患（脳卒中）	<input type="checkbox"/> 心疾患（心臓病）	
<input type="checkbox"/> 悪性新生物（がん）	<input type="checkbox"/> 呼吸器疾患	
<input type="checkbox"/> 腎疾患（透析）	<input type="checkbox"/> 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	
<input type="checkbox"/> 膠原病（関節リウマチ含む）	<input type="checkbox"/> 変形性関節疾患	
<input type="checkbox"/> 認知症	<input type="checkbox"/> パーキンソン病	
<input type="checkbox"/> 難病（パーキンソン病を除く）	<input type="checkbox"/> 糖尿病	
<input type="checkbox"/> 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	<input type="checkbox"/> その他	
<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> わからない	
Q 5. 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つのみ）		
<input type="checkbox"/> 利用している ⇒ Q 7 へ	<input type="checkbox"/> 利用していない ⇒ Q 6 へ	

Q 6. Q 5で「利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

- 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- 本人にサービス利用の希望がない
- 家族が介護をするため必要ない
- 以前、利用していたサービスに不満があった
- 利用料を支払うのが難しい
- 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
- その他

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

Q 7. 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 配食 | <input type="checkbox"/> 調理 |
| <input type="checkbox"/> 掃除・洗濯 | <input type="checkbox"/> 買い物（宅配は含まない） |
| <input type="checkbox"/> ゴミ出し | <input type="checkbox"/> 外出同行（通院、買い物など） |
| <input type="checkbox"/> 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | <input type="checkbox"/> 見守り、声かけ |
| <input type="checkbox"/> サロンなどの定期的な通いの場 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 利用していない | |

Q 8. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 配食 | <input type="checkbox"/> 調理 |
| <input type="checkbox"/> 掃除・洗濯 | <input type="checkbox"/> 買い物（宅配は含まない） |
| <input type="checkbox"/> ゴミ出し | <input type="checkbox"/> 外出同行（通院、買い物など） |
| <input type="checkbox"/> 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | <input type="checkbox"/> 見守り、声かけ |
| <input type="checkbox"/> サロンなどの定期的な通いの場 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 特になし | |

<p>Q9. ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか (1つのみ) ※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。</p>	
<input type="checkbox"/> 利用している	<input type="checkbox"/> 利用していない
<p>Q10. 終活において、心配なこと、気になることは何ですか (いくつでも) ※終活とは、「人生の終わりのための活動」の略。人間が自らの死を意識して、人生の最期を迎えるための様々な準備やそこに向けた人生の総括を意味する言葉。</p>	
<input type="checkbox"/> 持ち物の整理 <input type="checkbox"/> エンディングノートを書くこと <input type="checkbox"/> 終末期医療 (余命告知、延命措置、臓器提供、献体など) <input type="checkbox"/> 遺言書の用意 <input type="checkbox"/> 死後事務委任契約 (亡くなった後の手続きを委任すること) <input type="checkbox"/> 葬儀埋葬 <input type="checkbox"/> 遺品整理、残置物の処分 <input type="checkbox"/> 遺産相続 <input type="checkbox"/> 考えたことはない <input type="checkbox"/> その他 ()	
<p>Q11. 頼れる人や保証人等がおらず、病院への入院や施設への入所、住居の入居の際に困ったことや断られた経験はありますか。もしくはそのような不安はありますか (1つのみ) ※あると回答した方は、具体的な不安や断られた実体験の内容をご記入ください。</p>	
<input type="checkbox"/> ある (具体的:) <input type="checkbox"/> ない	
<p>Q12. 一人暮らしとなり見守りをしてもらうなら、どのような手法が良いですか (1つのみ)</p>	
<input type="checkbox"/> 家族による訪問や電話による見守り <input type="checkbox"/> 近所の人による訪問の見守り <input type="checkbox"/> 民間事業所による訪問の見守り <input type="checkbox"/> 人感センサーや本人が元気であることを知らせるスイッチ等 <input type="checkbox"/> 見守りは必要ない <input type="checkbox"/> その他 ()	

Q13. 訪問による見守りをしてもらうなら、どのくらいの頻度が良いですか (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> 毎日	<input type="checkbox"/> 2～3日に1回
<input type="checkbox"/> 週に1回	<input type="checkbox"/> その他 ()
Q14. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つのみ)	
<input type="checkbox"/> ない	} <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">最終ページ「その他」へ 進んでください</div>
<input type="checkbox"/> 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	
<input type="checkbox"/> 週に1～2日ある	
<input type="checkbox"/> 週に3～4日ある	
<input type="checkbox"/> ほぼ毎日ある	
	} <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">B票へ進んでください</div>

- A票のQ14で「ない」と回答された場合、以降のご回答・ご記入は必要ありません。
- A票のQ14で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」、「ほぼ毎日ある」と回答された場合、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様にご回答・ご記入をお願いします。
※ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です。

B票	主な介護者の方について、お伺いします
Q1. ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません） （いくつでも） ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。	
<input type="checkbox"/> 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く） <input type="checkbox"/> 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） <input type="checkbox"/> 主な介護者が転職した <input type="checkbox"/> 主な介護者以外の家族・親族が転職した <input type="checkbox"/> 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない <input type="checkbox"/> わからない	
Q2. 主な介護者の方は、どなたですか（1つのみ）	
<input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 子の配偶者 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> 兄弟・姉妹 <input type="checkbox"/> その他	
Q3. 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つのみ）	
<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
Q4. 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つのみ）	
<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上 <input type="checkbox"/> わからない	

Q 5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）	
〔身体介護〕	
<input type="checkbox"/> 日中の排泄	<input type="checkbox"/> 夜間の排泄
<input type="checkbox"/> 食事の介助（食べる時）	<input type="checkbox"/> 入浴・洗身
<input type="checkbox"/> 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	<input type="checkbox"/> 衣服の着脱
<input type="checkbox"/> 屋内の移乗・移動	<input type="checkbox"/> 外出の付き添い、送迎等
<input type="checkbox"/> 服薬	<input type="checkbox"/> 認知症状への対応
<input type="checkbox"/> 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	
〔生活援助〕	
<input type="checkbox"/> 食事の準備（調理等）	<input type="checkbox"/> その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
<input type="checkbox"/> 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〔その他〕	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> わからない
Q 6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）	
〔身体介護〕	
<input type="checkbox"/> 日中の排泄	<input type="checkbox"/> 夜間の排泄
<input type="checkbox"/> 食事の介助（食べる時）	<input type="checkbox"/> 入浴・洗身
<input type="checkbox"/> 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	<input type="checkbox"/> 衣服の着脱
<input type="checkbox"/> 屋内の移乗・移動	<input type="checkbox"/> 外出の付き添い、送迎等
<input type="checkbox"/> 服薬	<input type="checkbox"/> 認知症状への対応
<input type="checkbox"/> 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	
〔生活援助〕	
<input type="checkbox"/> 食事の準備（調理等）	<input type="checkbox"/> その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
<input type="checkbox"/> 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〔その他〕	
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 不安に感じていることは、特にない
<input type="checkbox"/> 主な介護者に確認しないと、わからない	

Q 7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (1つのみ)

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- | | | |
|---|---|-------------|
| <input type="checkbox"/> フルタイムで働いている | } | Q 8～Q10へ |
| <input type="checkbox"/> パートタイムで働いている | | |
| <input type="checkbox"/> 働いていない | } | 最終ページ「その他」へ |
| <input type="checkbox"/> 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

Q 8. Q 7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか (いくつでも)

- 特に行っていない
- 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等)」しながら、働いている
- 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
- 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている
- 主な介護者に確認しないと、わからない

Q 9. Q 7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか (3つまで)

- 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 制度を利用しやすい職場づくり
- 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
- 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)
- 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 介護をしている従業員への経済的な支援
- その他
- 特になし
- 主な介護者に確認しないと、わからない

Q10. Q7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 問題なく、続けていける | <input type="checkbox"/> 問題はあるが、何とか続けていける |
| <input type="checkbox"/> 続けていくのは、やや難しい | <input type="checkbox"/> 続けていくのは、かなり難しい |
| <input type="checkbox"/> 主な介護者に確認しないと、わからない | |

その他

介護保険制度や高齢者福祉サービス等について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

※本項目は、ご意見を収集するために設けております。ご質問等がある場合には、直接、地域福祉課（内線 1140）にお問い合わせください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和4年11月25日（金）までに投函（切手不要）してください。

3. 在宅生活改善調査 調査票

在宅生活改善調査 事業所票

※ 令和4年11月28日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	[] 人
2) 「自宅等 (3) を除く」にお住まいの利用者数	[] 人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	[] 人

問2 貴事業所において、過去1年の間(令和3年10月1日~令和4年10月1日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数(要介護度別)」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人 ★

問3 貴事業所において、過去1年の間(令和3年10月1日~令和4年10月1日)に「自宅等(※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から居場所を変更した利用者数(行き先別)」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた1)~13)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数(★欄)が一致することをご確認ください。

	市(区町村)内	市(区町村)外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	[] 人	[] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[] 人	[] 人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	[] 人	[] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	[] 人	[] 人
5) グループホーム	[] 人	[] 人
6) 特定施設	[] 人	[] 人
7) 地域密着型特定施設	[] 人	[] 人
8) 介護老人保健施設	[] 人	[] 人
9) 療養型・介護医療院	[] 人	[] 人
10) 特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
12) その他	[] 人	[] 人
13) 行先を把握していない	[] 人	
14) 死亡(※搬送先での死亡を含む)	[] 人	

在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」、「サ高住」、「在宅型有料」、「有料老人ホーム」にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」が対象です。
 例は「訪問介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定期巡回サービスの利用がより適切と想うが」という理由です。

問1-1	問1-2	問1-3	問1-1	問1-2	問1-3	問2-1	問2-2	問2-3	問2-4	問2-5	問2-6	問3-1	問3-2	問3-3	問3-4	問3-5
世帯類型 1. 単居 2. 夫婦のみ 3. 単身の同居 4. その他	現在の居所 1. 自宅等(専ら家) 2. 自宅等(借家) 3. 住宅型有料 4. サ高住	要支援・要介護 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2 5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 本人の状態等に属する理由について、お答えください。 (2) 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください。 (3) 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください。	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 家事に支障がある (2) 一人での外出が困難 (3) 車の飲み忘れ (4) 金融管理が困難 (5) 意欲の低下 (6) 徘徊がある (7) 暴言・暴力などがある (8) 深い対応がある (9) 深夜の対応 (10) 近隣住民等とのトラブル (11) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他	現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。 (1) 点検の管理 (2) 中心静脈栄養 (3) 透析 (4) ストーマの処置 (5) 検査療法 (6) レスレレーター (7) 気管切開の処置 (8) 移居の看護 (9) 経管栄養 (10) モニター測定 (11) 褥瘡の処置 (12) カテーテル (13) 導尿吸引 (14) インザン注射 (15) その他
記入例	2	1	5	3, 4	2	5, 6	7	3	7, 16	2	2					
01																
02																
03																
04																
05																
06																
07																
08																
09																
10																
11																
12																
13																
14																
15																

東海村
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査／
在宅介護実態調査／在宅生活改善調査
【結果報告書】

令和5年3月

発行：東海村 福祉部 地域福祉課

〒319-1192

茨城県那珂郡東海村東海三丁目7番1号

電話：029-282-1711（代表）